KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub C550

ユーザーズガイド　FK-502 ファクス機能編



もくじ

もくじ 1
はじめに 12
登録商標について 12
免責 12
送ってみよう（ファクス） 13
ファクスを送信するには 13
こんな機能があります 17
ページの見かた 24
原稿と用紙の表示について 25
マニュアル体系について 26
印刷物のユーザーズガイド 26
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド 26

第 1 章　ご使用いただく前に 1-1
1.1　ご注意 1-2
1.2　操作パネルの使いかた 1-3
操作パネル 1-3
ファクス機能で表示される画面 1-5
1.3　はじめに設定してください 1-7
1.4　設定しておくと便利な機能 1-8
1.5　ユーザー認証と部門認証について 1-9
ユーザー認証（本体装置認証）の場合 1-9
部門認証の場合 1-10
1.6　ボックスを使ったファクス受信 1-11
ボックスの種類 1-12
PC-FAX 受信の動作について 1-14
1.7　増設回線を使用した送受信 1-17
送信 / 受信兼用の回線として使用する 1-17
受信専用の回線として使用する 1-18
送信専用の回線として使用する 1-18
1.8　SIP ファクス使用時の注意事項 1-19
FAX over IP 通信 1-19
G3 ファクス 1-20
宛先の指定方法 1-21

第 2 章　送信する 2-1
2.1　操作の流れ 2-2
ファクスを送信するには 2-2
2.2　原稿をセットする 2-7
ADF に原稿をセットする 2-7
原稿ガラスに原稿をセットする 2-8
原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには 2-9
ADF/ 原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには 2-11
2.3　読込み条件を設定する 2-13

読込み設定をするには 2-13
原稿画質 2-14
片面 / 両面 2-15
解像度 2-16
濃度 2-17
2.4 宛先を 1 箇所だけ指定する 2-18
登録宛先から指定する 2-18
登録宛先を検索する（検索文字キー） 2-19
登録宛先を検索する（宛先種類） 2-20
登録宛先を検索する（詳細検索） 2-21
直接入力で指定する 2-22
履歴から指定する 2-24
LDAP 検索をする（単検索） 2-25
LDAP 検索をする（複合検索） 2-26
2.5 複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信） 2-28
複数の宛先を指定する（登録宛先、直接入力、履歴で） 2-28
複数の宛先を指定する（グループキーで） 2-28
2.6 プログラム宛先で送信する 2-30
プログラム宛先を指定して送信するには 2-30
2.7 設定状態を確認する 2-32
設定状態を確認するには 2-32
2.8 原稿読込み中の動作 2-35
原稿サイズが検知できないときは 2-35
メモリーオーバーしたときは 2-36
原稿の自動回転について 2-36
2.9 送信できないときは 2-37
リダイアルについて 2-37
オートリダイアル機能 2-37
手動リダイアル（実行中リスト） 2-37
手動リダイアル（再送信ボックス） 2-38
2.10 送信を予約する 2-40
2.11 相手側の状態を確認しながら送信する（手動送信） 2-42
2.12 送信を中止する 2-43
通信中に中止する 2-43
タイマー通信予約ジョブを取り消す 2-44
2.13 送信予約ジョブを確認する 2-45
2.14 通信結果を確認する 2-46
通信結果の確認をするには 2-47
2.15 メモリー送信とクイックメモリー送信 2-49
メモリー送信 2-49
クイックメモリー送信 2-49
クイックメモリー送信するには 2-49
2.16 総ページ数を付けて送信する（原稿枚数指定） 2-52
原稿枚数を指定して送信するには 2-52
2.17 時刻を指定して通信する（タイマー通信） 2-55

タイマー通信するには 2-55
2.18 海外に送る（海外通信モード） 2-58
海外通信モードで送信するには 2-58
2.19 発信元情報について 2-61
発信元情報の付ける位置について 2-61
相手先印字について 2-62
2.20 送信前に読込み状態を確認する（仕上りプレビュー） 2-63
プレビュー詳細画面について 2-63
表示サイズ変更 2-64
表示画像回転 2-64
仕上り表示 2-65
設定変更 2-66
仕上りプレビューを確認するには 2-66

第 3 章 受信する 3-1
3.1 いろいろな受信モード 3-2
自動受信（ファクス専用モード） 3-2
自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード） 3-2
留守番電話が接続しているとき 3-2
手動受信（電話専用モード） 3-3
3.2 自動受信（ファクス専用モード） 3-4
3.3 自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード） 3-5
相手がファクスのとき 3-5
相手が電話のとき 3-5
3.4 留守番電話を接続するときは 3-6
相手がファクスのとき 3-6
相手が電話のとき 3-6
3.5 手動受信（電話専用モード） 3-7
本機で操作するとき 3-7
外部電話で操作するとき（リモート受信） 3-7
3.6 受信できないとき 3-8
3.7 メモリー代行受信について 3-9
メモリー代行受信とは 3-9
メモリー代行受信したジョブを転送する 3-9
3.8 受信時の記録について 3-11
縮小して記録するとき 3-11
用紙におさまるように縮小して記録するとき 3-11
等倍で記録するとき 3-15
受信時の記録方法 3-16
3.9 受信情報について 3-17

第 4 章 電話をかける / 受ける 4-1
4.1 電話をかける 4-2
電話をかけるには 4-2
4.2 電話を受ける 4-3

電話を受けるには 4-3

第 5 章　トラブル処置 5-1

5.1　送信できない 5-2

5.2　受信できない 5-3

5.3　エラーメッセージが表示された 5-5

5.4　「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール） 5-6

第 6 章　仕様 6-1

6.1　仕様 6-2

第 7 章　便利な送信 7-1

7.1　設定画面の機能一覧 7-2
読込み設定 7-2
原稿設定 7-3
通信設定 7-4

7.2　背景色の濃度を調整して送る（下地調整） 7-6
下地調整とは 7-6
下地調整をして送信するには 7-6

7.3　文字のエッジを強調して送る（シャープネス） 7-9
シャープネスとは 7-9
シャープネスの調整をして送信するには 7-9

7.4　黒い影を消して送る（枠消し） 7-12
枠消しとは 7-12
枠消しの設定をして送信する 7-12

7.5　見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写） 7-15
ブック連写とは 7-15
ブック連写を設定して送信するには 7-16

7.6　原稿を読込むサイズを指定して送る（読込みサイズ） 7-20
読込みサイズとは 7-20
読込みサイズを指定して送信するには 7-20

7.7　ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷） 7-23
同時印刷とは 7-23
同時印刷を設定して送信するには 7-23

7.8　読み取ったことを確認する（済みスタンプ） 7-26
済みスタンプとは 7-26
済みスタンプを設定して送信するには 7-26

7.9　サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿） 7-29
混載原稿とは 7-29
混載原稿を設定して送信するには 7-29

7.10　折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿） 7-32
Z 折れ原稿とは 7-32
Z 折れ原稿を設定して送信するには 7-32

7.11　長い原稿を送る（長尺原稿） 7-35

長尺原稿とは 7-35
長尺原稿を設定して送信するには 7-35
7.12 原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ） 7-38
原稿のとじしろとは 7-38
原稿のとじしろを指定して送信するには 7-38
7.13 スリットガラスの汚れの影響を軽減して送信する（汚れ軽減モード） 7-41
汚れ軽減モードとは 7-41
汚れ軽減モードを設定して送信するには 7-41
7.14 ECM モードを解除して送る（ECM OFF） 7-43
ECM OFF とは 7-43
ECM OFF を設定して送信するには 7-43
7.15 スーパー G3 モードを解除して送る（V34 OFF） 7-46
V34 OFF とは 7-46
V34 OFF を設定して送信するには 7-46
7.16 共有 / 個人 / グループボックスの文書をファクス送信する 7-49
共有 / 個人 / グループボックスの文書をファクス送信するには 7-49
7.17 相手機を確認して送信する（宛先確認送信） 7-52
宛先確認送信とは 7-52
宛先確認送信を設定して送信するには 7-52
7.18 宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能） 7-55
宛先確認表示機能とは 7-55
宛先を再確認して送信するには 7-55
7.19 回線を指定して送信する（回線指定） 7-57
回線指定とは 7-57
回線を指定して送信するには 7-57
7.20 パスワードをつけて送る（パスワード送信） 7-60
パスワード送信とは 7-60
パスワード送信を設定するには 7-60
7.21 親展送信をする（F コード送信） 7-63
親展送信とは 7-63
親展送信をするには 7-63
7.22 中継先を指定して送る（F コード送信） 7-66
中継先指定とは 7-66
中継先指定を設定するには 7-66
7.23 発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定） 7-69
ファクス発信元設定とは 7-69
ファクス発信元設定をするには 7-69

第 8 章 便利な受信 8-1

8.1 外部電話から受信の指示をする（リモート受信） 8-2
リモート受信とは 8-2
リモート受信をするには 8-2
8.2 親展受信した文書を利用する 8-4
親展受信とは 8-4

親展受信した文書をプリントする 8-4
親展受信した文書を削除する 8-5
8.3 強制メモリー受信した文書を取り扱う 8-6
受信文書をプリントする 8-6
受信文書を削除する 8-7
8.4 受信時の記録 8-8
［受信原稿両面印刷］が［ON］に設定されているときは 8-8
第 9 章 ポーリング 9-1
9.1 相手先の指示で文書を送信する（ポーリング送信） 9-2
ポーリング送信とは 9-2
ポーリング送信文書を予約するには 9-2
ポーリング送信ボックスの文書をプリントするには 9-4
ポーリング送信ボックス内の文書を削除するには 9-5
9.2 本機の指示で相手先の文書を受信する（ポーリング受信） 9-6
ポーリング受信とは 9-6
ポーリング受信をするには 9-6
9.3 文書を指定してポーリングする（掲示板） 9-8
掲示板に文書を登録する 9-8
掲示板文書をプリントする 9-10
掲示板ボックスの文書を削除する 9-11
掲示板の文書をポーリング受信する 9-12
第 10 章 登録 / 設定する 10-1
10.1 ファクス登録の画面を表示する 10-2
ファクス / スキャン宛先登録画面を表示するには 10-2
10.2 短縮宛先を登録する 10-4
短縮宛先にファクス番号を登録する 10-4
宛先確認 / 登録画面から短縮宛先にファクス番号を登録する 10-8
短縮宛先を変更する 10-11
短縮宛先を削除する 10-13
10.3 グループ宛先を登録する 10-15
グループ宛先を登録する 10-15
グループ宛先を変更する 10-18
グループ宛先を削除する 10-19
10.4 プログラム宛先を登録する 10-20
プログラム宛先を登録する 10-20
プログラム宛先を削除する 10-24
10.5 宛先レベルを変更する（宛先レベル設定） 10-26
宛先レベル設定とは 10-26
宛先レベルを変更するには 10-26
10.6 着信拒否宛先を登録する 10-29
着信拒否宛先を登録するには 10-29
着信拒否宛先を変更するには 10-31
着信拒否宛先を削除するには 10-32

10.7 親展ボックスを設定する 10-33
親展ボックスを登録するには 10-33
親展通信のしくみ 10-36
10.8 掲示板を設定する 10-37
掲示板ボックスを登録するには 10-37
掲示板ポーリング送受信のしくみ 10-39
10.9 中継ボックスを設定する 10-40
中継ボックスを登録するには 10-40
中継配信のしくみ 10-43
10.10 強制メモリー受信ボックスを設定する 10-44

第 11 章 設定メニュー 11-1

11.1 設定メニューの操作について 11-2
ユーザー設定画面を表示するには 11-2
ユーザー設定画面を終了するには 11-2
管理者設定画面を表示するには 11-3
管理者設定画面を終了するには 11-4
11.2 設定メニュー一覧 11-5
ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞ファクス / スキャン設定 11-5
ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞ファクス動作中画面 11-5
ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞検索オプション設定 11-6
ユーザー設定＞ファクス / スキャン設定＞ファクス / スキャン初期設定 11-6
管理者設定＞環境設定＞パワーセーブ設定 11-6
管理者設定＞環境設定＞出力設定＞受信印刷出力設定 11-6
管理者設定＞環境設定＞ユーザー操作禁止設定＞変更禁止設定＞
登録宛先変更 11-6
管理者設定＞環境設定＞ユーザー操作禁止設定＞操作禁止設定＞
複数宛先禁止 11-7
管理者設定＞環境設定＞リセット設定＞モードリセット＞次ジョブ＞
送信後設定解除 11-7
管理者設定＞環境設定＞スタンプ設定 11-7
管理者設定＞ユーザー認証 / 部門管理＞参照許可設定 11-7
管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / ファクス ID 登録 11-8
管理者設定＞ファクス設定＞発信元 / 受信情報 11-8
管理者設定＞ファクス設定＞回線パラメーター設定 11-8
管理者設定＞ファクス設定＞送信 / 受信設定 11-9
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞機能 ON/OFF 設定 11-10
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞ダイアルイン設定 11-11
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞強制メモリー受信設定 11-11
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞閉域受信設定 11-12
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞転送ファクス設定 11-12
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞リモート受信設定 11-12
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞再送信設定 11-12
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞ PC-FAX 受信設定 11-13
管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞ TSI 受信振分け設定 11-13
管理者設定＞ファクス設定＞ PBX 接続設定 11-13
管理者設定＞ファクス設定＞レポート出力設定 11-14
管理者設定＞ファクス設定＞設定値リスト 11-15
管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞回線パラメーター設定 11-15

管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞機能設定 11-15
管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞複数回線使用設定 11-15
管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞ファクス ID 11-16
管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞手動宛先入力 ... 11-16
管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞
FAX 送信禁止 11-16
管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞
個人情報非表示 11-16
管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞通信履歴表示 ... 11-16

11.3 ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する
（ファクス / スキャン設定）..... 11-17
ファクス / スキャン設定をするには 11-18

11.4 ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）..... 11-20
ファクス動作中画面設定をするには 11-20

11.5 送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする
（検索オプション設定）..... 11-22
検索オプション設定をするには 11-22

11.6 ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定）..... 11-24
ファクス / スキャン初期設定をするには 11-24

11.7 パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行）..... 11-26
パワーセーブ移行設定をするには 11-26

11.8 受信文書のプリント方法を設定する（受信印刷出力設定）..... 11-28
受信印刷出力設定をするには 11-28

11.9 宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更）..... 11-30
登録宛先変更設定をするには 11-30

11.10 複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止）..... 11-32
複数宛先禁止設定をするには 11-32

11.11 宛先と設定を解除しない設定をする（送信後設定解除）..... 11-34
宛先と設定を解除しない設定をするには 11-34

11.12 スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）..... 11-36
スタンプ設定をするには 11-36

11.13 宛先情報を保護する（参照許可設定）..... 11-38
グループ登録をするには 11-38
宛先レベル設定をするには 11-41

11.14 発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）..... 11-44
発信元 / ファクス ID 登録するには 11-44

11.15 発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）..... 11-47
発信元 / 受信情報設定をするには 11-47

11.16 発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）..... 11-50
回線パラメーター設定をするには 11-51

11.17 送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）..... 11-53
送信 / 受信設定をするには 11-54

11.18 機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）..... 11-56

機能 ON/OFF 設定をするには 11-57
11.19 ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定）..... 11-59
ダイアルイン設定をするには 11-59
11.20 強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）..... 11-62
強制メモリー受信設定をするには 11-62
11.21 特定の相手からのみ受信する設定をする（閉域受信設定）..... 11-64
閉域受信設定をするには 11-64
11.22 受信文書を転送する（転送ファクス設定）..... 11-66
転送ファクス設定をするには 11-66
11.23 リモート受信を設定する（リモート受信設定）..... 11-69
リモート受信を設定するには 11-69
11.24 再送信を設定する（再送信設定）..... 11-71
再送信設定をするには 11-71
11.25 ハードディスク内のボックスに受信する（PC-FAX 受信設定）..... 11-73
PC-FAX 受信設定をするには 11-74
11.26 送信者ごとに受信原稿を振り分ける（TSI 受信振分け設定）..... 11-76
TSI 受信振分け設定をするには 11-77
11.27 構内交換機に関する機能を設定する（PBX 接続設定）..... 11-80
PBX 接続設定をするには 11-80
11.28 レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）..... 11-82
レポート出力設定をするには 11-83
11.29 増設回線のパラメーターを設定する（回線パラメーター設定）..... 11-85
回線パラメーター設定をするには 11-85
11.30 増設回線の機能を設定する（機能設定）..... 11-87
機能設定をするには 11-87
11.31 増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定）..... 11-90
複数回線使用設定をするには 11-90
11.32 増設回線のファクス ID を設定する（ファクス ID）..... 11-92
ファクス ID を設定するには 11-92
11.33 ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）..... 11-94
手動宛先入力設定をするには 11-94
11.34 ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）..... 11-96
FAX 送信禁止設定をするには 11-96
11.35 ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示）..... 11-98
個人情報非表示設定をするには 11-98
11.36 通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示）..... 11-100
通信履歴表示設定をするには 11-100

第 12 章　レポート / リストの見かた 12-1

12.1　レポート / リストの種類 12-2
レポート 12-2
リスト 12-4

12.2 通信管理レポート 12-5
通信管理レポートの見かた 12-5
自動プリント 12-7
手動プリント 12-7
12.3 送信結果レポート 12-9
送信結果レポートの見かた 12-9
手動プリント 12-10
自動プリント 12-10
12.4 ポーリング送信結果レポート 12-11
12.5 ポーリング受信結果レポート 12-13
12.6 順次ポーリング受信結果レポート 12-15
12.7 通信予約レポート 12-17
12.8 ポーリング送信予約レポート 12-18
12.9 同報送信予約レポート 12-19
12.10 1 宛先ポーリング受信予約レポート 12-20
12.11 順次ポーリング受信予約レポート 12-21
12.12 親展受信レポート 12-22
12.13 掲示板送信結果レポート 12-24
12.14 中継結果レポート 12-26
12.15 中継依頼受付レポート 12-28
12.16 PC-FAX 送信エラーレポート 12-30
12.17 同報送信結果レポート 12-31
12.18 短縮宛先リスト 12-33
短縮宛先リストの見かた 12-33
短縮宛先リストをプリントするには 12-33
12.19 グループ宛先リスト 12-36
グループ宛先リストの見かた 12-36
グループ宛先リストをプリントするには 12-36
12.20 プログラム宛先リスト 12-39
プログラム宛先リストの見かた 12-39
プログラム宛先リストをプリントするには 12-39
12.21 設定値リスト 12-42
FAX 設定リストの見かた 12-42
中継一覧の見かた 12-44
送信者別（TSI）受信ボックスの見かた 12-45
親展・掲示板一覧の見かた 12-46
着信拒否登録データの見かた 12-46
設定値リストをプリントするには 12-47

第 13 章 付録 13-1

13.1 こんなときには 13-2
ファクス情報サービスを利用する 13-2

メモリーへの蓄積枚数について 13-3
13.2 文字を入力するには 13-4
キーボードの拡大表示 13-5
英数字を入力する 13-5
ひらがなを入力する 13-6
カタカナを入力する 13-7
漢字を入力する 13-8
文字コードで入力する 13-10
13.3 入力文字一覧 13-11
13.4 ファクス用語集 13-19
第 14 章 索引 14-1
14.1 使用別索引 14-2
14.2 項目別索引 14-8

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、死亡や重傷を負う可能性がある行為を示しています。「安全にお使いいただくために」にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、軽傷や中程度の傷害および物的損傷を負う可能性がある行為を示しています。「安全にお使いいただくために」にまとめて記載されていますので、必ずご一読ください。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、ファクス機能を使用するために必要な機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。

■ 登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本書に記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標です。

Copyright

© 2006 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC., All Rights Reserved.

■ 免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

送ってみよう（ファクス）

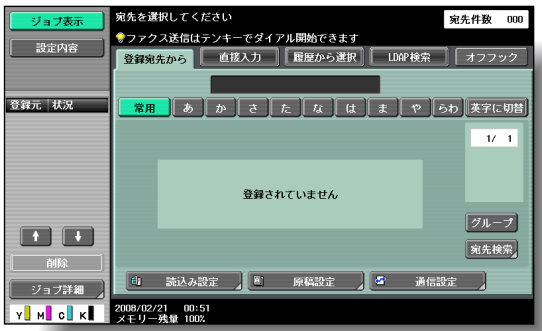
はじめてファクスを送るときの基本的な操作の手順を説明します。

■ ファクスを送信するには

原則

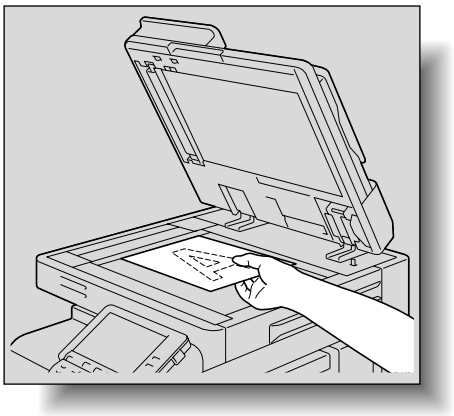
ファクス機能を利用する場合は、オプションの FAX キットが必要です。

1 操作パネルの【ファクス / スキャン】を押し、ファクスモードにします。
ファクス / スキャン画面が表示されます。



2 原稿をセットします。





参照

原稿セットについては「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3 必要に応じて機能を設定します。

- 読込み設定画面



参照

読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。

- 原稿設定画面



参照

原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。

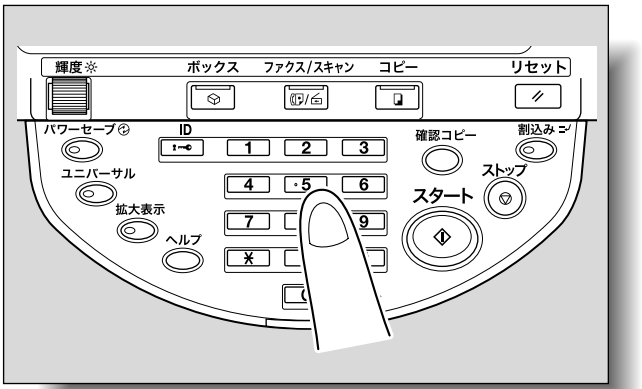
- 通信設定画面



参照

通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

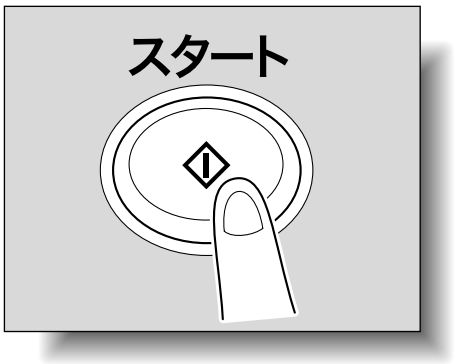
4 テンキーで相手のファクス番号を入力します。



詳しく説明します

・誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
・【C】を押すと入力した番号がすべて削除されます。

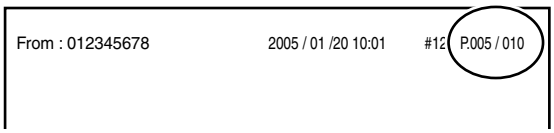
5 操作パネルの【スタート】を押します。



参照
送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

総ページ数を付けて送る

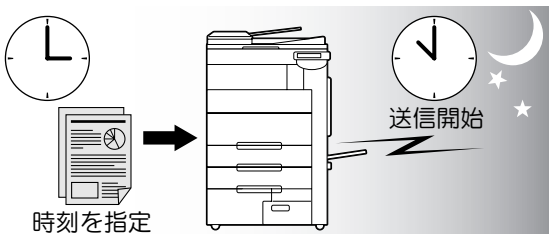
クイックメモリー送信の場合に原稿の総ページ数を付けて送信できます。相手先で文書の総ページが正しく届いているかを確認するのに便利です。



参照
詳しくは、p. 2-52 をごらんください。

時刻を指定して送る

指定した時刻に通信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。



参照
詳しくは、p. 2-55 をごらんください。

1 ページ読み取るごとに送る（クイックメモリー送信）

原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法です。

参照
詳しくは、p. 2-49 をごらんください。

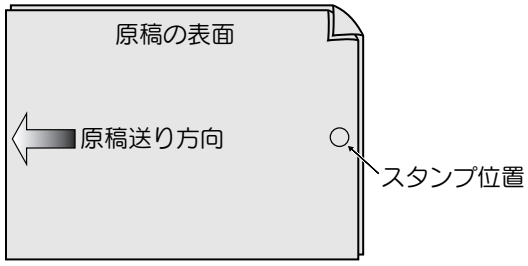
海外に送る

通信状態の悪いところへ送信するときに、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して確実に送信できます。

参照
詳しくは、p. 2-58 をごらんください。

読み取ったことを確認する

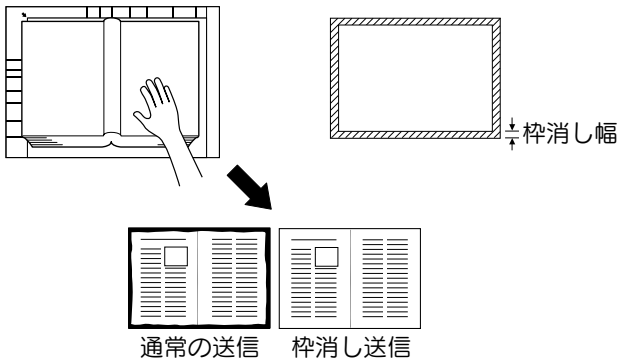
読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。



参照
詳しくは、p. 7-26 をごらんください。

黒い影を消して送る

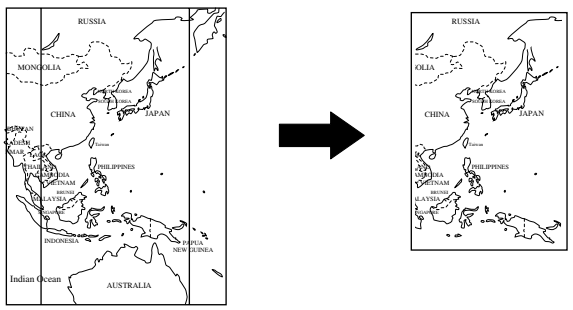
冊子になっている原稿を読込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-12 をごらんください。

原稿を読込むサイズを指定して送る

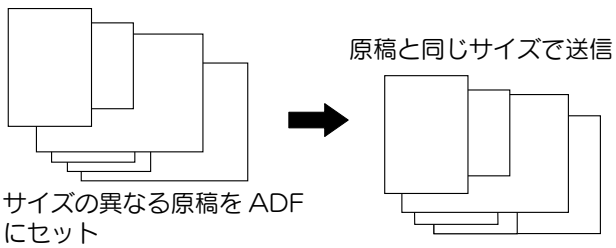
読込むサイズを指定して送信できます。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。



参照
詳しくは、p. 7-20 をごらんください。

サイズの異なる原稿を一度の操作で送る

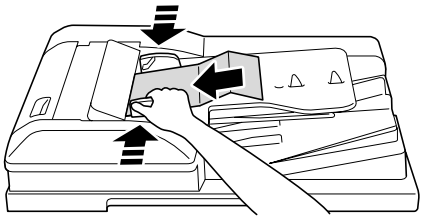
サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを正しく認識して送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-29 をごらんください。

折り目のある原稿を送る

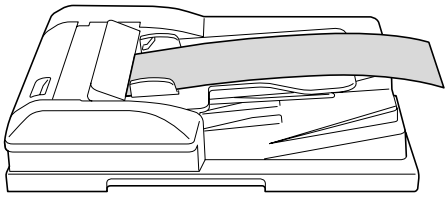
折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を正しいサイズで送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-32 をごらんください。

長い原稿を送る

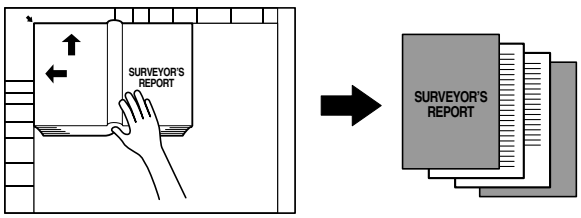
432 mm より長い原稿を送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-35 をごらんください。

見開き原稿を送る

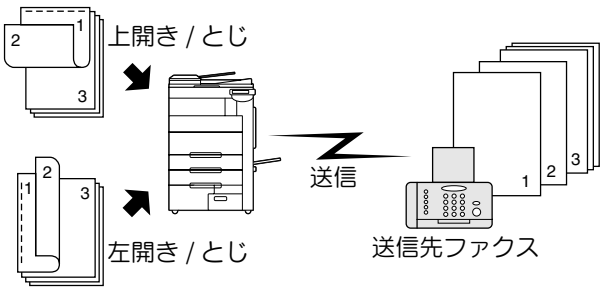
本やカタログなどを送信する場合に、左右のページを分割し、それぞれ 1 ページとして送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-15 をごらんください。

両面原稿のとじしろを指定する

原稿のとじしろを指定し、原稿の裏面の上下関係を補正して送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-38 をごらんください。

受信側からの指示で送信させる

送信側にセットまたは蓄積されている原稿を、受信側からの指示で送信させる機能です。



参照
詳しくは、p. 9-6 をごらんください。

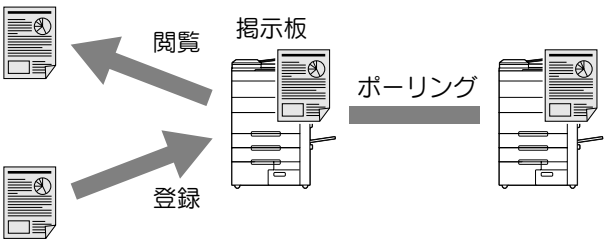
ECM モードを解除して送る

ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送る機能です。

参照
詳しくは、p. 7-43 をごらんください。

文書を指定してポーリングする

掲示板ボックスに、閲覧させたい文書を蓄積し、ポーリング送信できます。また外部の掲示板からポーリング受信できます。



参照
詳しくは、p. 9-8 をごらんください。

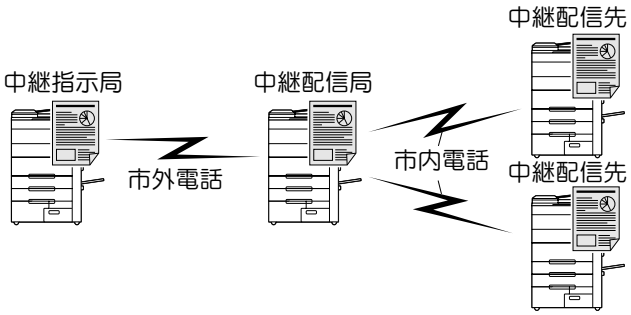
スーパー G3 モードを解除して送る

構内交換機などの制約によりスーパー G3 モード（V34）を使用できない場合に、スーパー G3 モード（V34）を解除して送信できます。

参照
詳しくは、p. 7-46 をごらんください。

中継先を指定して送る

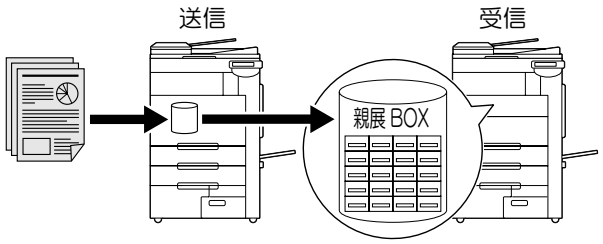
いったん中継局に原稿を送信し、中継局から送信先に同報できます。



参照
詳しくは、p. 7-66 をごらんください。

親展ボックスを使う

特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信できます。



参照
詳しくは、p. 7-63 をごらんください。

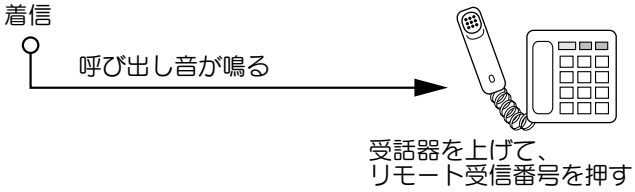
パスワードをつけて送る

相手側が閉域通信を設定している場合に、パスワードをつけて送信できます。

参照
詳しくは、p. 7-60 をごらんください。

外部電話から受信の指示をする

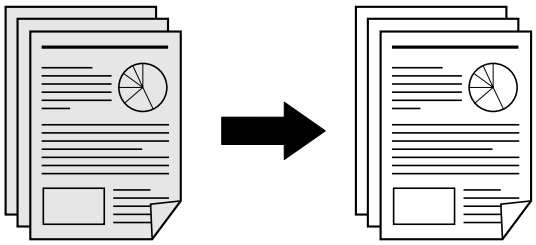
リモート受信番号を使い、外部電話から受信の指示をすることができます。



参照
詳しくは、p. 8-2 をごらんください。

背景色の濃度を調整して送る

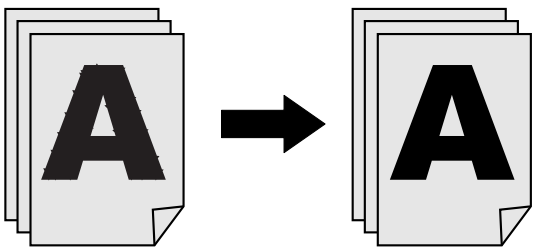
原稿の背景色の濃さを調整して送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-6 をごらんください。

文字のエッジを強調して送る

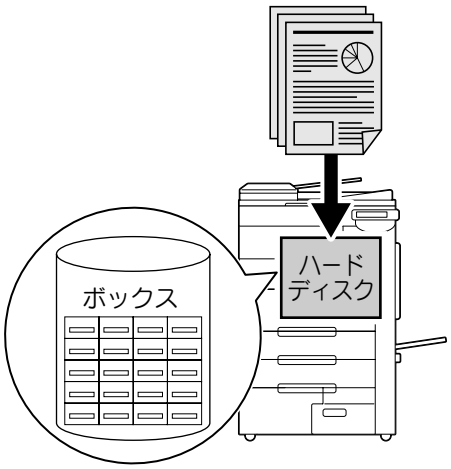
ぼやけた文字をはっきりさせたり、なめらかな印象にしたり調整して送信できます。



参照
詳しくは、p. 7-9 をごらんください。

ボックスに保存する

読込んだ原稿を、本機のハードディスクに作成されたボックスにファクス / スキャン画面から保存できます。ファクス番号のかわりに宛先としてボックスを指定します。またボックスに保存したファイルを、さらにファクス送信することもできます。



参照
詳しくは、p. 1-11 をごらんください。

ページの見かた

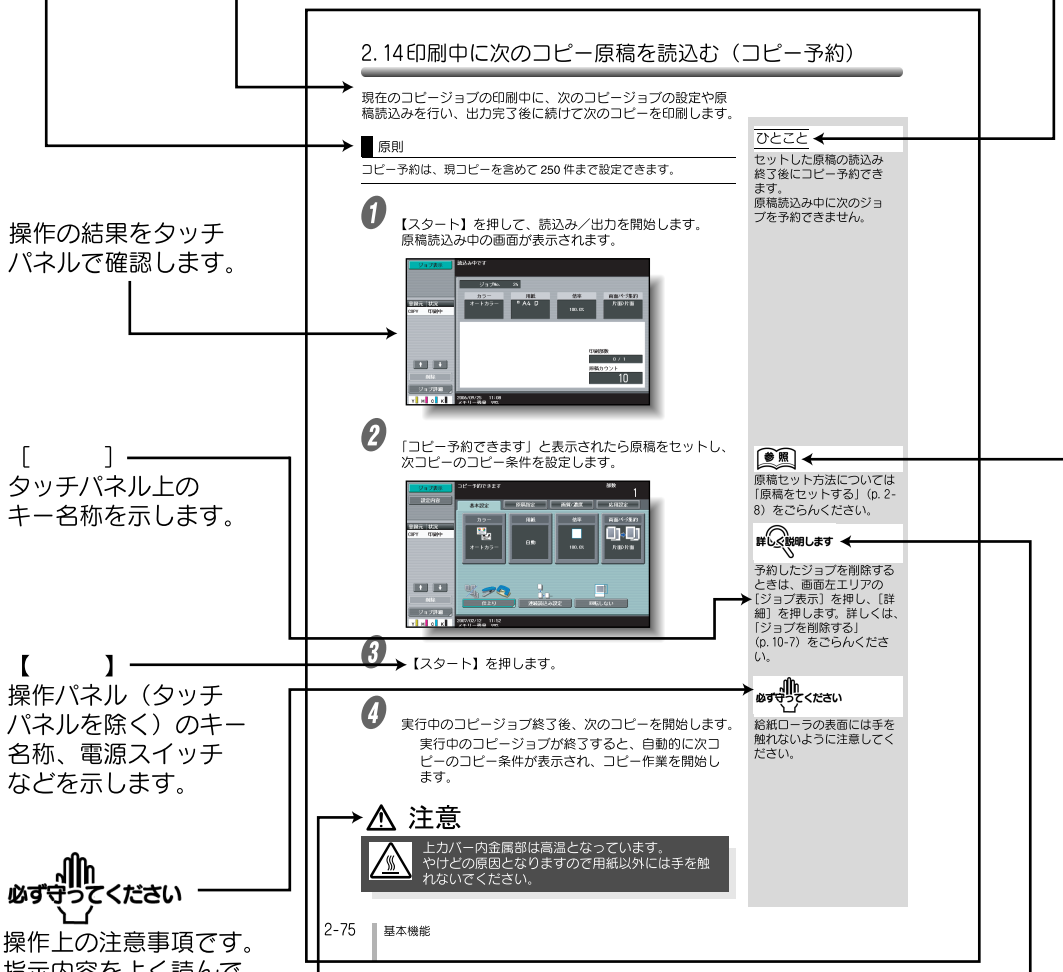
原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

項目タイトルの概要を説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。お読みになることをおすすめします。



操作の結果をタッチパネルで確認します。

［　　］
タッチパネル上のキー名称を示します。

【　　】
操作パネル（タッチパネルを除く）のキー名称、電源スイッチなどを示します。

必ず守ってください

操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず指示に従ってください。

（このページは実際には存在しません。）

⚠ 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

詳しく説明します

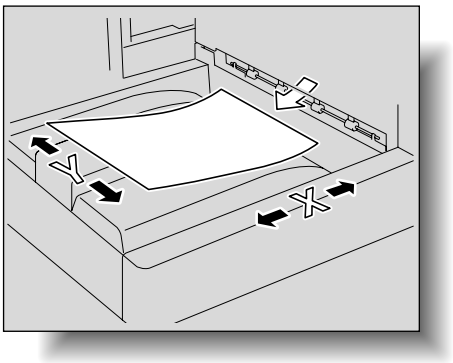
操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

参照

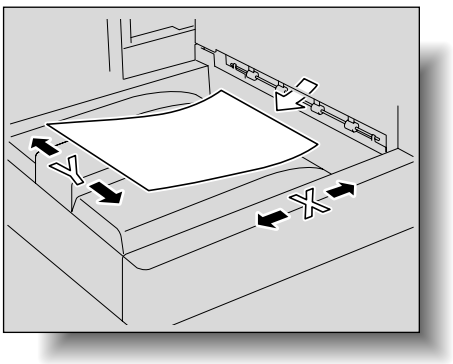
参照先を指示します。必要に応じてごらんください。

原稿と用紙の表示について

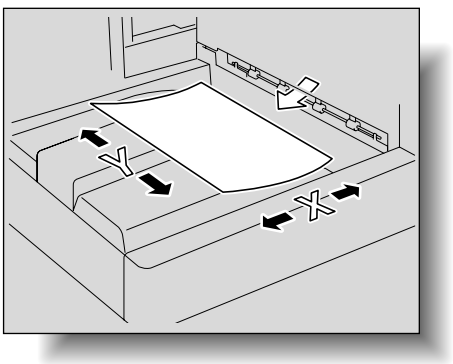
本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを ▭ と表示します。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを ▯ と表示します。



マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

■ 印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

●ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、ネットワーク／スキャナー機能、ファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（プリンター機能編）

標準装着のプリンターコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナー機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナー機能の操作について記載しています。ネットワーク機能、Scan to E-Mail、Scan to FTP、Scan to SMB の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（PageScope Web Connection 編）

コンピューターのブラウザーから本体の設定をリモート操作する PageScope Web Connection について記載しています。PageScope Web Connection の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ファクス機能編）＜本書＞

G3 ファクス機能について記載しています。オプションの FAX キットを装着した場合の G3 ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）

ネットワークファクス機能について記載しています。インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（拡張機能編）

オプションのライセンスキットを登録することで有効化して利用できる各機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる各機能の概要と使い方について記載しています。

各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをごらんください。

拡張機能は以下の機種に対応しています。

bizhub C650/C550/C451/C353/C253/C203

第 1 章
ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことについて説明します。

1.1　ご注意 1-2
1.2　操作パネルの使いかた 1-3
1.3　はじめに設定してください 1-7
1.4　設定しておくと便利な機能 1-8
1.5　ユーザー認証と部門認証について 1-9
1.6　ボックスを使ったファクス受信 1-11
1.7　増設回線を使用した送受信 1-17
1.8　SIP ファクス使用時の注意事項 1-19

1.1　ご注意

本機はカラーでファクス送受信することはできません。
本機を接続することのできる電話回線は次のとおりです。

- 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
- PBX（構内交換機 2 線式）

使用する電話回線について次の項目をご確認ください。

- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信に以下の制約が生ずる可能性があります。
  - ❍ 伝送速度が制限される。
  - ❍ Super G3 による通信ができない。

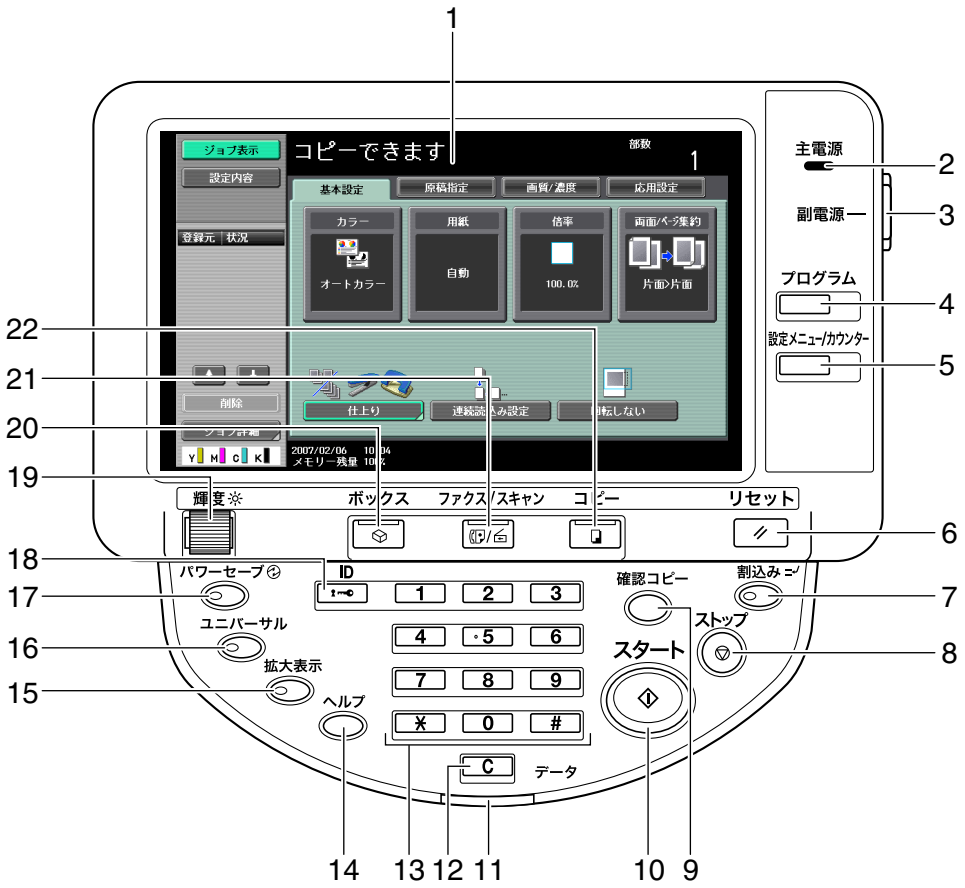
ごくまれに工場出荷時の設定では、通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。
なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。



【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

1.2　操作パネルの使いかた

■ 操作パネル



No.	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
2	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	操作パネルの電源を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
4	【プログラム】キー	目的のファクス条件を、プログラム宛先に登録したり、登録したプログラム宛先を呼び出して送信できます。(p. 2-30、p. 10-20)
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面に切換わります。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
7	【割込み】キー	コピー機能の割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。

No.	名称	説明
8	【ストップ】キー	原稿の読込みを停止します。
9	【確認コピー】キー	【スタート】を押す前に【確認コピー】を押すと、現在設定している内容の仕上がりイメージをタッチパネル上に表示できます。(p. 2-63)
10	【スタート】キー	各ボックス、ファクス / スキャン、コピーの選択されているモードの動作を開始するときに押します。ファクス / スキャンモードが選択されているときは、通信を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは、【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは動作を開始できません。
11	データランプ	プリントジョブやファクスの受信中は、青色に点滅します。 プリントジョブやファクスの印刷待ちおよび印刷中は、青色に点灯します。
12	【C】(クリア) キー	テンキーで入力した数値や画面のキーボードで入力した文字が取消されます。
13	テンキー	数字を入力します。電話番号や各種設定値の入力に使用します。
14	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切換わります。 本機機能の解説や操作方法を画面上に表示できます。
15	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切換わります。 PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、拡大表示画面に切換わりません。 詳しくは、「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
16	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
17	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
18	【ID】キー	ユーザー認証および部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード (ユーザー認証)、部門名とパスワード (部門管理) を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
19	輝度調整ダイアル	タッチパネルの輝度を調整します。
20	【ボックス】キー	ボックス機能に切換わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
21	【ファクス / スキャン】キー	ファクス / スキャン機能に切換わります。 ファクス / スキャン機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。 スキャン機能にについては、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

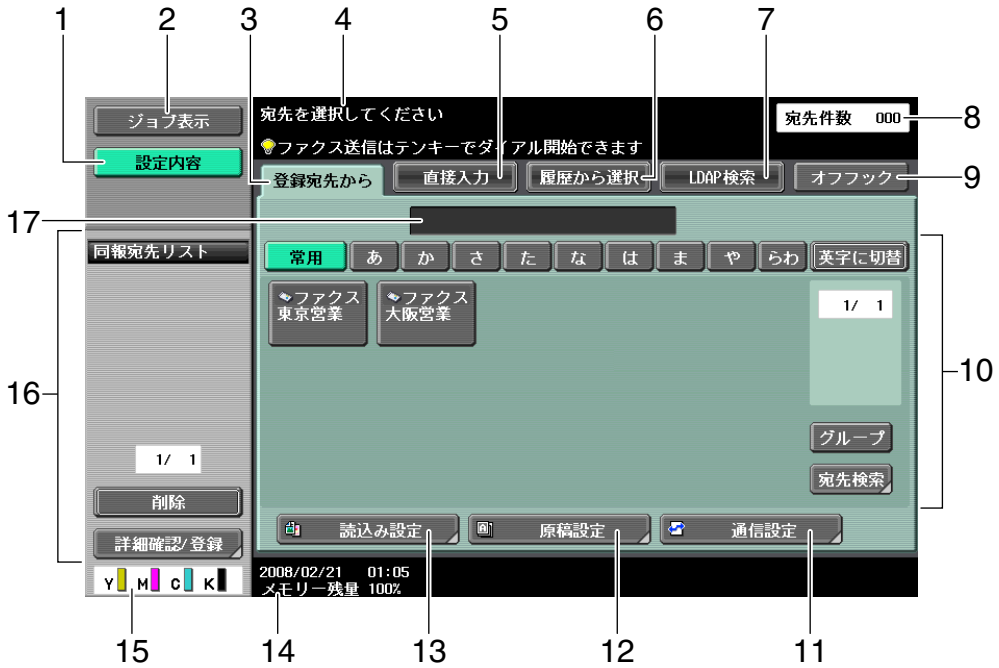
No.	名称	説明
22	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

必ずお守りください

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。
サービスコール画面（p. 5-6）が表示され操作できなくなったときは、故障の原因になるおそれがありますので、トラブルコードを書き留め、直ちに本体電源プラグを抜いてサービス実施店にご連絡ください。そのとき、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

■ ファクス機能で表示される画面

操作パネルの【ファクス / スキャン】を押すと、ファクス / スキャン画面が表示されます。
画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された宛先や機能を選択できます。



No.	名称	説明
1	［設定内容］キー	左エリアに選択中の宛先リストを表示します。
2	［ジョブ表示］キー	左エリアに実行中のジョブおよび実行待ちのジョブのリストを表示します。

No.	名称	説明
3	［登録宛先から］タブ	登録した宛先を選択する画面を表示します。(p. 2-18)
4	メッセージ表示エリア	本機の状態やそのときにしなければならない操作手順などを表示します。
5	［直接入力］タブ	宛先を直接入力するための画面を表示します。(p. 2-22)
6	［履歴から選択］タブ	宛先を過去の履歴から選択する画面を表示します。(p. 2-24)
7	［LDAP 検索］タブ	LDAP サーバーから宛先を検索する画面を表示します。(p. 2-25、p. 2-26)
8	宛先件数	設定した送信先の件数を表示します。
9	［オフフック］キー	手動で送信 / 受信する場合に押します。(p. 2-42、p. 3-7) このキーを押すと、回線上の音がスピーカーから流れます。
10	設定エリア	宛先を設定したり、機能を設定します。
11	［通信設定］キー	回線設定やタイマー通信など、通信に関する設定をするメニューを表示します。(p. 7-4)
12	［原稿設定］キー	混載原稿や原稿のとじしろなど、原稿に関する設定をするメニューを表示します。(p. 7-3)
13	［読込み設定］キー	原稿画質や解像度など、読込みに関する設定をするメニューを表示します。(p. 2-13、p. 7-2)
14	メモリー残量	作業中に使用するメモリーの残量を表示します。
15	トナー残量	トナーの残量を表示します。
16	左エリア	ジョブリストや宛先リストなどを表示します。
17	宛先表示部	設定した宛先を表示します。

ひとこと

・［登録宛先］、［直接入力］、［履歴から選択］、［LDAP 検索］の表示位置は、設定メニューの［ファクス / スキャン設定］によって異なります。詳しくは、「ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）」(p. 11-17) をごらんください。
・設定メニューの［宛先 2 度入力機能（送信）］が［ON］に設定されている場合は、［履歴から選択］と［オフフック］は表示されません。［宛先 2 度入力機能（送信）］については、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」(p. 11-56) をごらんください。

1.3　はじめに設定してください

本機の設置が終了したら、ファクス機能を使うために、次の項目を設定します。これらの項目が正しく登録されていないと、ファクス通信できない場合があります。必ず登録してください。

- 日時設定
  - ❍ 日時設定
    現在の日時を設定します。
  - ❍ タイムゾーン
    世界の地域別標準時間帯を設定します。日本国内の場合は +09:00 が標準です。
- 発信元 / ファクス ID 登録
  - ❍ 発信元
    発信元名は、漢字、英数カナで表す本機の名前のことで、送信した原稿の先端に発信元記録の一部として記録されます。全角 15 文字（半角 30 文字）以内で登録します。
  - ❍ ファクス ID
    通常は、本機のファクス番号を登録します。0 ～ 9 の数字と、+、スペース、*、# を使い、20 桁以内で登録します。
- 回線パラメーター設定
  - ❍ ダイアル方式
    プッシュ回線、ダイアル（パルス）回線（20pps、10pps）の種別を選択します。
  - ❍ 受信方式
    自動受信、手動受信の種別を選択します。
    自動受信する場合は自動受信に設定します。外部電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能を使いたい場合には、手動受信に設定します。
  - ❍ TEL/FAX 自動切換え
    外部電話を接続している場合で、ファクスを優先して使う場合に TEL/FAX 自動切換えを ON に設定します。
    着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信が開始され、TEL の場合は外部電話の呼び出し音が鳴ります。
  - ❍ 留守番電話接続設定
    外部電話として留守番電話を接続する場合に、ON に設定します。着信すると、留守番電話が応答した後、メッセージを録音する間に、相手がファクスか電話かを自動的に検知します。ファクスの場合は受信を開始します。

参照

日時設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

参照

詳しくは、「発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）」（p. 11-44）をごらんください。

参照

詳しくは、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。

1.4　設定しておくと便利な機能

よく送信する宛先を短縮宛先やグループ宛先に登録したり、よく使用する送信条件をプログラム宛先に登録しておくと、登録されたキーを押すだけで登録内容を呼び出すことができます。

- 短縮宛先

  よく送信する宛先を短縮宛先に登録しておくと、短縮宛先キーを押すだけで、宛先を呼び出すことができます。

- グループ宛先

  同じ複数の宛先に送信する場合に、短縮宛先に登録した宛先をグループ化して登録しておくと、グループ宛先キーを押すだけで、複数の宛先を呼び出すことができます。

- プログラム宛先

  よく送信する宛先とよく使用する通信機能を、プログラム宛先に登録しておくと、プログラムキーを押すだけで登録内容を呼び出すことができます。

参照
短縮宛先の登録のしかたについては、「短縮宛先を登録する」（p. 10-4）を参照ください。

参照
グループ宛先の登録のしかたについては、「グループ宛先を登録する」（p. 10-15）を参照ください。

参照
プログラム宛先の登録のしかたについては、「プログラム宛先を登録する」（p. 10-20）を参照ください。

1.5　ユーザー認証と部門認証について

本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

■ ユーザー認証（本体装置認証）の場合

ユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］または【ID】を押します。



ユーザー認証（外部サーバー認証）の場合

ユーザー名、パスワード、認証するサーバーを指定し、［ログイン］または【ID】を押します。



参照

ユーザー認証と部門認証については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

■ 部門認証の場合

部門名とパスワードを入力し、【ID】を押します。



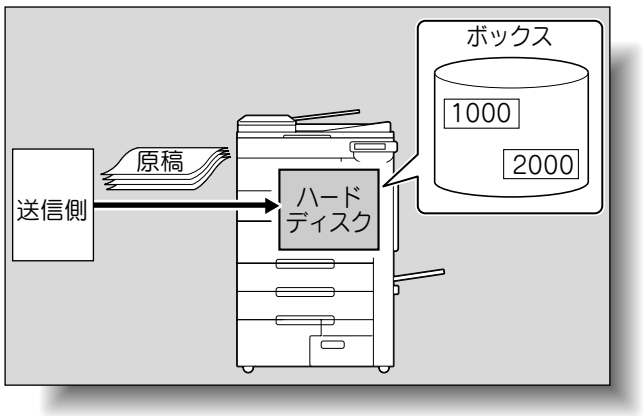
ひとこと

- 管理者設定の「認証操作禁止機能」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。
- オプションの認証装置 AU-101 を使用して認証を行っている場合のログイン方法は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

1.6　ボックスを使ったファクス受信

本機では、PC-FAX 受信や強制メモリー受信の機能を使用すると、受信文書をすぐにプリントせずに、ハードディスク内のボックスに保存しておくことができます。また、親展文書を受信すると、自動的にハードディスク内の親展ボックスに保存されます。

ボックスに保存されている文書は、本機でプリントしたり、ネットワーク上のコンピューターに取り込んだりできます。ここでは、ボックスを使ったファクス受信の概要について説明します。



詳しく説明します

- ボックスの作成方法、および PC-FAX 受信でボックスに受信した文書をコンピューターに取り込む方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ファクス送信時に、宛先として本機のボックスを指定すると、読込んだ原稿をボックスに保存できます。

■ ボックスの種類

本機のハードディスクには、共有 / 個人ボックスとシステムボックスが用意されています。

- 共有 / 個人ボックスには、指定ボックス（No.1 ～ 999999999）があります。
- システムボックスには、掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / セキュリティー文書ボックス / 強制メモリー受信ボックス / ファイリングナンバーボックス / 再送信ボックス / 暗号化 PDF ボックスがあります。

本機では、これらのボックスを使って、次表の機能を使用できます。

ボックス名		機能
共有 / 個人ボックス	指定ボックス（ボックス No.1 ～ 999999999）	共有 / 個人ボックスは、通常の共有 / 個人ボックスと親展ボックスからなり、親展ボックスには通信パスワードを設定できます。親展ボックスは最大 20 個まで設定できます。 PC-FAX 受信で、受信文書の保存先を指定ボックスに設定している場合、および TSI 振分けを設定している場合は、受信文書が該当する番号のボックスに保存されます。 PC-FAX 受信の場合： 送信側がサブアドレスで指定した番号のボックスに保存されます。 TSI 振分けの場合： TSI 振分けの設定に応じた番号のボックスに保存されます。 中継ボックスは振分け先の対象外です。
システムボックス	掲示板ボックス	閲覧用の文書を登録するためのボックスです。掲示板ボックスに登録されている文書は、相手からのポーリングの指示でポーリング送信できます。
	ポーリング送信ボックス	ポーリング送信用に読込んだ原稿が、このボックスに保存されます。
	セキュリティー文書ボックス	セキュリティー文書が保存されます。

参照
PC-FAX 受信については、「PC-FAX 受信の動作について」（p. 1-14）をごらんください。

参照
掲示板ボックスについては、「文書を指定してポーリングする（掲示板）」（p. 9-8）をごらんください。

参照
ポーリング送信ボックスについては、「相手先の指示で文書を送信する（ポーリング送信）」（p. 9-2）をごらんください。

参照
セキュリティー文書ボックスについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ボックス名		機能
システムボックス	強制メモリー受信ボックス	強制メモリー受信設定を有効にしている場合、受信した文書はプリントされず、このボックスに保存されます。PC-FAX 受信で、受信文書の保存先を強制メモリー受信ボックスに設定している場合は、このボックスに受信文書が保存されます。
	ファイリングナンバーボックス	保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加してネット配信する場合に使用します。付加する文字の種類は配信時に設定できます。
	再送信ボックス	相手側が話中などのため、リダイアルしてもなお送信できなかった文書は、このボックスに一定期間保存されます。保存されている文書は、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信することができます。
中継ボックス		中継配信用の文書を格納する通信パスワード付きのボックスです。中継配信局で登録します。最大 5 個まで登録できます。

参照

強制メモリー受信文書の取り扱いかたについては、「強制メモリー受信した文書を取り扱う」（p. 8-6）を、強制メモリー受信の設定については、「強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）」（p. 11-62）ごらんください。

参照

PC-FAX 受信については、「PC-FAX 受信の動作について」（p. 1-14）をごらんください。

参照

ファイリングナンバーボックスへの文書保存の方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

参照

再送信のしかたについては、「手動リダイアル（再送信ボックス）」（p. 2-38）を、再送信の設定については、「再送信を設定する（再送信設定）」（p. 11-71）ごらんください。

参照

中継ボックスの設定については、「中継ボックスを設定する」（p. 10-40）をごらんください。

■ PC-FAX 受信の動作について

PC-FAX 受信の受信文書は、ハードディスク内の強制メモリー受信ボックス、または共有 / 個人ボックス（ボックス No.1 ～ 999999999）に保存されます。

受信文書を保存するボックスは、設定メニューの［PC-FAX 受信設定］で設定します。［PC-FAX 受信設定］と受信方法の関係については、次の表を参照してください。

設定メニューの［PC-FAX 受信設定］	受信のしかた
PC-FAX 受信設定：許可しない	受信文書はボックスに保存されず、プリントされます。 ただし、次の場合は受信文書がボックスに保存されます。 ①親展受信および中継依頼受信の場合（F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ② TSI 受信振り分けが［する］に設定されている場合： TSI 受信振り分けで設定されたボックスに受信文書を保存します。 ③強制メモリー受信が設定されている場合： 上記①～②に該当しない場合、受信文書は、強制メモリー受信ボックスに保存されます。



PC-FAX 受信の設定については、「11.25 ハードディスク内のボックスに受信する（PC-FAX 受信設定）」をごらんください。

設定メニューの［PC-FAX 受信設定］	受信のしかた
PC-FAX 受信設定：許可する 受信出力先：強制メモリー受信ボックス	受信文書は強制メモリー受信ボックスに保存されます。 ただし、次の場合は、受信文書が他のボックスに保存されます。 ①親展受信および中継依頼受信の場合 (F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合)： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ② TSI 受信振り分けが［する］に設定されている場合： TSI 受信振り分けで設定されたボックスに受信文書を保存します。 ③ダイアルイン番号が PC-FAX またはファクスの場合： 受信文書は、強制メモリー受信ボックスに保存されます。
PC-FAX 受信設定：許可する 受信出力先：指定ボックス	受信文書はサブアドレスで指定された番号の指定ボックス（1 ～ 999999999）に保存されます。 ただし、次の場合は、受信文書が他のボックスに保存されます。 ①サブアドレス指定がない場合： 受信文書は、強制メモリー受信ボックスに保存されます。 ②該当する指定ボックスがない場合： 設定メニューの［ボックス番号エラー動作］の設定に従います。 ③親展受信および中継依頼受信の場合 (F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合)： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ④ダイアルイン番号が PC-FAX またはファクスの場合： 受信文書は、強制メモリー受信ボックスに保存されます。

参照
［ボックス番号エラー動作］の設定については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）を参照ください。

設定メニューの［PC-FAX 受信設定］	受信のしかた
PC-FAX 受信設定：ダイアルインのみ 受信出力先：強制メモリー受信ボックス	①ダイアルイン番号が PC-FAX の場合： 受信文書は、強制メモリー受信ボックスに保存されます。 ②ダイアルイン番号がファクスの場合： 受信文書は、プリントされます。 ③親展受信および中継依頼受信の場合（F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。
PC-FAX 受信設定：ダイアルインのみ 受信出力先：指定ボックス	①親展受信および中継依頼受信の場合（F コードのサブアドレスが親展ボックスまたは中継ボックスの番号を示す場合）： 受信文書は、PC-FAX 受信の設定にかかわらず、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。サブアドレスが各ボックスの番号と異なったり、F コードのパスワードが各ボックスの通信パスワードと異なる場合には、通信エラーになります。 ②該当する指定ボックスがある場合： 受信文書はサブアドレスで指定された番号の指定ボックス（1 ～ 999999999）に保存されます。 ③サブアドレスの指定がない場合：受信文書は、プリントされます。 ④該当する指定ボックスがない場合： 設定メニューの［ボックス番号エラー動作］の設定に従います。 ⑤ダイアルイン番号が PC-FAX の場合： 受信文書は、強制メモリー受信ボックスに保存されます。 ⑥ダイアルイン番号がファクスの場合： 受信文書は、プリントされます。

参照

［ボックス番号エラー動作］の設定については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）を参照ください。

1.7　増設回線を使用した送受信

回線拡張キットを装着すると、2 回線を使用した送受信ができます。

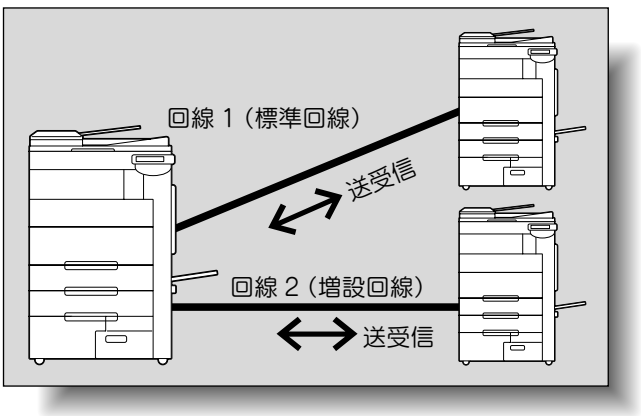
詳しく説明します

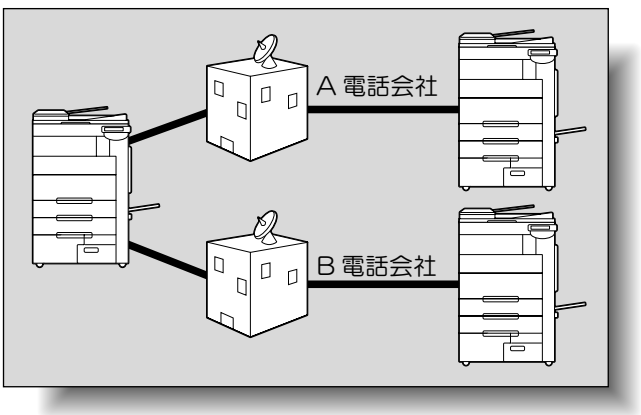
回線拡張キットを装着している場合は、次の点にご注意ください。

・オフフックは、回線 1（標準回線）でのみ使用できます。
・回線 2（増設回線）を使用した受信は、自動受信のみになります。

■ 送信 / 受信兼用の回線として使用する

複数の宛先に同報送信する場合、2 回線を使用して送信するため、複数宛先送信を早く終了することができます。これを一斉同報といいます。また回線ごとに別の電話会社を割り当てたり、送信中に受信および送信することができます。





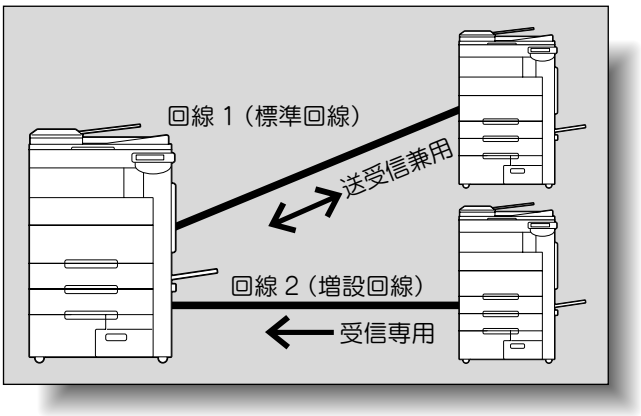
例　A 電話会社は近距離に利用
　　B 電話会社は遠距離に利用

参照

必要な設定については、「増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定）」(p. 11-90) をごらんください。

■ 受信専用の回線として使用する

回線 2（増設回線）を受信専用に設定しておくことができます。回線 2 を受信専用に設定すると、送信には回線 1 のみが使用されます。送信回線と受信回線を分けて使用する場合に便利です。



詳しく説明します

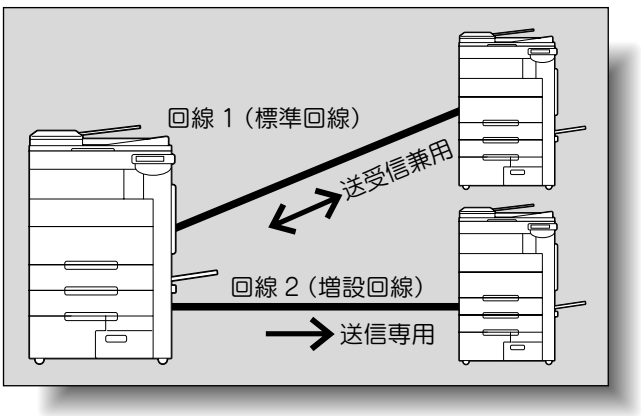
回線 1 は、送受信兼用で、受信専用の設定はありません。

参照

必要な設定については、「増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定）」（p. 11-90）をごらんください。

■ 送信専用の回線として使用する

回線 2（増設回線）を送信専用に設定しておくことができます。回線 2 を送信専用に設定すると、受信には回線 1 のみが使用されます。送信回線と受信回線を分けて使用する場合に便利です。



参照

必要な設定については、「増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定）」（p. 11-90）をごらんください。

1.8　SIP ファクス使用時の注意事項

SIP ファクス使用時に、G3 ファクス機へ送信するには以下の方法があります。

- FAX over IP 通信
- G3 ファクス

参照

SIP ファクスについては、「ユーザーズガイド ネットワークファクス機能編」をごらんください。

■ FAX over IP 通信

相手先のファクス番号を指定して、G3 ファクス機へ送信することができます。

- ファクス番号の先頭に“-”を付加するか、または回線設定の［V34 OFF］を選択して送信します。
- 指定したファクス番号にダイアル発信が行われると、SIP-FAX アダプタが FAX over IP 送信と識別します。
- FAX over IP 番号で着信すると、SIP-FAX アダプタが FAX over IP 受信と識別します。
- 特番を付加した場合に、FAX over IP 送信を行うようにすることもできます。

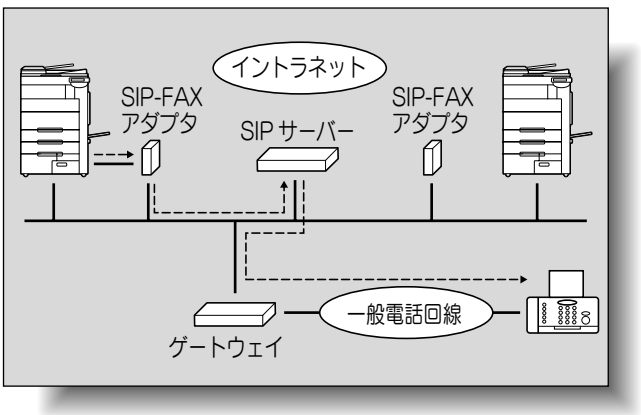
参照

特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

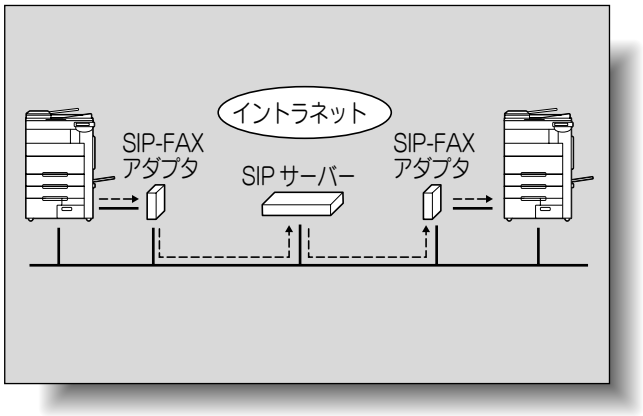
原則

FAX over IP 通信を使用する場合は、ナンバーディスプレイ、ダイアルイン機能は使用できません。

● 外線の場合



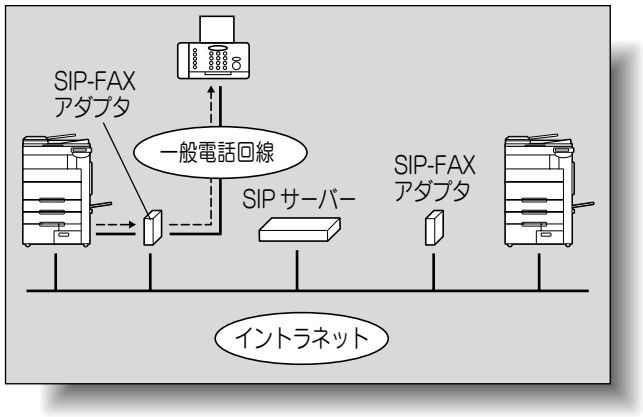
● 内線の場合



■ G3 ファクス

相手先のファクス番号に特番（0009）を付加することで、G3 ファクス機へ送信することができます。

- 「“特番（0009)” - “ファクス番号”」にダイアル発信が行われると、SIP-FAX アダプタが G3 ファクス送信と識別します。
- G3 ファクス番号で着信すると、SIP-FAX アダプタが G3 ファクス受信と識別します。
- G3 ファクス送信時に特番を付加しないようにすることもできます。



参照

特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

■ 宛先の指定方法

以下のように宛先を指定します。
その他の機能については、通常の G3 ファクスと同じです。

- FAX over IP 送信の場合：
  ファクス番号の前に “-” を付加します。
  ファクス番号が xxxx の場合、「-xxxx」と入力します。

- G3 ファクス送信の場合：
  ファクス番号の前に特番 “0009” を付加します。
  ファクス番号が xxxx の場合、「0009-xxxx」と入力します。

詳しく説明します

FAX over IP 通信では、V17 モードを使用してください。
ファクス番号の先頭に “-” を付加するか、回線設定の［V34 OFF］を選択することで、V17 モードを指定できます。

参照

・左記の宛先指定方法は、SIP-FAX アダプタの特番設定が初期値の場合です。
・特番の番号設定と特番の選択については、SIP-FAX アダプタの取扱説明書をごらんください。

第 2 章
送信する

ファクス送信の操作について説明します。

2.1　操作の流れ 2-2
2.2　原稿をセットする 2-7
2.3　読込み条件を設定する 2-13
2.4　宛先を 1 箇所だけ指定する 2-18
2.5　複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）..... 2-28
2.6　プログラム宛先で送信する 2-30
2.7　設定状態を確認する 2-32
2.8　原稿読込み中の動作 2-35
2.9　送信できないときは 2-37
2.10　送信を予約する 2-40
2.11　相手側の状態を確認しながら送信する（手動送信）..... 2-42
2.12　送信を中止する 2-43
2.13　送信予約ジョブを確認する 2-45
2.14　通信結果を確認する 2-46
2.15　メモリー送信とクイックメモリー送信 2-49
2.16　総ページ数を付けて送信する（原稿枚数指定）..... 2-52
2.17　時刻を指定して通信する（タイマー通信）..... 2-55
2.18　海外に送る（海外通信モード）..... 2-58
2.19　発信元情報について 2-61
2.20　送信前に読込み状態を確認する（仕上りプレビュー）..... 2-63

2.1　操作の流れ

ファクス送信時の操作の流れについて説明します。

■ ファクスを送信するには

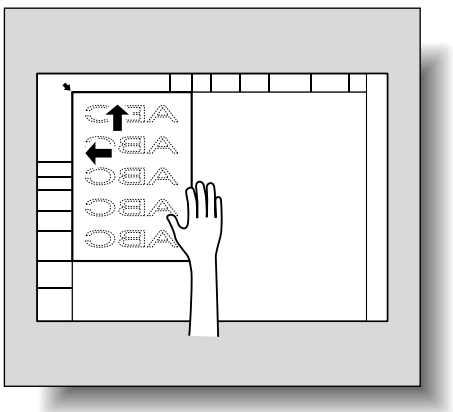
1

【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。





ひとこと

カラーで、ファクス送受信することはできません。カラーで送信したい場合は、スキャン機能を使用してください。スキャン機能については、「ユーザーズガイドネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

詳しく説明します

ここでは、片面の原稿を基本的な操作で送信する方法を説明します。本機には、さらに便利にファクス送信をするためのいろいろな機能が用意されています。詳しくは「第 7 章 便利な送信」をごらんください。

参照

原稿セットについては、「原稿をセットする」(p. 2-7) をごらんください。

3

［読込み設定］を押し、機能を設定し、［OK］を押します。



- お買い上げ時は、読込み設定の機能は次のように設定されています。
  ［原稿画質］：文字 / 写真（印刷写真）
  ［片面 / 両面］：片面
  ［解像度］：200 × 200 dpi（精細）
  ［濃度］：ふつう



4

［原稿設定］を押し、機能を設定し、［OK］を押します。



ひとこと

［ファイル形式］は、ファクス機能では使用しません。

参照

- 読込み設定の基本設定のしかたについては、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）をごらんください。
- ［画質調整］、［消去］、［連写］、［応用設定］については、「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。

参照

原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。

5 ［通信設定］を押し、機能を設定し、［閉じる］を押します。



参照

通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

6

相手のファクス番号を指定します。

❍ 宛先の指定には、次の方法があります。
- ·登録宛先
- ·直接入力
- ·送信履歴
- · LDAP 検索
- ·グループ宛先
- ·プログラム宛先

入力した宛先が、左エリアの同報宛先リストに表示されます。

参照

ファクス番号の指定のしかたについては、「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-18)、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信)」(p. 2-28）をごらんください。

詳しく説明します

- ·選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- ·【リセット】を押すと、入力した番号と選択した設定がすべてクリアされます。
- ·設定メニューの［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の［機能制限］で［手動宛先入力］が［許可しない］に設定されている場合は、［直接入力］タブおよび［LDAP 検索］タブが表示されません。［手動宛先入力］の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力)」(p. 11-94）を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください

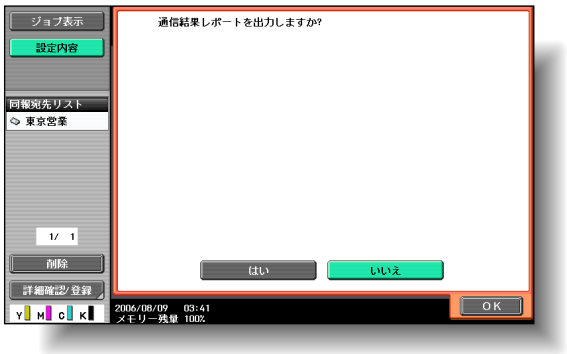
ひとこと

相手のファクス番号を短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先に登録しておくと、簡単に相手のファクス番号を指定することができます。短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の登録については、「第 10 章 登録 / 設定する」をごらんください。

7

【スタート】を押します。

❍ 送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、次の画面が表示されます。［はい］を押すと、送信結果レポートがプリントされます。



原稿の読込みが始まり、送信されます。

詳しく説明します

- 宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認 / 登録画面が表示されます。宛先が正しいことを確認して［送信］を押します。詳しくは、「宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能）」（p. 7-55）をごらんください。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できない場合については、「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。
- 送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）。また、送信ごとに送信結果レポートを出力するかしないか選択するよう、送信結果レポート画面を表示するように設定できます。
  レポートのプリント方法については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。
- 送信結果レポートについては、「送信結果レポート」（p. 12-9）をごらんください。

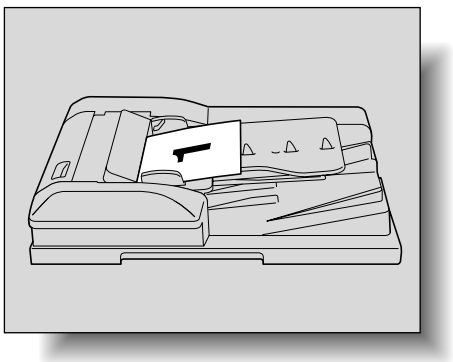
2.2　原稿をセットする

本機では、ADF と原稿ガラスに原稿をセットできます。ADF に原稿をセットすると、自動的に ADF から読込まれます。

■ ADF に原稿をセットする

ADF を使用すると、複数枚の原稿を自動的に読込むことができます。また、両面原稿を送信することもできます。

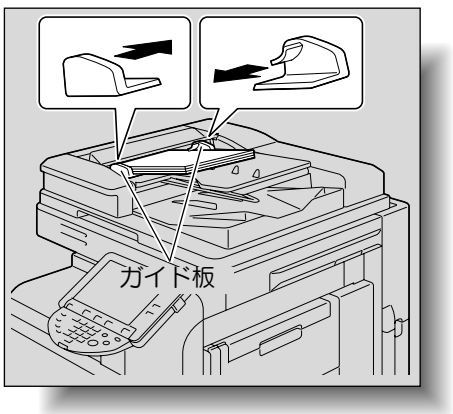
1. ADF を閉じます。
2. 1 ページ目から順に原稿を揃えます。
3. 送信する面を上にして ADF に原稿を置きます。



詳しく説明します

正しく送信元情報を記録するためには、原稿の先端を ADF に挿入します。

4. 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



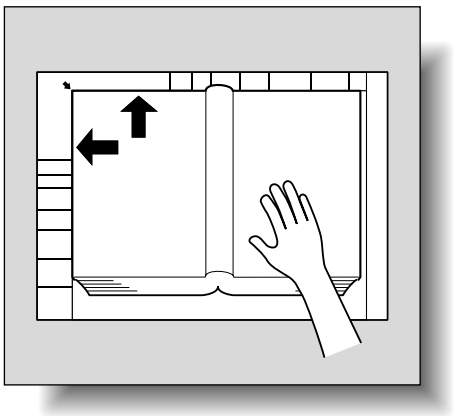
詳しく説明します

混載原稿の場合、原稿ガイド板を原稿の最大幅にして、原稿を奥側に突き当てます。

■ 原稿ガラスに原稿をセットする

原稿ガラスを使用すると、ADF にセットできない原稿（本などのように厚みのある原稿や薄い原稿など）を送信することができます。

1. ADF を開きます。
2. 送信する面を下に向け、左側のスケール板に合わせて原稿を左奥側に突き当てます。



3. ADF を静かに閉じます。

■ 原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには

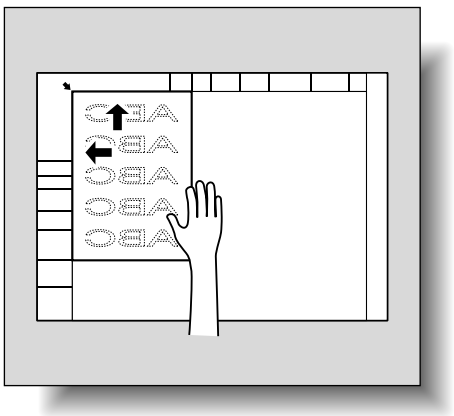
ADF にセットできない複数枚の原稿を、原稿ガラスを使って連続して送信することができます。

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 宛先を指定します。

3 必要に応じて機能を設定します。

4 原稿ガラスに原稿をセットし、［読込み設定］、［連続読込み設定］、［OK］の順に押し、【スタート】を押します。



5 原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。

- 送信したいすべての原稿の読込みが終わるまで、この操作を繰り返します。

読込んだ原稿がメモリーに蓄積されます。

6 ［読込み終了］を押します。

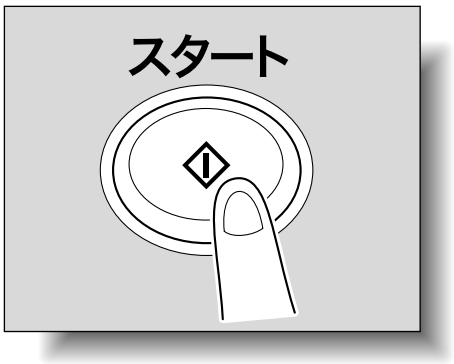
ひとこと

［設定変更］を押すと、片面 / 両面設定や枠消しの設定などの変更ができます。

7

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

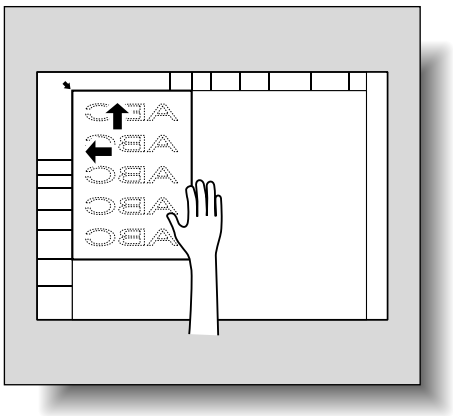


■ ADF/原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには

ADF と原稿ガラスの両方を使って原稿を読込んだり、大量の原稿を何回かに分けて ADF にセットして読込むことができます。

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 宛先を指定します。
3. 必要に応じて機能を設定します。
4. ADF、または原稿ガラスに原稿をセットし、［読込み設定］、［連続読込み設定］、［OK］の順に押し、【スタート】を押します。





詳しく説明します

- 原稿ガラスと ADF では、ADF が優先されます。
- ADF への原稿セットについては、「ADF に原稿をセットする」（p. 2-7）を、原稿ガラスへの原稿のセットについては、「原稿ガラスに原稿をセットする」（p. 2-8）をごらんください。

5

ADF、または原稿ガラスに続きの原稿をセットし、【スタート】を押します。

- 送信したいすべての原稿の読込みが終わるまで、この操作を繰り返します。

読込んだ原稿がメモリーに蓄積されます。

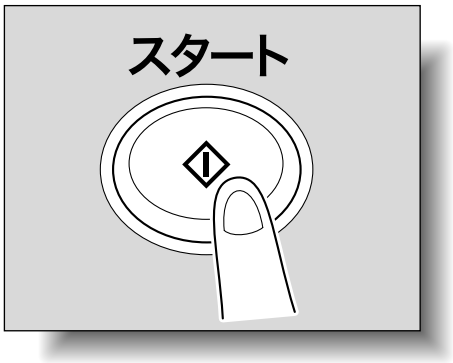
6

［読込み終了］を押します。

7

【スタート】を押します。

送信が開始されます。



ひとこと

［設定変更］を押すと、片面 / 両面設定や枠消しの設定などの変更ができます。

2.3　読込み条件を設定する

ファクス / スキャン画面の［読込み設定］を押すと、［原稿画質］、［片面 / 両面］、［解像度］、［濃度］が表示され、送信する原稿に合わせて送信条件を設定できます。

■ 読込み設定をするには

1. ファクス / スキャン画面の［読込み設定］を押します。
2. 設定したい機能を選択します。



ひとこと

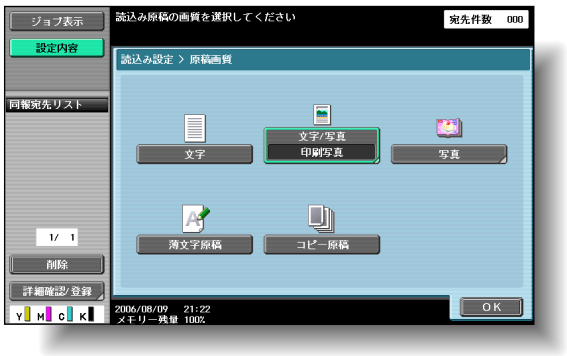
［ファイル形式］は、ファクス機能では使用しません。

詳しく説明します

ページ単位で送信条件を設定することはできません。

■ 原稿画質

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。



原稿画質には、次の 5 種類があります。

お買い上げ時は、［文字 / 写真］に設定されています。

- ［文字］：
  文字だけの原稿を読込む場合に押します。このモードを選択して写真原稿を読込むと、写真の中間色が再現されず、黒くなります。
- ［文字 / 写真］：
  文字と写真（ハーフトーン）が混ざった原稿を読込む場合に押します。1 ページ中に混ざっていても、複数ページに渡って混ざっていても、どちらの場合もこのモードを選択します。
- ［写真］：
  写真（ハーフトーン）だけの原稿を読込む場合に押します。
- ［薄文字原稿］：
  鉛筆書きなど、薄く書かれた文字の原稿を読込む場合に押します。
- ［コピー原稿］：
  複製した（コピーした）画像を原稿として読込む場合に押します。

■ 片面 / 両面

原稿の状態に応じて ADF での読込み方法を設定します。



読込み方法には、次の 3 種類があります。

お買い上げ時は、［片面］に設定されています。

- ［片面］：片面原稿を読込む場合に押します。
- ［両面］：両面原稿を読込む場合に押します。
- ［表紙 + 両面］：表紙と両面原稿を読込む場合に押します。表紙は表面のみを読込み、2 枚目以降は表裏を読込みます。

■ 解像度

原稿を読込む細かさを設定します。



解像度には、次の 4 種類があります。

お買い上げ時には、[200 × 200 dpi（精細）] に設定されています。

- [200 × 100 dpi（普通）]：
  送信時間を短くしたい場合に押します。
- [200 × 200 dpi（精細）]：
  通常の原稿を読込む場合に押します。
- [400 × 400 dpi（高精細）]：
  小さな文字や図などがある原稿を読込む場合に押します。
- [600 × 600 dpi（超高精細）]：
  精細な図面や文字などがある特に細かい原稿を読込む場合に押します。

詳しく説明します

・より精細に読込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
・[超高精細] や [高精細] を選択した場合、受信側にその解像度で受信をする機能がないときは、相手側の受信能力に応じた解像度で送信されます。

詳しく説明します

[300 × 300 dpi] は、ファクス機能では使用できません。[300 × 300 dpi] は選択できますが、200 × 200 dpi に変換し送信されます。

■ 濃度

原稿の濃度に応じて濃度を設定します。



濃度は 9 段階に設定できます。
お買い上げ時は［ふつう］に設定されています。

- ［うすく］：
  うすく読込みたい場合に押します。
- ［ふつう］：
  標準の濃度設定にする場合に使用します。
- ［こく］：
  濃く読込みたい場合に押します。

2.4　宛先を 1 箇所だけ指定する

宛先を 1 箇所だけ指定する方法には、次の方法があります。

- 登録宛先から指定する
- 直接入力で指定する
- 履歴から指定する
- プログラム宛先から指定する

参照

・登録宛先から指定する方法については、「登録宛先から指定する」（p. 2-18）をごらんください。
・直接入力で指定する方法については、「直接入力で指定する」（p. 2-22）をごらんください。
・履歴から指定する方法については、「履歴から指定する」（p. 2-24）をごらんください。
・プログラム宛先で指定する方法については、「プログラム宛先で送信する」（p. 2-30）をごらんください。

■ 登録宛先から指定する

短縮宛先が登録されている場合は、登録されている検索文字から検索してダイアルできます。

➔ ［登録宛先から］タブに表示される、目的の宛先キーを押します。

❍ 目的の宛先キーが表示されていない場合、以下の方法で検索できます。
・検索文字キーを押す
・宛先種類で検索する
・詳細を入力して検索する



宛先が指定されます。

詳しく説明します

・選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
・【リセット】を押すと、選択した宛先と設定がクリアされます。

参照

・宛先の登録については、「短縮宛先を登録する」（p. 10-4）をごらんください。
・検索文字キーを押して、登録宛先を検索する方法は、「登録宛先を検索する（検索文字キー）」（p. 2-19）をごらんください。
・宛先種類で検索する方法は、「登録宛先を検索する（宛先種類）」（p. 2-20）をごらんください。
・詳細を入力して検索する方法は、「登録宛先を検索する（詳細検索）」（p. 2-21）をごらんください。

■ 登録宛先を検索する（検索文字キー）

宛先を登録するときに設定した検索文字で、宛先を検索できます。

➔ ［登録宛先から］タブに表示される検索文字のキー（［常用］、［あ］～［らわ］）を押します。

- ❍ 検索文字をローマ字で登録している場合は、［英字に切替］を押して、［ABC］～［WXYZ］、［etc］を表示させます。



目的の宛先キーが表示されます。

ひとこと

アドレス帳初期表示設定で、検索文字の初期設定の表示を変更することができます。詳しくは、「ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）」（p. 11-17）をごらんください。

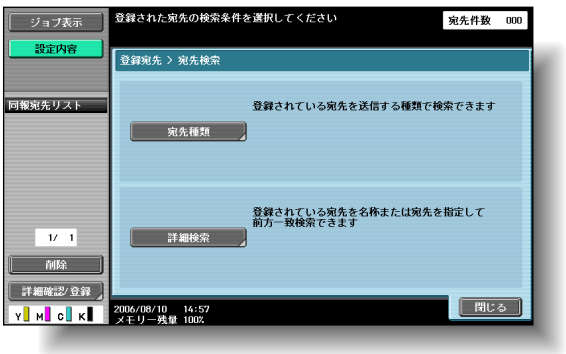
■ 登録宛先を検索する（宛先種類）

宛先の種類（ファクス、E-mail など）から、宛先を検索できます。

1 ［登録宛先から］タブの［宛先検索］を押します。



2 ［宛先種類］を押します。



3 宛先の種類を選択します。



目的の宛先キーが表示されます。

ひとこと

・目的の宛先種類のキーが表示されていない場合は、［←］または［→］を押します。
・「登録宛先から」初期表示設定で、［登録宛先から］タブの初期設定の表示を宛先種類に変更することができます。詳しくは、「ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）」（p. 11-17）をごらんください。

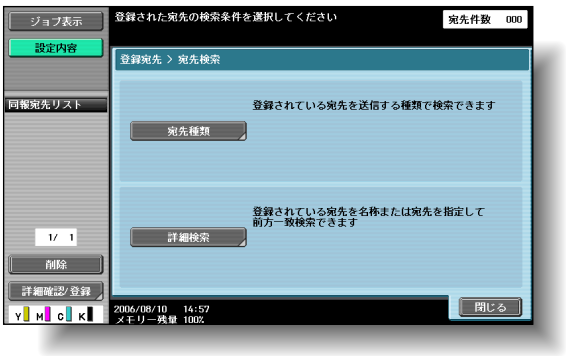
■ 登録宛先を検索する（詳細検索）

宛先の名称やファクス番号の一部から、宛先を検索できます。

1 ［登録宛先から］タブの［宛先検索］を押します。



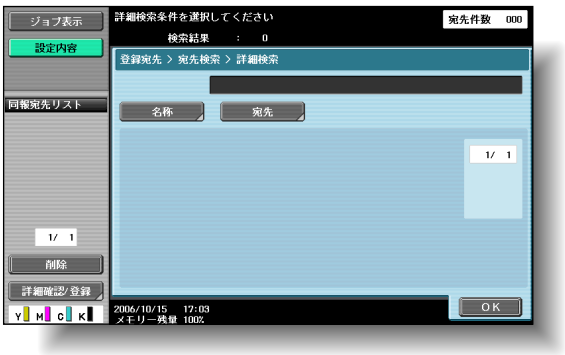
2 ［詳細検索］を押します。



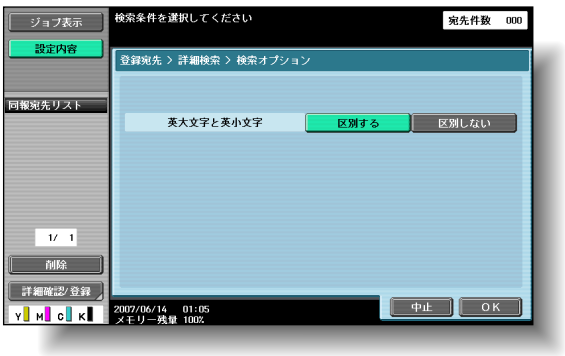
3

［名称］または［宛先］を押します。

❍ 画面に表示されたキーボードで、名称またはファクス番号を入力し、［OK］を押します。



❍ 検索オプション画面が表示された場合は、英大文字と英小文字を区別するかしないかを設定します。



目的の宛先キーが表示されます。

■ 直接入力で指定する

短縮宛先に登録されていない宛先でも、直接入力で指定することができます。

ひとこと

・入力した情報に当てはまる宛先が見つからなかった場合は、「検索結果：0」と表示され、画面にキーは表示されません。

・設定メニューの［検索オプション設定］の「英大文字と英小文字」が［区別する］に設定されている場合、英字の大文字／小文字を区別して検索されます。［検索オプション設定］については、「送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定）」（p. 11-22）をごらんください。

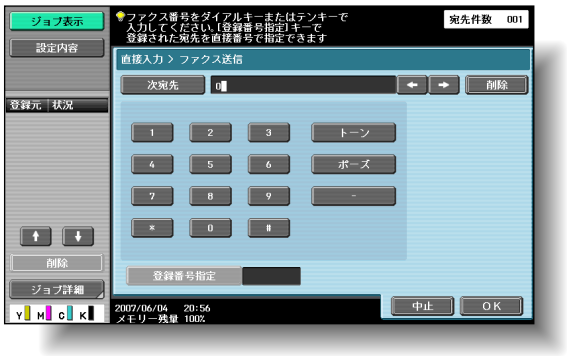
・設定メニューの［検索オプション設定］の「検索オプション画面」が［表示する］に設定されている場合、検索オプション画面が表示されます。［検索オプション設定］については、「送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定）」（p. 11-22）をごらんください。

ひとこと

設定メニューの［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の［初期機能制限設定］または［機能制限］で［手動宛先入力］が［許可しない］に設定されている場合は、［直接入力］タブが表示されません。［手動宛先入力］の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）」（p. 11-94）を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

➔ 送信先のファクス番号を入力します。

❍ 送信先のファクス番号をテンキーで入力します。



❍ 必要に応じてトーン、ポーズ、- など、特殊なダイアル記号を入力します。
[トーン]：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」が表示されます。
[ポーズ]：ダイアルに間をあけたいときに押します。[ポーズ] 1 回で 1 秒の間隔を入力することができ、繰り返して入力することもできます。画面には「P」が表示されます。
[-]：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には「-」が表示されます。

宛先が指定されます。

詳しく説明します

・【C】を押すと入力した番号がすべてクリアされます。
・[登録番号指定] を押して短縮宛先の登録番号を入力し [確定] を押すと、登録されている短縮宛先を呼び出すことができます。
・PBX（構内交換機）接続が有効に設定されている場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに [ポーズ] を押します。画面には「P」と表示されます。
・設定メニューの [宛先 2 度入力機能（送信）] が [ON] に設定されている場合は、直接入力画面の [OK] を押した後、もう一度直接入力画面が表示されます。送信先のファクス番号を入力し、【スタート】または [送信] を押すと送信が開始されます。

ひとこと

・[直接入力] - [ファクス] を押して表示される画面のキーボードでもファクス番号を入力できます。
・テンキーを使用する場合は、[登録宛先から] タブまたは [履歴から選択] タブが表示されている場合でも、直接ファクス番号を入力することができます。
・ダイアル（パルス）回線の場合、【＊】を押すことでも、プッシュトーンに切り換えることができます。

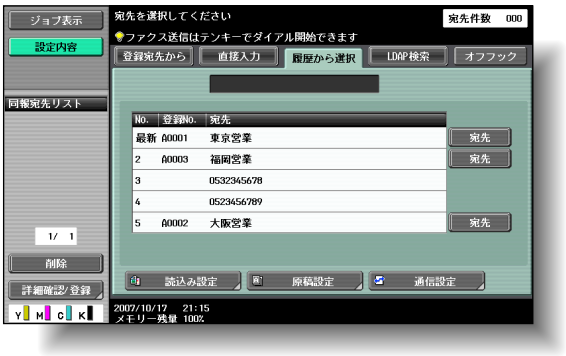
■ 履歴から指定する

今まで送信した番号へ、履歴から指定することができます（過去 5 件分）。

1 ファクス / スキャン画面の［履歴から選択］を押します。



2 目的の宛先をリストから選択します。



宛先が指定されます。

ひとこと

設定メニューの［宛先 2 度入力機能（送信）］が［ON］に設定されている場合は、［履歴から選択］が表示されません。

詳しく説明します

・選択した宛先をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
・【リセット】を押すと、選択した宛先と設定がクリアされます。

ひとこと

履歴リストの横に表示される［宛先］を押すと、宛先欄の名称がファクス番号に切り替わります。

■ LDAP 検索をする（単検索）

検索するキーワードを入力し、指定した LDAP サーバー内で目的の宛先を検索できます。

1 ファクス / スキャン画面の［LDAP 検索］を押します。



2 ［単検索］を押します。



ひとこと

設定メニューの［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の［機能制限］で［手動宛先入力］が［許可しない］に設定されている場合は、［LDAP 検索］タブが表示されません。［手動宛先入力］の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）」（p. 11-94）を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

参照

LDAP サーバーの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

ひとこと

- LDAP サーバーが複数登録されている場合は、サーバー選択画面が表示されます。一覧から目的のサーバーを選択し、［OK］を押します。
- サーバーに接続時の認証が設定されている場合は、ログインのための画面が表示されます。

3 検索するキーワードを入力し、[検索開始] を押します。



指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。

4 一覧から目的のアドレスを選択し、[OK] を押します。

宛先が指定されます。

■ LDAP 検索をする（複合検索）

複数の検索条件を設定し、指定した LDAP サーバー内で目的の宛先を検索できます。

1 ファクス / スキャン画面の [LDAP 検索] を押します。



ひとこと

設定メニューの［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合、または、ユーザー認証設定の［機能制限］で［手動宛先入力］が［許可しない］に設定されている場合は、［LDAP 検索］タブが表示されません。［手動宛先入力］の設定については、「ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）」（p. 11-94）を、ユーザー認証設定については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

参照

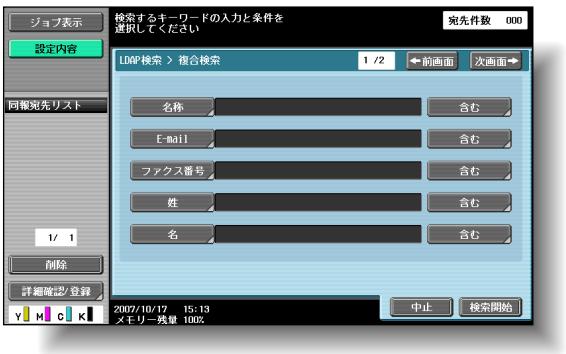
LDAP サーバーの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

2 ［複合検索］を押します。



3 複数の検索条件を設定し、［検索開始］を押します。

- ［名称］、［E-mail］、［ファクス番号］、［姓］、［名］、［都市名］、［会社名］、［組織名］を押して表示されるキーボードで条件を入力し、［OK］を押します。
- ［含む］を押し、表示される画面でキーワードの検索条件を選択します。



指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。

4 一覧から目的のアドレスを選択し、［OK］を押します。

宛先が指定されます。

ひとこと

- LDAP サーバーが複数登録されている場合は、サーバー選択画面が表示されます。一覧から目的のサーバーを選択し、［OK］を押します。
- サーバーに接続時の認証が設定されている場合は、ログインのための画面が表示されます。

2.5 複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）

一度の操作で複数の宛先に原稿を送信することができます。この機能を順次同報送信または同報送信と呼びます。

複数の宛先を指定するには次の方法があります。

- 登録宛先から指定する
- 直接入力で指定する
- 履歴から指定する
- グループキーで指定する
- プログラム宛先から指定する

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。

参照

- 登録宛先、直接入力、履歴から指定する方法については、「複数の宛先を指定する（登録宛先、直接入力、履歴で）」（p. 2-28）をごらんください。
- グループキーで指定する方法については、「複数の宛先を指定する（グループキーで）」（p. 2-28）をごらんください。
- プログラム宛先で指定する方法については、「プログラム宛先で送信する」（p. 2-30）をごらんください。

■ 複数の宛先を指定する（登録宛先、直接入力、履歴で）

➔ 「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）を参照して、送信したい宛先を必要なだけ指定します。

- ❍ 登録宛先または履歴を複数選択する場合は、必要な宛先を続けて押します。
- ❍ 直接入力で複数宛先を指定する場合は、宛先を入力後［次宛先］を押して、次の宛先を入力します。

複数の宛先が指定されます。

ひとこと

- 選択した登録宛先または履歴をキャンセルするには、キャンセルしたい宛先をもう一度選択します。
- 【リセット】を押すと、選択した宛先と設定がクリアされます。

■ 複数の宛先を指定する（グループキーで）

1 ［登録宛先から］タブの［グループ］を押します。



2 目的のグループキーを押します。



複数の宛先が指定されます。

ひとこと

・グループキー表示を解除したい場合は、［常用］を押します。
・「登録宛先から」初期表示設定で、［登録宛先から］タブの初期設定の表示を宛先種類に変更することができます。グループキーは宛先種類のひとつとして表示されます。詳しくは、「ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）」（p. 11-17）をごらんください。

参照

グループキーを登録する方法については、「グループ宛先を登録する」（p. 10-15）をごらんください。

ひとこと

最大 605 件（短縮 500 件、直接入力 100 件、直接入力による電子メール宛先 5 件）を宛先として指定できます。

2.6　プログラム宛先で送信する

プログラム宛先が登録されている場合は、登録されているプログラムキーを指定して送信できます。

送信時の設定（原稿画質や原稿指定など）をプログラムキーに登録しておくと、そのキーを押すだけで、機能をその都度設定せずに送信することができます。

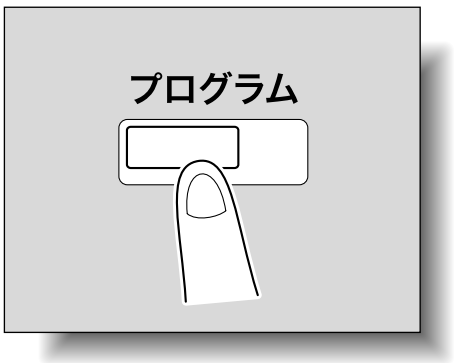
1つのプログラムキーにグループキーを登録しておき一度に送信したり、送信時刻を登録しておき毎日決まった時刻に送信したりすることも簡単に行えます。

■ プログラム宛先を指定して送信するには

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示させます。

2 原稿をセットします。

3 【プログラム】を押します。



4 ［ページー覧］を押します。



参照

原稿セットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 目的のプログラム宛先が登録されているページのキーを押し、[OK] を押します。

❍ ページキーの次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑] または [↓] を押します。



6 目的のプログラムキーを押し、[OK] を押します。

❍ プログラムキーの次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑] または [↓] を押します。



設定および宛先が呼び出されます。

7 【スタート】を押します。

原稿の読込みが始まり、送信されます。

ひとこと

プログラム宛先は 1 件のみ指定できます。

2.7　設定状態を確認する

左エリアの同報宛先リストで、指定した宛先を確認したり、設定内容画面で設定の詳細を確認できます。

■ 設定状態を確認するには

左エリアの同報宛先リストで、指定した宛先を確認できます。
宛先や設定の詳細を確認したい場合は、以下の手順で確認します。

1. 左エリアの［設定内容］を押します。
2. ［詳細確認 / 登録］を押します。



3. 確認したい項目のキーを押し、設定内容を確認します。
ファクス送信で確認できる設定は次の 4 種類があります。



ひとこと

・7 件以上の宛先が指定されている場合、左エリアの同報宛先リストに［↑］、［↓］が表示されます。
・左エリアの宛先を選択し、［削除］を押すと、選択した宛先が削除されます。

ひとこと

［E-mail 設定内容］はファクス機能では使用しません。

❍［宛先確認 / 登録］：宛先の確認ができます。詳細を確認したい宛先をリストから選択し、［宛先詳細］を押して宛先の詳細を確認します。



❍［読込み設定内容］：読込み設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する読込み設定画面が表示され、設定を変更できます。



❍［原稿設定内容］：原稿設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する原稿設定画面が表示され、設定を変更できます。



ひとこと

・［削除］を押すと、選択した宛先が削除されます。
・［宛先登録］を押すと、直接入力の宛先を登録できます。詳しくは、「短縮宛先にファクス番号を登録する」（p. 10-4）をごらんください。

ひとこと

次の画面を表示したい場合は［次画面→］、前の画面を表示したい場合は［←前画面］を押します。

参照

読込み条件については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）および「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。

参照

原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。

❍［通信設定内容］：通信設定の確認ができます。画面上の各設定を押すと、対応する原稿設定画面が表示され、設定を変更できます。



4 確認が終了したら、ファクス / スキャン画面に戻るまで［閉じる］を押します。

ひとこと

次の画面を表示したい場合は［次画面→］、前の画面を表示したい場合は［←前画面］を押します。

参照

通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

ひとこと

読込み設定、原稿設定、通信設定を変更した場合は、読込み設定画面、原稿設定画面、通信設定画面へ移動します。設定内容画面には戻りません。

2.8　原稿読込み中の動作

■ 原稿サイズが検知できないときは

原稿サイズが検知できない場合は、読込みサイズの画面が表示されます。原稿サイズを設定してください。

1

原稿サイズのキーを押し、[OK] を押します。



2

[閉じる] を押し、[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面が表示されます。

3

【スタート】を押します。

ファクスが送信されます。

■ メモリーオーバーしたときは

メモリー送信の場合、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。

このような場合は、クイックメモリー送信に設定して送信してください（クイックメモリー送信は通信設定の送受信方法設定画面で設定できます）。

参照

- メモリーオーバー時の処置については、「エラーメッセージが表示された」（p. 5-5）をごらんください。
- クイックメモリー送信のしかたについては、「クイックメモリー送信するには」（p. 2-49）をごらんください。

■ 原稿の自動回転について

A4 や 8-1/2 × 11 の原稿は ▯ にセットすると、自動的に ▭ に回転して送信されます。

A4 や 8-1/2 × 11 を ▯ にセットし、それよりも長い原稿と一緒に送信する場合、A4 や 8-1/2 × 11 は ▭ に回転せずに送信されます。

その場合は、混載原稿を設定することで回転して送信できます。

混載原稿については、「サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）」（p. 7-29）をごらんください。

ひとこと

自動回転を行いたくない場合は、サービス実施店までお問い合わせください。

2.9　送信できないときは

受信側が話中などで送信できないときは、リダイアル機能をつかってもう一度送信することができます。

本機のリダイアル機能は、オートリダイアル、手動リダイアルと再送信機能があります。

原則

オートリダイアル、実行中リストの手動リダイアルとも、宛先を変更することはできません。
リダイアルを行っても、回線異常などで送信できない場合は、「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

■ リダイアルについて

同じ宛先にもう一度ダイアルすることをリダイアルと呼びます。

受信側が話し中などで送信できない場合は、一定時間が経過してから再度ダイアルされます。リダイアルされるまでの間、送信ジョブはリダイアル待機の予約ジョブとして扱われます。

■ オートリダイアル機能

受信側が話中などで送信ができなかった場合は、回線パラメーター設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にオートリダイアルされます。

■ 手動リダイアル（実行中リスト）

リダイアル待ちのジョブを、手動でリダイアルします。

1. ［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。
2. ［送信］を押します。
3. 状態が［リダイアル待ち］のジョブを選択し、［リダイアル］を押します。

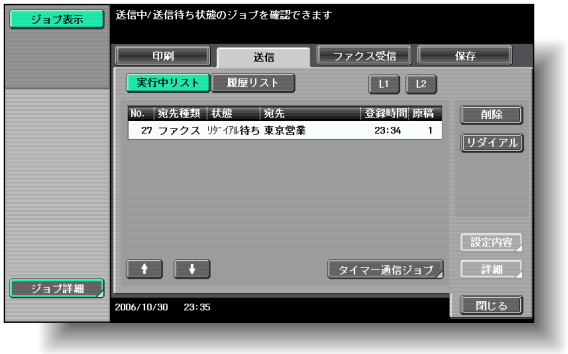
回線拡張キットを装着していない場合



詳しく説明します

オートリダイアル回数はあらかじめ 3 分おきに 3 回リダイアルするように設定されています。オートリダイアル回数の設定については、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。

回線拡張キットを装着している場合



リダイアル画面が表示されます。

4 ［実行］を押します。

選択ジョブのリダイアルが実行されます。

■ 手動リダイアル（再送信ボックス）

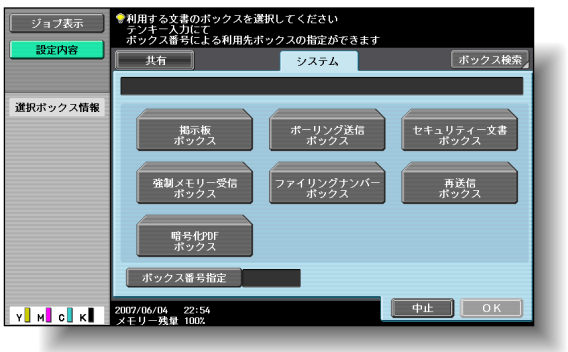
回線パラメーター設定で設定されているオートリダイアル回数をすぎても、送信できない場合、再送信ボックスにジョブが保存されます。再送信ボックスのジョブは手動でリダイアルを行うことができます。

1 【ボックス】を押します。

2 ［文書利用］を押します。

3 ［システム］を押します。

4 ［再送信ボックス］を押し、［OK］を押します。



詳しく説明します

再送信は設定メニューの［再送信設定］を［する］に設定しておく必要があります。［再送信設定］については、「再送信を設定する（再送信設定）」（p. 11-71）をごらんください。

5 再送信したいジョブを選択して、[ファクス送信]を押します。



6 同報宛先リストに表示されている宛先を確認し、[実行]または【スタート】を押します。

ジョブが再送信されます。

ひとこと

- 宛先を変更することもできます。
- 再送信後に、自動的に再送信ボックスからジョブが削除されます。

2.10 送信を予約する

通信中やプリント中に、次の送信を予約することができます。
この機能を送信予約と呼びます。

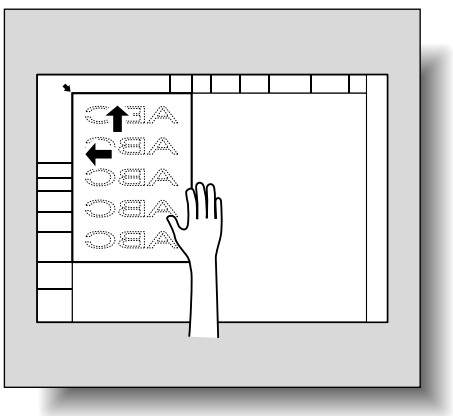
原則

送信予約に［オフフック］を使用することはできません。

1 ［ファクス / スキャン予約］を押します。

2 原稿をセットします。





詳しく説明します

［送信中画面表示］または［印刷中画面表示］が［する］に設定されていないと、［ファクス / スキャン予約］が表示されません。
送信中画面表示設定については、「ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）」(p. 11-20) をごらんください。
印刷中画面表示設定については、「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

参照

原稿セットについては、「原稿をセットする」(p. 2-7) をごらんください。

ひとこと

送信予約を解除したい場合は、［ジョブ表示］を押し、［削除］を押してください。

3 必要に応じて機能を設定します。

4 宛先を指定します。

5 【スタート】を押します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

2.11 相手側の状態を確認しながら送信する（手動送信）

相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。これを手動送信といいます。

なお、手動送信でメモリー送信を使用することはできません。

1

【ファクス / スキャン】を押しファクス / スキャン画面を表示します。

2

原稿をセットします。

参照

原稿セットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3

必要に応じて読込み設定の機能を設定します。

参照

読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。

4

［オフフック］を押します。

❍ ［受信］が選択されている場合は、［送信］を押し、送信モードにします。

ひとこと

・外部電話を接続している場合は、外部電話の受話器を上げると、［オフフック］を押したときと同じ状態になります。
・設定メニューの［宛先 2 度入力機能（送信）］が［ON］に設定されている場合は、［オフフック］が表示されません。

5

以下の方法で宛先を指定します。

- 登録宛先から指定する
- 直接入力で指定する
- 履歴から指定する
- プログラム宛先から指定する

6

「ポーポー」という繰り返し音が聞こえたら、［実行］を押します。

送信が開始されます。

❍ 操作パネルの【スタート】を押した場合は、オフフックスタート確認画面が表示されます。［はい］を押し、［OK］を押すと、送信が開始されます。

ひとこと

外部電話の場合は、外部電話の受話器を戻します。

2.12 送信を中止する

ジョブが実行中（予約ジョブも含む）かタイマー通信の予約中かで、送信を中止する操作が異なります。

■ 通信中に中止する

通信中のジョブ（予約ジョブも含む）の場合は、次の操作で送信を中止できます。

1. ［ジョブ表示］を押します。
2. ［ジョブ詳細］を押します。
3. ［送信］を押します。
4. ［実行中リスト］が選択されていることを確認します。
5. 中止したいジョブを選択して、［削除］を押します。
6. ［はい］を押し、［OK］を押します。



ジョブが削除されます。

7. ファクス／スキャン画面に戻るまで［閉じる］を押します。

ひとこと

本機では、蓄積されている送信指示を予約ジョブと呼びます。

■ タイマー通信予約ジョブを取り消す

タイマー通信の予約ジョブを削除することで送信を取り消すことができます。

1 ［ジョブ表示］を押します。

2 ［ジョブ詳細］を押します。

3 ［送信］を押します。

4 ［実行中リスト］が選択されていることを確認し、［タイマー通信ジョブ］を押します。

5 中止したいジョブを選択して、［削除］を押します。



6 ［はい］を押し、［OK］を押します。



ジョブが削除されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで［閉じる］を押します。

ひとこと

次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

2.13 送信予約ジョブを確認する

メモリーに蓄積されている送信予約状態を、画面に表示されるジョブリストで確認することができます。

1 ［ジョブ表示］を押します。

2 ［ジョブ詳細］を押します。

3 ［送信］タブを押します。

4 ［実行中リスト］を押します。

❍ タイマー通信のジョブを確認する場合は、［タイマー通信ジョブ］を押します。

5 確認が終了したら、ファクス / スキャン画面に戻るまで［閉じる］を押します。



・オプションの回線拡張キットを装着している場合は、［送信］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。
・リストの次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↑］または［↓］を押します。
・ジョブを選択して［設定内容］または［詳細］を押すとジョブの詳しい内容を確認できます。

2.14 通信結果を確認する

ジョブリストで通信結果を確認することができます。
履歴リスト画面では以下の項目を確認できます。

送信履歴リスト

ファクス送信またはスキャン送信したジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
宛先種類	宛先種別（ファクス、E-Mail、ファイル FTP、ファイル SMB、TWAIN、その他）が表示されます。
宛先	相手のファクス番号、電子メールアドレス、ボックス名などが表示されます。
登録時間	送信を指示した日時が表示されます。送信当日は時間と分で、その他の日は月日で表示されます。
原稿	送信した枚数が表示されます。
実行結果	送信の結果（正常終了、ユーザ消去、エラー消去など）が表示されます。

ひとこと

ファクスの受信後に転送または中継送信した場合にも、［送信］の履歴リストに表示されます。

ファクス受信履歴リスト

ファクスを受信後、転送、中継送信されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
登録元	ユーザー認証中はユーザー名、部門管理中は部門名が表示されます。それ以外の場合は、COPY、PRINT、FAX-RX などの登録元が表示されます。
文書名	受信または保存した文書名が表示されます。
登録時間	受信した日時が表示されます。当日は時間と分で、その他の日は月日で表示されます。
原稿	受信した枚数が表示されます。
実行結果	受信の結果（正常終了、ユーザ消去、エラー消去など）が表示されます。

ひとこと

・ファクス受信後にプリントした場合は、［ファクス受信］の履歴リストには表示されず、［印刷］の履歴リストに表示されます。
・ファクスを強制メモリ受信や親展受信した場合は、［保存］の履歴リストに表示されます。

参照

ファクス受信文書を転送するには、事前に設定をする必要があります。詳しくは、「受信文書を転送する（転送ファクス設定）」（p. 11-66）、「中継ボックスを設定する」（p. 10-40）をごらんください。

■ 通信結果の確認をするには

1. ［ジョブ表示］を押します。
2. ［ジョブ詳細］を押します。
3. ［送信］または［ファクス受信］を押します。



4. ［履歴リスト］を押します。

回線拡張キットを装着していない場合



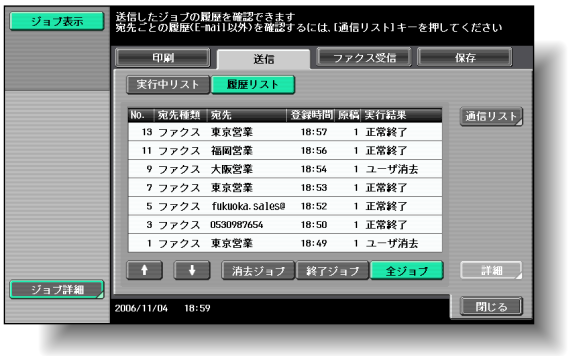
回線拡張キットを装着している場合



5

通信結果を確認します。

❍ 送信履歴リスト



❍ ファクス受信履歴リスト



6

確認が終了したら、[閉じる]を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

詳しく説明します

- [通信リスト]を押すと、スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストの形式で通信結果を確認できます。
- 「レポート指定」のいずれかのキーを押し、「出力件数」を選択して、【スタート】を押すと、選択したレポートのプリントができます。
- [詳細]を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。
- 同報送信の場合は、宛先に「-（同報）」と表示されます。リストからジョブを選択して[詳細]を押すと、ジョブの詳細情報を確認できます。

2.15 メモリー送信とクイックメモリー送信

本機を使用して原稿を送信する方法には、クイックメモリー送信とメモリー送信の 2 つの方法があります。

■ メモリー送信

あらかじめすべての原稿を読込み、メモリーに蓄積してからファクス送信する方法です。発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の読取り画質（解像度）が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。

なお、クイックメモリー送信を指示しない限り原則として、自動的にメモリー送信となります。

■ クイックメモリー送信

原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信できます。

原則

以下の機能とは併用できません。
メモリー送信、連続読み込み設定、枠消し、ブック連写、読込みサイズ、同時印刷、表紙 + 両面、混載原稿、ポーリング受信、タイマー通信、ポーリング送信、仕上りプレビュー、オフフック

■ クイックメモリー送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示させます。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［送受信方法設定］を押します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 ［クイックメモリー送信］を押します。



6 ［OK］を押し、次の画面で［閉じる］を押します。

クイックメモリー送信が設定され、ファクス / スキャン画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

8 宛先を指定します。

ひとこと

設定を中止したい場合は、もう一度［クイックメモリー送信］を押します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）をごらんください。

9

【スタート】を押します。

原稿を 1 ページ読み取ると同時に、ファクス送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

2.16 総ページ数を付けて送信する（原稿枚数指定）

原稿枚数指定機能を使用すると、クイックメモリー送信をするときに発信元記録のページ数に総ページ数を付けて送信できます。

原則

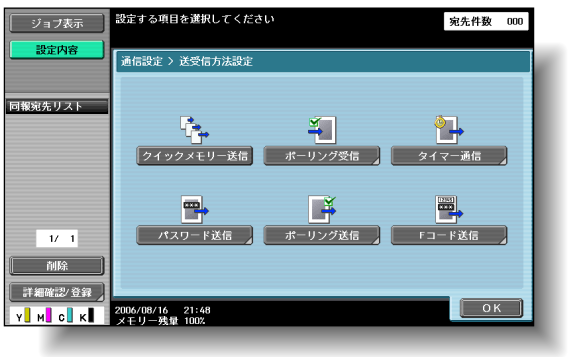
以下の機能とは併用できません。
メモリー送信、片面 / 両面（表紙 + 両面）、枠消し、ブック連写、読込みサイズ、混載原稿、ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板、タイマー通信、仕上りプレビュー

詳しく説明します

- 発信元記録のページ数が、「P. ページ数 / 総ページ数」の形式で印字されます。
- 設定したページ数と実際に読み取られたページ数が異なる場合は、設定したページ数が印字されます。
- メモリー送信の場合は、総ページ数が自動的に付けられるため操作の必要はありません。

■ 原稿枚数を指定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示させます。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［送受信方法設定］を押します。
5. ［クイックメモリー送信］を押します。



6. ［OK］を押し、次の画面で［閉じる］を押します。

   クイックメモリー送信が設定され、ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

原稿枚数は、999 枚まで設定できます。

7 ［原稿設定］を押します。

8 ［原稿枚数指定］を押します。



9 テンキーで原稿枚数を入力し、［OK］を押します。



10 ［OK］を押します。

原稿枚数が設定され、ファクス / スキャン画面に戻ります。

11 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

ひとこと

設定を解除する場合は、［しない］を押します。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

12 宛先を指定します。

13 【スタート】を押します。
送信が開始されます。

参照
宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）をごらんください。

ひとこと
受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照
・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

2.17 時刻を指定して通信する（タイマー通信）

タイマー通信とは、通信の時刻を指定する機能です。
深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

原則

以下の機能とは併用できません。
原稿枚数指定、ポーリング送信、掲示板、クイックメモリー送信

詳しく説明します

- 時刻の指定のみ可能です。日付の指定はできません。
- 時、分単位で指定します。
- 通常の送信 20 件、ポーリング受信 1 件のあわせて 21 件のタイマー通信を指定することができます。

■ タイマー通信するには

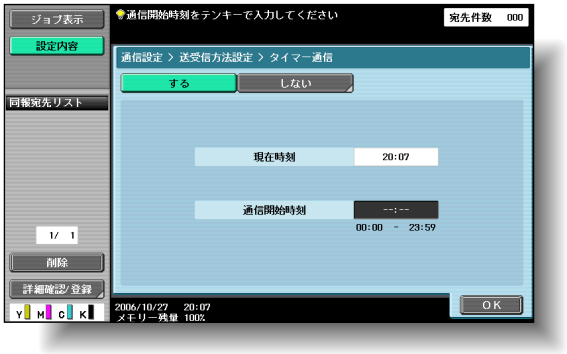
1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示させます。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［送受信方法設定］を押します。
5. ［タイマー通信］を押します。



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

6 テンキーで通信開始時刻を入力します。



詳しく説明します

- 通信開始時刻は、24 時間方式で 2 桁入力します。
  例：
  通信開始時刻を午後 9 時 7 分に設定する場合は、「21」と「07」を入力します。
- タイマー通信の設定を解除する場合は、［しない］を押します。

7 ［OK］を 2 回押し、［閉じる］を押します。

タイマー通信が設定され、ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）をごらんください。

10

【スタート】を押します。

読込んだ文書は、予約文書としてメモリーに蓄積され、指定された時刻に送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

2.18 海外に送る（海外通信モード）

海外通信モードとは、通信状態の悪いところへ通信する場合に情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。

ここでは、海外通信する手順を説明します。

原則

以下の機能とは併用できません。
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板

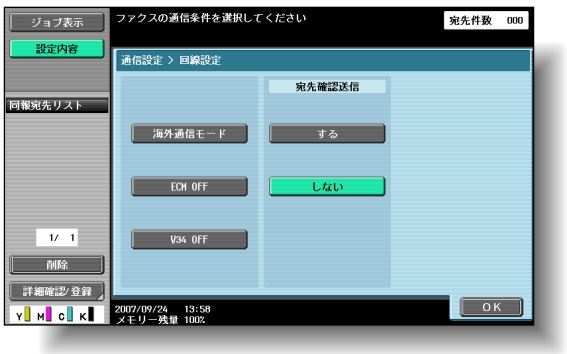
■ 海外通信モードで送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［回線設定］を押します。



5. ［海外通信モード］を押します。

回線拡張キットを装着していない場合



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度［海外通信モード］を押します。

回線拡張キットを装着している場合



6 ［OK］を押し、次の画面で［閉じる］を押します。

海外通信モードが設定され、ファクス / スキャン画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

詳しく説明します

使用している回線の種類、契約内容、ダイアル方法などについては、ご使用になる電話会社（KDDI 等）に直接お問い合わせください。

ひとこと

海外通信モードは「国番号」などを電話番号と一緒に短縮宛先やプログラム宛先に登録することができます。短縮宛先登録については、「短縮宛先を登録する」（p. 10-4）を、プログラム宛先については、「プログラム宛先を登録する」（p. 10-20）をごらんください。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

8 国際電話サービス番号に続いて相手の国番号、地域番号、相手のファクス番号をダイアルします。

9 【スタート】を押します。

送信が開始されます。

詳しく説明します

電話会社により、国際電話サービス番号は異なります。国際電話サービス番号は、電話会社に直接お問い合わせください。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

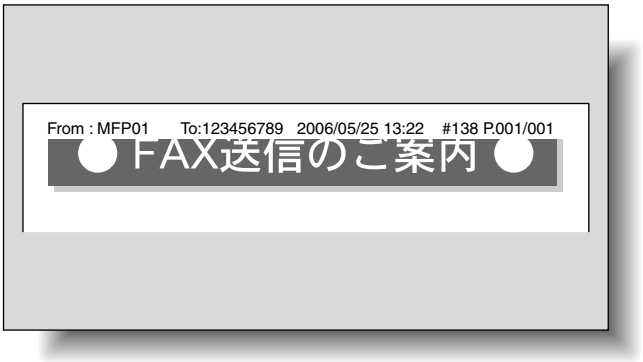
- 送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
- 送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

2.19 発信元情報について

■ 発信元情報の付ける位置について

送信した原稿は、受信側で次のように記録されます。

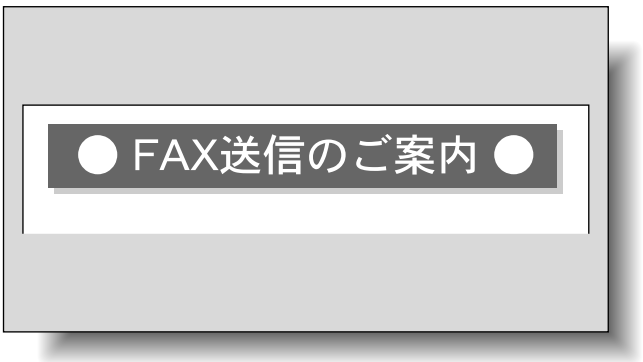
- 発信元情報が［原稿内］に設定されているとき



- 発信元情報が［原稿外］に設定されているとき



- 発信元情報が［OFF］に設定されているとき



ひとこと

発信元情報は、設定メニューの［発信元 / ファクス ID 登録］で設定します。複数の発信元名を登録することもできます。発信元 / ファクス ID 登録については、「発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）」（p. 11-44）をごらんください。

参照

発信元情報の付けかたの設定については、「発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）」（p. 11-47）をごらんください。

■ 相手先印字について

発信元情報に宛先を印字するかどうかを設定できます。

- ［相手先印字］が ON の場合は、発信元名と宛先が印字されます。



- ［相手先印字］が OFF の場合は、発信元とファクス ID が印字されます。



参照

相手先印字の設定については、「発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）」（p. 11-47）をごらんください。

2.20 送信前に読込み状態を確認する（仕上りプレビュー）

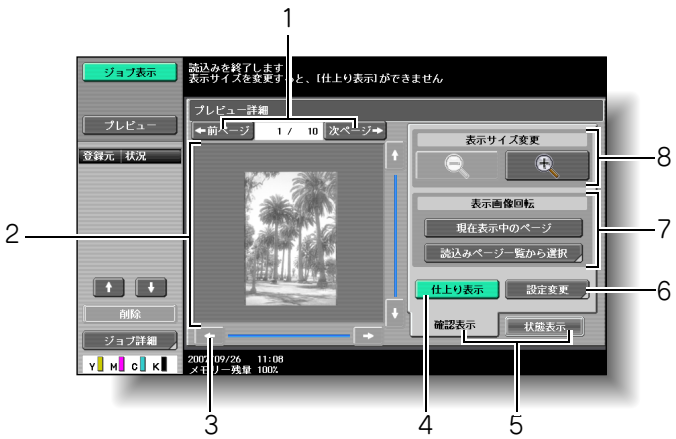
仕上りプレビューとは、読込んだ原稿を送信する前に、読込み状態を操作パネル上でプレビュー画像として確認できる機能です。

原則

クイックメモリー送信を行う場合は、仕上りプレビュー機能を使用できません。

■ プレビュー詳細画面について

プレビュー詳細画面では、向きを誤って読込んだ原稿を回転させたり、読込む前に行った設定を変更したりすることができます。

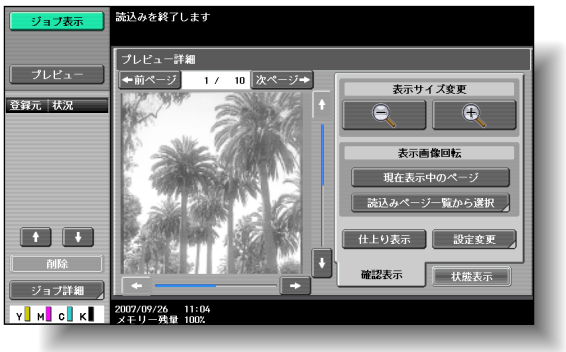


No	名称	説明
1	[←前ページ] ／ [次ページ→]	表示中のページの前ページおよび次ページへ表示を切換えます。
2	―	プレビュー画像が表示されます。 [仕上り表示] を押すと、プレビュー画像に仕上り状態が反映されます。
3	スクロールバー	プレビュー画像が拡大表示の場合、画像を上下左右にスクロールします。
4	[仕上り表示]	仕上り状態をプレビュー画像に反映します。もう一度押すと、プレビュー画像の仕上り表示が解除されます。 詳しくは、「仕上り表示」(p. 2-65) をごらんください。
5	[状態表示] ／ [確認表示]	プレビュー詳細画面の状態表示と確認表示の切換えを行います。 画像の回転や設定変更は [確認表示] で行います。[状態表示] で読込みを終了します。

No	名称	説明
6	［設定変更］	読込んだ原稿の設定を変更できます。 詳しくは、「設定変更」（p. 2-66）をごらんください。
7	表示画像回転	プレビュー画像を 180 度回転します。 詳しくは、「表示画像回転」（p. 2-64）をごらんください。
8	表示サイズ変更	プレビュー画像を拡大／縮小します。 詳しくは、「表示サイズ変更」（p. 2-64）をごらんください。

■ 表示サイズ変更

表示サイズ変更では、プレビュー画像を拡大して表示し、細部の確認ができます。［+］／［-］を押すことで、全体表示／2 倍／4 倍／8 倍の大きさで倍率を変更できます。拡大した画像は、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させて確認します。



■ 表示画像回転

表示画像回転では、プレビュー画像を 180 度回転して、原稿の向きの誤りを補正できます。

［現在表示中のページ］を押すと、表示されているページを 180 度回転します。



ひとこと

表示サイズを変更すると、仕上り状態を表示できません。

［読込みページ一覧から選択］を押すと、読込みページ一覧画面が表示されます。読込みページは最大 8 ページまで表示され、［↑］／［↓］を押すとページを切換えることができます。

［奇数ページ］を押すと、読込みページ中の奇数ページを回転します。［偶数ページ］を押すと、読込みページ中の偶数ページを回転します。［全ページ］を押すと、読込みページの全ページを回転します。読込みページを直接選択すると、選択した読込みページが回転します。



■ 仕上り表示

［仕上り表示］を押すと、出力する原稿の仕上り設定内容をプレビュー画像にアイコンや文字列で表示し、仕上りの状態を確認できます。［仕上り表示］をもう一度押すと、プレビュー画像の仕上り表示が解除されます。初期設定では、［仕上り表示］が選択されています。



■ 設定変更

原稿を読込む前に行った設定のうち、以下の内容を変更できます。

変更した内容は追加して読込んだ原稿で反映されます。



項目	説明
原稿	片面または両面を選択できます。「表紙 + 両面」が設定されている場合は、［表紙 + 両面］も表示されます。
原稿サイズ	混載原稿が設定されているときに選択できます。
枠消し	枠消しを設定できます。(p. 7-12)

■ 仕上りプレビューを確認するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示させます。
2. 原稿をセットします。
3. 読込み設定、原稿設定、通信設定をします。
4. 宛先を指定します。
5. 【確認コピー】を押します。

   原稿セット方向画面が表示されます。

ひとこと

設定変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。

6

原稿セット方向を選択します。

＜原稿ガラスにセットした場合＞



＜ ADF にセットした場合＞



7

【スタート】を押します。

原稿の読込みが開始され、プレビュー詳細画面（状態表示）が表示されます。

8

プレビュー画像を確認します。

- 設定を変更する場合は、［確認表示］を押します。手順 9 へ進みます。
- 送信を開始する場合は、手順 10 へ進みます。
- さらに原稿を読込む場合は、原稿をセットし、［読込み終了］を解除させてから【スタート】を押します。



9

設定を変更して、［状態表示］を押します。



10

［読込み終了］を選択し、【スタート】を押します。

送信が開始されます。

参照

確認表示画面について詳しくは、「プレビュー詳細画面について」（p. 2-63）をごらんください。

第３章
受信する

ファクス受信の操作について説明します。

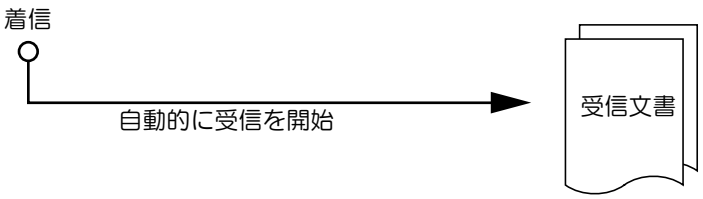
3.1　いろいろな受信モード 3-2
3.2　自動受信（ファクス専用モード）..... 3-4
3.3　自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）..... 3-5
3.4　留守番電話を接続するときは 3-6
3.5　手動受信（電話専用モード）..... 3-7
3.6　受信できないとき 3-8
3.7　メモリー代行受信について 3-9
3.8　受信時の記録について 3-11
3.9　受信情報について 3-17

3.1　いろいろな受信モード

本機には、次の受信モードが用意されています。電話回線をお使いの状況に合わせて設定してください。

■ 自動受信（ファクス専用モード）

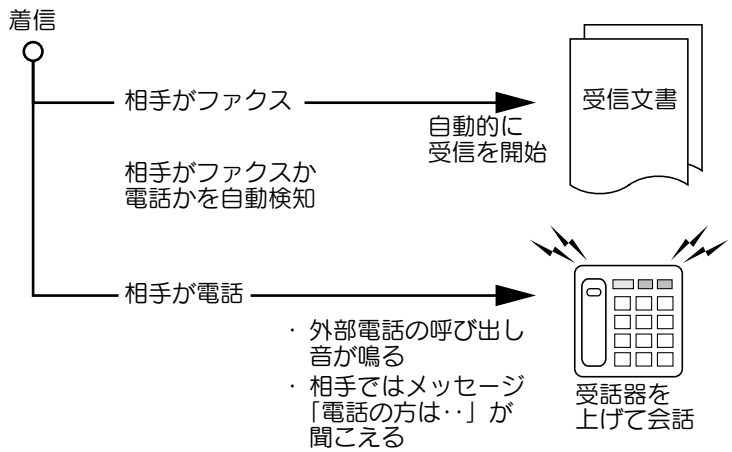
電話回線をファクス専用で使う場合はこのモードに設定します。



参照
詳しくは「自動受信（ファクス専用モード）」(p. 3-4)をごらんください。

■ 自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）

外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、ファクス優先で使う場合はこのモードに設定しておくと便利です。



参照
詳しくは「自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）」(p. 3-5）をごらんください。

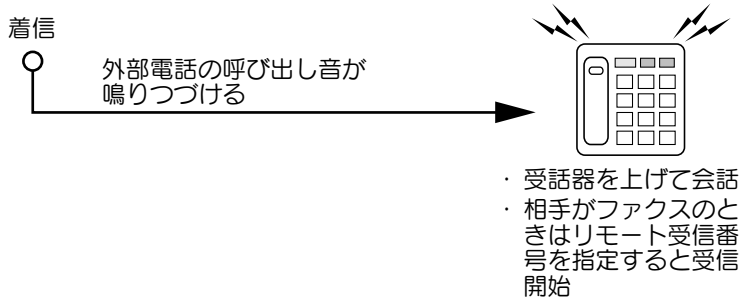
■ 留守番電話が接続しているとき

外部電話として留守番電話を接続することができます。留守番電話を接続する場合は、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［留守番電話接続設定］を［ON］に設定します。

参照
詳しくは「留守番電話を接続するときは」(p. 3-6）をごらんください。

■ 手動受信（電話専用モード）

外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、電話がかかってくる機会が多いときは、このモードに設定しておくと便利です。



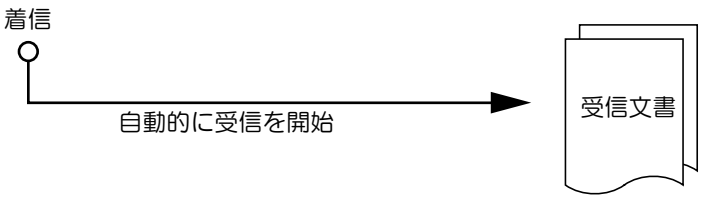
参照

詳しくは「手動受信（電話専用モード）」（p. 3-7）をごらんください。

3.2　自動受信（ファクス専用モード）

電話回線をファクス専用で使う場合はこのモードに設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信が開始されます。受信中は、画面のメッセージ表示部に「受信中です」と表示されます。

このモードは、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［受信方式］が［自動受信］に設定されている場合にはたらきます。



ひとこと

［受信中画面表示］が［しない］の場合は、メッセージは表示されません。

参照

受信方式設定、リング信号の着信回数の設定については、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。

3.3　自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）

外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、ファクス優先で使う場合はこのモードに設定しておくと便利です。着信後、相手側がファクスか電話かを自動的に検知し、送信側に対して音声メッセージを流します。

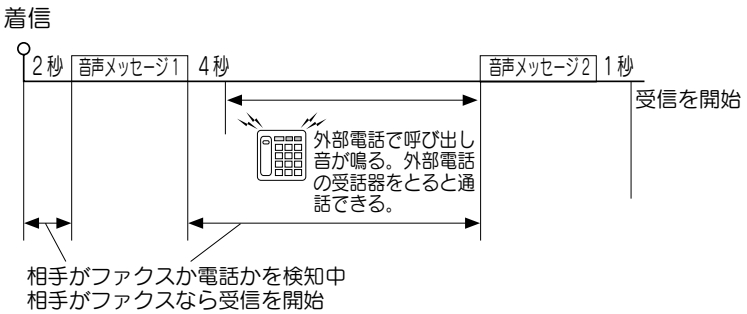
このモードは、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［TEL/FAX 自動切換え］が［ON］に設定されている場合にはたらきます。

■ 相手がファクスのとき

受信が開始されます。送信側には音声メッセージが聞こえています。

■ 相手が電話のとき

外部電話から呼び出し音が鳴ります。呼び出し音が鳴っている間に外部電話の受話器をとると通話できます。送信側では音声メッセージが聞こえています。



- 音声メッセージ 1（約 6 秒間）
  「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」
- 音声メッセージ 2（約 4 秒間）
  「ただいま近くにおりません。ファクスに切り替えます。」

詳しく説明します

・留守番電話を接続するときは、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、［留守番電話接続設定］を［ON］に設定してください。詳しくは、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。
・外部電話の受話器を上げたときに、「ピー」という音が聞こえたり、無音のときは、相手はファクスです。受話器を上げたまま【スタート】を押すと受信できます。

参照

・受信方式設定、リング信号の着信回数の設定については、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。
・リモート受信については、「外部電話から受信の指示をする（リモート受信）」（p. 8-2）をごらんください。

3.4　留守番電話を接続するときは

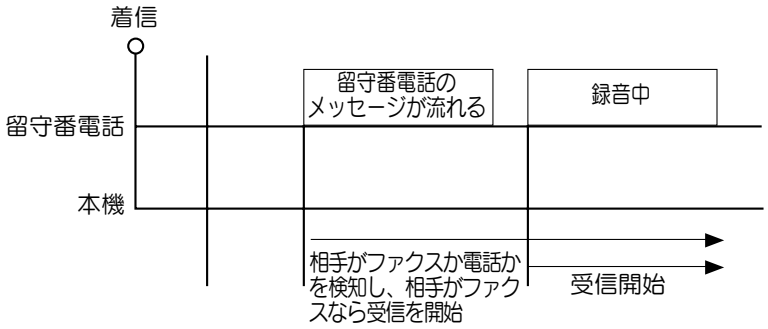
外部電話として留守番電話を接続することができます。留守番電話を接続する場合は、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［留守番電話接続設定］を［ON］に設定します。

■ 相手がファクスのとき

留守番電話から本機に自動的に切り換わり、受信が開始されます。

■ 相手が電話のとき

送信側に対して留守番電話のメッセージが流れます。



詳しく説明します

留守番電話が応答しない場合（留守番設定がされていない場合など）は、20 秒後に受信が開始されます。

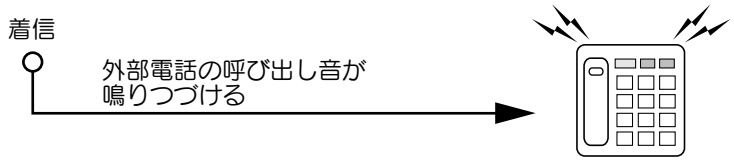
参照

留守番電話接続設定については、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。

3.5　手動受信（電話専用モード）

外部電話（留守番電話など）を接続している場合で、電話がかかってくる機会が多いときは、このモードを設定しておくと便利です。

このモードは、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合にはたらきます。



・受話器を上げて会話
・相手がファクスのときはリモート受信番号を指定すると受信開始 *

＊設定メニューの［リモート受信設定］のリモート受信番号が設定されているときに有効です。

手動で受信するときは、次の手順で操作します。

■ 本機で操作するとき

1. 外部電話のベルが鳴ったらファクス / スキャン画面の［オフフック］を押します。
2. ［受信］が選択されていることを確認します。
3. オフフック画面の［実行］を押します。

   受信が開始されます。

   ❍【スタート】を押した場合、ファクス通信開始の確認画面で［はい］を押し、［OK］を押すと受信が開始されます。

■ 外部電話で操作するとき（リモート受信）

「外部電話から受信の指示をする（リモート受信）」（p. 8-2）をごらんください。

参照

・受信方式設定については、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。

詳しく説明します

・ファクス情報サービスから受信する場合は、［オフフック］を押して、ダイアルした後に【スタート】を押します。
・ADF または、原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。
この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

ひとこと

設定メニューの［宛先 2 度入力機能（送信）］が［ON］に設定されている場合は、［オフフック］が表示されません。

3.6　受信できないとき

受信できない場合は、エラーメッセージが表示されます。「受信できない」（p. 5-3）を参照して処置をしてください。エラーメッセージの表示は、【ストップ】を押すと消えます。

詳しく説明します

・外部電話のベルが鳴り続ける場合は、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合があります。
自動的に受信するためには［自動受信］に設定しておく必要があります。
詳しくは、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。
・メモリーが一杯で受信できない場合があります。
用紙トレイに用紙がセットされていることを確認してください。

3.7　メモリー代行受信について

■ メモリー代行受信とは

用紙づまりなどで受信した文書をプリントできない場合は、プリントできる状態になるまで受信文書がメモリーに蓄積されます。この機能をメモリー代行受信といいます。

- 紙づまりなどのトラブル処置が終了すると、蓄積されていた受信文書のプリントが開始されます。
- メモリーが一杯で代行受信できない場合があります。

■ メモリー代行受信したジョブを転送する

メモリー代行受信したジョブを別の宛先に転送することができます。

1. ［ジョブ表示］を押します。
2. ［ジョブ詳細］を押します。
3. ［ファクス受信］を押します。
4. リストから転送したいジョブを選択して［転送］を押します。



5 リストから転送したいジョブを選択して［宛先］を押します。



6 宛先を指定します。

- ❍ 直接入力で宛先を指定する場合は、［直接入力］を押します。
- ❍ 登録宛先から指定する場合は、［登録宛先から選択］を押します。

7 ［実行］を押します。

ファクスが送信されます。

参照

直接入力のしかたは、「直接入力で指定する」（p. 2-22）、登録宛先から指定のしかたは、「登録宛先から指定する」（p. 2-18）をごらんください。

3.8　受信時の記録について

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

■ 縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）



■ 用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。



参照

縮小率の設定については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）をごらんください。

最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

Step 1:

最適な用紙を選択する

- 受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定されます。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 154	155 ～ 314	315 ～ 386	387 ～
	［原稿外］	0 ～ 146	147 ～ 306	307 ～ 378	379 ～
選択される用紙サイズ		A5	A4	B4	A3
B4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 195	196 ～ 395	396 ～	
	［原稿外］	0 ～ 186	187 ～ 386	387 ～	
選択される用紙サイズ		B5	B4	A3	
A3 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 226	227 ～		
	［原稿外］	0 ～ 217	218 ～		
選択される用紙サイズ		A4	A3		

Step 2:

実際にプリントする用紙を選択する

- Step 1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかがチェックされます。
  - ❍ 最適な用紙がセットされている :
    記録が開始されます。
  - ❍ 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの［ATS 許可］（自動トレイ切換え機能）が［許可しない］になっている :
    次に最適な用紙を表の上から順にチェックされます。
    このとき、設定メニューの［ページ分割記録］が［ON］に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙がチェックされます。

参照

［ATS 許可］については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

❍［ページ分割記録］が［OFF］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	A4 ▯	B5 ▭	A3 ▭	A4 ▭	B4 ▭
	A4 ▭	B4 ▭	B4 ▭	A4 ▭	B4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯	A3 ▭	A4 ▭	A4 ▯	A3 ▭	
	B5 ▯		A4 ▯			
	B5 ▭		A3 ▭			
	B4 ▭					
	A3 ▭					

❍［ページ分割記録］が［ON］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	B4 ▭	B5 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A4 ▯
	A4 ▭	A3 ▭	B4 ▭	B5 ▭	B4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯		A4 ▭	A3 ▭	A3 ▭	
	B5 ▭		A4 ▯	A4 ▯		
	B5 ▯		A3 ▭	A4 ▭		
	B4 ▭					
	A3 ▭					

* B5 ▭、B5 ▯、A4 ▭、A4 ▯ の場合にはページを分割して記録されます。

詳しく説明します

［ページ分割記録］が［OFF］のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。

詳しく説明します

［ページ分割記録］が［ON］のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。

原則

- 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定された用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
- ［ページ分割記録］が［OFF］の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定された用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
- 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
- Step 1、Step 2 で決定された用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、［給紙トレイ自動選択］で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。
- 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、［給紙トレイ自動選択］で「自動選択トレイ」に設定されていない場合は、手差しトレイからは給紙されません。
- ［ページ分割記録］が［ON］の場合、設定メニューの［送信 / 受信設定］が次のように設定されているときはページ分割されません。
  - ［給紙トレイ固定］でトレイが設定されている
  - ［縮小率］が［等倍］のとき
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］または［サイズ優先］のとき
  - ［受信原稿両面印刷］が［ON］のとき
- プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ優先］に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常の用紙選択を行い記録されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
  - ［給紙トレイ固定］が［自動］以外に設定されているとき、［給紙トレイ固定］で指定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
  - ［記録用紙優先選択］が［自動選択］以外に、［給紙トレイ固定］も［自動］以外に設定されているとき、［給紙トレイ固定］の設定が優先されます。

参照

［ページ分割記録］については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）をごらんください。

参照

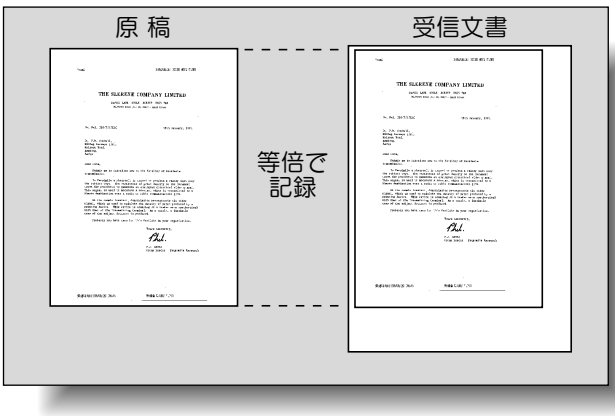
［給紙トレイ自動選択］については、「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

参照

［給紙トレイ固定］、［縮小率］、［記録用紙優先選択］、［受信原稿両面印刷］については、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）をごらんください。

■ 等倍で記録するとき

設定メニューで［縮小率］が「等倍」に設定されている場合は、同じサイズの用紙に等倍で記録されます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

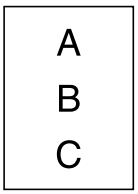
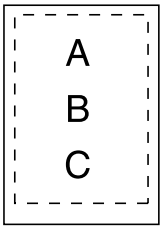
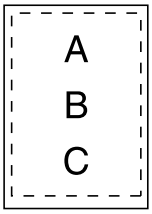
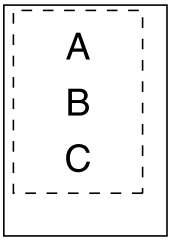
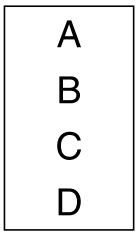
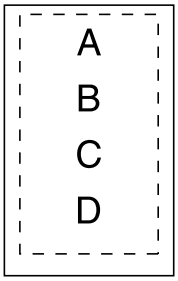
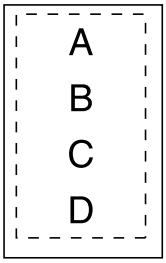
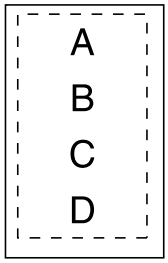
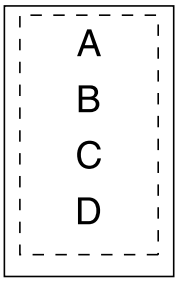
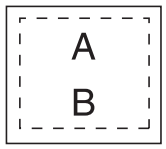
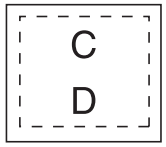
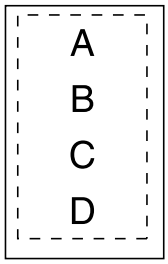


詳しく説明します

- ページ分割をすることはできません。
- A3 サイズより大きな画像は記録できません。
- 最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

■ 受信時の記録方法

受信文書の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙のサイズ		［縮小率］の設定		［給紙トレイ固定］でトレイを指定
		等倍	96 ～ 87 %	
定形サイズ（A3 ～ A5） 		 大きめの用紙に等倍で記録	 同じサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
長尺文書（定形サイズより長め） 	ページ分割記録 OFF	 大きめの用紙に等倍で記録	 最適なサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
	ページ分割記録 ON	 大きめの用紙に等倍で記録	  用紙によっては分割して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

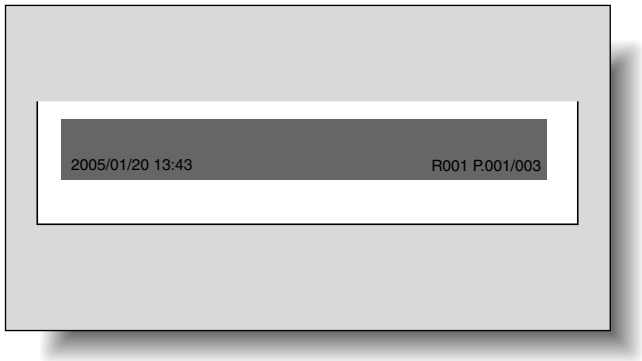
ひとこと

［受信原稿両面印刷］が［ON］の場合、用紙の両面に記録することができます。詳しくは、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）をごらんください。

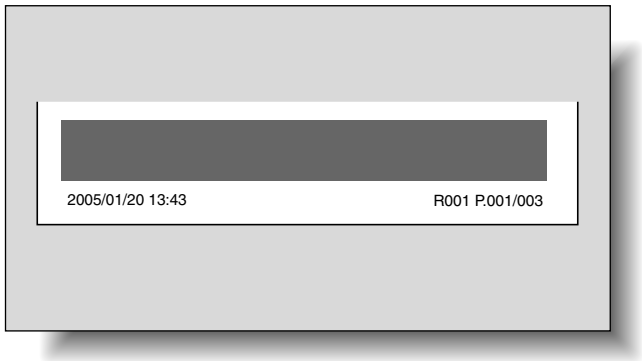
3.9　受信情報について

設定メニューの［発信元 / 受信情報］で、［受信情報］が［原稿内］、［原稿外］に設定されている場合は、受信文書に受信情報（日付、時刻、受信番号、ページ番号）が記録されます。

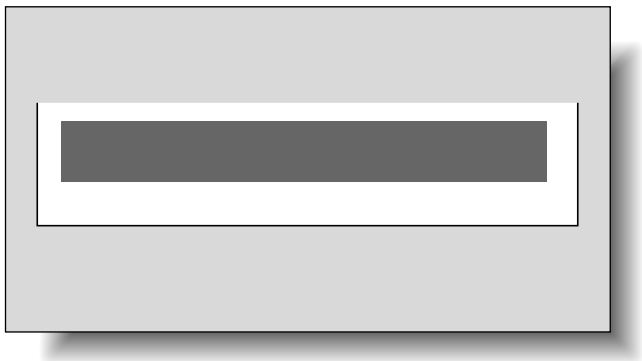
受信情報が［原稿内］に設定されているとき



受信情報が［原稿外］に設定されているとき



受信情報が［OFF］に設定されているとき



参照

［受信情報］の設定については、「発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）」（p. 11-47）をごらんください

第 4 章
電話をかける / 受ける

電話のかけ方、受け方について説明します。

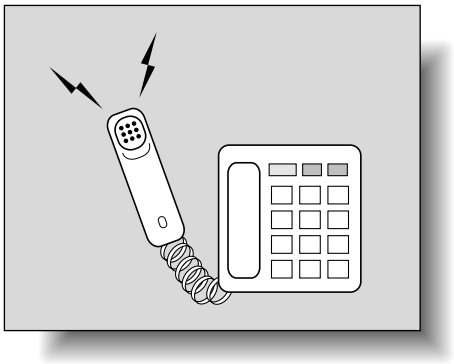
4.1　電話をかける 4-2
4.2　電話を受ける 4-3

4.1　電話をかける

外部電話を接続している場合の電話のかけかたを説明します。

■ 電話をかけるには

1. 受話器を上げます。



2. 相手先を指定します。
3. 相手に電話がかかったら通話します。
4. 通話が終了したら、受話器を戻します。

4.2　電話を受ける

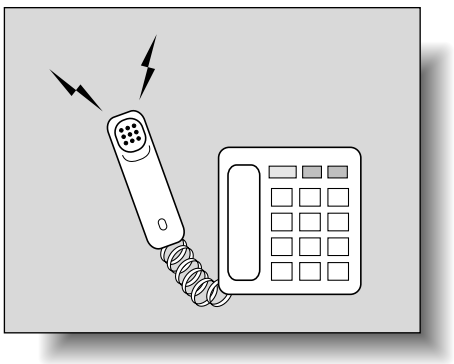
外部電話を接続している場合の、電話の受けかたを説明します。

■ 電話を受けるには

1

電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。

- 「ポー、ポー」または「ピー」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。【スタート】を押すか、外部電話でリモート受信番号（2 桁）を指定すると、受信できます。



2

通話が終了したら、受話器を戻します。

詳しく説明します

ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。パルスをトーンに切り替える機能については、電話機の取扱説明書をごらんください。

参照

リモート受信については、「外部電話から受信の指示をする（リモート受信）」（p. 8-2）をごらんください。

第５章
トラブル処置

トラブルが発生した場合の処置について説明します。

5.1　送信できない 5-2
5.2　受信できない 5-3
5.3　エラーメッセージが表示された 5-5
5.4　「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）..... 5-6

5.1　送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「送信結果レポート」（p. 12-9）をごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）
・エラーメッセージについては、「エラーメッセージが表示された」（p. 5-5）をごらんください。
・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

チェックポイント	処置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
電話回線の設定は正しいですか？	設定メニューの［ダイアル方式］はお使いの電話回線に合っていますか？ 設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。
電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？ 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。
パスワード送信で、パスワードが間違っていませんか？	受信側にパスワードを確認して、正しいパスワードでもう一度送信してください。
宛先確認送信で、受信側ファクスに正しいファクス番号が登録されていない可能性があります。	受信側ファクスに登録されているファクス番号が正しいかどうか確認してください。 または、宛先確認送信を［しない］にしてもう一度送信してください。

5.2　受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

・エラーメッセージについては、「エラーメッセージが表示された」（p. 5-5）をごらんください。
・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	トナーが切れていませんか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	手動受信に設定されていませんか？	設定メニューの［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合は、受信の操作が必要です。手動受信のしかた（p. 3-7）を参照して受信の操作をしてください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？ 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	［閉域受信設定］が有効になっていませんか？	［閉域受信設定］が有効になっている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。 管理者にお問い合わせください。
	送信側からF コードで正しくない SUB アドレスが送信されていませんか？	親展ボックスや中継ボックスが設定されている場合、正しくない SUB アドレスを受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。 送信側に SUB アドレスの設定を確認してください。
	ナンバーディスプレイ、ダイアルインなどの設定が、接続している通信回線と合っていますか？	設定が合っていないと受信できないことがあります。接続している通信回線については管理者に確認してください。
	ダイアルインの着信番号は正しいですか？	ダイアルインを利用している場合、ファクス、電話、PC-FAX として着信させる番号が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、「ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定）」（p. 11-59）をごらんください。

トラブルの内容	チェックポイント	処置
	着信拒否に登録している番号から受信していませんか？	受信している番号が誤って着信拒否に登録されている場合は受信できません。「着信拒否宛先を登録する」（p. 10-29）を参照し、着信拒否の登録内容を確認してください。
	特殊な内線交換器を使用していませんか？	呼び出しベルの鳴り方が NTT の回線の鳴り方と違う内線交換器を使用している場合は、着信できないことがあります。「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）を参照して、着信回数を「0 回」に設定してください。
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか？	PC-FAX 受信で保存されたボックスを確認してください。
	TSI 受信振分けが設定されていませんか？	TSI 受信振分けで保存されたボックスを確認してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1.【ボックス】を押します。 2.［文書利用］を押します。 3.［システム］を押します。 4.［強制メモリー受信ボックス］を押し、［OK］を押します。 5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して［OK］を押します。 6. プリントしたい文書を選択し、［印刷］を押します。 または、［強制メモリー受信設定］を［しない］に設定します。

5.3　エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

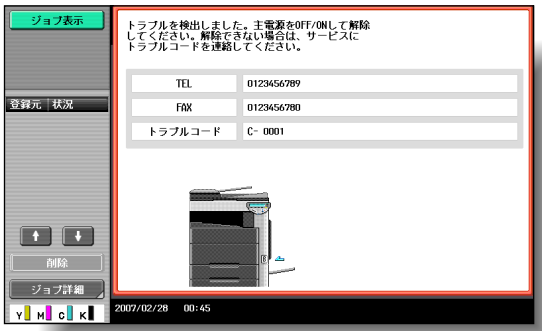
エラーメッセージ	処置
ダイアル中にエラーが発生したため、ジョブが正常終了しませんでした	設定されている回数分のリダイアルをしましたが、相手が話し中などで送信できませんでした。 受信側の状態を確認して、もう一度送信してください。
相手機を確認できませんでした	相手先確認送信を［する］にして送信したときに、相手機確認ができませんでした。 相手先のファクス番号を確認してもう一度送信してください。
メモリー残量不足のため、読込みの継続ができません	原稿読込中に、メモリーが一杯になりました。 読込みが終わった原稿を送信する場合は、【スタート】を、中止する場合は【ストップ】を押してください。
ジョブが正常終了しませんでした 回線の接続を確認してください	電話線が抜けている可能性があります。 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。

5.4 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

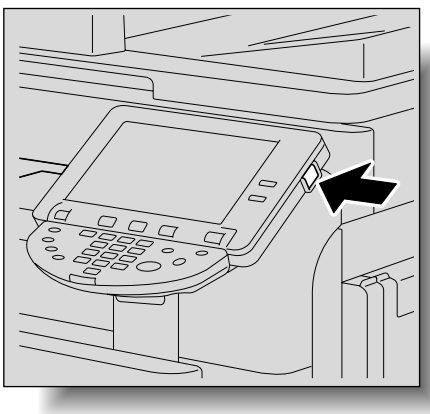
ここでは、サービス実施店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

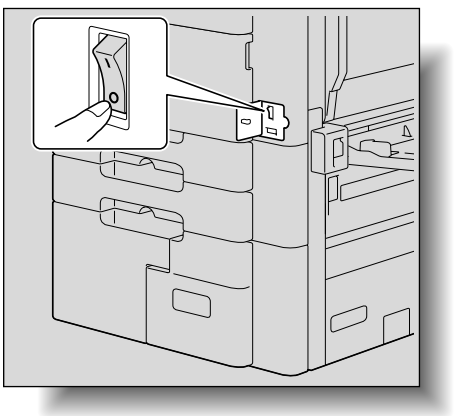


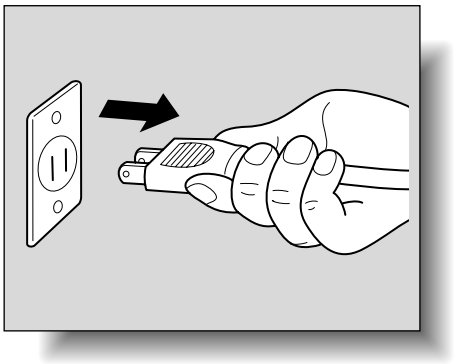
⚠注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

1. トラブルコード番号を書き留めます。
2. 【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にします。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。
4. サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。







第 6 章
仕様

ファクス機能の仕様について説明します。

6.1　仕様 6-2

6.1　仕様

ファクスに関する主な製品仕様は次のとおりです。製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

項目	仕様
画像メモリー容量	1024 MB（標準）
蓄積枚数	10000 枚（A4 サイズ 700 文字程度の原稿を、解像度「精細」で蓄積した場合）
適応回線	加入電話回線（ファクス通信網を含む） PBX 回線
走査線密度	超高精細：　600 dpi × 600 dpi 高精細：　16 dot/mm × 15.4 line/mm、400 dpi × 400 dpi 精細：　8 dot/mm × 7.7 line/mm、200 dpi × 200 dpi 普通：　8 dot/mm × 3.85 line/mm 200 dpi × 100 dpi 相手機の能力に応じて、上記のいずれかの走査線密度で通信されます。
伝送速度	2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 12000 / 14400 / 16800 / 19200 / 21600 / 24000 / 26400 / 28800 / 31200 / 33600 bps
最大読み取りサイズ	原稿ガラス：420 × 297 mm（A3 サイズ） ADF：297 mm × 1000 mm
最大記録サイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがってプリントされます。

第 7 章
便利な送信

読込み設定、原稿設定、通信設定のメニューを使った、便利なファクス送信について説明します。

7.1 設定画面の機能一覧 7-2
7.2 背景色の濃度を調整して送る（下地調整）..... 7-6
7.3 文字のエッジを強調して送る（シャープネス）..... 7-9
7.4 黒い影を消して送る（枠消し）..... 7-12
7.5 見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写）..... 7-15
7.6 原稿を読込むサイズを指定して送る（読込みサイズ）..... 7-20
7.7 ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷）..... 7-23
7.8 読み取ったことを確認する（済みスタンプ）..... 7-26
7.9 サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）..... 7-29
7.10折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）..... 7-32
7.11長い原稿を送る（長尺原稿）..... 7-35
7.12原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ）..... 7-38
7.13スリットガラスの汚れの影響を軽減して送信する（汚れ軽減モード）..... 7-41
7.14ECM モードを解除して送る（ECM OFF）..... 7-43
7.15スーパー G3 モードを解除して送る（V34 OFF）..... 7-46
7.16共有 / 個人 / グループボックスの文書をファクス送信する 7-49
7.17相手機を確認して送信する（宛先確認送信）..... 7-52
7.18宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能）..... 7-55
7.19回線を指定して送信する（回線指定）..... 7-57
7.20パスワードをつけて送る（パスワード送信）..... 7-60
7.21親展送信をする（F コード送信）..... 7-63
7.22中継先を指定して送る（F コード送信）..... 7-66
7.23発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）..... 7-69

7.1　設定画面の機能一覧

読込み設定、原稿設定、通信設定の画面には、次の機能が表示されます。

■ 読込み設定



画面表示		説明
「基本設定」		［原稿画質］、［片面 / 両面］、［解像度］、［濃度］、［連続読込み設定］を設定します。→ p. 2-13、p. 2-9
［画質調整］	［下地調整］	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能です。→ p. 7-6
	［シャープネス］	文字のエッジを強調して送る機能です。→ p. 7-9
［消去］	［枠消し］	冊子になっている原稿を読込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。→ p. 7-12
［連写］	［ブック連写］	本やカタログなどを読込むときに、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信する機能です。→ p. 7-15
［応用設定］	［読込みサイズ］	読込むサイズを指定して送信する機能です。原稿の一部だけを送信したい場合に便利です。→ p. 7-20
	［ファイリングナンバー］	ファクス送信と同時に、ボックスに日付 / 時刻やファイリング番号などを付加した文書を保存できます。相手先で受信した文書にも日付 / 時刻やファイリング番号などが付加されます。詳しくは、「ユーザーズガイドボックス機能編」をごらんください。

参照

・「基本設定」については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）をごらんください。
・［連続読込み設定］については、「原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには」（p. 2-9）をごらんください。

ひとこと

以下のキーは、ファクス機能では使用しません。
・［画質調整］の「カラー」
・［文書名］

ひとこと

ファイリングナンバー機能、スタンプ / ページ印字機能を使用するには、設定メニューの［ファクス送信設定］を［解除しない］にします。詳しくは、「スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）」（p. 11-36）をごらんください。

画面表示		説明
［応用設定］	［スタンプ / ページ印字］	読込んだ文書のすべてのページに、読込んだ日付と時刻、ページ番号、定型句を付加し、ファクス送信します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。
	［同時印刷］	ファクス送信と同時にコピーをする機能です。→ p. 7-23
	［済みスタンプ］	読み取った原稿に済みスタンプを押すことができます。→ p. 7-26

■ 原稿設定



画面表示		説明
「原稿指定」	［混載原稿］	サイズの異なる原稿をセットし、一度の操作で原稿サイズを検知して送信する機能です。→ p. 7-29
	［Z 折れ原稿］	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。→ p. 7-32
	［長尺原稿］	432 mm より長い長尺原稿を送信する機能です。→ p. 7-35
「方向指定」	［原稿のとじしろ］	両面原稿を ADF で読込む場合に、原稿のとじしろを指定し、原稿の裏面の上下関係を補正する機能です。→ p. 7-38
［原稿枚数指定］		クイックメモリー送信をするときに、原稿の総ページ数を付けて送信する機能です。→ p. 2-52
［汚れ軽減モード］		ADF から原稿を読込む場合に、スリットガラスの汚れが読込みデータに及ぼす影響を軽減させる機能です。→ p. 7-41.

ひとこと

以下のキーは、ファクス機能では使用しません。
・「方向指定」の［原稿セット方向］

■ 通信設定



画面表示	説明	
［回線設定］	［海外通信モード］	通信状態の悪いところへ送信する場合に、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信する機能です。→ p. 2-58
	［ECM OFF］	ECM モードを解除して送る機能です。→ p. 7-43
	［V34 OFF］	交換機などの制約によりスーパー G3 モードを使用できない場合に、スーパー G3 モードを解除して送信する機能です。→ p. 7-46
	「宛先確認送信」	誤送信を防止するための機能です。送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合のみ送信します。→ p. 7-52
	「回線指定」	送信に使用する回線を設定します。→ p. 7-57

ひとこと

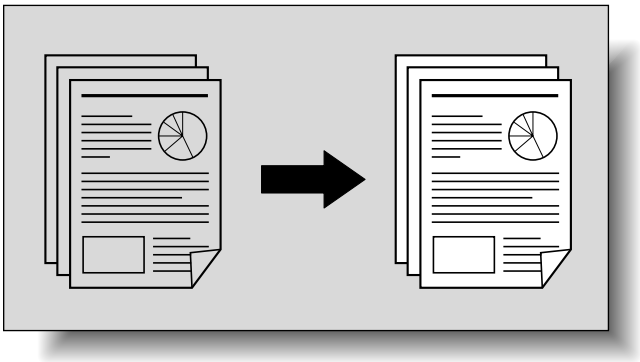
以下のキーは、ファクス機能では使用しません。
・［E-mail 設定］
・［URL 通知先設定］

画面表示	説明	
［送受信方法設定］	［クイックメモリー送信］	1 ページ読込むたびに送信する機能です。→ p. 2-49
	［ポーリング受信］	送信側にセットされている原稿、またはポーリング送信予約された原稿を、受信側からの指示で送信させる機能です。→ p. 9-6
	［タイマー通信］	指定した時刻に通信を開始する機能です。→ p. 2-55
	［パスワード送信］	相手側が閉域通信を設定している場合に、パスワードをつけて送信する機能です。→ p. 7-60
	［ポーリング送信］	受信側からの指示でポーリング送信するために、メモリー内のポーリング送信専用メモリーに読込んだ原稿を蓄積しておく機能です。→ p. 9-2
	［F コード送信］	SUB アドレスと送信 ID（パスワード）を指定することにより、親展通信、中継依頼を使用する機能です。→ p. 7-63、p. 7-66
［ファクス発信元設定］		ファクス送信の際に、ジョブごとに発信元情報のつけ方を指定できます。→ p. 7-69

7.2　背景色の濃度を調整して送る（下地調整）

■ 下地調整とは

下地調整とは、送信データの背景色の濃さを調整する機能です。原稿の背景に色がついている場合、色を読込んで送信データの下地が黒くなることがあります。このような場合に、送信データの背景色の濃さを調整して送信できます。



原則

原稿ガラス、ADF ともに使用できます。

■ 下地調整をして送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［読込み設定］、［画質調整］の順に押します。
4. ［下地調整］を押します。



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 原稿の背景色を濃くしたいときは、［こく］を、薄くしたいときは［うすく］を押します。



6 ［OK］を押します。

画質調整画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

読込み設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

9 必要に応じて、その他の機能を設定します。

10 宛先を指定します。

詳しく説明します

［自動］を選択すると、原稿一枚毎に下地調整を決定するための予備動作を行うので、読込み速度が低下します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

11

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

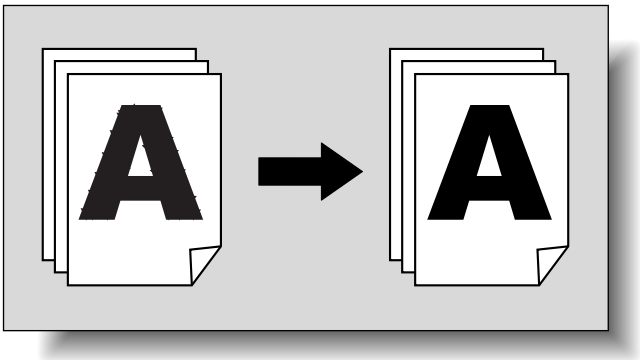
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.3　文字のエッジを強調して送る（シャープネス）

■ シャープネスとは

シャープネスとは、エッジ部分の強さを調整する機能です。文字がぼやけた原稿の場合に、シャープネスで「+」にすると、はっきりした文字に調整できます。また、「-」にすると、なめらかな印象に調整できます。

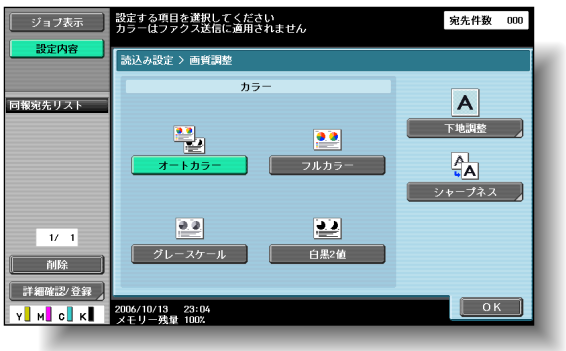


原則

原稿ガラス、ADF ともに使用できます。

■ シャープネスの調整をして送信するには

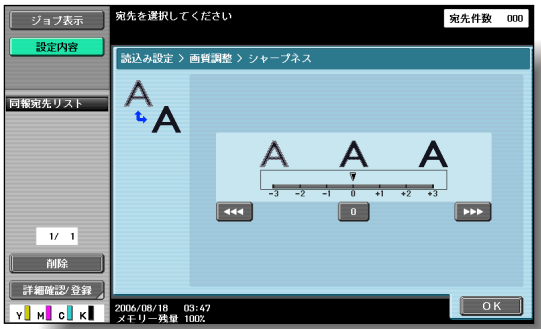
1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［読込み設定］、［画質調整］の順に押します。
4. ［シャープネス］を押します。



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 エッジ部分をはっきりさせたいときは、+ 側に、なめらかにしたいときは - 側に［◀◀◀］または［▶▶▶］を押します。



6 ［OK］を押します。
画質調整画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。
読込み設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

9 必要に応じて、その他の機能を設定します。

10 宛先を指定します。

参照
・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照
宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

11

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

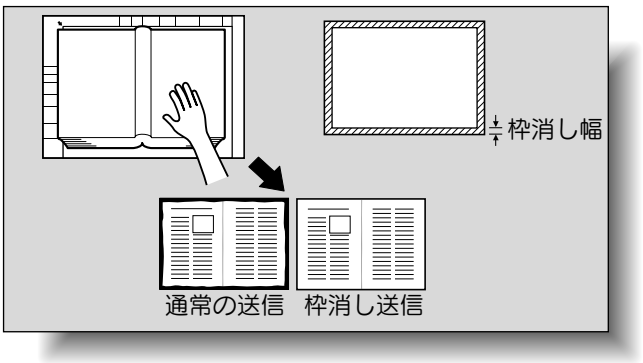
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.4　黒い影を消して送る（枠消し）

■ 枠消しとは

ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読込むときなどに、原稿のまわりに黒い影が付いて送信されることがあります。枠消しとは、冊子になっている原稿を読込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能です。



原則

- 原稿ガラス、ADF ともに使用できます。
- 枠消し量は、0.1 ～ 50 mm の範囲で、0.1 mm きざみで設定できます。
- お買い上げ時の初期値枠消し量：5.0 mm
- 以下の機能とは併用できません。
  クイックメモリー送信、原稿枚数指定、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信、長尺原稿

■ 枠消しの設定をして送信する

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［読込み設定］、［消去］の順に押します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

4 ［枠消し］を押します。



5 ［枠：上］、［枠：左］、［枠：右］、［枠：下］、［枠全体］を選択し、テンキーまたは［-］、［+］を押して、それぞれに枠消し量を設定します。



6 ［OK］を押します。

消去画面に戻ります。

7 ［閉じる］を押します。

読込み設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

・特定の位置の枠消しをしない場合は、目的の枠のキーを押し、［消去しない］を押します。［消去しない］を解除したい場合は、テンキーまたは［+］キーを押して枠消し量を設定すると解除されます。
・枠消しの設定を解除する場合は、［しない］を押します。

9 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3)）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

10 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

11 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

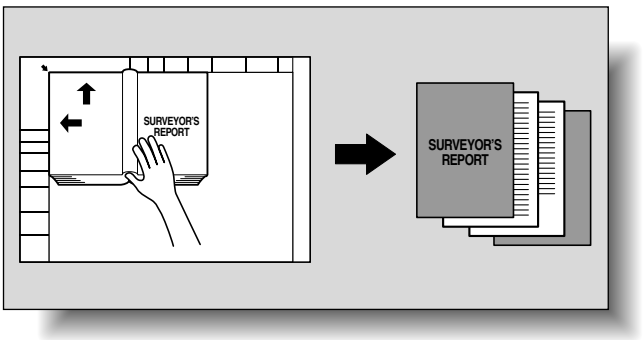
7.5　見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写）

■ ブック連写とは

本やカタログなどをファクス送信する場合に、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信できます。

ブック連写には以下の種類があります。

機能名	説明
［見開き］	見開き原稿が 1 ページ分として送信されます。
［分割］	見開き原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割して送信されます。
［表カバー］	表カバー + ページ順の分割ページの順で送信されます。
［表 + 裏カバー］	表カバー + ページ順の分割ページ + 裏カバーの順で送信されます。



原則

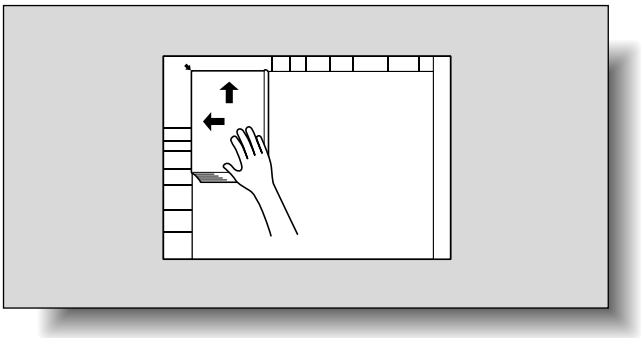
- 原稿は原稿ガラス上にセットします。
- 以下の機能とは併用できません。
  混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとじしろ、原稿枚数指定、クイックメモリー送信、ポーリング受信、仕上りプレビュー

■ ブック連写を設定して送信するには

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

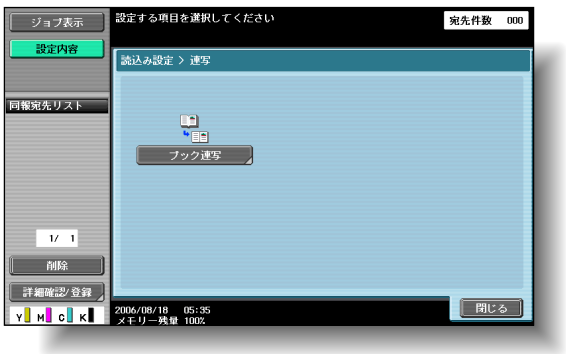
2 原稿ガラス上に最初のページからセットします。

- ❍ 表紙を付ける場合は、最初に表カバーをセットします。



3 ［読込み設定］、［連写］の順に押します。

4 ［ブック連写］を押します。



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

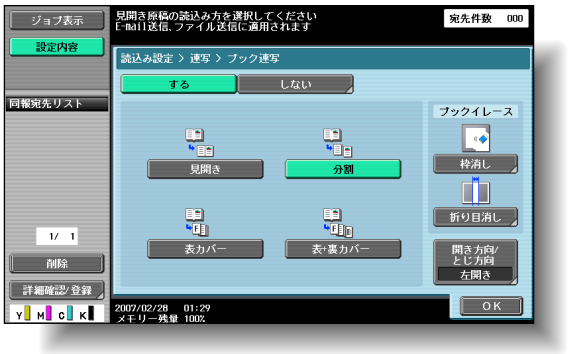
必ず守ってください

表紙を付けて送信する場合、原稿の読込みは、表カバー、裏カバー、見開き本文原稿の順に行います。

5

目的の仕上がり設定を選択し、[OK] を押します。

- [分割] [表カバー]、[表 + 裏カバー] のいずれかを選択すると、[開き方向 / とじ方向] が表示されます。原稿のとじ方向に合わせて選択し、[OK] を押します。
- 必要に応じて、「ブックイレース」を設定します。イレース方法を選択し、消去幅をテンキーまたは [-] [+] で設定して、[OK] を押します。



＜折り目消し画面＞



6

[OK] を押します。

連写画面に戻ります

7

[閉じる] を押します。

読込み設定画面に戻ります。

8

[OK] を押します。

ファクス / スキャン画面へ戻ります。

ひとこと

ブック連写機能を解除するときは [しない] を押します。

詳しく説明します

「ブックイレース」を設定すると、周囲や中央部にできる黒い影を消すことができます。「ブックイレース」は組合わせて使用できます。

詳しく説明します

範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【C】を押して入力しなおしてください。

参照

[枠消し] については、「黒い影を消して送る（枠消し）」(p. 7-12) をごらんください。

9 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

10 宛先を指定します。

- ❍［見開き］、［分割］を設定した場合は、手順 11 へ進みます。
- ❍［表カバー］、［表 + 裏カバー］を設定した場合は、手順 12 へ進みます。

参照

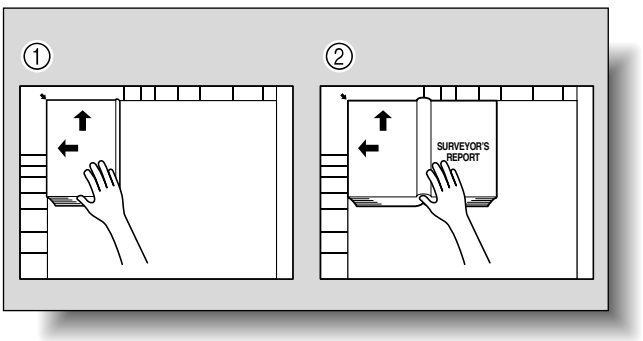
宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

11 【スタート】を押します。

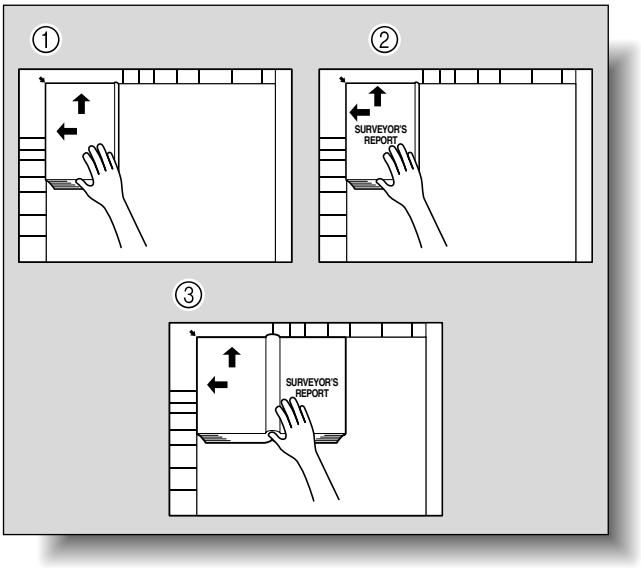
原稿が読込まれます。

12 全ての原稿を読込み、［読込み終了］を押します。

- ❍［表カバー］を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、見開き本文原稿をページ順に読込みます。



❍［表 + 裏カバー］を選択した場合は、表カバーを読込んだあと、裏カバーを読込み、最後に見開き本文原稿をページ順に読込みます。



13

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

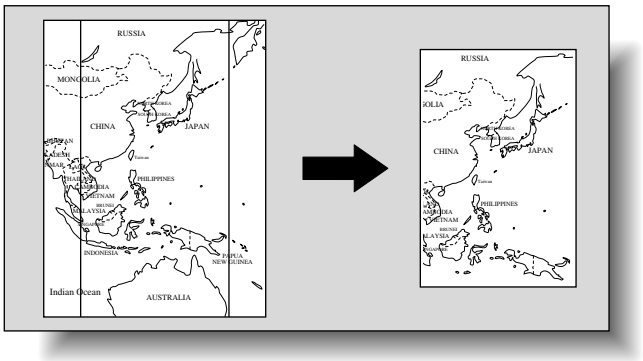
・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.6　原稿を読込むサイズを指定して送る（読込みサイズ）

■ 読込みサイズとは

読込みサイズとは、原稿を読込むサイズを指定して送信する機能です。

受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。



原則

- 原稿を ADF にセットした場合と、原稿ガラスにセットした場合では、原稿の読込み位置が異なります。
- 読込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読込みサイズで指定したサイズが適用されます。
- 以下の機能とは併用できません。
  クイックメモリー送信、ポーリング受信、原稿枚数指定、掲示板ポーリング受信

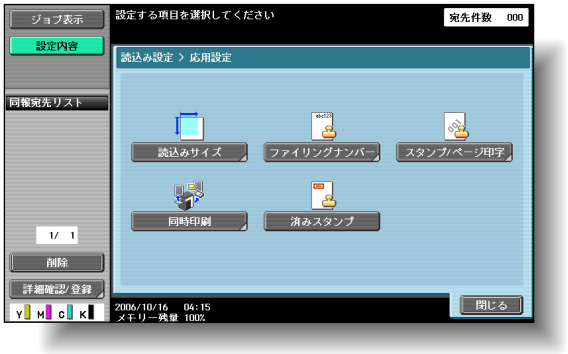
■ 読込みサイズを指定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［読込み設定］、［応用設定］の順に押します。

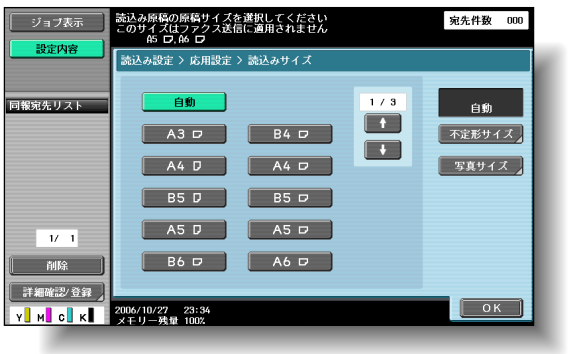
参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

4 ［読込みサイズ］を押します。



5 原稿の状態に合わせ、指定する原稿サイズのキーを押します。



6 ［OK］を押します。

応用設定画面に戻ります。

7 ［閉じる］を押します。

読込み設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

詳しく説明します

- 定型サイズ画面の次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↑］または［↓］を押します。
- 以下の定型サイズは、ファクス送信に適用されません。
  A5 ▭、A6 ▭、
  5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、
  7-1/4 × 10-1/2 ▭/▯、
  8K ▭、16K ▭/▯、
  8 × 13 ▭、はがき ▭/▯

9 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

10 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

11 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.7　ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷）

■ 同時印刷とは

ファクス送信と同時にコピーをする機能です。部数を増やしてコピーをしたり、両面プリント、ステープルとじができます。

原則

- ステープル機能を利用する場合は、オプションのフィニッシャーが必要です。
- 以下の機能とは併用できません。
  クイックメモリー送信、ポーリング送信

ひとこと

ユーザー認証設定の［初期機能制限設定］または［機能制限］で［送信文書印字］が［許可しない］に設定されている場合は、同時印刷機能は使用できません。

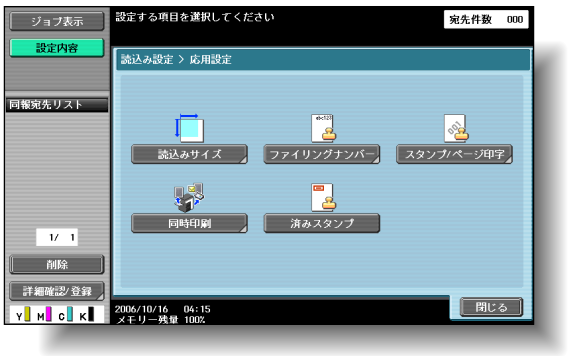
■ 同時印刷を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。

参照

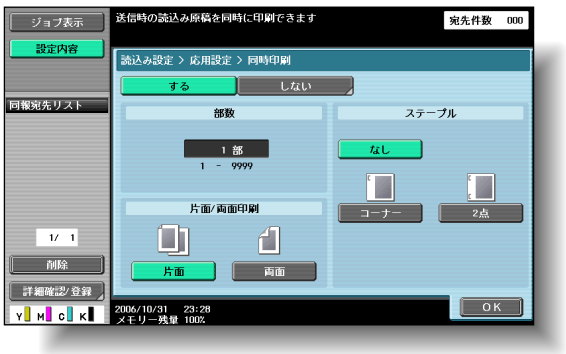
原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3. ［読込み設定］、［応用設定］の順に押します。
4. ［同時印刷］を押します。



5 目的の仕上がり設定を選択し、[OK] を押します。

- 部数を設定する場合は、テンキーで目的の部数を入力します。
- 片面 / 両面印刷を設定する場合は、[片面] または [両面] を押します。
- ステープルとじを設定する場合は、[コーナー] または [2 点] を押し、ステープルとじを解除する場合は、[なし] を押します。



6 [閉じる] を押します。

読込み設定画面に戻ります。

7 [OK] を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

ひとこと

【C】を押すと、部数は 1 部に戻ります。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。同時にコピーされます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

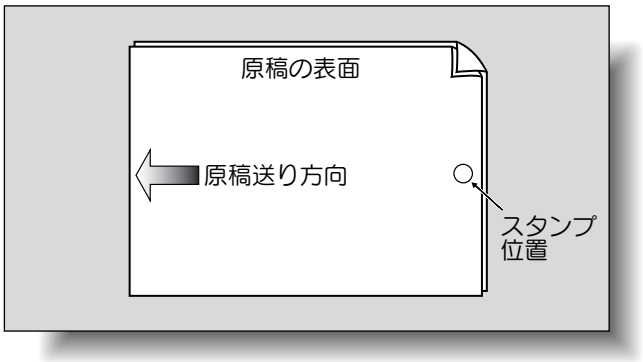
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.8　読み取ったことを確認する（済みスタンプ）

■ 済みスタンプとは

ADF を使用して送信する場合に、読み取った原稿に済みスタンプを付け、1 枚ずつ読み取ったかどうかを確認できます。済みスタンプは、直径 4 mm のピンク色の⊕印で、原稿の表面の後端に下図のようにして付けられます。なお、両面を送信する場合は、表面に済みスタンプが付けられます。



原則

- 済みスタンプ機能を利用する場合は、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。
- スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合は、サービス実施店にお問い合わせください。
- 混載原稿を選択している場合は、上記の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
- 済みスタンプを設定していても、原稿が多重送りした場合などは、済みスタンプは付きません。再度送信してください。
- 実際に、原稿が正しく送られたかどうかについては、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。

ひとこと

クイックメモリー送信を選択している場合、済みスタンプ機能を使用すると、クイックメモリー送信が解除され、メモリー送信になります。

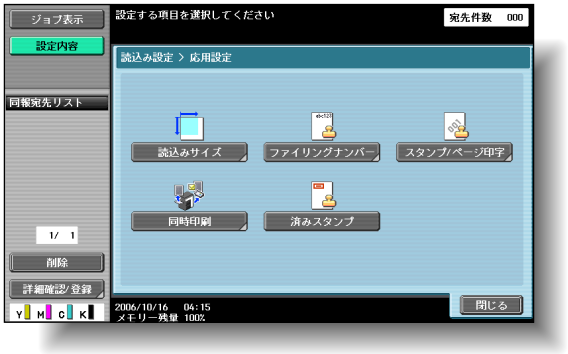
■ 済みスタンプを設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［読込み設定］、［応用設定］の順に押します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

4 ［済みスタンプ］を押します。



5 ［閉じる］を押します。
読込み設定画面に戻ります。

6 ［OK］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

7 必要に応じて、その他の機能を設定します。

8 宛先を指定します。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度［済みスタンプ］を押します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

9

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

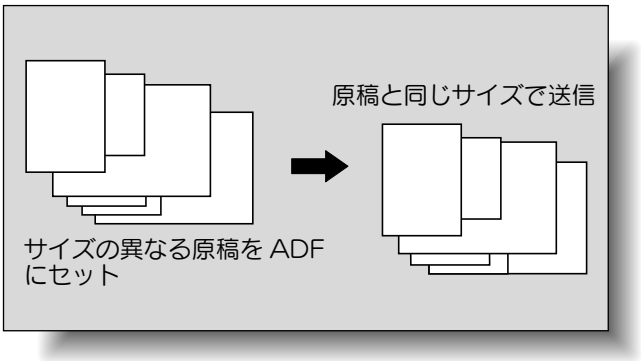
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.9　サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿）

■ 混載原稿とは

混載原稿とは、サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能です。

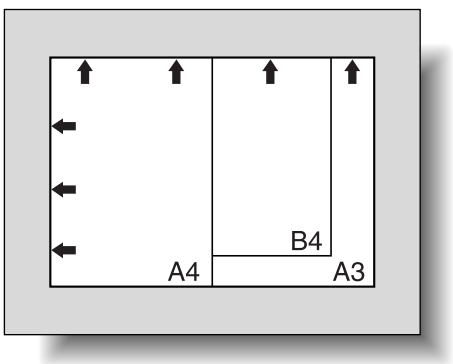


原則

- 読込みサイズと混載原稿を同時に指定した場合は、読込みサイズで指定したサイズが適用されます。
- 以下の機能とは併用できません。
  クイックメモリー送信、原稿枚数指定、Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとじしろ、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信

■ 混載原稿を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. ガイド板を最も大きな原稿のサイズに合わせます。
3. 原稿を図のように送信する面を上向きにして揃えます。



詳しく説明します

混載できる原稿サイズの組合わせは、セットする原稿の最大幅（ガイド板の開き幅）により異なります。

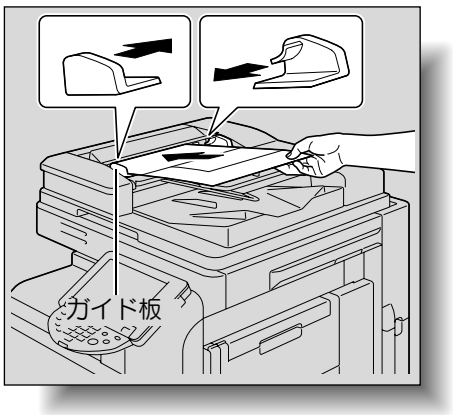
参照

ADF に混載できる原稿サイズの組合わせについては、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

4

原稿の送信する面を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。
ガイド板を原稿に沿わせます。

❍ 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。



5

［原稿設定］を押します。

6

［混載原稿］を押します。



7

［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度［混載原稿］を押します。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

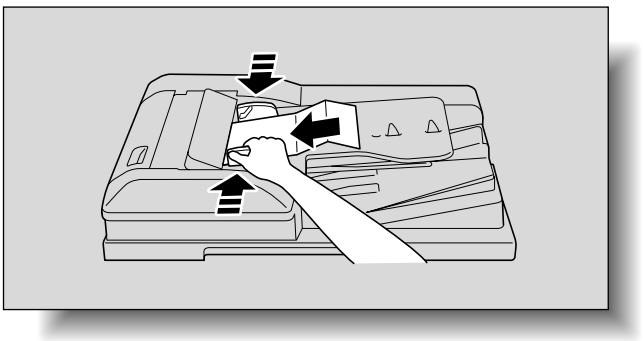
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.10 折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿）

■ Z 折れ原稿とは

折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿を送信する機能です。



原則

- ADF を使用します。原稿ガラスを使用して Z 折原稿の送信をすることはできません。
- 2 枚目以降の原稿は、1 枚目の原稿と同じサイズで送信されます。原稿サイズがページごとに異なる場合は、Z 折れ原稿を設定せず、［混載原稿］を指定してください。
- 以下の機能とは併用できません。
  混載原稿、長尺原稿、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信、連続読込み設定

■ Z 折れ原稿を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［原稿設定］を押します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

4 ［Z 折れ原稿］を押します。



5 ［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

6 必要に応じて、その他の機能を設定します。

7 宛先を指定します。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度［Z 折れ原稿］を押します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

8

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

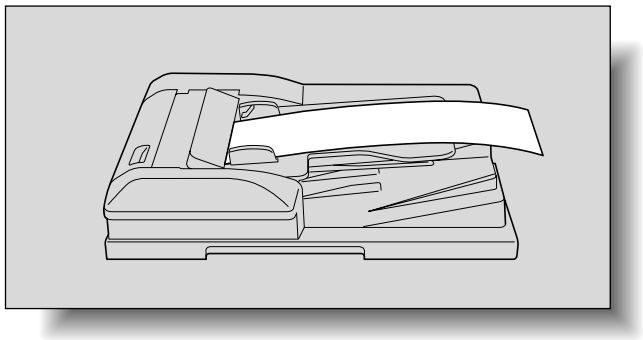
・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.11 長い原稿を送る（長尺原稿）

■ 長尺原稿とは

432 mm より長い原稿を送信する機能です。

長尺原稿を指定することにより、1000 mm までの長さの原稿を送信することができます。



原則

- ADF を使用します。原稿ガラスを使用して長尺原稿の送信をすることはできません。
- 長尺原稿は複数枚の原稿に対応していません。長尺原稿を送信するときは、ADF に 1 枚ずつセットして使用してください。
- 以下の機能とは併用できません。
  両面、枠消し、混載原稿、原稿のとじしろ、連続読込み設定、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信、仕上りプレビュー

■ 長尺原稿を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［原稿設定］を押します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

4 ［長尺原稿］を押します。



5 ［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

6 必要に応じて、その他の機能を設定します。

7 宛先を指定します。

ひとこと

設定を解除するときは、もう一度［長尺原稿］を押します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

8

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

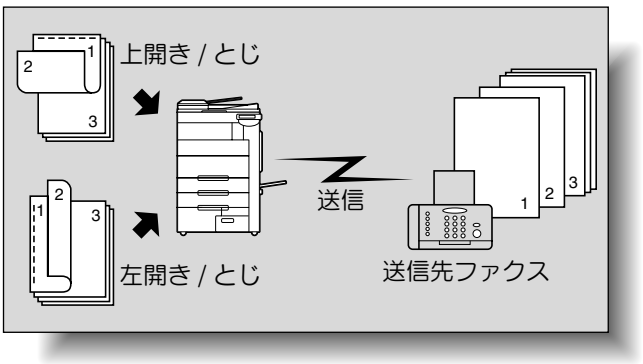
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.12 原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ）

■ 原稿のとじしろとは

ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のとじしろを設定する機能です。両面原稿のとじしろには、原稿の上開きと、原稿の左開きがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。



原則

- ADF を使用します。原稿ガラスを使用して原稿のとじしろ機能を使用することはできません。
- 以下の機能とは併用できません。
  混載原稿、長尺原稿、連続読込み設定、ポーリング受信、掲示板ポーリング受信

■ 原稿のとじしろを指定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［原稿設定］を押します。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

4 ［原稿のとじしろ］を押します。



5 ［上開き / とじ］、［左開き / とじ］、［自動］のいずれかを押し、両面原稿のとじしろを選択します。



6 ［OK］を押します。

原稿設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

10 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.13 スリットガラスの汚れの影響を軽減して送信する（汚れ軽減モード）

■ 汚れ軽減モードとは

ADF から原稿を読込む場合に、スリットガラスの汚れが読込みデータに及ぼす影響を軽減させる機能です。

ひとこと

読取り速度は遅くなります。

参照

スリットガラスの清掃方法については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

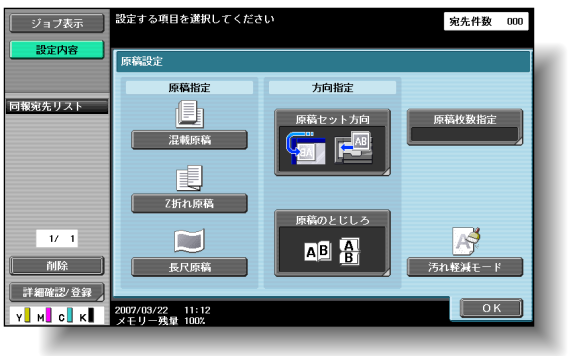
■ 汚れ軽減モードを設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿を ADF にセットします。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3. ［原稿設定］を押します。
4. ［汚れ軽減モード］を押します。



ひとこと

設定を解除するときは、もう一度［汚れ軽減モード］を押します。

5. ［OK］を押します。

   ファクス / スキャン画面に戻ります。

6 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

7 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

8 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「トラブル処置」（p. 5-1）をごらんください。

7.14 ECM モードを解除して送る（ECM OFF）

■ ECM OFF とは

ECM OFF とは、ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送信する機能です。

ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止して通信することができます。

本機では、ECM OFF を設定しない限り、ECM モードで送信されます。

原則

以下の機能とは併用できません。
ポーリング受信、ポーリング送信、V34 OFF、掲示板登録、掲示板ポーリング受信

ひとこと

電話回線の雑音が多い場合、ECM モードは、ECM OFF 時に比べて通信時間が若干長くなることがあります。

■ ECM OFF を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［回線設定］を押します。

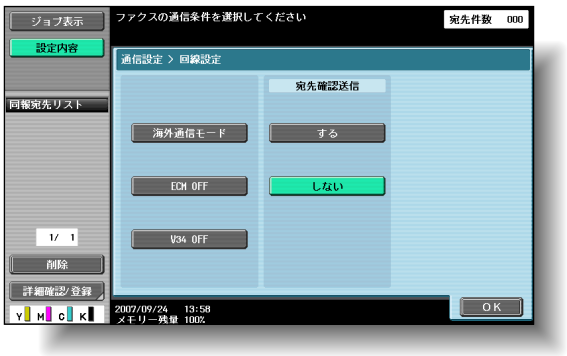


参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 ［ECM OFF］を押します。

回線拡張キットを装着していない場合



回線拡張キットを装着している場合



6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

7 ［閉じる］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ひとこと

設定を解除したいときは、もう一度［ECM OFF］を押します。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

9 宛先を指定します。

10 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.15 スーパー G3 モードを解除して送る（V34 OFF）

■ V34 OFF とは

V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。

このような場合は、［V34 OFF］を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。

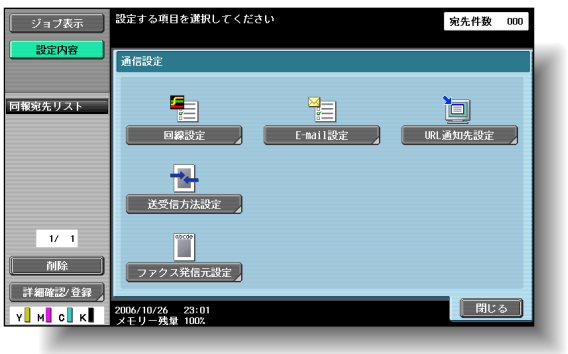
送信が終わると自動的に V34 モードに戻ります。

原則

以下の機能とは併用できません。
ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、ECM OFF

■ V34 OFF を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［回線設定］を押します。

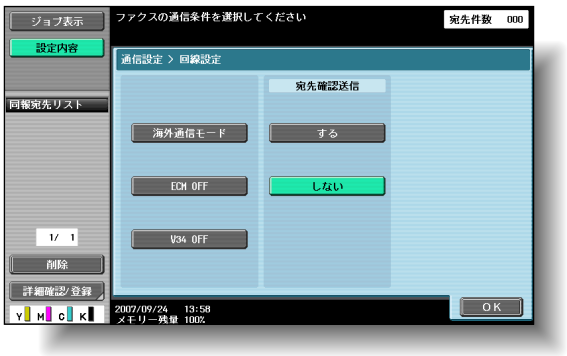


参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 ［V34 OFF］を押します。

回線拡張キットを装着していない場合



回線拡張キットを装着している場合



6 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

7 ［閉じる］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

ひとこと

設定を解除したいときは、もう一度［V34 OFF］を押します。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

9 宛先を指定します。

10 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.16 共有 / 個人 / グループボックスの文書をファクス送信する

共有 / 個人 / グループボックスに保存した文書をファクス送信できます。

ボックスに保存した複数の文書を 1 つのジョブとしてファクス送信する場合は、バインドして送信します。

詳しく説明します

個人ボックスはユーザー認証でログインしているときに、グループボックスは部門認証でログインしているときに使用できます。

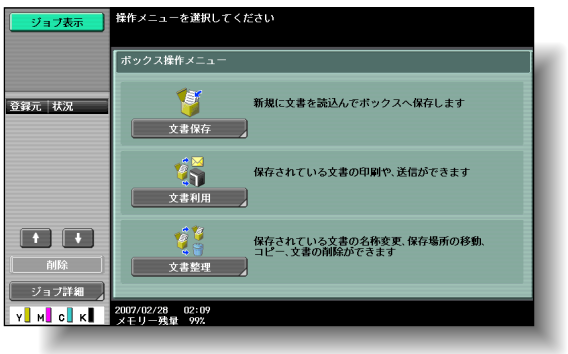
参照

ボックス機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

■ 共有 / 個人 / グループボックスの文書をファクス送信するには

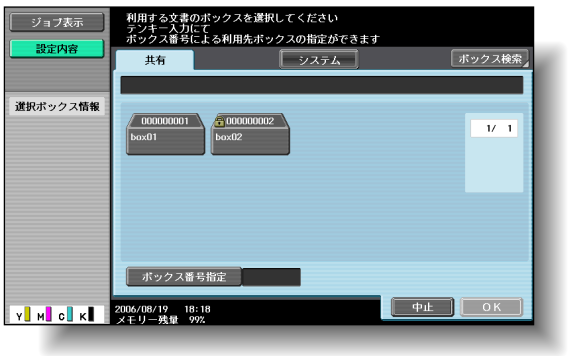
1 【ボックス】を押します。

2 ［文書利用］を押します。



3 [共有]、[個人]、[グループ] タブを選択し、文書利用をしたいジョブがあるボックスを選択して、[OK] を押します。

❍ ボックス閲覧用パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して [OK] を押します。



4 ファクス送信したい文書を選択し、[送信設定] を押します。



5 宛先を指定します。

ひとこと

・[ボックス番号指定] を押し、ボックス番号をテンキーで入力して、[確定] を押すことでもボックスを選択することもできます。
・[個人] タブはユーザー認証でログインしているときに、[グループ] タブは部門認証でログインしているときに表示されます。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-18)、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」(p. 2-28) をごらんください。

6 ［実行］を押します。

ボックスに保存されていた文書は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.17 相手機を確認して送信する（宛先確認送信）

■ 宛先確認送信とは

送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合のみ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。

原則

相手機側に正しいファクス番号が登録されている必要があります。

詳しく説明します

短縮宛先登録時に宛先確認送信を設定することもできます。宛先確認送信設定は、短縮宛先に登録されている内容よりも、ファクス / スキャン画面の通信設定で設定した内容が優先されます。

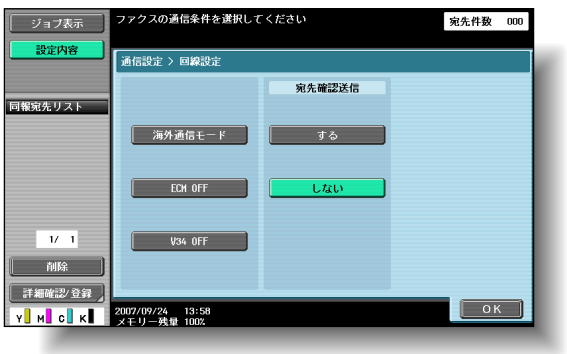
■ 宛先確認送信を設定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［回線設定］を押します。



5. 「宛先確認送信」の［する］を押します。

回線拡張キットを装着していない場合



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

回線拡張キットを装着している場合



6 ［OK］を押します。
通信設定画面に戻ります。

7 ［閉じる］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

9 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

10

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

指定したファクス番号と、相手機に登録されている番号とが一致した場合のみ送信します。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.18 宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能）

■ 宛先確認表示機能とは

宛先指定が完了してスタートキーを押した後、宛先の一覧画面が件数とともに表示されます。宛先を再確認してから送信するので、宛先間違いによる誤送信を防止することができます。

詳しく説明します

宛先確認表示機能を使用するには、［宛先確認表示機能］を［ON］に設定しておく必要があります。詳しくは、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」（p. 11-56）をごらんください。

■ 宛先を再確認して送信するには

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3 必要に応じて、［読込み設定］、［原稿設定］、［通信設定］を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

4 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

5 【スタート】を押します。

宛先確認 / 登録が表示されます。



6 指定した宛先が正しいことを確認して、［送信］または【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

- 送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
- 送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.19 回線を指定して送信する（回線指定）

■ 回線指定とは

回線拡張キットを装着している場合、［回線 1］または［回線 2］を指定して送信できます。

原則

回線拡張キットを装着する必要があります。
また、［複数回線使用設定］の「回線 2 通信設定」が［受信専用］の場合は回線指定できません。

参照

［複数回線使用設定］については、「増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定）」（p. 11-90）をごらんください。

■ 回線を指定して送信するには

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3. ［通信設定］を押します。
4. ［回線設定］を押します。



5 使用する回線を「回線指定」から選択します。



6 ［OK］を押します。
通信設定画面に戻ります。

7 ［閉じる］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

8 必要に応じて、その他の機能を設定します。

9 宛先を指定します。

詳しく説明します

［指定しない］を選択した場合は、回線 1/ 回線 2 のうちから、空いている回線を使用して送信します。両方の回線が空いているときは、回線 1 が優先して使用されます。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

10

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.20 パスワードをつけて送る（パスワード送信）

■ パスワード送信とは

パスワード送信とは、パスワードをつけて送信する機能です。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

原則

- この機能は、相手機が閉域受信（パスワード）機能をもつ弊社機種の場合だけ使用できます。
- 以下の機能とは併用できません。
  ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、F コード送信

■ パスワード送信を設定するには

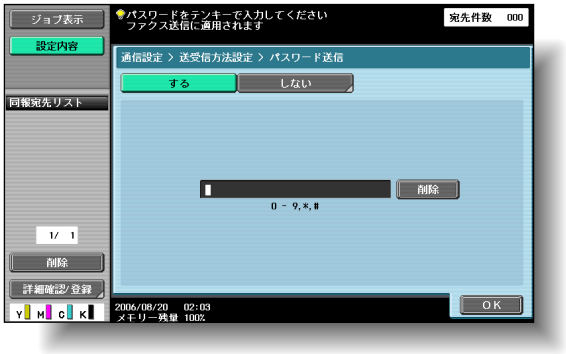
1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［送受信方法設定］を押します。
5. ［パスワード送信］を押します。



参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

6 パスワード（最大 20 桁）をテンキーで入力します。



7 ［OK］を押します。
送受信方法設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。
通信設定画面に戻ります

9 ［閉じる］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

10 必要に応じて、その他の機能を設定します。

11 宛先を指定します。

詳しく説明します

・パスワードには、0 ～ 9 までの数字、#、＊を入力することができます。
・誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
・【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
・設定を解除するときは、［しない］を押します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

12

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

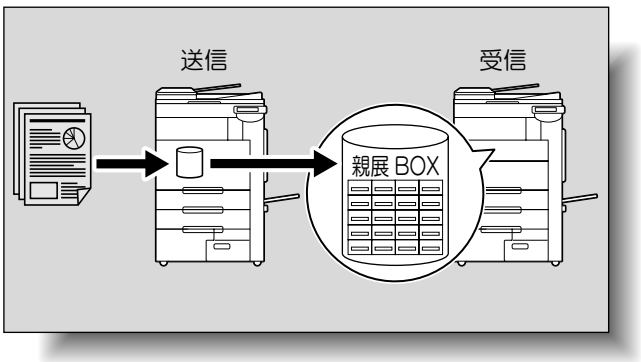
参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

7.21 親展送信をする（F コード送信）

■ 親展送信とは

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい文書を、親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。ここでは、親展送信をする手順について説明します。



原則

- 親展送信をするためには、相手機に親展ボックスや通信パスワードが設定されている必要があります。
- 通信パスワードは相手機により必要ない場合があります。
- この機能は、相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。
- 以下の機能とは併用できません。
  ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、パスワード送信

参照

F コードについては、「ファクス用語集」（p. 13-19）をごらんください。

■ 親展送信をするには

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 原稿をセットします。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3 ［通信設定］を押します。

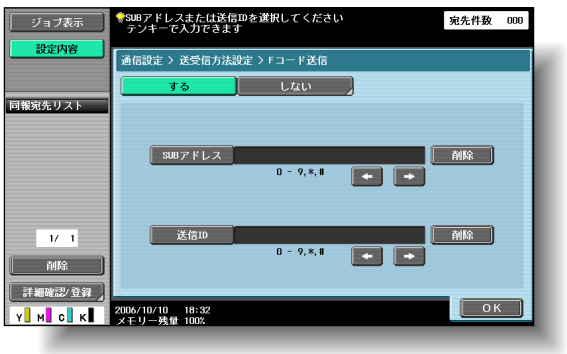
4 ［送受信方法設定］を押します。

5 ［F コード送信］を押します。



6 ［SUB アドレス］を押し、相手機の親展ボックス番号をテンキーで入力します。

❍ 通信パスワードが必要な場合は、［送信 ID］を押し、通信パスワードを入力します。



7 ［OK］を押します。

送受信方法設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

9 ［閉じる］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

詳しく説明します

・［SUB アドレス］と［送信 ID］には、20 桁まで入力することができます。相手機が FK-502 の場合、親展ボックス番号は 9 桁以内、通信パスワードは 8 桁以内を入力します。それ以外の場合は、相手機により異なります。
・［送信 ID］には、0 ～ 9 までの数字、#、＊を入力することができます。
・誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
・【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
・設定を解除するときは、［しない］を押します。

10 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

11 宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

12 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

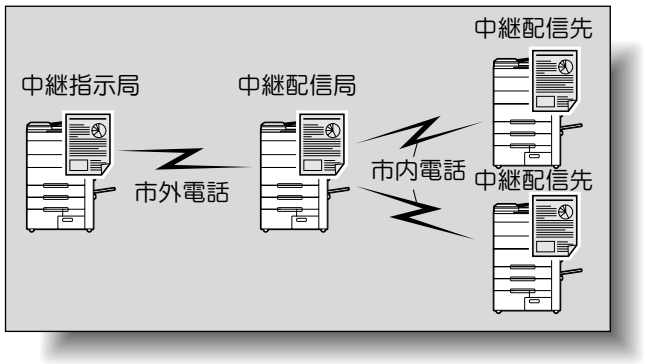
ひとこと

原稿の登録を中止したい場合は、【ストップ】を押します。

7.22 中継先を指定して送る（F コード送信）

■ 中継先指定とは

中継依頼とは、いったん中継配信局に文書を送信し、中継配信局から送信先に同報する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合には、中継配信局と中継配信先を地域別にグループ化しておくことにより、全体の通信コストを削減することができます。



原則

- 中継依頼を行うファクスを「中継指示局」、実際に中継同報を行うファクスを「中継配信局」、最終的に受信するファクスを「中継配信先」と呼びます。
- 中継依頼をするためには、中継配信局となるファクスに、中継ボックス番号、中継パスワード、宛先グループ番号が設定されている必要があります。
- この機能は中継配信局となる相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。
- 以下の機能とは併用できません。
  ポーリング送信、ポーリング受信、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、パスワード送信

■ 中継先指定を設定するには

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 原稿をセットします。

詳しく説明します

- 本機では、中継ボックスを設定することで、中継配信局としてもご利用できます。本機を中継配信局として使用するには、設定メニューの［中継受信機能］を［ON］に設定して、中継ボックスを登録する必要があります。詳しくは、「中継ボックスを設定する」（p. 10-40）、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」（p. 11-56）をごらんください。
- 中継配信局において、設定メニューの［中継印刷］を［ON］に設定すると、中継配信後に中継した文書をプリントします。詳しくは、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」（p. 11-56）をごらんください。

参照

F コードについては、「ファクス用語集」（p. 13-19）をごらんください。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

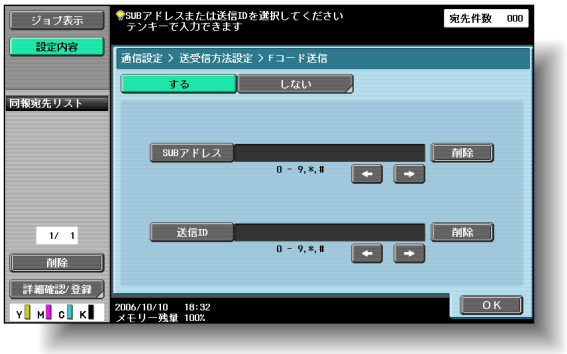
3 ［通信設定］を押します。

4 ［送受信方法設定］を押します。

5 ［F コード送信］を押します。



6 ［SUB アドレス］に中継局の中継ボックス番号をテンキーで入力します。



7 ［送信 ID］を押し、中継パスワードを入力します。

8 ［OK］を押します。
送受信方法設定に戻ります。

9 ［OK］を押します。
通信設定画面に戻ります。

10 ［閉じる］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

詳しく説明します

- ［SUB アドレス］と［送信 ID］には、20 桁まで入力することができます。
- 中継パスワードは必須です。［送信 ID］には、0 ～ 9 までの数字、#、＊を入力することができます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
- 設定を解除するときは、［しない］を押します。

11 必要に応じて、その他の機能を設定します。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

12 中継配信局の宛先を指定します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

13 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

原稿の登録を中止したい場合は、【ストップ】を押します。

7.23 発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）

■ ファクス発信元設定とは

ファクス送信のときに、ジョブごとに発信元情報をつけるかどうかを指定できます。

発信元情報として原稿に付加する内容は、設定メニューの［発信元 / ファクス ID 登録］で登録します。

発信元情報のつけ方は、設定メニューの［発信元 / 受信情報］で設定します。

参照

・［発信元 / ファクス ID 登録］については「発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）」（p. 11-44）を、［発信元 / 受信情報］については「発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）」（p. 11-47）をごらんください。

・発信元情報の記録位置については、「発信元情報について」（p. 2-61）をごらんください。

■ ファクス発信元設定をするには

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 原稿をセットします。

参照

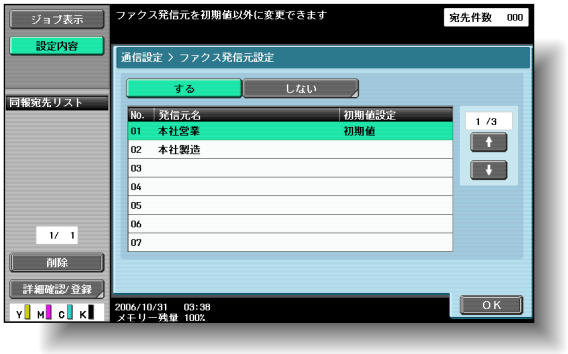
原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

3 ［通信設定］を押します。

4 ［ファクス発信元設定］を押します。



5 発信元情報をつけるかどうかを指定します。



6 発信元名を変更する場合は、リストから目的の発信元名を選択します。

7 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

8 ［閉じる］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

9 必要に応じて、その他の機能を設定します。

10 宛先を指定します。

詳しく説明します

設定メニューの［発信元情報］が［OFF］に設定されている場合、ファクス発信元設定画面から［ファクス発信元設定］を［する］に変更すると、発信元情報は原稿外に付加されます。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」（p. 2-18）、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」（p. 2-28）をごらんください。

11

【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、予約ジョブとしてメモリーに蓄積され、送信が開始されます。

ひとこと

受信側が話中などで送信できない場合はリダイアルされます。リダイアルについては「送信できないときは」（p. 2-37）をごらんください。

参照

・送信を中止する場合は「送信を中止する」（p. 2-43）をごらんください。
・送信できない場合は「送信できない」（p. 5-2）をごらんください。

第 8 章
便利な受信

便利なファクス受信について説明します。

8.1　外部電話から受信の指示をする（リモート受信）..... 8-2
8.2　親展受信した文書を利用する 8-4
8.3　強制メモリー受信した文書を取り扱う 8-6
8.4　受信時の記録 8-8

8.1　外部電話から受信の指示をする（リモート受信）

■ リモート受信とは

リモート受信とは、外部電話でリモート受信番号を入力することで、外部電話から受信の指示をすることです。

リモート受信番号は、設定メニューの［リモート受信設定］で変更することができます。

原則

リモート受信を使用する場合は、設定メニューの［受信方式］を［手動受信］に設定してください。

詳しく説明します

設定メニューの［受信方式］が［自動受信］に設定されている場合は、リモート受信させる前に自動受信します。

参照

・［リモート受信設定］を変更する操作については「リモート受信を設定する（リモート受信設定）」（p. 11-69）をごらんください。
・手動受信に設定する操作については、「発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）」（p. 11-50）をごらんください。

■ リモート受信をするには

1　電話の呼び出し音が鳴ったら、外部電話の受話器を上げ、相手がファクスであることを確認します。

2　外部電話で、リモート受信番号（2 桁）をダイアルします。

受信が開始されます。

詳しく説明します

・操作の前に、［リモート受信設定］が有効になっていることを確認してください。リモート受信機能を使用する場合は、0 ～ 9、*、# を使用してリモート受信番号（2 桁）を設定してください。
・相手がファクスの場合は、「ピーッ」という音がするか、または無音です。

3 受話器を戻します。

詳しく説明します

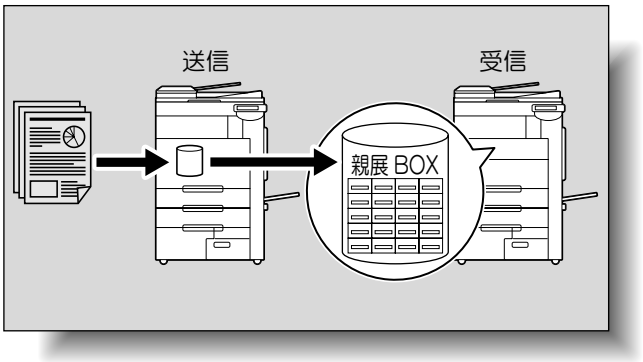
・コピー等で原稿読込み中は、ファクスを受信できませんが、外部電話を接続している場合は、リモート受信機能を使用することで、原稿読込み中でもファクスを受信できます。

・ダイアル（パルス）回線でリモート受信を利用する場合、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持っていない外部電話ではパルス回線でリモート受信ができませんので、ご注意ください。パルスをトーンに切り替える機能については、電話機の取扱説明書をごらんください。

8.2　親展受信した文書を利用する

■ 親展受信とは

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。ここでは、親展ボックス内の受信文書をプリントする手順、親展ボックス内の受信文書を削除する手順についてそれぞれ説明します。



原則

- 本機で親展受信をする場合は、p. 10-33 を参照して、親展ボックスや通信パスワードを設定してください（通信パスワードは省略可能）。
- 親展ボックス番号と通信パスワードは、親展送信する相手に知らせてください。
- この機能は、相手機が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

参照

F コードについては、「ファクス用語集」（p. 13-19）をごらんください。

■ 親展受信した文書をプリントする

親展受信すると親展受信レポートが自動的にプリントされます。親展ボックスに登録されている文書をプリントしたい場合は、次の手順で操作します。

1 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2 ［文書利用］を押します。

3 「親展ボックス」として指定したボックスを選択し、［OK］を押します。

❍ ボックス閲覧用パスワードが設定されている場合は、表示された画面でパスワードを入力し、［OK］を押します。

4 プリントしたい親展受信文書を選択し、[印刷設定]を押します。

5 必要に応じて、印刷設定をします。

6 [実行]または【スタート】を押します。

指定した親展ボックス内の文書がプリントされます。

ひとこと

次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑]または[↓]を押します。

ひとこと

[中止]を押すと、操作が中止されます。

■ 親展受信した文書を削除する

親展ボックスに登録されている文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2 [文書整理]を押します。

3 「親展ボックス」として指定したボックスを選択し、[OK]を押します。

❍ ボックス閲覧用パスワードが設定されている場合は、表示された画面でパスワードを入力し、[OK]を押します。

4 削除したい親展受信文書を選択し、[削除]を押します。

5 表示された確認画面で[はい]を押し、[OK]を押します。

指定した親展ボックス内の文書が削除されます。

ひとこと

・次の画面または前の画面を表示したい場合は、[↑]または[↓]を押します。
・[中止]を押すと、操作が中止されます。

参照

その他の文書整理の操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

削除を中止する場合は、[いいえ]を押し、[OK]を押します。

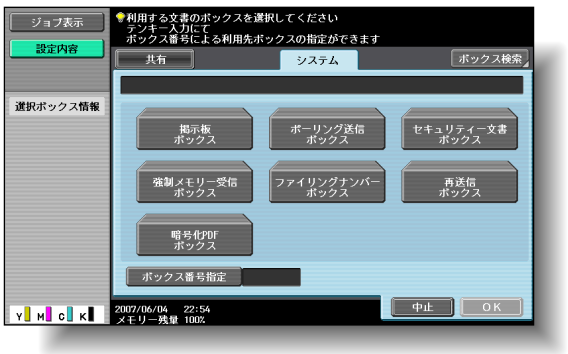
8.3　強制メモリー受信した文書を取り扱う

受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントすることができます。この機能を強制メモリー受信と呼びます。ここでは、強制メモリー受信が設定されている場合に、受信文書をプリントする手順、受信文書を削除する手順について説明します。

■ 受信文書をプリントする

メモリーに蓄積されている受信文書をプリントしたい場合は、次の手順で操作します。

1. 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。
2. ［文書利用］を押します。
3. ［システム］押します。
4. ［強制メモリー受信ボックス］を押し、［OK］を押します。



5. パスワードを入力し、［OK］を押します。
6. プリントしたい受信文書を選択し、［印刷］を押します。

   指定した受信文書がプリントされます。

参照

強制メモリー受信の設定については「強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）」（p. 11-62）をごらんください。

ひとこと

・［中止］を押すと、操作が中止されます。
・【C】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

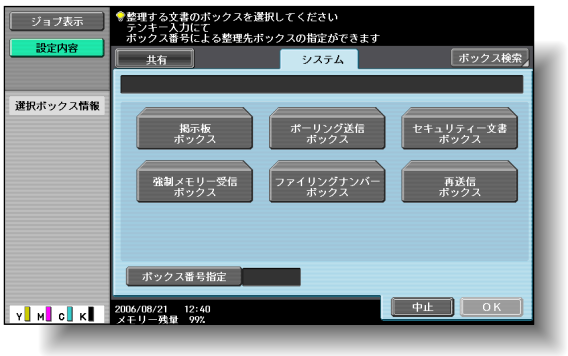
ひとこと

・次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↑］または［↓］を押します。
・［中止］を押すと、操作が中止されます。

■ 受信文書を削除する

メモリーに蓄積されている受信文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1. ［文書整理］を押します。
2. ［システム］押します。
3. ［強制メモリー受信ボックス］を押し、［OK］を押します。



4. パスワードを入力し、［OK］を押します。
5. 削除したい受信文書を選択し、［削除］を押します。
6. 表示された確認画面で［はい］を押し、［OK］を押します。

   指定した受信文書が削除されます。

ひとこと

・［中止］を押すと、操作が中止されます。
・【C】を押すと、入力した内容が全て削除されます。

ひとこと

・次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↑］または［↓］を押します。
・［中止］を押すと、操作が中止されます。

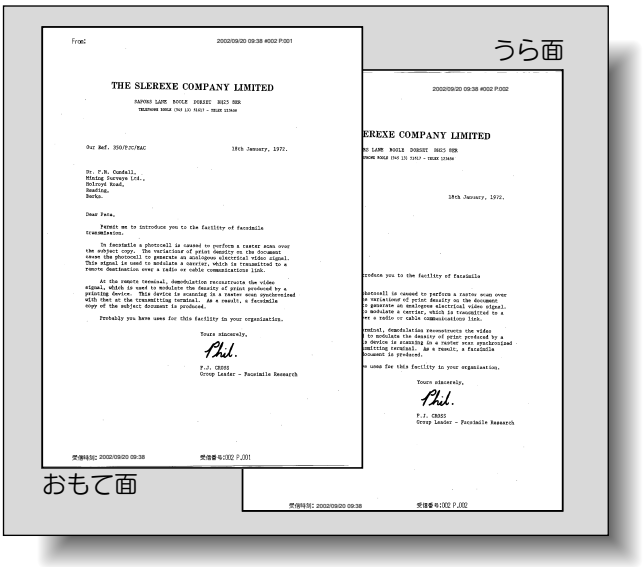
詳しく説明します

削除を中止する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

8.4　受信時の記録

■［受信原稿両面印刷］が［ON］に設定されているときは

設定メニューの［受信原稿両面印刷］が［ON］に設定されている場合は、用紙の両面に記録されます。



参照

詳しくは、「送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）」（p. 11-53）をごらんください。

第９章
ポーリング

ポーリング送信、ポーリング受信について説明します。

9.1　相手先の指示で文書を送信する（ポーリング送信）..... 9-2
9.2　本機の指示で相手先の文書を受信する（ポーリング受信）..... 9-6
9.3　文書を指定してポーリングする（掲示板）..... 9-8

9.1　相手先の指示で文書を送信する（ポーリング送信）

■ ポーリング送信とは

ポーリング送信とは、受信側からのポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ内蔵ハードディスクに文書を蓄積しておく機能です。

ポーリング送信を指示した文書は、システムボックスのポーリング送信ボックスに蓄えられ、受信側からのポーリング指示で送信が開始されます。ポーリング送信には、ポーリング送信ボックスに文書を蓄積しておくポーリング送信と、掲示板ボックスに文書を蓄積しておく掲示板ポーリング送信があります。ここでは、ポーリング送信ボックスを使ったポーリング送信について説明します。

原則

- ポーリング送信は 1 文書のみ登録できます。
- 自動的にメモリー送信が設定されます。
- 以下の機能とは併用できません。
  同時印刷、クイックメモリー送信、原稿枚数指定、ポーリング受信、タイマー通信、海外通信モード、ECM OFF、F コード送信、パスワード送信、V34 OFF、掲示板登録、掲示板ポーリング受信

ひとこと

ユーザー認証設定の［機能制限］で［蓄積文書操作］が［許可しない］に設定されている場合は、ポーリング送信機能は使用できません。

参照

- 掲示板を使ったポーリング送信については「掲示板に文書を登録する」（p. 9-8）をごらんください。
- ポーリング送信文書のプリント、削除の操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

■ ポーリング送信文書を予約するには

ポーリング送信をする場合は、次の手順で操作します。

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［送受信方法設定］を押します。

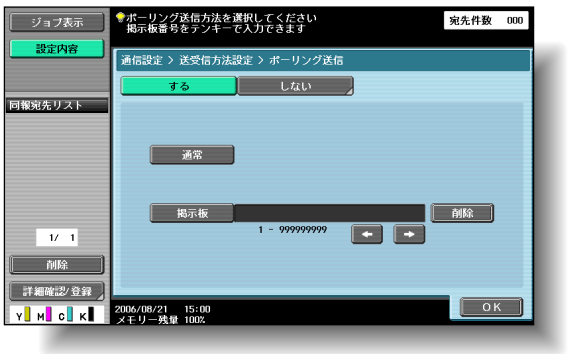
参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

5 ［ポーリング送信］を押します。



6 ［通常］を押します。



7 ［OK］を押します。
送受信方法設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。
通信設定画面に戻ります。

9 ［閉じる］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

設定を解除するときは、［しない］を押します。

10 必要に応じて、その他の機能を設定します。

11 【スタート】を押します。

読込んだ原稿は、ポーリング送信文書としてメモリーに蓄積され、受信側からポーリングの指示がくると送信されます。

参照

- 読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
- 原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
- 通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

■ ポーリング送信ボックスの文書をプリントするには

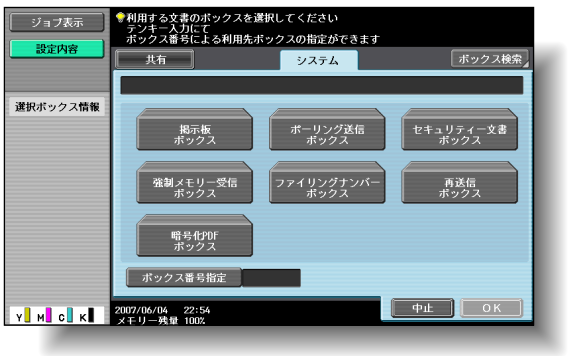
ポーリング送信ボックスの文書をプリントできます。

1 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2 ［文書利用］を押します。

3 ［システム］を押します。

4 ［ポーリング送信ボックス］を押し、［OK］を押します。



5 ［実行］または【スタート】を押します。

ポーリング送信ボックス内の文書がプリントされます。

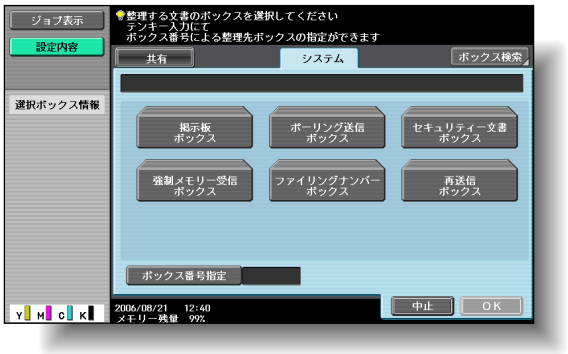
ひとこと

［中止］を押すと、操作が中止されます。

■ ポーリング送信ボックス内の文書を削除するには

ポーリング送信ボックスに登録されている文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1. 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。
2. ［文書整理］を押します。
3. ［システム］を押します。
4. ［ポーリング送信ボックス］を押し、［OK］を押します。



5. ［削除］を押します。
6. 表示された確認画面で［はい］を押し、［OK］を押します。

   ポーリング送信ボックス内の文書が削除されます。

参照

その他の文書整理の操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

削除を中止する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

9.2　本機の指示で相手先の文書を受信する（ポーリング受信）

■ ポーリング受信とは

ポーリング受信とは、送信側にセットされている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

複数の宛先を指定してポーリング受信することを、順次ポーリング受信と呼びます。

順次ポーリング受信が終了すると、順次ポーリング受信結果レポートがプリントされます。

原則

以下の機能とは併用できません。
クイックメモリー送信、枠消し、読込みサイズ、原稿枚数指定、混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとじしろ、親展送信、中継依頼、ECM OFF、海外通信モード、ポーリング送信、パスワード送信、V34 OFF、連続読込み設定、掲示板登録、掲示板ポーリング受信、仕上りプレビュー

■ ポーリング受信をするには

ポーリング受信には、通常のポーリング受信と、相手機の掲示板に登録されている原稿をポーリングする掲示板ポーリング受信があります。ここでは、通常のポーリング受信について説明します。

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. ［通信設定］を押します。
3. ［送受信方法設定］を押します。
4. ［ポーリング受信］を押します。



ひとこと

相手機により使用できない場合があります。

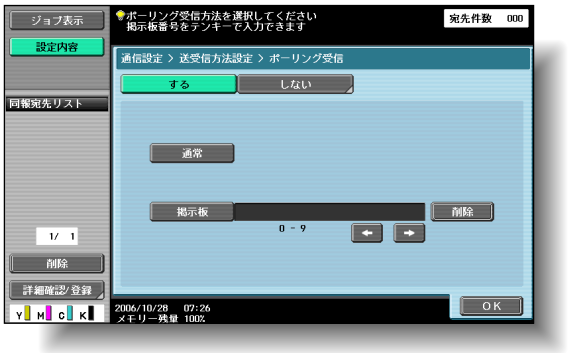
参照

ポーリング受信結果レポートについては「ポーリング受信結果レポート」（p. 12-13）を、順次ポーリング受信結果レポートについては「順次ポーリング受信結果レポート」（p. 12-15）を参照してください。

参照

掲示板を使ったポーリング受信については「掲示板の文書をポーリング受信する」（p. 9-12）をごらんください。

5 ［通常］を押します。



6 ［OK］を押します。

送受信方法設定画面へ戻ります。

7 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

8 ［閉じる］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

9 宛先を指定します。

10 【スタート】を押します。

送信側にセットされた文書、またはポーリング送信予約された文書の受信が始まります。

ひとこと

設定を解除するときは、［しない］を押します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-18)、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」(p. 2-28) をごらんください。

ひとこと

ポーリング受信を中止する場合は、【リセット】を押します。

参照

受信できない場合は「受信できない」(p. 5-3) をごらんください。

9.3　文書を指定してポーリングする（掲示板）

本機では、掲示板を登録し、閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておくことができます。ここでは、文書を掲示板に登録する手順、相手機の掲示板に登録された文書をポーリング受信する手順についてそれぞれ説明します。

原則

この機能は、相手機が F コード機能を持つ機種の場合にだけ使用できます。

■ 掲示板に文書を登録する

掲示板に文書を登録したい場合は、次の手順で操作します。

原則

- ひとつの掲示板に登録できる文書は 1 文書だけです。指定した掲示板にすでに別の文書が登録されている場合は、上書きされます。
- 掲示板登録と、以下の機能とは併用できません。
  同時印刷、クイックメモリー送信、原稿枚数指定、ポーリング送信、タイマー通信、海外通信モード、ECM OFF、パスワード送信、V34 OFF、F コード送信

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 原稿をセットします。
3. ［通信設定］を押します。
4. ［送受信方法設定］を押します。
5. ［ポーリング送信］を押します。



ひとこと

ユーザー認証設定の［機能制限］で［蓄積文書操作］が［許可しない］に設定されている場合は、掲示板機能は使用できません。

参照

F コードについては、「ファクス用語集」（p. 13-19）をごらんください。

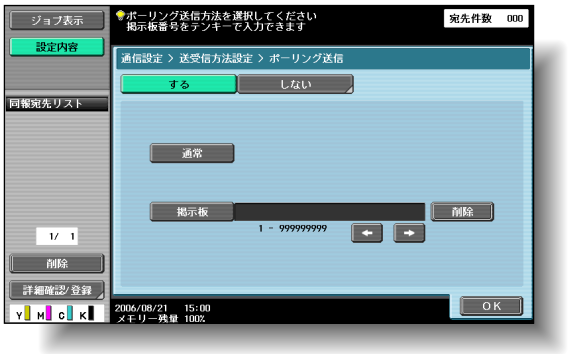
ひとこと

掲示板はあらかじめ登録しておく必要があります。掲示板の登録方法については、「掲示板を設定する」（p. 10-37）をごらんください。

参照

原稿のセットについては、「原稿をセットする」（p. 2-7）をごらんください。

6 ［掲示板］を押し、テンキーで文書を登録する掲示板のボックス番号を入力します。



7 ［OK］を押します。

送受信方法設定画面に戻ります。

8 ［OK］を押します。

通信設定画面に戻ります。

9 ［閉じる］を押します。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

10 必要に応じて、その他の機能を設定します。

11 【スタート】を押します。

読込んだ原稿が掲示板に登録されます。

詳しく説明します

ボックス番号は 1 ～ 999999999（9 桁）までの番号を入力します。ボックス番号が「000000005」のような場合は、「5」と入力できます。

ひとこと

・誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
・【C】を押すと、入力した掲示板ボックス番号がすべて削除されます。
・設定を解除するときは、［しない］を押します。

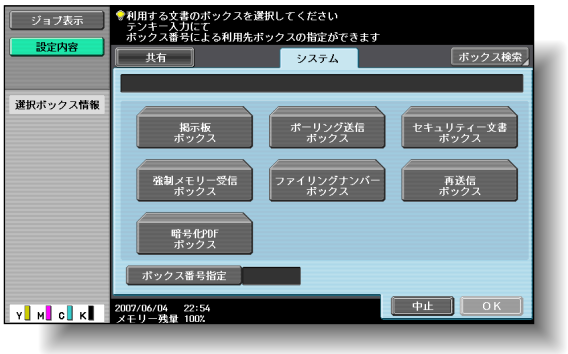
参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

■ 掲示板文書をプリントする

掲示板ボックスの文書をプリントできます。

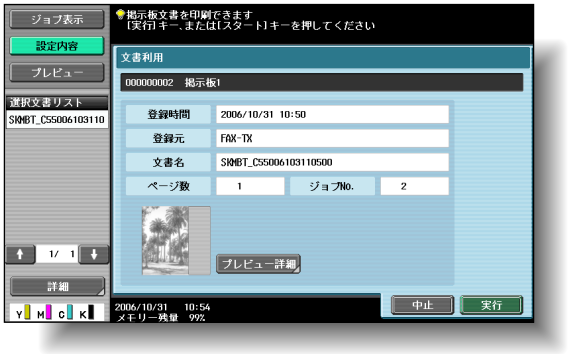
1. 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。
2. ［文書利用］を押します。
3. ［システム］を押します。
4. ［掲示板ボックス］を押し、［OK］を押します。



5. プリントをしたい掲示板ボックスを選択し、［OK］を押します。



6 ［実行］または【スタート】を押します。



掲示板文書がプリントされます。

■ 掲示板ボックスの文書を削除する

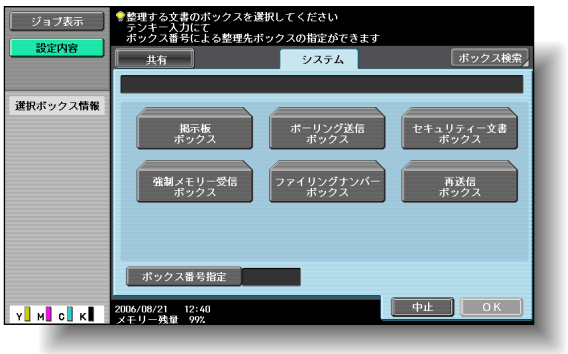
掲示板ボックスに登録されている文書を削除したい場合は、次の手順で操作します。

1 【ボックス】を押し、ボックス画面を表示します。

2 ［文書整理］を押します。

3 ［システム］を押します。

4 ［掲示板ボックス］を押し、［OK］を押します。



5 削除したい文書のあるボックスを選択し、［OK］を押します。



6 ［削除］を押します。

7 表示された確認画面で［はい］を押し、［OK］を押します。

指定した掲示板ボックス内の文書が削除されます。

■ 掲示板の文書をポーリング受信する

相手機の掲示板に登録されている文書を、ポーリング受信することができます。ポーリング受信する場合は、次の手順で操作します。

原則

掲示板ポーリング受信と、以下の機能とは併用できません。
クイックメモリー送信、メモリー送信、枠消し、読込みサイズ、原稿枚数指定、混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとじしろ、ポーリング送信、海外通信モード、ECM OFF、パスワード送信、F コード送信、V34 OFF、連続読込み設定

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 ［通信設定］を押します。

3 ［送受信方法設定］を押します。

ひとこと

［閉じる］を押すと、操作が中止されます。

参照

その他の文書整理の操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

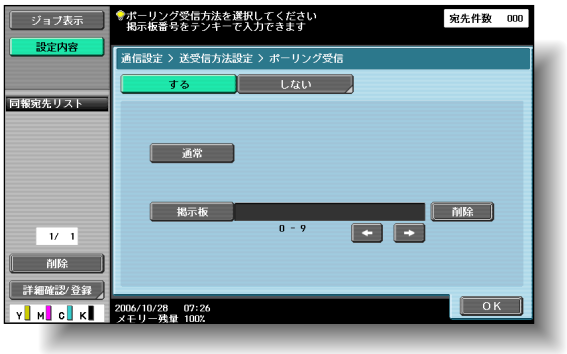
詳しく説明します

削除を中止する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

4 ［ポーリング受信］を押します。



5 ［掲示板］を押し、テンキーで掲示板番号を入力します。



6 ［OK］を押します。
送受信方法設定画面に戻ります。

7 ［OK］を押します。
通信設定画面に戻ります。

8 ［閉じる］を押します。
ファクス / スキャン画面に戻ります。

9 宛先を指定します。

10 【スタート】を押します。
相手機の掲示板のポーリング受信がスタートします。

詳しく説明します

- ［掲示板］には、20 桁まで入力することができます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して訂正します。
- 【C】を押すと、入力した掲示板番号がすべて削除されます。
- 設定を解除するときは、［しない］を押します。

参照

宛先の指定については「宛先を 1 箇所だけ指定する」(p. 2-18)、「複数の宛先を指定する（順次同報送信または同報送信）」(p. 2-28) をごらんください。

第 10 章
登録 / 設定する

短縮宛先やプログラム宛先などの登録方法を説明しています。

10.1　ファクス登録の画面を表示する 10-2
10.2　短縮宛先を登録する 10-4
10.3　グループ宛先を登録する 10-15
10.4　プログラム宛先を登録する 10-20
10.5　宛先レベルを変更する（宛先レベル設定）..... 10-26
10.6　着信拒否宛先を登録する 10-29
10.7　親展ボックスを設定する 10-33
10.8　掲示板を設定する 10-37
10.9　中継ボックスを設定する 10-40
10.10 強制メモリー受信ボックスを設定する 10-44

10.1 ファクス登録の画面を表示する

■ ファクス/スキャン宛先登録画面を表示するには

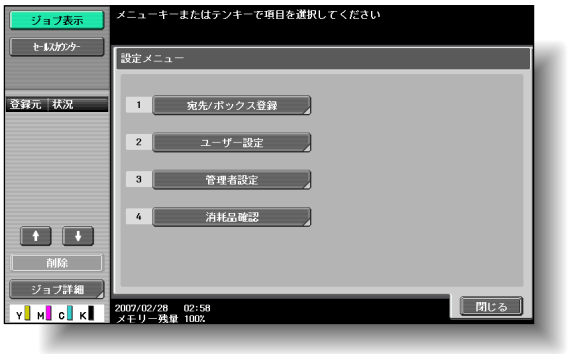
ファクス / スキャン宛先登録画面を表示する場合は、次の手順で操作します。



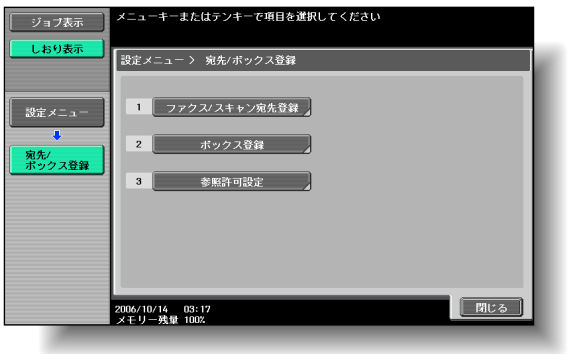
ファクス登録は、PageScope Web Connection でも行うことができます。
PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス管理ユーティリティーです。
ネットワークに接続しているコンピューターで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection にアクセスして本機の設定を変更できます。
設定を変更するために本機のそばに行かなくても、手元のコンピューターから手軽に操作できる上、漢字の入力もスムーズなので便利です。
設定項目の中には PageScope Web Connection でしか設定できない項目もあるため、詳しくは「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［宛先 / ボックス登録］を押します。



3 ［ファクス / スキャン宛先登録］を押します。



ファクス / スキャン宛先登録画面が表示されます。

ひとこと

・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先 / ボックス登録］の場合は、テンキーで【1】を入力します。
・設定メニューの［登録宛先変更］で［禁止］に設定している場合、［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更はできません。［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

10.2 短縮宛先を登録する

頻繁に送信する宛先のファクス番号や電子メールアドレス、登録されているボックスを短縮宛先に登録できます。登録された短縮宛先はファクス / スキャン画面の［登録宛先から］タブから使用できます。

- 短縮宛先はスキャナーなど、本機の他の機能の短縮宛先を合わせ、2000 か所（0001 ～ 2000）まで登録できます。
- 短縮宛先を登録するときに、検索文字を登録しておくと、検索文字を利用して宛先を指定することができます。

ここでは、短縮宛先を登録する操作、一度登録した短縮宛先を変更する操作、登録した宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名と宛先を設定しないと登録できません。

詳しく説明します

・短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
・PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。
・登録した内容は、短縮宛先リストで確認できます。

参照

短縮宛先リストについては、「短縮宛先リスト」（p. 12-33）をごらんください。

■ 短縮宛先にファクス番号を登録する

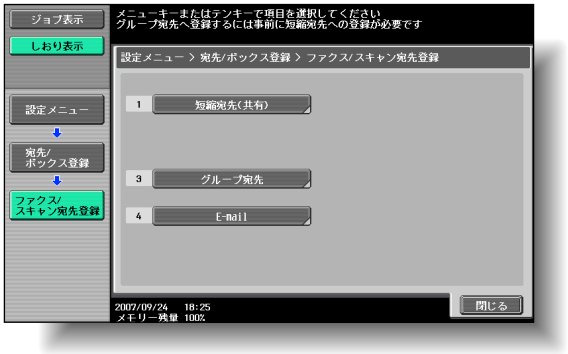
短縮宛先にファクス番号を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

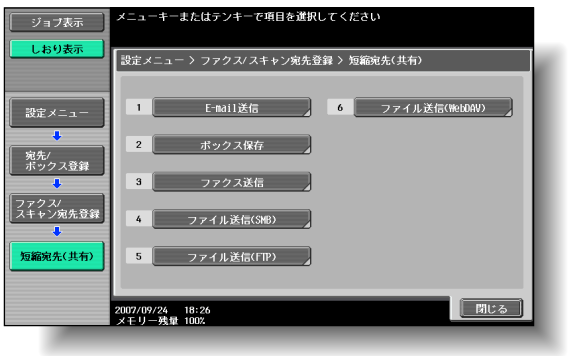
参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

2 ［短縮宛先（共有）］を押します。



3 ［ファクス送信］を押します。



4 ［新規登録］を押します。

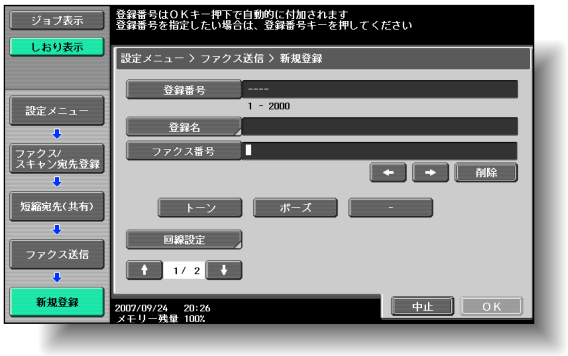


詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先（共有）］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

5

［登録名］を押し、短縮宛先の名前を入力し、［OK］を押します。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」（p. 13-4）をごらんください。

ひとこと

［登録番号］を押してテンキーで数字を入力すると、登録番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。
登録番号を設定しない場合は、自動的に付加されます。

詳しく説明します

- ［常用］～［etc］の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに［常用］を選択しておくと、［登録宛先から］タブに最初に表示させることができます。
- 登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。
- 登録名の先頭文字に、かな、カタカナ、漢字、数字を登録した場合は検索文字を設定してください。設定しない場合は、［etc］に登録されます。

6

［ファクス番号］を押し、テンキーで宛先のファクス番号を入力します。

- ［トーン］：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」と表示されます。
- ［ポーズ］：ダイアルに間をあけたいときに使用します。［ポーズ］1 回で 1 秒の間隔を入力でき、繰り返して入力することもできます。画面には「P」と表示されます。
- ［-］：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には「-」と表示されます。
- ［→］：カーソルが右に移動します。
- ［←］：カーソルが左に移動します。
- ［削除］：カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。
- ［外線］：［PBX 接続設定］が有効の場合は、［外線］が表示され外線を指定することができます。選択すると「E-」と表示されます。

7

回線設定を設定する場合は、［回線設定］を押し、機能を設定して［OK］を押します。

8

［↑］または［↓］を押します。

9

登録名に日本語を設定した場合は、［検索文字］を押し、検索文字を登録します。



詳しく説明します

- 38 桁まで入力できます。
- 誤って入力した場合は、［削除］を押して 1 文字ずつ削除するか、【C】を押してすべて削除して訂正します。
- ［PBX 接続設定］が有効の場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに［ポーズ］を押します。画面には「P」と表示されます。

参照

- ［PBX 接続設定］については、「構内交換機に関する機能を設定する（PBX 接続設定）」（p. 11-80）をごらんください。

参照

［回線設定］については、「回線を指定して送信する（回線指定）」（p. 7-57）をごらんください。

10 ［アイコン］を押し、目的のアイコンを選択し、［OK］を押します。

11 ［OK］を押します。

宛先が登録され、一覧に表示されます。

12 ［閉じる］を押します。

❍ 短縮宛先の登録を続けるときは、手順 4 に戻ります。

13 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

アイコンは、オプション機能のイメージパネル機能で使用します。イメージパネル機能は、i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に使用できます。

ひとこと

登録を中止する場合は、［中止］を押します。

詳しく説明します

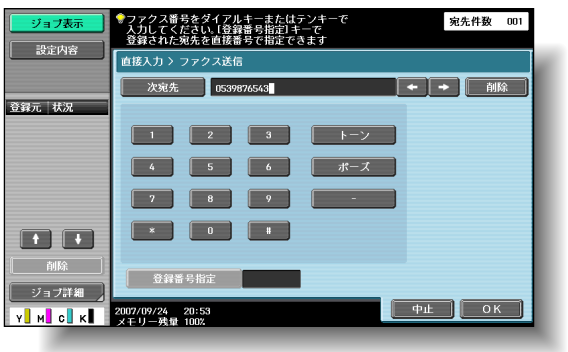
設定メニューの［宛先 2 度入力機能（登録）］が［ON］に設定されている場合は、［OK］を押した後、もう一度宛先を入力する画面が表示されます。送信先のファクス番号を入力し、［OK］を押すと登録されます。

■ 宛先確認 / 登録画面から短縮宛先にファクス番号を登録する

直接入力で指定した宛先や、直接入力の送信履歴から指定した宛先で、短縮宛先に登録できます。

1 直接入力または直接入力の送信履歴で宛先を指定します。

2 左エリアの［設定内容］を押し、［詳細確認 / 登録］を押します。



参照

直接入力での宛先の指定については、「直接入力で指定する」(p. 2-22)、送信履歴での宛先の指定については、「履歴から指定する」(p. 2-24) をごらんください。

3 ［宛先確認 / 登録］を押します。



4 宛先確認 / 登録画面のリストから、登録したい宛先を選択し、［宛先登録］を押します。



5 短縮宛先の名前を入力し、［OK］を押します。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」（p. 13-4）をごらんください。

6

登録名に日本語を設定した場合は、検索文字を登録し、［OK］を押します。



7

登録内容を確認して、［はい］を押し、［OK］を押します。



宛先が登録されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

- ［常用］～［etc］の中から登録したい検索文字の検索キーを押します。
- よく使う宛先の場合は、検索文字を指定し、さらに［常用］を選択しておくと、［登録宛先から］タブに最初に表示させることができます。
- 登録名の先頭文字にアルファベットを登録した場合は、自動的に検索文字が設定されます。

ひとこと

- ［登録名］を押すと、登録名を変更できます。変更後、検索文字画面も表示されます。
- ［検索文字］を押すと、検索文字を変更できます。

ひとこと

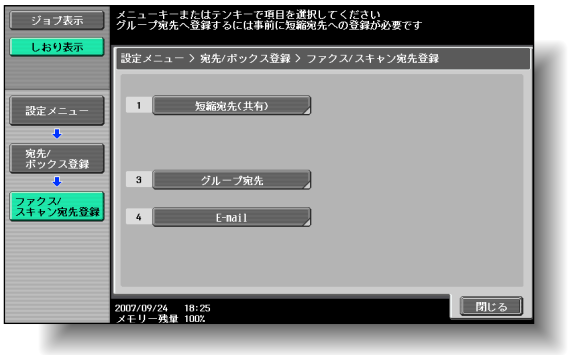
直接入力からの宛先登録の場合はファクス / スキャン画面の［直接入力］タブに、履歴からの宛先登録の場合はファクス / スキャン画面の［履歴から選択］タブに戻ります。

■ 短縮宛先を変更する

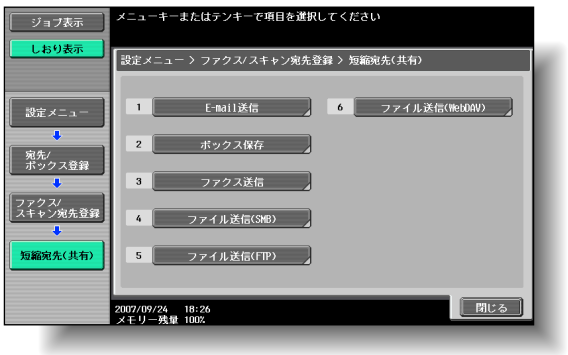
短縮宛先を変更する場合は、次の手順で操作します。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先（共有）］を押します。



3 ［ファクス送信］を押します。



4 変更したい短縮宛先を選択し、［編集］を押します。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先（共有）］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

5 変更したい項目を選択し、表示された画面で内容を変更して［OK］を押します。

6 変更した内容を確認し、［OK］を押します。

7 ［閉じる］を押します。

❍ 変更を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

参照

それぞれの設定項目の詳細については、「短縮宛先にファクス番号を登録する」（p. 10-4）をごらんください。

詳しく説明します

編集画面では、登録番号は変更できません。

詳しく説明します

変更を中止する場合は、［中止］を押します。

■ 短縮宛先を削除する

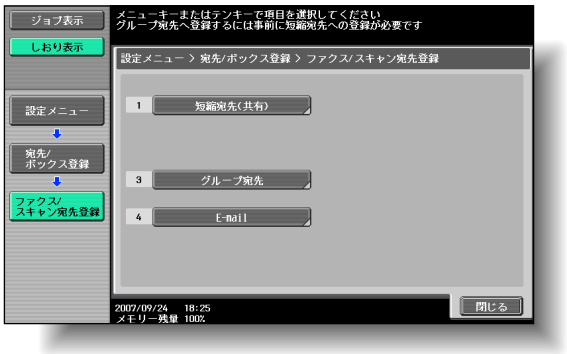
短縮宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

原則

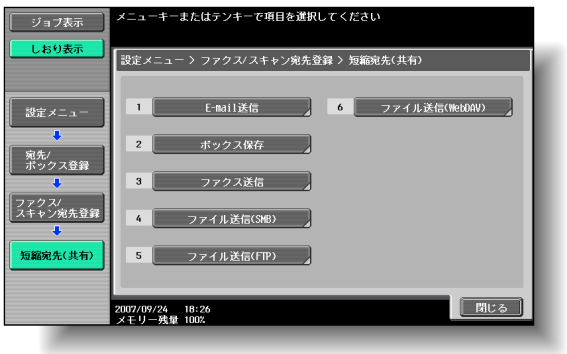
短縮宛先を削除すると、削除した短縮宛先を使用しているグループ宛先およびプログラム宛先からも削除されます。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 ［短縮宛先（共有）］を押します。



3 ［ファクス送信］を押します。



4 削除したい短縮宛先を選択し、［削除］を押します。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［短縮宛先（共有）］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

5 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押し、［OK］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

❍ 削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

削除を中止する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

10.3 グループ宛先を登録する

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。同じ内容を順次同報や順次ポーリング受信することが多い場合に便利です。

- グループ宛先は、スキャナー機能で使用するグループとあわせて、100 グループ（01 ～ 99、00）まで登録できます。
- ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 か所まで登録できます。
- グループ宛先に登録できる宛先は短縮宛先です。宛先を短縮宛先に登録してからグループ宛先登録の操作をしてください。
- 各グループにグループ名を登録できます。

ここでは、グループ宛先に宛先とグループ名を登録する操作、一度登録したグループ宛先を変更する操作、登録したグループ宛先を削除する操作について説明しています。

詳しく説明します

・短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
・PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。
・登録した内容は、グループ宛先リストで確認できます。

参照

・グループ宛先リストについては、「グループ宛先リスト」（p. 12-36）をごらんください。
・短縮宛先の登録については、「短縮宛先を登録する」（p. 10-4）をごらんください。

原則

登録名と宛先を設定しないと登録できません。

■ グループ宛先を登録する

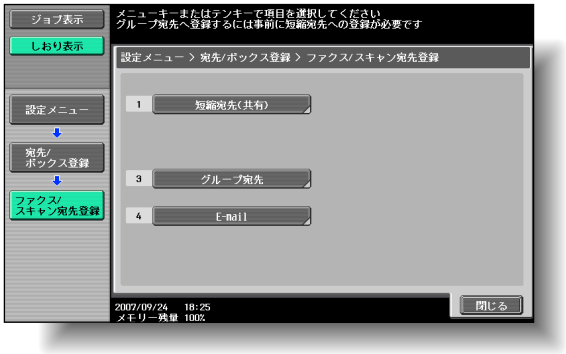
グループ宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

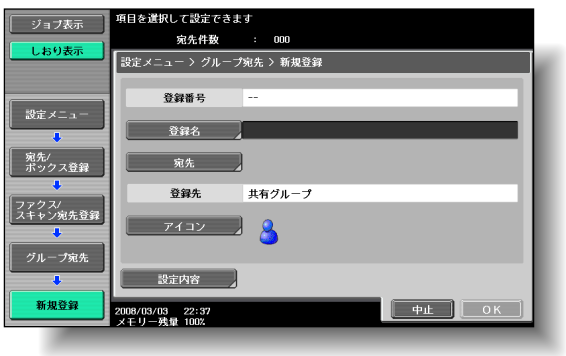
2 ［グループ宛先］を押します。



3 ［新規登録］を押します。



4 ［登録名］を押し、グループ宛先の名前を入力して、［OK］を押します。



5 ［宛先］を押します。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［グループ宛先］の場合は、テンキーで【3】を入力します。

詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」（p. 13-4）をごらんください。

詳しく説明します

ひとつのグループ宛先に登録できる短縮宛先は、500 箇所までです。

6 グループ宛先に登録する短縮宛先を選択します。



- ［名前から検索］：検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示させる場合、選択します。
- ［番号から検索］：登録順につけられる番号が 100 ごとに表示されます。登録する短縮宛先があてはまる番号のキーを押し、短縮宛先を表示させます。［→］または［←］を押すと、表示する番号のキーをスクロールできます。

7 ［アイコン］を押し、目的のアイコンを選択し、［OK］を押します。

8 ［OK］を押します。

9 ［閉じる］を押します。

- グループ宛先の登録を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

10 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

アイコンは、オプション機能のイメージパネル機能で使用します。イメージパネル機能は、i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に使用できます。

ひとこと

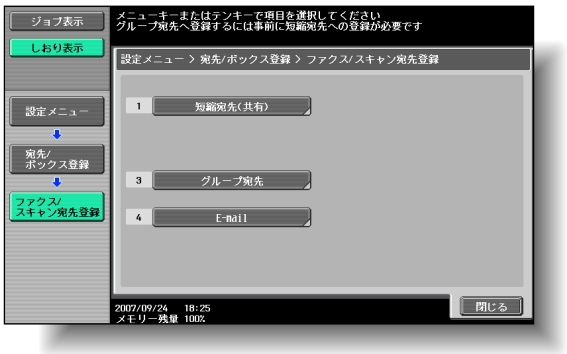
登録を中止する場合は、［中止］を押します。

■ グループ宛先を変更する

グループ宛先を変更する場合は、次の手順で操作します。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 ［グループ宛先］を押します。



3 変更したいグループ宛先を選択し、［編集］を押します。

4 変更したい項目を選択し、表示された画面で内容を変更して［OK］または［閉じる］を押します。

5 変更した内容を確認し、［OK］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

❍ 変更を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［グループ宛先］の場合は、テンキーで【3】を入力します。

ひとこと

・次のページまたは前のページを表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。
・グループ宛先を選択して［設定内容］を押すと、グループ宛先に登録された短縮宛先を確認できます。

参照

それぞれの設定項目の詳細については、「グループ宛先を登録する」（p. 10-15）をごらんください。

詳しく説明します

変更を中止する場合は、［中止］を押します。

■ グループ宛先を削除する

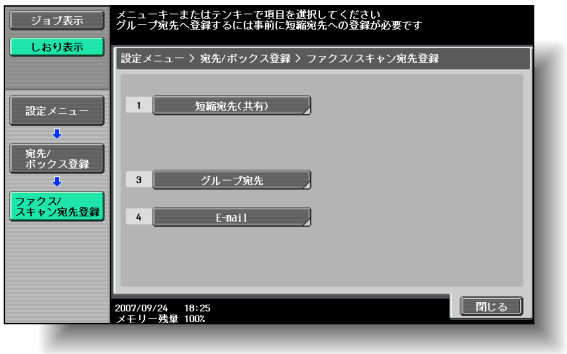
グループ宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

原則

グループ宛先を削除すると、削除したグループ宛先を使用しているプログラム宛先からも削除されます。

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 ［グループ宛先］を押します。



3 削除したいグループ宛先を選択し、［削除］を押します。

4 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押し、［OK］を押します。

5 ［閉じる］を押します。

❍ 削除を続ける場合は、手順 3 に戻ります。

6 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［グループ宛先］の場合は、テンキーで【3】を入力します。

ひとこと

・次のページまたは前のページを表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。
・グループ宛先を選択して［設定内容］を押すと、グループ宛先に登録された短縮宛先を確認できます。

詳しく説明します

削除を中止する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

10.4 プログラム宛先を登録する

頻繁に送信する宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定を組み合わせて、プログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、プログラムキーを押すだけで、登録されている宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定の機能を呼び出して設定して送信できます。

- プログラム宛先は、スキャナーなど、本機の他の機能のプログラム宛先を合わせ、400 個（001 ～ 400）まで登録できます。
- プログラム宛先には、プログラム名を登録できます。

ここでは、プログラム宛先を登録する操作、プログラム宛先を変更する操作、プログラム宛先を削除する操作について説明しています。

原則

登録名を設定しないと登録できません。

■ プログラム宛先を登録する

プログラム宛先を登録する場合は、次の手順で操作します。

1. 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。
2. 必要に応じて、読込み設定、原稿設定、通信設定をします。
3. 【プログラム】を押します。

ひとこと

・短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先は、PageScope Web Connection を使って登録することもできます。
・PageScope Web Connection を使うと、ネットワークに接続しているパソコン上から本機の設定変更や宛先登録ができます。
PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

ひとこと

プログラム宛先の変更も同様の手順で行います。

参照

・読込み設定については、「読込み条件を設定する」（p. 2-13）または「読込み設定」（p. 7-2）をごらんください。
・原稿設定については、「原稿設定」（p. 7-3）をごらんください。
・通信設定については、「通信設定」（p. 7-4）をごらんください。

4 ［ページ一覧］を押します。



5 プログラム宛先を登録したいページのキーを選択し、［OK］を押します。



6 登録されていないキーを押して、［プログラム登録］を押します。



詳しく説明します

・プログラム宛先の登録をページごとにグループ分けできます。［ページ一覧］を押して、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
・ページ一覧画面で、ページキーを選択して［ページ名変更］を押すと、表示するページ名を変更できます。

ひとこと

ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

ひとこと

ページ内の次のプログラム宛先または前のプログラム宛先を表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

7 ［登録名］を押し、プログラム宛先の名前を入力して、［OK］を押します。



8 ［宛先］を押します。

9 ［登録宛先から］または［直接入力］を押して、宛先を入力します。

- ［登録宛先から］を押した場合、すでに登録されている短縮宛先またはグループ宛先から宛先を選択して設定します。手順 10 へ進みます。
- ［直接入力］を押した場合は、ファクス番号を入力します。手順 13 へ進みます。

10 ［ファクス宛先］を押します。



詳しく説明します

名前は、半角で 24 文字（全角では 12 文字）まで登録できます。

参照

文字入力の操作については、「文字を入力するには」（p. 13-4）をごらんください。

11 プログラム宛先に登録する宛先を選択し、[OK] を押します。



- [名前から選択]：検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示させる場合、選択します。
- [番号から検索]：登録順につけられる番号が 100 ごとに表示されます。登録する短縮宛先があてはまる番号のキーを押し、短縮宛先を表示させます。[→] または [←] を押すと、表示する番号のキーをスクロールできます。

12 [閉じる] を押します。手順 16 へ進みます。

13 [ファクス宛先] を押します。

14 テンキーで宛先のファクス番号を入力し、[OK] を押します。

- [トーン]：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」と表示されます。
- [ポーズ]：ダイアルに間をあけたいときに使用します。[ポーズ] 1 回で 1 秒の間隔を入力でき、繰り返して入力することもできます。画面には「P」と表示されます。
- [-]：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には「-」と表示されます。
- [→]：カーソルが右に移動します。
- [←]：カーソルが左に移動します。
- [削除]：カーソルの前の文字が 1 文字ずつ削除されます。

ひとこと

短縮宛先を複数押すことはできません。複数の宛先を指定したい場合は、グループ宛先を登録してください。グループ宛先の登録の仕方については、「グループ宛先を登録する」(p. 10-15)をごらんください。

詳しく説明します

設定メニューの［宛先 2 度入力機能（登録）］が［ON］に設定されている場合は、［OK］を押した後、もう一度宛先を入力する画面が表示されます。送信先のファクス番号を入力し、［OK］を押すと登録されます。

15 ［閉じる］を押します。

16 ［OK］を押します。

プログラム宛先が登録されます。

17 ［OK］を押します。

❍ プログラム宛先の登録を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

登録を中止する場合は、［中止］を押します。

■ プログラム宛先を削除する

プログラム宛先を削除する場合は、次の手順で操作します。

1 【ファクス / スキャン】を押し、ファクス / スキャン画面を表示します。

2 【プログラム】を押します。

3 ［ページ一覧］を押します。



詳しく説明します

・［ページ一覧］を押して、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
・ページ一覧画面で、ページキーを選択して［ページ名変更］を押すと、表示するページ名を変更できます。

ひとこと

ページ一覧の次の一覧または前の一覧を表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

4 削除したいプログラム宛先のあるページのキーを選択し、[OK] を押します。



5 プログラム宛先を削除したいキーを押して、[削除] を押します。



6 表示された確認メッセージの画面で、[はい] を押し、[OK] を押します。

7 【リセット】を押します。

❍ 削除を続ける場合は、手順 4 に戻ります。

ファクス / スキャン画面に戻ります。

ひとこと

・ページ内の次のプログラム宛先または前のプログラム宛先を表示したい場合は、[↓] または [↑] を押します。
・プログラム宛先を選択して [設定内容] を押すと、プログラム宛先の設定内容を確認できます。

ひとこと

削除を中止する場合は、[いいえ] を押し、[OK] を押します。

10.5 宛先レベルを変更する（宛先レベル設定）

■ 宛先レベル設定とは

情報のセキュリティのため、特定の宛先情報を特定の人にだけ閲覧できるように設定する機能です。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。

［宛先 / ボックス登録］での［宛先レベル設定］は、［ユーザー認証 / 部門管理］の［宛先レベル設定］で許可したレベルの範囲内で、レベルの変更ができます。

詳しく説明します

レベル設定は「レベル 0（低）」～「レベル 5（高）」までありますが、レベル 3 まで許可されたユーザーの場合は、レベル 0、レベル 1、レベル 2、レベル 3 のいずれかだけに変更できます。

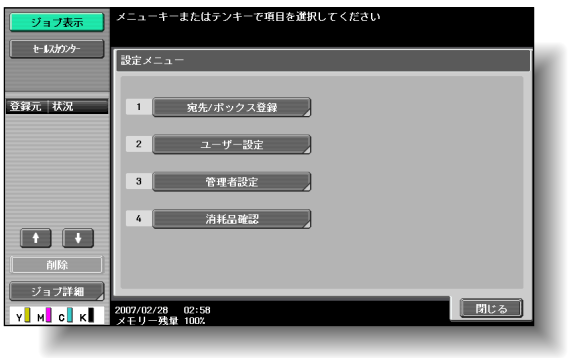
参照

- ユーザー認証については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ［ユーザー認証 / 部門管理］の［宛先レベル設定］については、「宛先情報を保護する（参照許可設定）」（p. 11-38）をごらんください。

■ 宛先レベルを変更するには

1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

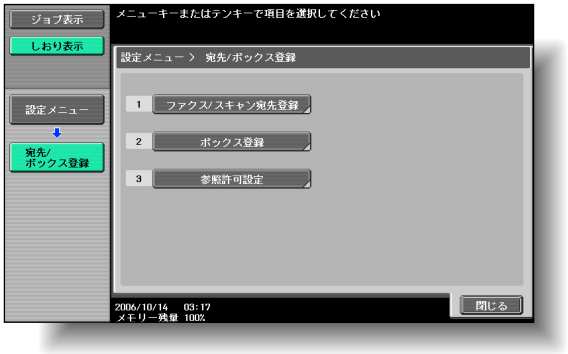
2 ［宛先 / ボックス登録］を押します。



ひとこと

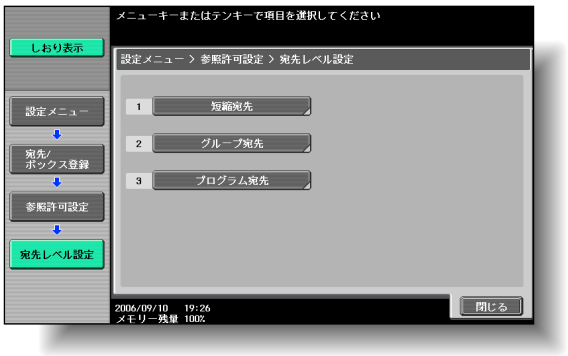
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先 / ボックス登録］の場合は、テンキーで【1】を入力します。
- 設定メニューの［登録宛先変更］で［禁止］に設定している場合、［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更はできません。［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

3 ［参照許可設定］を押します。

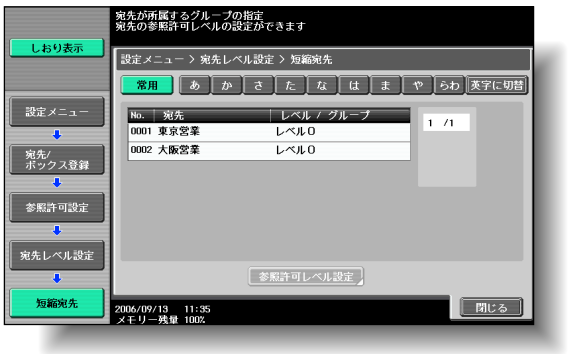


4 ［宛先レベル設定］を押します。

5 レベル変更したい宛先キーを押します。



6 レベル変更したい宛先をリストから選択し、［参照許可レベル設定］を押します。



ひとこと

短縮宛先画面では、検索文字の検索キーを押して、短縮宛先を表示できます。

7 レベルを変更し、［OK］を押します。



宛先レベルが変更されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

ひとこと

設定を中止する場合は、［中止］を押します。

10.6 着信拒否宛先を登録する

着信拒否したい相手の番号をあらかじめ登録しておき、迷惑ファクスを受信しないように設定できます。

登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合は、受信しません。

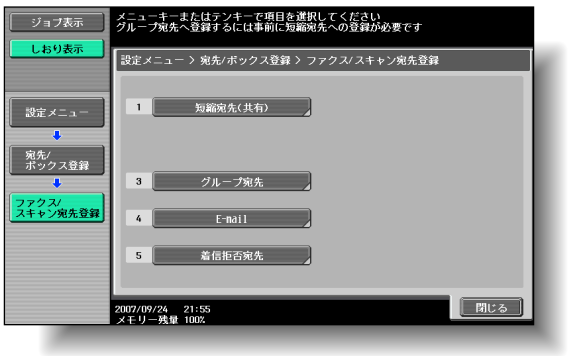
原則

NTT とナンバーディスプレイ機能の契約が必要になります。契約完了後に機能を設定してください。

■ 着信拒否宛先を登録するには

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 ［着信拒否宛先］を押します。



3 ［新規登録］を押します。



詳しく説明します

着信拒否宛先を登録するには、設定メニューの［ナンバーディスプレイ機能］を［ON］に設定しておく必要があります。［ナンバーディスプレイ機能］については、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」（p. 11-56）をごらんください。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

ひとこと

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［着信拒否宛先］の場合は、テンキーで【5】を入力します。

4

テンキーで、「電話番号」に着信拒否したい番号を入力します。



- ［着信履歴一覧から選択］：着信履歴から登録したい場合は、［着信履歴一覧から選択］を押します。
- ［-］：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には［-］と表示されます。
- ［→］：カーソルが右に移動します。
- ［←］：カーソルが左に移動します。
- ［削除］：カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

5

［OK］を押します。

登録が実行され、一覧に表示されます。

6

［閉じる］を押します。

- 登録を続けるときは、手順 3 に戻ります。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

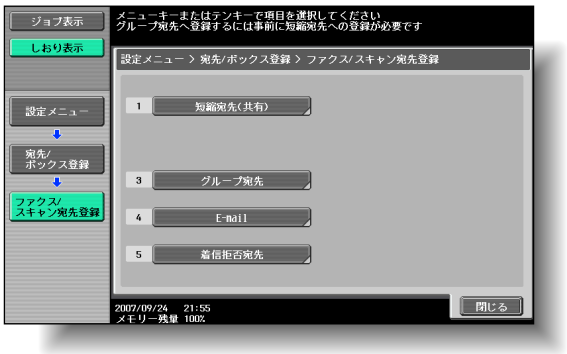
ひとこと

登録を中止したい場合は、［中止］を押します。

■ 着信拒否宛先を変更するには

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

2 ［着信拒否宛先］を押します。



3 一覧から変更したい宛先を選択して、［編集］を押します。



4 テンキーで、［電話番号］に着信拒否したい番号を入力します。

- 着信履歴から登録したい場合は、［着信履歴一覧から選択］を押します。

5 ［OK］を押します。

内容が変更され、一覧に表示されます。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

ひとこと

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［着信拒否宛先］の場合は、テンキーで【5】を入力します。

ひとこと

変更を中止したい場合は、［中止］を押します。

6 ［閉じる］を押します。
- ❍ 変更を続けるときは、手順 3 に戻ります。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

■ 着信拒否宛先を削除するには

1 ファクス / スキャン宛先登録画面を表示します。

参照

ファクス / スキャン宛先登録画面の表示のしかたは、「ファクス登録の画面を表示する」（p. 10-2）をごらんください。

2 ［着信拒否宛先］を押します。

ひとこと

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［着信拒否宛先］の場合は、テンキーで【5】を入力します。

3 一覧から削除したい宛先を選択して［削除］を押します。



4 表示された確認メッセージの画面で、［はい］を押し、［OK］を押します。

選択した着信拒否宛先が削除されます。

ひとこと

削除を中止する場合は、［いいえ］を押し、［OK］を押します。

5 ［閉じる］を押します。
- ❍ 削除を続けるときは、手順 3 に戻ります。

6 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

10.7 親展ボックスを設定する

本機では、F コードを使用した親展通信を利用することができます。

親展受信をするためには、親展ボックスを登録しておく必要があります。親展ボックスは、最大 20 個まで登録できます。

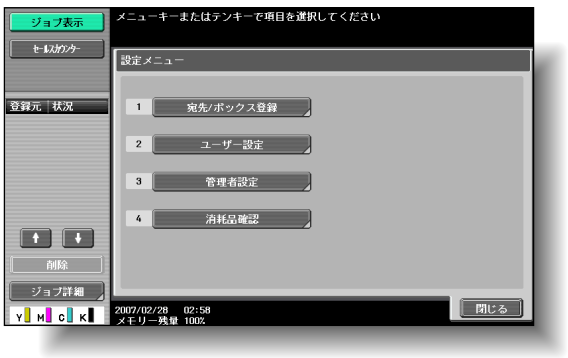
原則

親展ボックスに設定したボックス番号と通信パスワードは、送信側に知らせてください。

■ 親展ボックスを登録するには

1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［宛先 / ボックス登録］を押します。



参照

親展通信の操作については、「親展送信をする（F コード送信）」（p. 7-63）をごらんください。

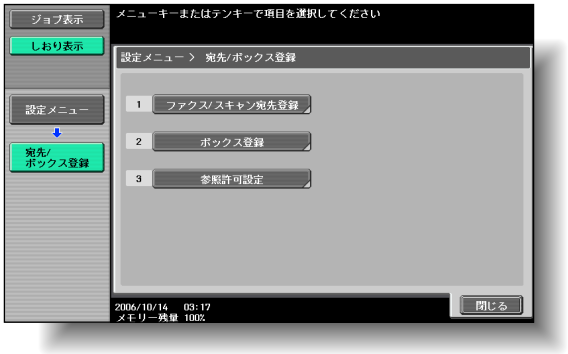
ひとこと

親展ボックスは、PageScope Web Connection からも登録できます。PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

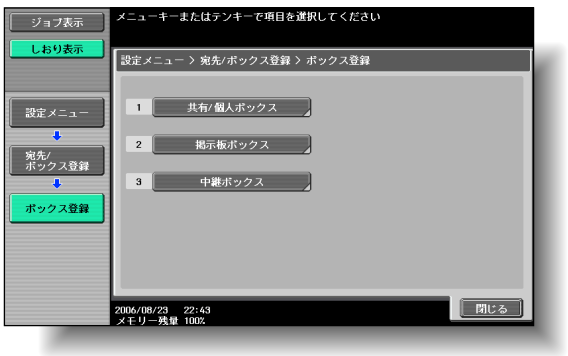
ひとこと

・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先 / ボックス登録］の場合は、テンキーで【1】を入力します。
・設定メニューの［登録宛先変更］で［禁止］に設定している場合、［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更はできません。［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

3 ［ボックス登録］を押します。



4 ［共有 / 個人ボックス］を押します。



5 ［新規登録］を押します。



6 [ボックス番号]、[ボックス名]、[パスワード]を設定します。



7 [次画面]を押します。

登録画面（2/2）が表示されます。

8 「ボックス内ドキュメント削除時間」を設定します。



9 [親展受信]を押します。

10 [する]を押し、テンキーで通信パスワード（8 桁以内の 0 ～ 9、*、#）を入力して、[OK]を押します。



参照

[検索文字]、「ボックスタイプ」については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

[ボックス番号]を押してテンキーで数字を入力すると、ボックス番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。

詳しく説明します

通信パスワードを設定しない場合でも、親展受信は可能です。その場合は、送信側にボックス番号のみ知らせてください。

11 確認のため、通信パスワードを再度入力し、［OK］を押します。



12 ［OK］を押します。

ボックスが登録されます。

13 ［閉じる］を押します。

❍ 登録を続けるときは、手順 5 に戻ります。

14 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

■ 親展通信のしくみ

親展通信では、それぞれのファクスが次のような役割で動作します。

親展送信側 親展ボックスを指定して送信する
親展ボックス番号と通信パスワードを指定し、ファクスを送信する。

↓

親展受信側 親展ボックスを開き、内容を確認する
受信した文書は、メモリー内の指定された親展ボックスに蓄積される。 ↓ 親展ボックス内の文書をプリント / 削除する。

ひとこと

登録を中止する場合は、［中止］を押します。

10.8 掲示板を設定する

本機では、F コードを使用した掲示板ポーリング送信 / 受信を利用することができます。掲示板を使用するためには、掲示板ボックスを設定しておく必要があります。掲示板ボックスは、最大 10 個まで登録できます。

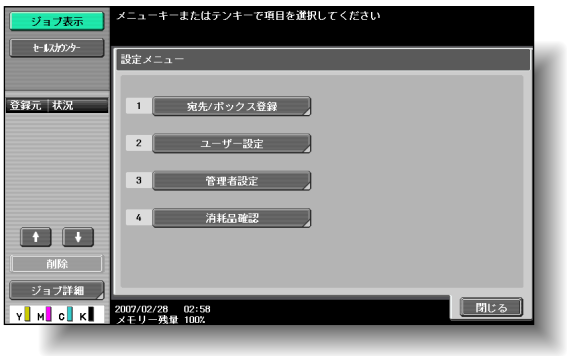
原則

設定した内容は、掲示板ポーリングを受信するファクス側に知らせてください。

■ 掲示板ボックスを登録するには

1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［宛先 / ボックス登録］を押します。



3 ［ボックス登録］を押します。



参照

掲示板の操作については、「文書を指定してポーリングする（掲示板）」(p. 9-8) をごらんください。

参照

掲示板ボックスは、PageScope Web Connection からも登録できます。PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

ひとこと

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先 / ボックス登録］の場合は、テンキーで【1】を入力します。
- 設定メニューの［登録宛先変更］で［禁止］に設定している場合、［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更はできません。［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

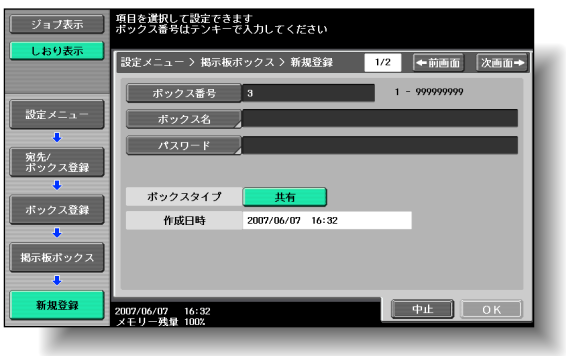
4 ［掲示板ボックス］を押します。



5 ［新規登録］を押します。



6 ［ボックス番号］、［ボックス名］、［パスワード］を設定し、［次画面］を押します。



詳しく説明します

・ボックス名は半角 20 文字（全角 10 文字）以内で設定します。
・パスワードは英数字 8 桁以内で設定します。

参照

ボックスタイプについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

［ボックス番号］を押してテンキーで数字を入力すると、ボックス番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。

7 「ボックス内ドキュメント削除時間」を設定します。



8 [OK] を押します。

ボックスが登録されます。

9 [閉じる] を押します。

❍ 登録を続けるときは、手順 5 に戻ります。

10 ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ 掲示板ポーリング送受信のしくみ

掲示板ポーリング送受信では、それぞれのファクスが次のような役割で動作します。

掲示板のポーリング送信側 掲示板からポーリング送信する
掲示板に、ポーリング送信する文書を蓄積しておく。

↓

掲示板のポーリング受信側 掲示板を指定してポーリング受信する
ボックス番号を指定し、ポーリング受信指示をする。

ひとこと

登録を中止する場合は、[中止] を押します。

10.9 中継ボックスを設定する

本機では、F コードを使用した中継配信機能を利用することができます。本機を中継配信局として利用するには、設定メニューの［中継受信機能］を［ON］に設定し、さらに中継ボックスを登録する必要があります。中継ボックスは、最大 5 個まで登録できます。

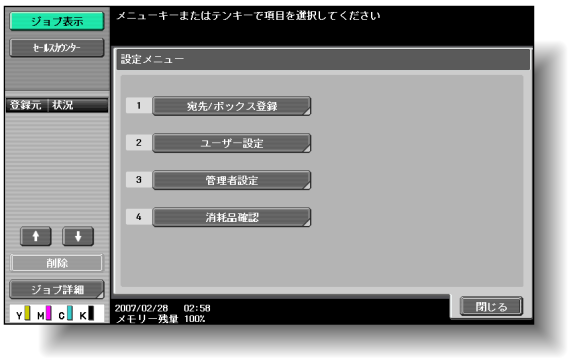
原則

- 設定した内容は、文書を送信する中継指示局側に知らせてください。
- 中継配信機能を利用するには、あらかじめ中継配信先をグループ宛先として登録しておく必要があります。

■ 中継ボックスを登録するには

1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［宛先 / ボックス登録］を押します。



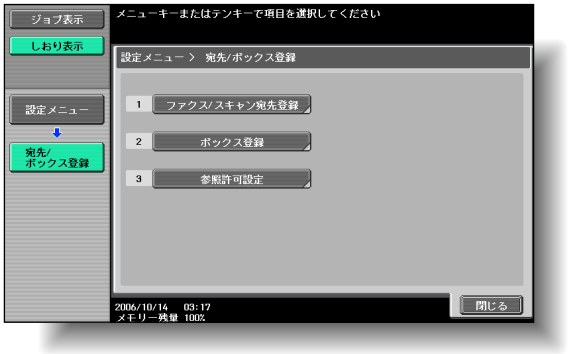
参照

中継ボックスは、PageScope Web Connection からも登録できます。PageScope Web Connection の使い方については、「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

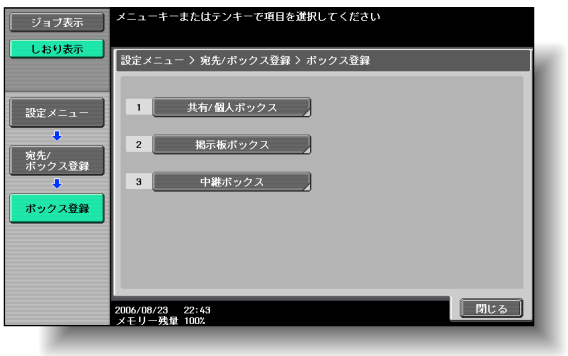
ひとこと

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先 / ボックス登録］の場合は、テンキーで【1】を入力します。
- 設定メニューの［登録宛先変更］で［禁止］に設定している場合、［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更はできません。［宛先 / ボックス登録］の登録 / 変更を行う場合は、管理者にお問い合わせください。

3 ［ボックス登録］を押します。



4 ［中継ボックス］を押します。



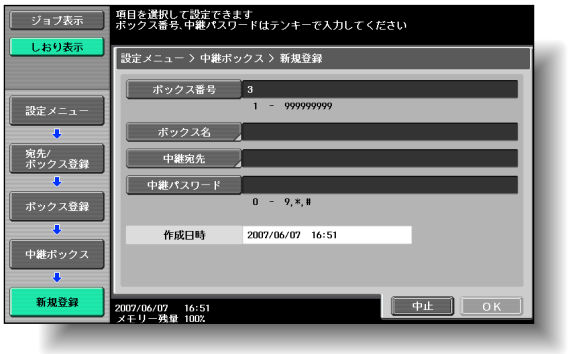
5 ［新規登録］を押します。



参照

- 中継受信機能の設定については、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」（p. 11-56）をごらんください。
- 中継先を指定して送る操作（中継指示局の操作）については、「中継先を指定して送る（F コード送信）」（p. 7-66）をごらんください。
- グループ宛先の登録については、「グループ宛先を登録する」（p. 10-15）をごらんください。

6 ［ボックス番号］、［ボックス名］、［中継宛先］、［中継パスワード］を設定します。



7 ［OK］を押します。

ボックスが登録されます。

8 ［閉じる］を押します。

❍ 登録を続けるときは、手順 5 に戻ります。

9 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

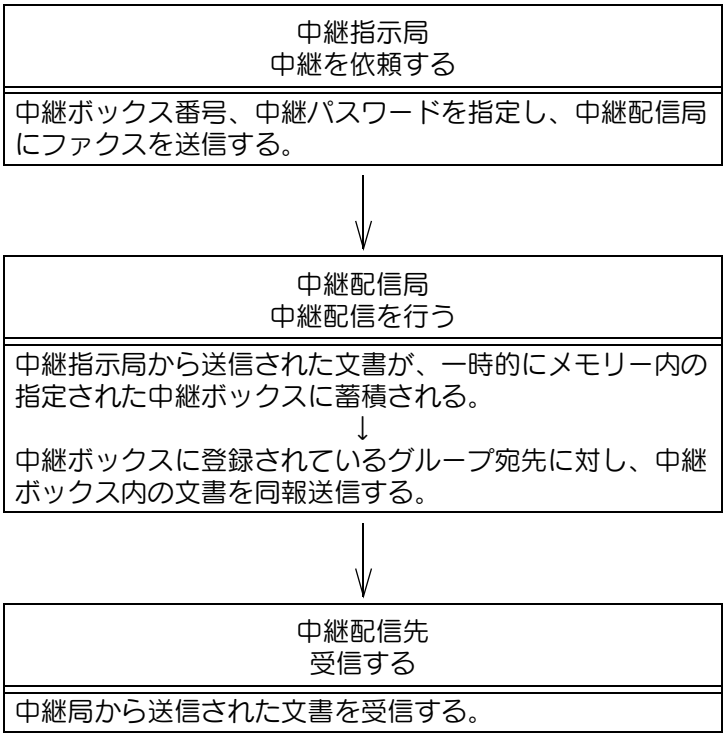
・ボックス名は半角 20 文字（全角 10 文字）以内で設定します。
・中継宛先は、あらかじめ設定してあるグループ宛先を指定します。
・中継パスワードは、0 ～ 9、*、# で入力します。

ひとこと

・［ボックス番号］を押してテンキーで数字を入力すると、ボックス番号を変更できます。すでに登録されている番号を入力した場合は、警告メッセージが表示され、登録できません。
・登録を中止する場合は、［中止］を押します。

■ 中継配信のしくみ

中継配信では、それぞれのファクスが次のような役割で動作します。



ひとこと

中継配信局において、設定メニューの［中継印刷］を［ON］に設定すると、中継配信後に中継した文書をプリントします。詳しくは、「機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）」（p. 11-56）をごらんください。

10.10強制メモリー受信ボックスを設定する

設定メニューで、［強制メモリー受信設定］が有効になっている場合は、受信文書は強制メモリー受信ボックスに保存されます。

参照

強制メモリー受信での受信文書のプリント方法については、「強制メモリー受信した文書を取り扱う」（p. 8-6）をごらんください。

第 11 章
設定メニュー

設定メニューのファクス設定の操作、画面切り替えの操作について説明します。

11.1 設定メニューの操作について 11-2
11.2 設定メニュー一覧 11-5
11.3 ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定） 11-17
11.4 ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面） 11-20
11.5 送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定） 11-22
11.6 ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定） 11-24
11.7 パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行） 11-26
11.8 受信文書のプリント方法を設定する（受信印刷出力設定） 11-28
11.9 宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更） 11-30
11.10 複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止） 11-32
11.11 宛先と設定を解除しない設定をする（送信後設定解除） 11-34
11.12 スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定） 11-36
11.13 宛先情報を保護する（参照許可設定） 11-38
11.14 発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録） 11-44
11.15 発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報） 11-47
11.16 発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定） 11-50
11.17 送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定） 11-53
11.18 機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定） 11-56
11.19 ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定） 11-59
11.20 強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定） 11-62
11.21 特定の相手からのみ受信する設定をする（閉域受信設定） 11-64
11.22 受信文書を転送する（転送ファクス設定） 11-66
11.23 リモート受信を設定する（リモート受信設定） 11-69
11.24 再送信を設定する（再送信設定） 11-71
11.25 ハードディスク内のボックスに受信する（PC-FAX 受信設定） 11-73
11.26 送信者ごとに受信原稿を振り分ける（TSI 受信振分け設定） 11-76
11.27 構内交換機に関する機能を設定する（PBX 接続設定） 11-80
11.28 レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定） 11-82
11.29 増設回線のパラメーターを設定する（回線パラメーター設定） 11-85
11.30 増設回線の機能を設定する（機能設定） 11-87
11.31 増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定） 11-90
11.32 増設回線のファクス ID を設定する（ファクス ID） 11-92
11.33 ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力） 11-94
11.34 ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止） 11-96
11.35 ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示） 11-98
11.36 通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示） 11-100

11.1 設定メニューの操作について

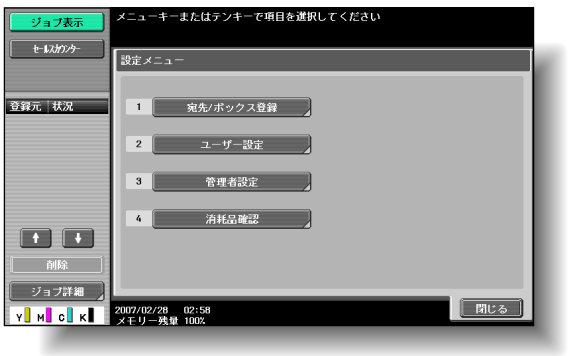
設定メニューには、本機の管理にかかわる設定が用意されています。混乱をきたさないために、本機を管理する管理者をお決めいただくことをおすすめします。

ここでは、設定メニューのうち、［ユーザー設定］および［管理者設定］について、画面を表示する方法、終了する方法を説明します。

■ ユーザー設定画面を表示するには

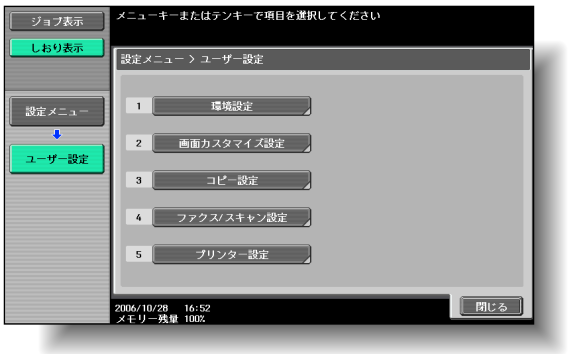
1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［ユーザー設定］を押します。



■ ユーザー設定画面を終了するには

➔ ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。



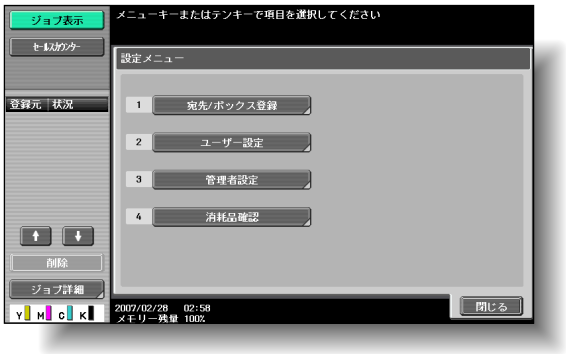
ひとこと

設定メニューは、PageScope Web Connection でも設定することができます。PageScope Web Connection は、デバイスに内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス管理ユーティリティーです。ネットワークに接続しているコンピューターで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection にアクセスして本機の設定を変更できます。設定を変更するために本機のそばに行かなくても、手元のコンピューターから手軽に操作できる上、漢字の入力もスムーズなので便利です。設定項目の中には PageScope Web Connection でしか設定できない項目もあるため、詳しくは「ユーザーズガイド PageScope Web Connection 機能編」をごらんください。

■ 管理者設定画面を表示するには

1 【設定メニュー / カウンター】を押し、設定メニュー画面を表示します。

2 ［管理者設定］を押します。



3 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

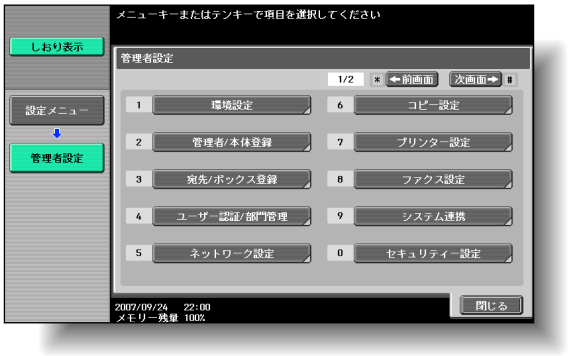


ひとこと

管理者のパスワードは、［セキュリティー設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

■ 管理者設定画面を終了するには

➔ ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。



11.2 設定メニュー一覧

ファクスに関連したユーティリティ操作には、次の設定項目があります。
*はお買い上げ時の初期値です。

■ ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞ファクス / スキャン設定

ファクス / スキャン画面の初期状態を設定します。（p. 11-17）

項目	説明	設定できる値
基本画面表示	ファクス / スキャン画面の宛先欄表示の初期値を設定します。	LDAP 検索 / 履歴から選択 / 登録宛先から* / 直接入力
プログラム初期表示	ファクス / スキャンプログラム呼出し画面のページ表示の初期値を設定します。	一時プログラム / PAGE1 *～ PAGE34
アドレス帳初期表示	［登録宛先から］タブが検索文字の場合の表示の初期値を設定します。	常用（よく使う宛先）* / あ～ etc
ショートカットキー 1 ショートカットキー 2	ファクス / スキャン画面下部、メモリー残量表示の右側に、よく使用するキーを表示するかどうかの設定をします。	使用する / 使用しない* ［使用する］に設定した場合は、以下の設定をします。 原稿画質* / 文字 / 写真 / 写真 / 片面 / 両面 / 解像度 / ファイル形式 / シャープネス / 濃度 / 画質調整 / 下地調整 / 枠消し / ブック連写 / 応用設定 / 読込みサイズ / ファイリングナンバー / スタンプ / ページ印字 / 日付 / 時刻 / 同時印刷 / ページ番号 / スタンプ / ヘッダー / フッター / 原稿セット方向 / 原稿のとじしろ / 原稿枚数指定 / 回線設定 / 送受信方法設定 / パスワード送信 / タイマー通信 / F コード送信 / URL 通知先設定 / ポーリング送信 / ポーリング受信 / E-mail 設定 / ファクス発信元設定
「登録宛先から」初期表示	［登録宛先から］タブの表示の初期値を設定します。	検索文字* / 宛先種類

■ ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞ファクス動作中画面

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。（p. 11-20）

項目	説明	設定できる値
送信中画面表示	「送信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	する / しない*
受信中画面表示	「受信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。	する / しない*

■ ユーザー設定＞画面カスタマイズ設定＞検索オプション設定

宛先検索時に英字の大文字／小文字を区別して検索するかどうか、区別設定画面を表示するかどうかを設定します。（p. 11-22）

項目	説明	設定できる値
英大文字と英小文字	宛先検索で大文字、小文字を区別するかどうか設定します。	区別する* / 区別しない
検索オプション画面	「英大文字と英小文字」の設定を宛先検索の詳細検索で表示するかどうか設定します。	表示する / 表示しない*

■ ユーザー設定＞ファクス / スキャン設定＞ファクス / スキャン初期設定

ファクス / スキャン機能の初期設定値を設定します。（p. 11-24）

項目	説明	設定できる値
ファクス / スキャン初期設定	ファクス / スキャン機能初期値を設定します。	現在の設定値 / 出荷時の設定値*

■ 管理者設定＞環境設定＞パワーセーブ設定

パワーセーブ状態への移行について設定します。（p. 11-26）

項目	説明	設定できる値
パワーセーブ移行	パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後、一定時間後パワーセーブ状態にするか（通常）、即時パワーセーブ状態にするか（即時）を設定します。	通常 / 即時*

■ 管理者設定＞環境設定＞出力設定＞受信印刷出力設定

受信文書のプリント方法を設定します。（p. 11-28）

項目	説明	設定できる値
ファクス	受信文書のプリント方法を設定します。	一括印刷* / 同時印刷

■ 管理者設定＞環境設定＞ユーザー操作禁止設定＞変更禁止設定＞登録宛先変更

ファクスの登録宛先の変更を禁止するかしないかを設定します。（p. 11-30）

項目	説明	設定できる値
登録宛先変更	ファクスの登録宛先の変更を禁止するかしないかを設定します。	許可* / 禁止

■ 管理者設定＞環境設定＞ユーザー操作禁止設定＞操作禁止設定＞複数宛先禁止

複数宛先の送信を禁止するかしないかを設定します。（p. 11-32）

項目	説明	設定できる値
複数宛先禁止	複数宛先の送信を禁止するかしないかを設定します。	する / しない*

■ 管理者設定＞環境設定＞リセット設定＞モードリセット＞次ジョブ＞送信後設定解除

送信後、次の送信も同じ設定にするか解除するかを設定できます。（p. 11-34）

項目	説明	設定できる値
送信後設定解除	送信後、次の送信も同じ設定にするか解除するかを設定できます。	全て解除* / 宛先のみ解除 / ユーザーに確認

■ 管理者設定＞環境設定＞スタンプ設定

ファイリングナンバー機能、スタンプ / ページ印字機能を使用する場合に設定します。（p. 11-36）

項目	説明	設定できる値
ファクス送信設定	ファイリングナンバー機能、スタンプ / ページ印字機能を使用する場合に設定します。	解除する* / 解除しない

■ 管理者設定＞ユーザー認証 / 部門管理＞参照許可設定

宛先情報を保護する宛先レベルの設定をします。（p. 11-38）

項目		説明	設定できる値
グループ登録		宛先レベル設定で使用するグループを登録します。	1 ～ 20
宛先レベル設定	短縮宛先	短縮宛先の宛先レベルを設定します。	レベル 0 *～レベル 5 参照許可グループ
	グループ宛先	グループ宛先の宛先レベルを設定します。	
	プログラム宛先	プログラム宛先の宛先レベルを設定します。	

■ 管理者設定>ファクス設定>発信元 / ファクス ID 登録

発信元名とファクス ID を登録します。(p. 11-44)

項目	説明	設定できる値
発信元	相手機の受信文書に発信元情報として印字するための自局名称を複数登録できます。	全角 15 文字（半角 30 文字）以内
ファクス ID	登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。通常はマシンのファクス番号を入力します。	0 ～ 9、+、スペース、*、# を使って 20 文字以内

■ 管理者設定>ファクス設定>発信元 / 受信情報

発信元情報と受信情報の付けかたを設定します。(p. 11-47)

項目	説明	設定できる値
発信元情報	発信元情報を印字する位置を設定します。	原稿内 / 原稿外* / OFF
相手先印字	[ON] の場合は、発信元名と宛先が発信元情報として印字されます。 [OFF] の場合は、発信元名とファクス ID が発信元情報として印字されます。	ON * / OFF
受信情報	受信日付、受信時刻と受信番号を受信文書に印字するかを設定します。	原稿内 / 原稿外 / OFF *

■ 管理者設定>ファクス設定>回線パラメーター設定

発信や着信に関する項目を設定します。(p. 11-50)

項目	説明	設定できる値
ダイアル方式	ダイアル方式を設定します。	PB / 10pps / 20pps *
受信方式	自動受信する場合は［自動受信］に、外部電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能をお使いの場合には、［手動受信］に設定します。	自動受信* / 手動受信
着信回数設定	着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。	0 ～ 15 回（2 回*）
オートリダイアル回数	相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を設定します。	0 ～ 7 回（3 回*）
オートリダイアル間隔	リダイアルの間隔を設定します。	1 ～ 15 分（3 分*）

項目	説明	設定できる値
TEL/FAX 自動切換え	外部電話を接続している場合で、ファクスを優先して使うときに［ON］に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信が開始され、TEL の場合はスピーカーから擬似リングバックトーンが鳴ります。	ON / OFF *
外部 TEL 呼出モニター音	外部電話の回線上の音をスピーカーから聞くときに［ON］に設定します。 この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が［ON］に設定されている場合に表示されます。	ON / OFF *
外部 TEL 呼出時間	外部電話を接続している場合に、着信してから外部電話を呼び出すまでの時間を設定します。 この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が［ON］に設定されている場合に表示されます。	5 / 10 / 15 / 20 * / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 210 / 240sec
留守番電話接続設定	外部電話として留守番電話を接続する場合に、［ON］に設定します。	ON / OFF *
回線モニター音	通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに［ON］に設定します。	ON / OFF *
回線モニター音レベル	スピーカーの音量を設定します。	0 ～ 31（16 *）

■ 管理者設定＞ファクス設定＞送信 / 受信設定

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。
受信に関する項目を設定します。（p. 11-53）

項目	説明	設定できる値
受信原稿両面印刷	［ON］に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。	ON / OFF *
インチ系用紙優先選択	［ON］に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。	ON / OFF *
記録用紙優先選択	サイズ優先を設定した場合： 優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。 サイズ固定を設定した場合： 設定したサイズだけに記録されます。	自動選択* / サイズ固定 / サイズ優先
記録用紙サイズ *1	受信文書を出力する用紙サイズを設定します。 初期設定は［インチ系用紙優先選択］の設定によって異なります。	A3 / B4 / A4 * / $8^1/_2$ × 11 / $8^1/_2$ × 14 / 11 × 17

項目	説明	設定できる値
ボックス番号エラー動作	ボックスを使用したファクス受信において、未登録のボックス番号が指定された場合の動作を設定します。［ボックス自動生成］を選択すると、入力された番号のボックスが作成されます。	印刷 * / 通信エラー / ボックス自動生成
着信拒否時の動作	着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。	応答しない / 回線切断 *
給紙トレイ固定 *2	受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。	自動 * / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4
縮小率	受信原稿の出力倍率を設定します。	87 ～ 96% * / 等倍
ページ分割記録	［ON］に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。	ON / OFF *
ポーリング送信後文書	ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。	削除する * / 削除しない
受信印刷部数	受信した文書をプリントする部数を設定します。	1 *～ 10

*1 ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。
*2 トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞機能 ON/OFF 設定

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。（p. 11-56）

項目		説明	設定できる値
機能 ON/OFF 設定	F コード送信機能	F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。 F コード送信について、詳しくは p. 7-66 をごらんください。	ON * / OFF
	中継受信機能	中継配信局として、中継指示局から受信した文書を中継配信先に同報送信します。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。	ON * / OFF
	中継印刷	中継指示局から受信した文書をプリントします。	ON / OFF *
	宛先確認表示機能	ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。	ON / OFF *
	ナンバーディスプレイ機能	ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、着信中の発信者情報の表示方法を設定します。	ON / OFF * ネームディスプレイ機能：ON / OFF * 着信中の発信者情報表示：ナンバーを表示 / ネームを表示 *

項目	説明	設定できる値
宛先 2 度入力機能（送信）	直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。	ON / OFF *
宛先 2 度入力機能（登録）	短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。	ON / OFF *

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞ダイアルイン設定

ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。（p. 11-59）

項目	説明	設定できる値
ダイアルイン設定	ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。 ［する］に設定する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。	する / しない* 次の番号を 11 桁以内で設定 ・ファクス番号 ・電話番号 ・PC-FAX 番号（［PC-FAX 受信設定］が［許可する］/［ダイアルインのみ］の場合に表示されます。）

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞強制メモリー受信設定

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。（p. 11-62）

項目	説明	設定できる値
強制メモリー受信設定	強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。 有効に設定する場合は、プリント時に使用するパスワード（8 桁以内）を設定します。 強制メモリー受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリーに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。	（パスワードを 8 桁以内で設定） / しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞閉域受信設定

閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。(p. 11-64)

項目	説明	設定できる値
閉域受信設定	閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。有効に設定する場合は、閉域受信に使用するパスワード（4桁）を設定します。閉域受信とは、パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能です。	(パスワードを 4 桁で設定) / しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞転送ファクス設定

転送ファクス機能を使用するかどうかを設定します。(p. 11-66)

項目	説明	設定できる値
転送ファクス設定	転送ファクス機能を使用するかどうかを設定します。[する] に設定する場合は、出力機能と転送先を設定します。 転送ファクスとは、受信した原稿を、あらかじめ設定しておいた相手に転送する機能です。	する / しない* [する] に設定した場合は、以下の設定をします。 出力機能：常時印刷 / 不達時のみ印刷 転送先設定 回線指定

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞リモート受信設定

リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。(p. 11-69)

項目	説明	設定できる値
リモート受信設定	リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。有効に設定する場合は、リモート受信に使用する番号を設定します。 リモート受信とは、外部電話から受信の指示をする機能です。	(リモート受信番号設定) / しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞再送信設定

通信エラーや相手機が電話中などの理由でオートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存するかどうかを設定します。(p. 11-71)

項目	説明	設定できる値
再送信設定	通信エラーや相手機が電話中などの理由でオートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存するかどうかを設定します。	する / しない* [する] に設定した場合は、ファイル保持時間を 12 時間 /24 時間 /48 時間 /72 時間から指定します。

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞ PC-FAX 受信設定

PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。(p. 11-73)

項目	説明	設定できる値
PC-FAX 受信設定	PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。 ［許可する］に設定した場合は、受信出力先を設定します。 PC-FAX 受信とは、受信した文書ファイルをハードディスクの中にあるボックスに保存することです。 PC-FAX 受信設定を［許可する］にすると、受信後にプリントするかどうかの設定とパスワードチェックの設定ができます。	許可する / ダイアルインのみ（ダイアルインが設定されている場合のみ表示されます。）/ 許可しない* ［許可する］、［ダイアルインのみ］に設定した場合は、以下の設定をします。 受信出力先：強制メモリ受信ボックス* / 指定ボックス 受信後印刷：する / しない* パスワードチェック：する / しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞機能設定＞ TSI 受信振分け設定

受信したファクスの TSI 情報で受信した原稿を振り分ける機能です。(p. 11-76)

項目	説明	設定できる値
TSI 受信振分け設定	受信したファクスの TSI 情報で受信した原稿を振り分ける機能です。また登録されていない TSI 情報で受信した場合の動作を設定します。	する / しない* ［する］に設定した場合は、以下の設定をします。 該当ボックスなし設定：受信印刷* / 強制メモリ受信ボックス 受信後印刷：する / しない* TSI 受信振り分け先登録

■ 管理者設定＞ファクス設定＞ PBX 接続設定

PBX 回線の接続方法を設定します。(p. 11-80)

項目	説明	設定できる値
PBX 接続設定	本機が PBX 回線に接続されている場合に、有効に設定します。 有効に設定した場合は、0 ～ 9999 の範囲で外線番号を設定します。外線番号は、0 発信の 0 のように外線に接続するための番号のことです。 短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号が外線に設定されている場合は、登録されている電話番号の前に、ここで設定した外線番号がダイアルされます。	（外線番号設定）/ しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞レポート出力設定

レポートのプリント方法を設定します。(p. 11-82)

項目	説明	設定できる値
通信管理レポート	レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。 ［毎日］に設定した場合は、毎日の定時にプリントされます。 ［100/ 毎日］に設定した場合は、前回出力時から 100 通信完了時に最新の 100 通信分がプリントされます。また毎日の定時にもプリントされます。	ON * / OFF ［ON］に設定した場合は、以下の設定をします。 出力設定 : 毎日 / 100 通信毎* / 100/ 毎日 ［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、以下の設定をします。 出力時刻設定 : 00:00 ～ 23:59 (9:00 *)
送信結果レポート	レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。	常時 / エラー時のみ* / OFF
順次通信結果レポート		ON * / OFF
予約レポート		ON * / OFF
親展受信レポート		ON * / OFF
掲示板送信結果レポート		ON * / OFF
中継結果レポート		ON * / OFF
中継依頼受付レポート		ON * / OFF
PC-FAX 送信エラーレポート		ON / OFF *
同報結果レポート出力	同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。	全宛先一括* /1 宛先毎
送信結果レポート画面	送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。［表示する］に設定すると、送信のたびに表示されます。	表示する / 表示しない*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞設定値リスト

本機で設定したファクスの設定値リストをプリントできます。（p. 12-42）

■ 管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞回線パラメーター設定

増設回線のパラメーターを設定します。（p. 11-85）

項目	説明	設定できる値
ダイアル方式	回線 2（増設回線）のダイアル方式を設定します。	PB/10pps / 20pps *
着信回数設定	回線 2（増設回線）の着信回数を設定します。着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。	0 ～ 15 回（2 回*）
回線モニター音	回線 2（増設回線）の通信時に、回線上の音をスピーカーから聞くときに［ON］に設定します。	ON/OFF *

■ 管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞機能設定

増設回線の機能を設定します。（p. 11-87）

項目	説明	設定できる値
PC-FAX 送信設定	PC-FAX 送信をする場合の回線を設定します。	回線 1/ 回線 2 / 指定なし*
ナンバーディスプレイ機能	回線 2（増設回線）のナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、着信中の発信者情報の表示方法を設定します。	ON / OFF * ［ON］に設定した場合は、以下の設定をします。 ネームディスプレイ機能：ON / OFF * ネームディスプレイ機能を［ON］にした場合は、以下の設定をします。 着信中の発信者情報を表示：ナンバーを表示 / ネームを表示*

■ 管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞複数回線使用設定

回線 2（増設回線）の通信方法を設定します。（p. 11-90）

項目	説明	設定できる値
複数回線使用設定	回線 2（増設回線）の通信方法を設定します。	送受信兼用* / 受信専用 / 送信専用

■ 管理者設定＞ファクス設定＞増設回線設定＞ファクス ID

回線 2（増設回線）のファクス ID を登録します。（p. 11-92）

項目	説明	設定できる値
ファクス ID	回線 2（増設回線）のファクス ID を登録します。	0 ～ 9、+、スペース、*、# を使って 20 文字以内

■ 管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞手動宛先入力

宛先の直接入力を許可するかしないかを設定します。（p. 11-94）

項目	説明	設定できる値
手動宛先入力	宛先の直接入力および LDAP 検索を許可するかしないかを設定します。	許可* / 禁止

■ 管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞ FAX 送信禁止

ファクス送信を禁止するかしないかを設定します。（p. 11-96）

項目	説明	設定できる値
FAX 送信禁止	ファクス送信を禁止するかしないかを設定します。	ON / OFF *

■ 管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞個人情報非表示

ジョブ表示画面の履歴リストの宛先を表示するかしないかを設定します。（p. 11-98）

項目	説明	設定できる値
個人情報非表示	ジョブ表示画面の履歴リストの宛先を表示するかしないかを設定します。	ON / OFF *

■ 管理者設定＞セキュリティー設定＞セキュリティー詳細＞通信履歴表示

通信履歴を表示するかしないかの設定をします。（p. 11-100）

項目	説明	設定できる値
通信履歴表示	通信履歴を表示するかしないかの設定をします。	ON * / OFF

11.3 ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定）

ファクス / スキャン画面の初期状態を設定します。ここで選択した項目が初期値として表示されます。

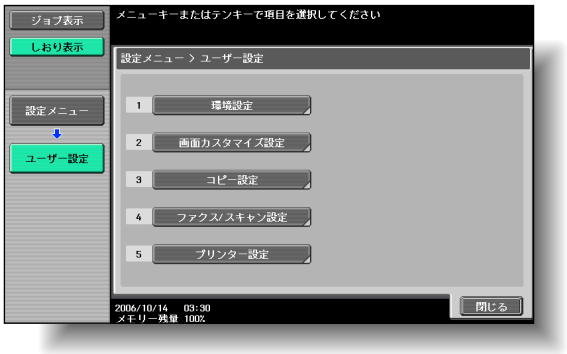
- 基本画面表示:LDAP 検索 / 履歴から選択 / 登録宛先から* / 直接入力
  - ファクス / スキャン画面の宛先欄表示の初期値を設定します。
- プログラム初期表示：一時プログラム / PAGE1 *～ PAGE34
  - ファクス / スキャンプログラム呼出し画面のページ表示の初期値を設定します。
- アドレス帳初期表示：常用（よく使う宛先）* / あ～ etc
  - ［登録宛先から］タブが検索文字の場合の表示の初期値を設定します。
- ショートカットキー 1、ショートカットキー 2：使用する / 使用しない*
  - ファクス / スキャン画面下部、メモリー残量表示の右側に、よく使用するキーを表示するかどうかの設定をします。
    ［使用する］に設定した場合は、以下の設定をします。
    原稿画質* / 文字 / 写真 / 写真 / 片面 / 両面 / 解像度 / ファイル形式 / シャープネス / 濃度 / 画質調整 / 下地調整 / 枠消し / ブック連写 / 応用設定 / 読込みサイズ / ファイリングナンバー / スタンプ / ページ印字 / 日付 / 時刻 / 同時印刷 / ページ番号 / スタンプ / ヘッダー / フッター / 原稿セット方向 / 原稿のとじしろ / 原稿枚数指定 / 回線設定 / 送受信方法設定 / パスワード送信 / タイマー通信 / F コード送信 / URL 通知先設定 / ポーリング送信 / ポーリング受信 / E-mail 設定 / ファクス発信元設定
- 「登録宛先から」初期表示：検索文字* / 宛先種類
  - ［登録宛先から］タブの表示の初期値を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

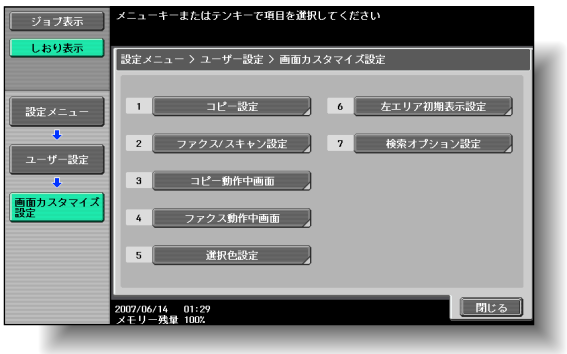
■ ファクス / スキャン設定をするには

1 「ユーザー設定画面を表示するには」（p. 11-2）を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

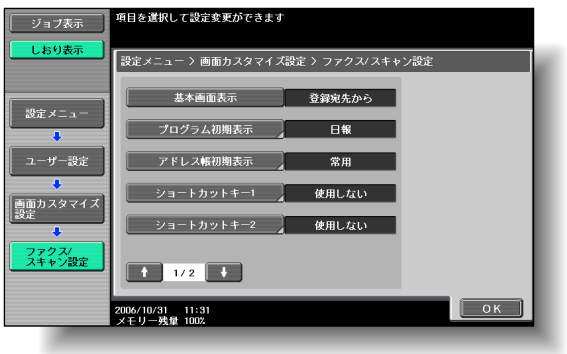
2 ［画面カスタマイズ設定］を押します。



3 ［ファクス / スキャン設定］を押します。



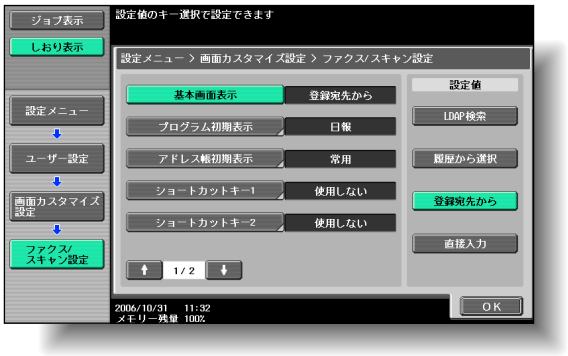
4 設定したい項目を選択します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面カスタマイズ設定］の場合は、テンキーで【2】を入力します。

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

ひとこと

ショートカットキーは 2 種類設定できます。オプションのイメージコントローラ IC-409 を装着しているとき、設定できるショートカットキーは 1 種類です。

11.4 ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面）

送信中、受信中のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

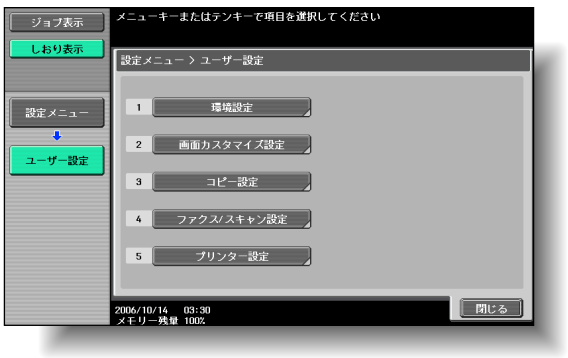
- 送信中画面表示：する / しない*
  - ❍「送信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。
- 受信中画面表示：する / しない*
  - ❍「受信中です」のメッセージを画面に表示するかどうかを設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

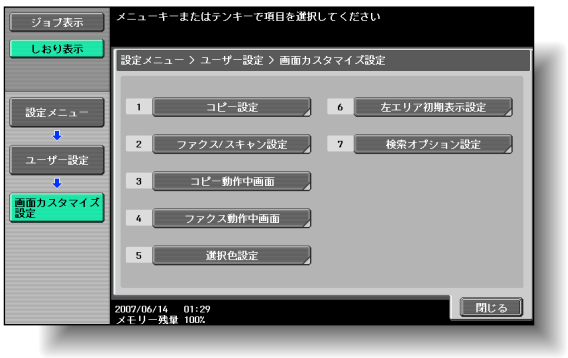
■ ファクス動作中画面設定をするには

1. 「ユーザー設定画面を表示するには」（p. 11-2）を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

2. ［画面カスタマイズ設定］を押します。



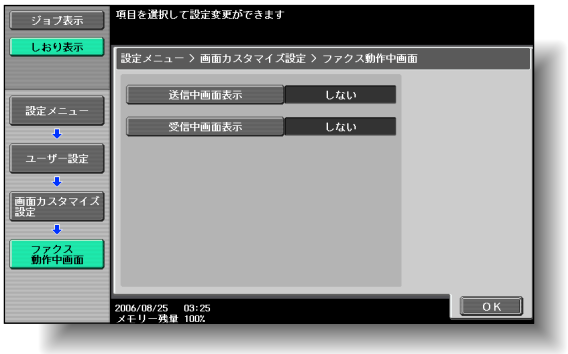
3. ［ファクス動作中画面］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面カスタマイズ設定］の場合は、テンキーで【2】を入力します。

4 ［送信中画面表示］または［受信中画面表示］を選択します。



5 ［する］または［しない］のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.5 送信先検索時の英字大文字／小文字区別の設定をする（検索オプション設定）

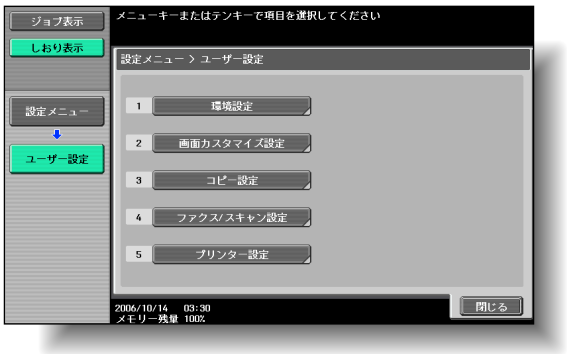
宛先検索時に英字の大文字／小文字を区別して検索するかどうか、区別設定画面を表示するかどうかを設定します。

- 英大文字と英小文字：区別する* / 区別しない
  - 宛先検索で大文字、小文字を区別するかどうか設定します。
- 検索オプション画面：表示する / 表示しない*
  - 「英大文字と英小文字」の設定を宛先検索の詳細検索で表示するかどうか設定します。

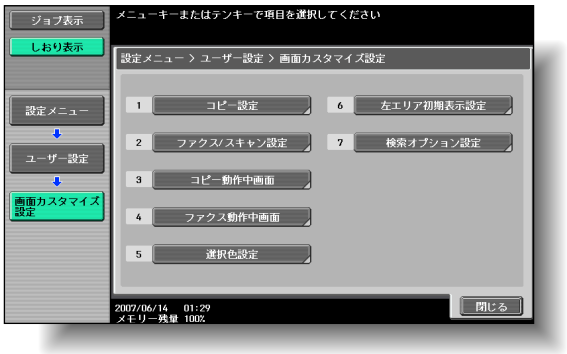
*はお買い上げ時の初期値です。

■ 検索オプション設定をするには

1. 「ユーザー設定画面を表示するには」（p. 11-2）を参照し、ユーザー設定画面を表示します。
2. ［画面カスタマイズ設定］を押します。



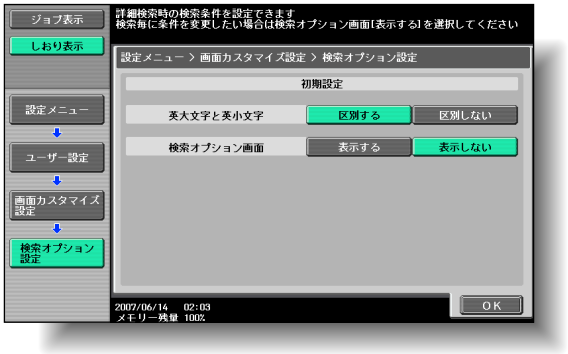
3. ［検索オプション設定］を押します。



詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［画面カスタマイズ設定］の場合は、テンキーで【2】を入力します。

4 検索オプションの設定をします。



5 [OK] を押します。

設定が変更されます。

6 ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

11.6 ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定）

ファクス / スキャン機能の初期設定値を設定できます。

主電源を ON にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるファクス / スキャン機能を設定できます。

- ファクス / スキャン初期設定：現在の設定値 / 出荷時の設定値*
  - ❍［現在の設定値］
    設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がファクス / スキャン機能の初期設定として登録されます。
  - ❍［出荷時の設定値］
    工場出荷時の設定値がファクス / スキャン機能の初期設定に登録されます。

*はお買い上げ時の初期値です。

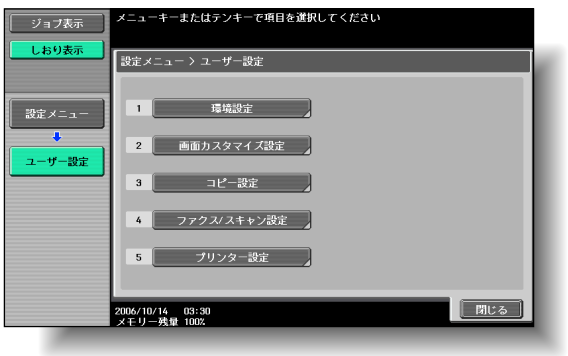
原則

本設定を行うには、ファクスの基本画面を表示した状態で設定メニューに入ります。

■ ファクス / スキャン初期設定をするには

1. 「ユーザー設定画面を表示するには」（p. 11-2）を参照し、ユーザー設定画面を表示します。

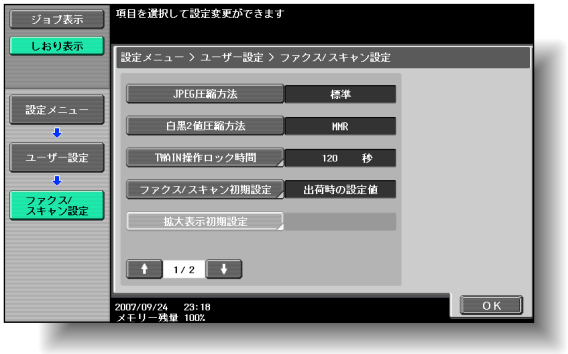
2. ［ファクス / スキャン設定］を押します。



詳しく説明します

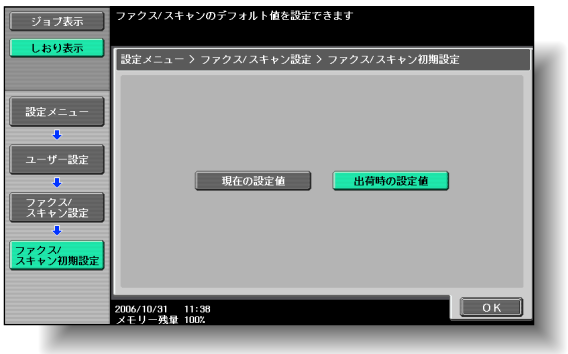
・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス / スキャン設定］の場合は、テンキーで【4】を入力します。

3 ［ファクス / スキャン初期設定］を押します。



4 ［現在の設定値］または［出荷時の設定値］を押し、［OK］を押します。

設定が変更されます。



5 ［OK］を押します。

6 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.7 パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行）

パワーセーブ状態への移行について設定します。

- パワーセーブ移行：通常 / 即時*
  - パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後、一定時間後パワーセーブ状態にするか（通常）、即時パワーセーブ状態にするか（即時）を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

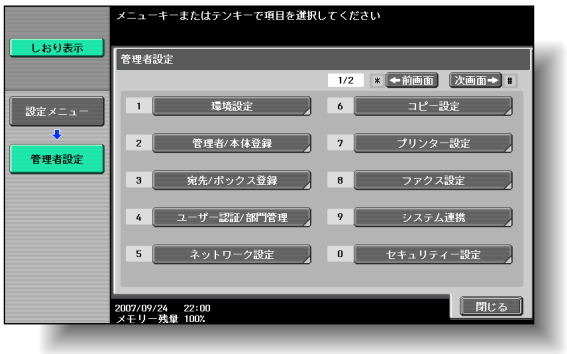
■ パワーセーブ移行設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

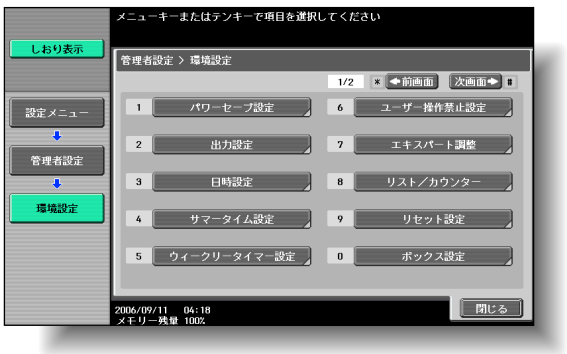
2

［環境設定］を押します。



3

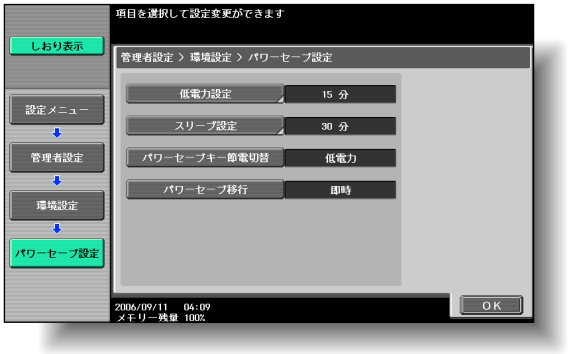
［パワーセーブ設定］を押します。



詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

4 ［パワーセーブ移行］を押します。



5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.8 受信文書のプリント方法を設定する（受信印刷出力設定）

受信文書のプリント方法を設定します。

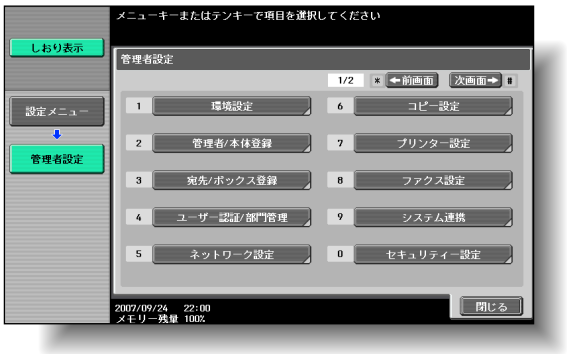
- ファクス：一括印刷* / 同時印刷
  - ❍ 受信文書のプリント方法を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

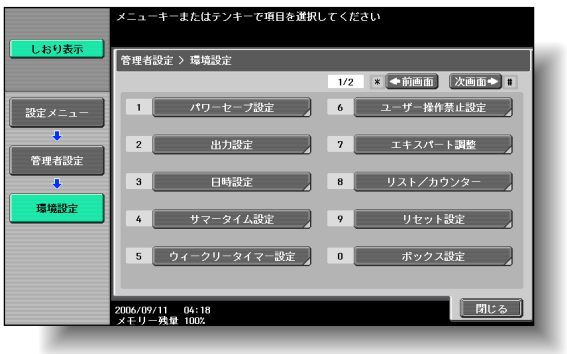
■ 受信印刷出力設定をするには

1. 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2. ［環境設定］を押します。



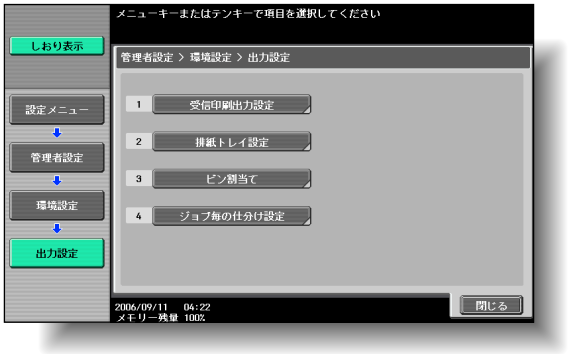
3. ［出力設定］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

4 ［受信印刷出力設定］を押します。



5 ［ファクス］を押します。

6 プリント方法を選択します。

- ［一括印刷］受信文書をすべて受信してからプリントが開始されます。
- ［同時印刷］受信文書を 1 ページ受信するたびにプリントされます。



7 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

［受信原稿両面印刷］が［ON］の場合、両面（2 ページ分）のデータが受信後にプリントされます。

11.9 宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更）

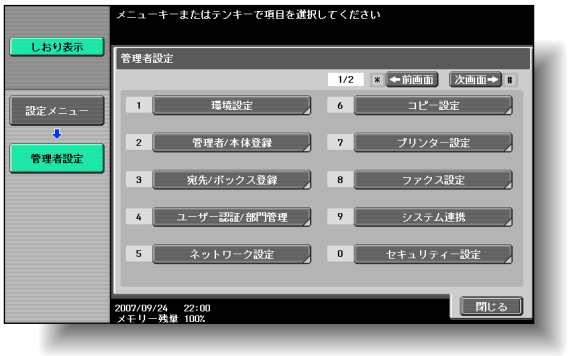
ファクスの登録宛先の変更を禁止するかしないかを設定します。

- 登録宛先変更：許可* / 禁止

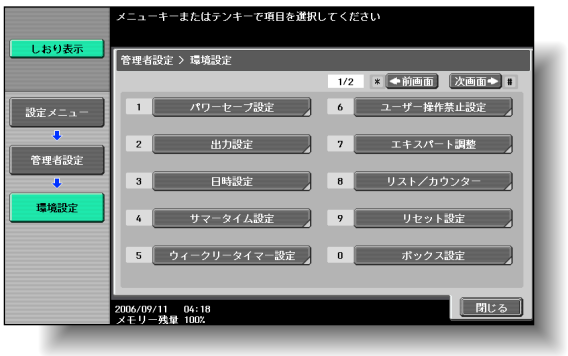
*はお買い上げ時の初期値です。

■ 登録宛先変更設定をするには

1. 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。
2. ［環境設定］を押します。



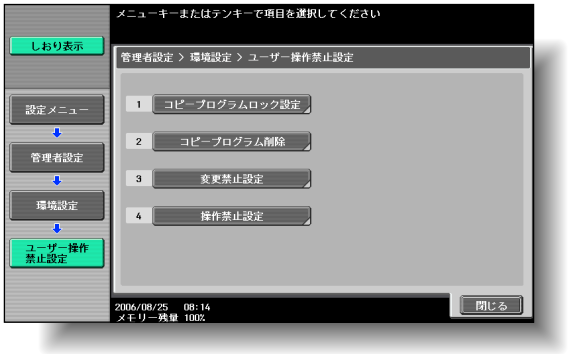
3. ［ユーザー操作禁止設定］を押します。



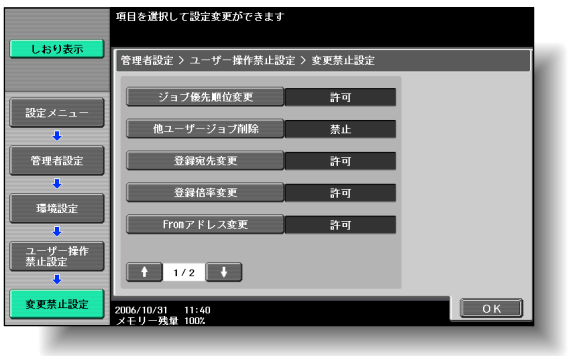
詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

4 ［変更禁止設定］を押します。



5 ［登録宛先変更］を押して［禁止］を押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.10 複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止）

複数宛先の送信を禁止するかしないかを設定します。

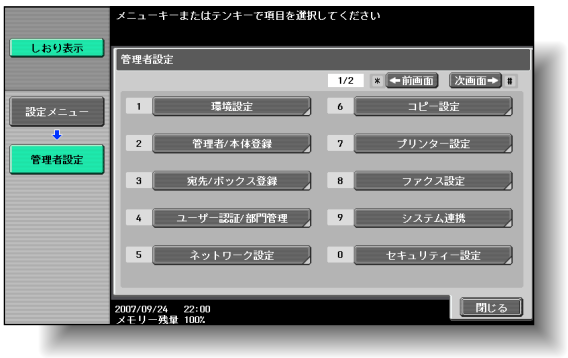
- 複数宛先禁止：する / しない*

*はお買い上げ時の初期値です。

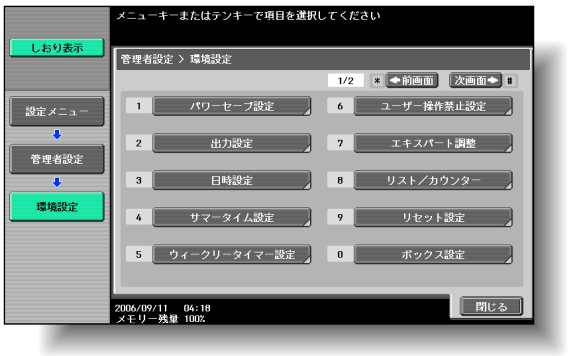
■ 複数宛先禁止設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［環境設定］を押します。



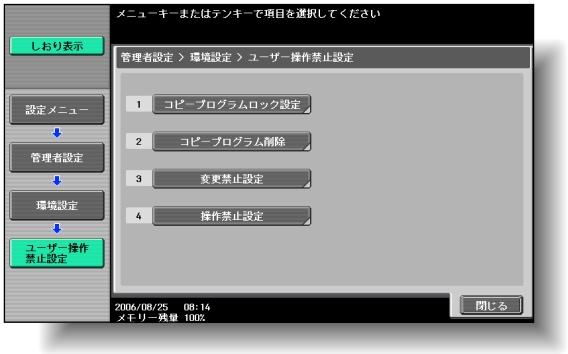
3 ［ユーザー操作禁止設定］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

4 ［操作禁止設定］を押します。



5 ［複数宛先禁止］を押して［する］を押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.11 宛先と設定を解除しない設定をする（送信後設定解除）

送信後、次の送信も同じ設定にするか解除するかを設定できます。

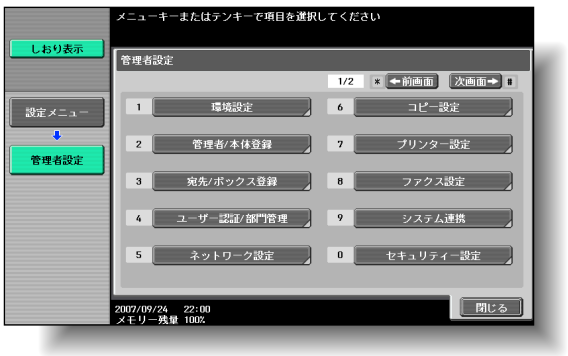
- 送信後設定解除：全て解除* / 宛先のみ解除 / ユーザーに確認
  - ❍［宛先のみ解除］：設定は保持し、宛先のみが解除されます。
  - ❍［ユーザーに確認］：宛先と設定を保持するかの確認画面が表示されます。

*はお買い上げ時の初期値です。

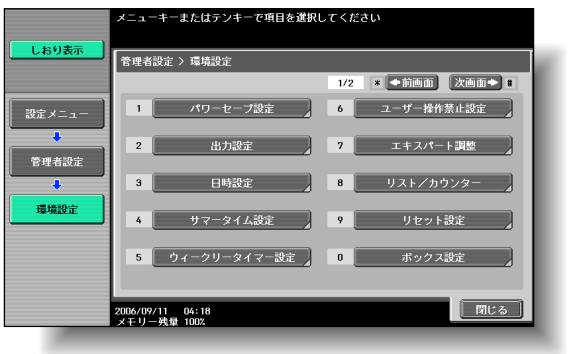
■ 宛先と設定を解除しない設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［環境設定］を押します。



3 ［リセット設定］を押します。



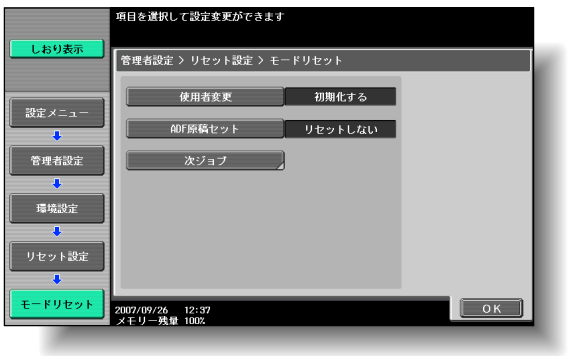
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

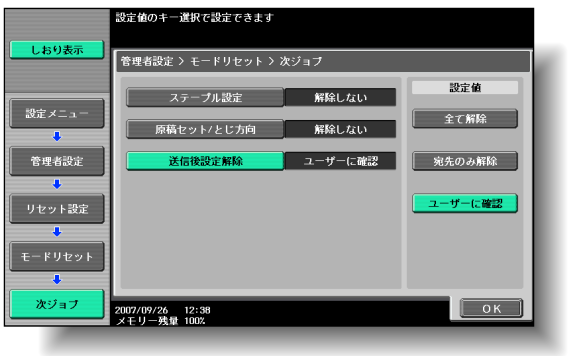
4 ［モードリセット］を押します。



5 ［次ジョブ］を押します。



6 ［送信後設定解除］を押して［宛先のみ解除］または［ユーザーに確認］を押します。



7 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.12スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定）

ファイリングナンバー機能、スタンプ / ページ印字機能を、ファクス送信時に使用する場合に設定します。

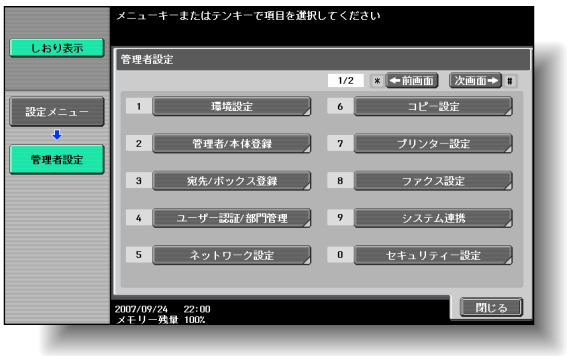
- ファクス送信設定：解除する* / 解除しない
  - ❍ 解除する：ファクス送信原稿はスタンプの設定が適用されずに送信されます。
  - ❍ 解除しない：ファクス送信原稿にもスタンプの設定が適用されて送信されます。

*はお買い上げ時の初期値です。

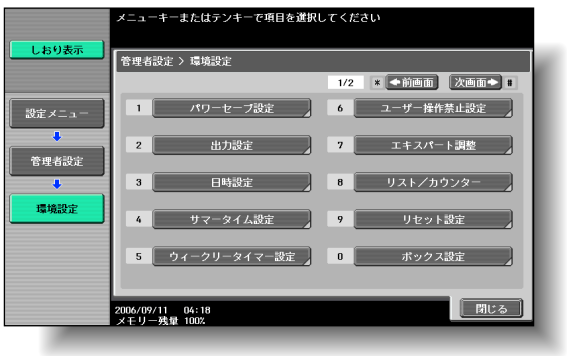
■ スタンプ設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［環境設定］を押します。



3 ［次画面→］を押します。



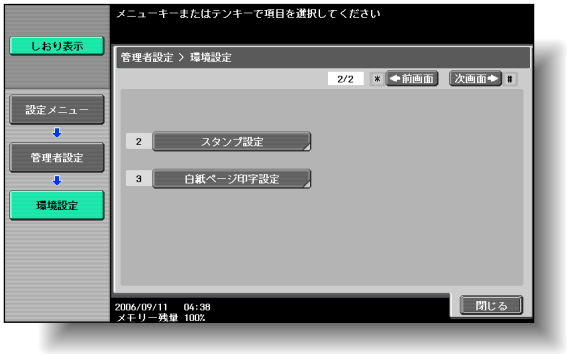
参照

ファイリングナンバー機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」を、スタンプ / ページ印字機能については、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナー機能編」をごらんください。

詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［環境設定］の場合は、テンキーで【1】を入力します。

4 ［スタンプ設定］を押します。



5 ［ファクス送信設定］を押します。



6 ［解除しない］を押します。



7 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.13宛先情報を保護する（参照許可設定）

宛先情報を保護する宛先レベルの設定をします。

- グループ登録：1 ～ 20
  - ❍ 宛先レベル設定で使用するグループを登録します。
- 宛先レベル設定：レベル 0 *～レベル 5、参照許可グループ
  - ❍ 短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の宛先レベルを設定します。

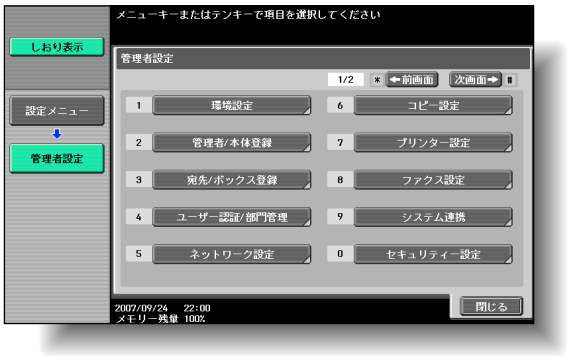
*はお買い上げ時の初期値です。

■ グループ登録をするには

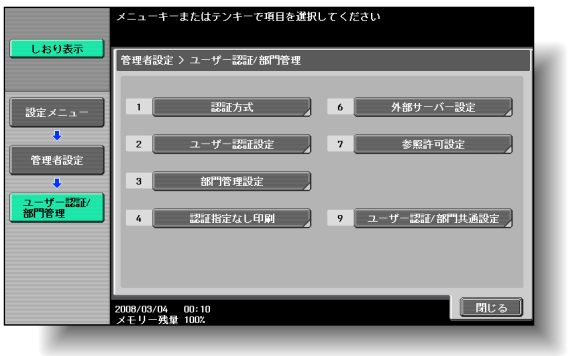
宛先レベル設定で使用するグループを登録します。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。



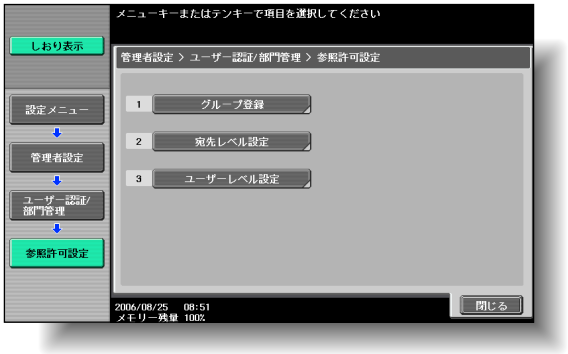
3 ［参照許可設定］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ユーザー認証 / 部門管理］の場合は、テンキーで【4】を入力します。

4 ［グループ登録］を押します。



5 登録されていないグループキーを押します。



6 ［編集］を押します

7 ［グループ名］を押します。



ひとこと

登録されているグループキーを押し、［詳細］を押すと、グループキーの詳細を確認できます。

8 グループ名を入力し、[OK] を押します。



9 「参照可能レベル」を選択します。

10 [OK] を押します。

グループが登録されます。

11 [OK] を押します。

❍ 登録を続けるときは、手順 5 に戻ります。

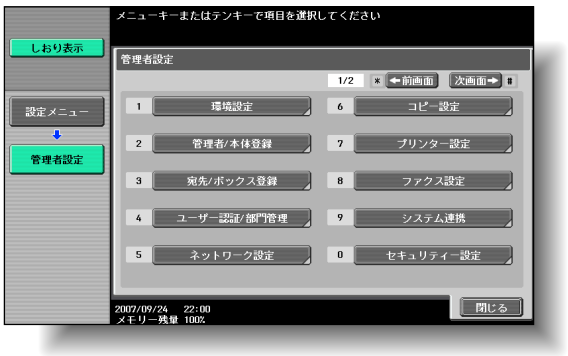
12 ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

■ 宛先レベル設定をするには

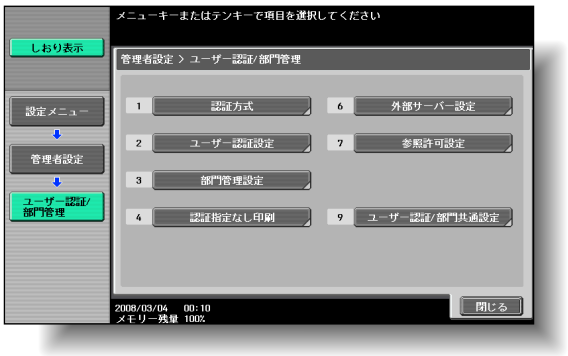
短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先の宛先レベルを設定します。

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

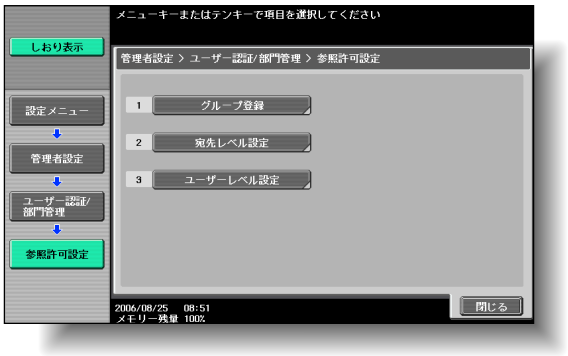
2 ［ユーザー認証 / 部門管理］を押します。



3 ［参照許可設定］を押します。



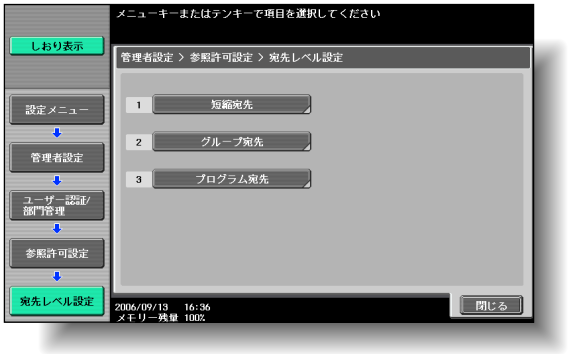
4 ［宛先レベル設定］を押します。



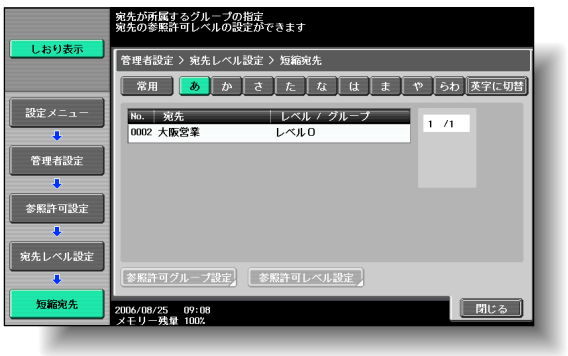
詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ユーザー認証 / 部門管理］の場合は、テンキーで【4】を入力します。

5 宛先レベル設定をしたい宛先の種類を選択します。



6 宛先レベル設定をしたい宛先をリストから選択します。



7 宛先レベルを設定します。

❍［グループ登録］で登録した宛先レベルをグループとして設定する場合は、［参照許可グループ設定］を押し、グループキーを押して、［OK］を押します。



❍ 宛先レベルを設定する場合は、［参照許可レベル設定］を押し、レベルキーを押して、［OK］を押します。



宛先レベルが設定されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.14発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録）

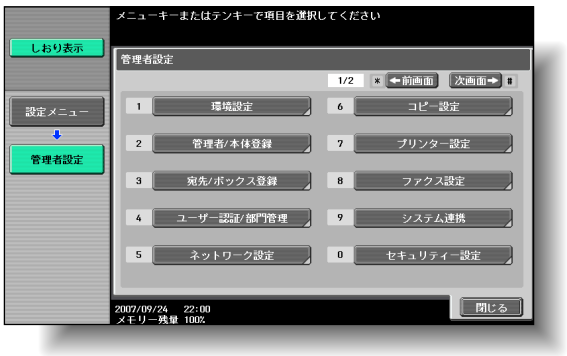
発信元名とファクス ID を登録します。

- 発信元：全角 15 文字（半角 30 文字）以内
  - ❍ 相手機の受信文書に発信元情報として印字するための自局名称を複数登録できます。
- ファクス ID：0 ～ 9、+、スペース、＊、＃を使って 20 文字以内
  - ❍ 登録したファクスIDが相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。

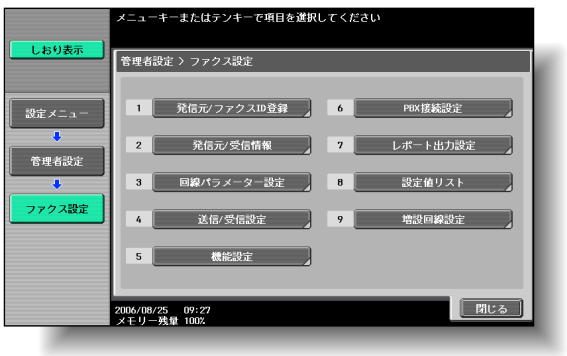
■ 発信元 / ファクス ID 登録するには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



3 ［発信元 / ファクス ID 登録］を押します。



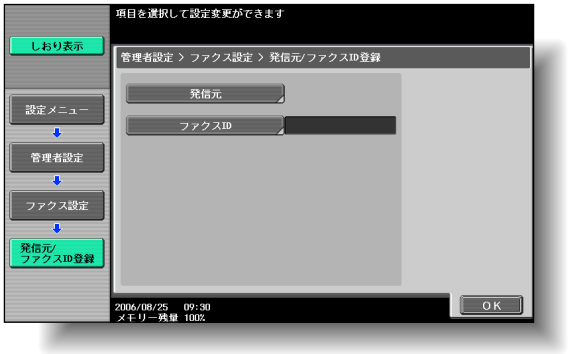
ひとこと

オプションの回線拡張キットを装着している場合、増設回線のファクス ID は、設定メニューの［増設回線設定］-［ファクス ID］に登録します。

詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4 ［発信元］を押します。



5 登録したいリストを選択して、［新規登録］を押し、発信元名を入力して［OK］を押します。



発信元名が登録されます。

6 発信元設定リストに、発信元が複数等登録されている場合は、［初期値設定］を押して、初期値を設定します。

7 ［閉じる］を押します。

8 ［ファクス ID］を押します。

ひとこと

- 次のページまたは前のページを表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。
- すでに登録されている発信元設定を修正する場合は、［編集］を押します。
- すでに登録されている発信元設定を削除する場合は、［削除］を押します。
- 発信元名は 20 件まで登録できます。
- 登録した発信元名は、送信時に読込設定画面から選択できます。詳しくは、「発信元情報のつけ方を指定する（ファクス発信元設定）」（p. 7-69）をごらんください。

参照

文字入力の操作については、p. 13-4 をごらんください。

詳しく説明します

ここで初期値に設定した発信元は、［通信設定］の［ファクス発信元設定］での初期値となります。

9 テンキー、[+]、[スペース]、[←]、[→]、を使ってファクス ID を入力し、[OK] を押します。



- [+]：+ が入力されます。
- [スペース]：スペースが入力されます。
- [←]：カーソルが左に移動します。
- [→]：カーソルが右に移動します。
- [削除]：カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

ファクス ID が設定されます。

10 [OK] を押します。

11 ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

ひとこと

入力した文字を全て削除する場合は、操作パネルの【C】を押します。

11.15発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報）

発信元 / 受信情報の記録方法を設定します。

発信元情報、受信情報の記録方法には、それぞれ次の種類があります。

- 発信元情報
  - 原稿内：発信元情報が原稿に上書きして印字されます。
  - 原稿外*：原稿の外側に発信元情報が印字されます。
  - OFF：発信元情報は印字されません。
- 相手先印字
  - ON*：発信元名と宛先が発信元情報として印字されます。
  - OFF：発信元名とファクス ID が発信元情報として印字されます。
- 受信情報
  - 原稿内：受信時刻と受信番号が受信文書に上書きして印字されます。
  - 原稿外：受信文書の下部に受信時刻と受信番号が印字されます。
  - OFF*：受信情報は印字されません。

*はお買い上げ時の初期値です。

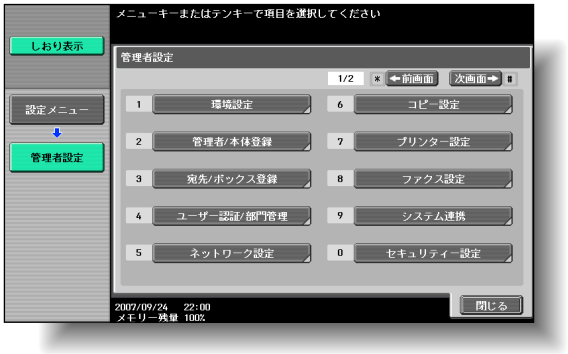
■ 発信元 / 受信情報設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

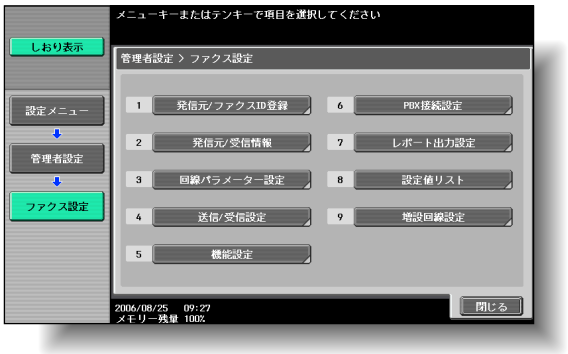
詳しく説明します

- 発信元情報は、相手側の受信文書に印字されます。詳しくは「発信元情報について」（p. 2-61）をごらんください。
- 受信情報については、詳しくは「受信情報について」（p. 3-17）をごらんください。

2 ［ファクス設定］を押します。



3 ［発信元 / 受信情報］を押します。



4 設定したい項目を選択します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.16発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定）

発信や着信に関する項目を設定します。

- ダイアル方式：PB / 10pps / 20pps *
  - ❍ ダイアル方式を設定します。
- 受信方式：自動受信* / 手動受信
  - ❍ 自動受信する場合は［自動受信］に、外部電話を接続している場合などで電話がかかる機会が多い場合や、リモート受信機能をお使いの場合には、［手動受信］に設定します。
- 着信回数設定：0 ～ 15 回（2 回*）
  - ❍ 着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。
- オートリダイアル回数：0 ～ 7 回（3 回*）
  - ❍ 相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を設定します。
- オートリダイアル間隔：1 ～ 15 分（3 分*）
  - ❍ リダイアルの間隔を設定します。
- TEL/FAX 自動切換え：ON / OFF *
  - ❍ 外部電話を接続している場合で、ファクスを優先して使うときに ON に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。
    ファクスの場合は受信が開始され、TEL の場合はスピーカーから擬似リングバックトーンが鳴ります。
- 外部 TEL 呼出モニター音：ON / OFF *
  - ❍ 外部電話の回線上の音をスピーカーから聞くときに［ON］に設定します。
    この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が［ON］に設定されている場合に表示されます。
- 外部 TEL 呼出時間：5 / 10 / 15 / 20 * / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 210 / 240sec
  - ❍ 外部電話を接続している場合に、着信してから外部電話を呼び出すまでの時間を設定します。この設定は、［TEL/FAX 自動切換え］が［ON］に設定されている場合に表示されます。
- 留守番電話接続設定：ON / OFF *
  - ❍ 外部電話として留守番電話を接続する場合に、［ON］に設定します。
- 回線モニター音：ON / OFF *
  - ❍ 通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに［ON］に設定します。

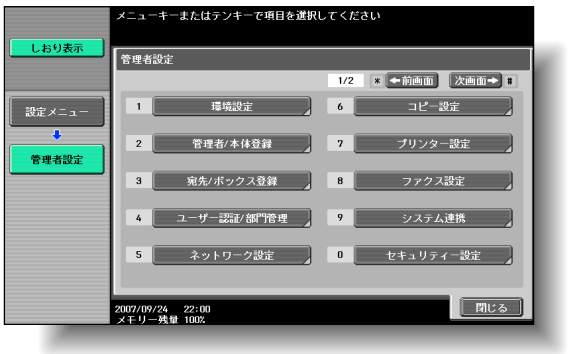
- 回線モニター音レベル：0 ～ 31（16 *）
  - ❍ スピーカーの音量を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

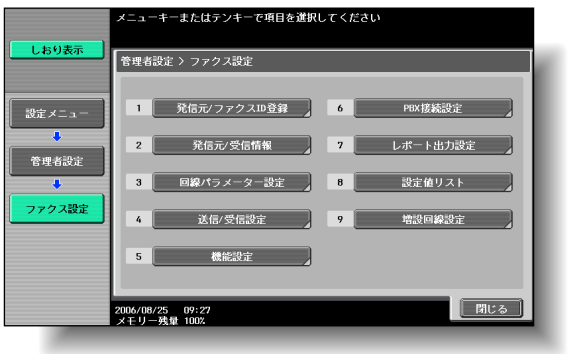
■ 回線パラメーター設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



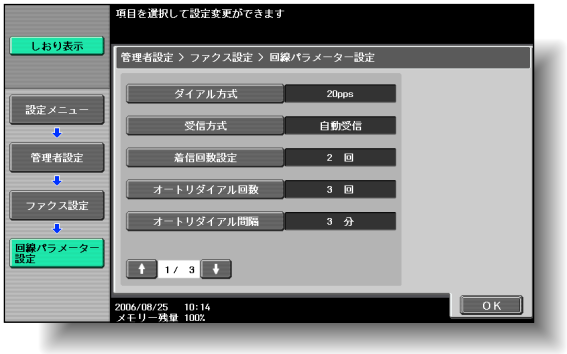
3 ［回線パラメーター設定］を押します。



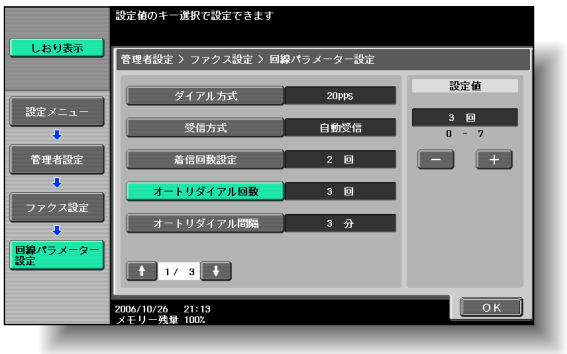
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4 設定したい項目を選択します。



5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

次のページまたは前のページを表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

詳しく説明します

［回線モニター音レベル］を変更するには、［回線モニター音レベル］を押して、［小さく］または［大きく］を押して、レベルを設定し、［OK］を押します。

11.17送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定）

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。

- 受信原稿両面印刷：ON / OFF *
  - ❍［ON］に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。
- インチ系用紙優先選択：ON / OFF *
  - ❍［ON］に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。
- 記録用紙優先選択：自動選択* / サイズ固定 / サイズ優先
  - ❍ サイズ優先を設定した場合：
    優先サイズに記録されます。優先サイズが設定されていない場合は、もっとも近いサイズに記録されます。
  - ❍ サイズ固定を設定した場合：
    設定したサイズだけに記録されます。
- 記録用紙サイズ[*1]：A3 / B4 / A4 * / $8^1/_2$ × 11 / $8^1/_2$ × 14 / 11 × 17
  - ❍ 受信文書を出力する用紙サイズを設定します。
    初期設定は［インチ系用紙優先選択］の設定によって異なります。
- ボックス番号エラー動作：印刷* / 通信エラー / ボックス自動生成
  - ❍ ボックスを使用したファクス受信において、未登録のボックス番号が指定された場合の動作を設定します。
    ［ボックス自動生成］を選択すると、入力された番号のボックスが作成されます。
- 着信拒否時の動作[*2]：応答しない / 回線切断*
  - ❍ 着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。
- 給紙トレイ固定[*3]：自動* / トレイ 1 / トレイ 2 / トレイ 3 / トレイ 4
  - ❍ 受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に用紙トレイを設定します。

詳しく説明します

［ページ分割記録］が［ON］の場合には表示されません。

詳しく説明します

[*1] ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。

詳しく説明します

パスワード規約が ON に設定されている場合は、［ボックス自動生成］は選択できません。
パスワード規約については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

詳しく説明します

[*2] ［ナンバーディスプレイ機能］を［ON］にした場合に表示されます。

詳しく説明します

[*3] トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

- 縮小率[*4]：87 ～ 96% * / 等倍
  - ❍ 受信原稿の出力倍率を設定します。

詳しく説明します

[*4] 記録時の［縮小率］を［等倍］に設定した場合は、［記録用紙優先選択］、［給紙トレイ固定］機能の設定は［自動］となります。また、［ページ分割記録］は［OFF］となります。

- ページ分割記録[*5]：ON / OFF *
  - ❍ ［ON］に設定すると定形サイズより長い原稿を受信した場合に、ページ分割して記録されます。
- ポーリング送信後文書：削除する* / 削除しない
  - ❍ ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。
- 受信印刷部数：1 *～ 10
  - ❍ 受信した文書をプリントする部数を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

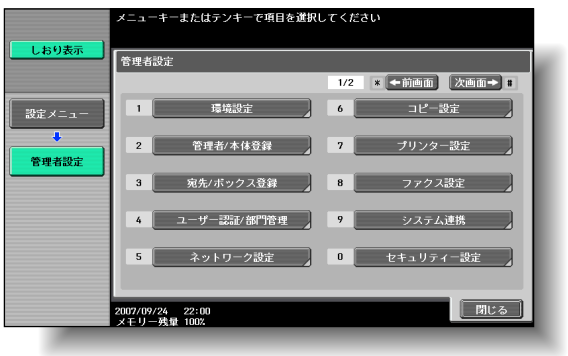
詳しく説明します

[*5] ［ページ分割記録］は、［受信原稿両面印刷］が［ON］の場合には表示されません。

■ 送信 / 受信設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

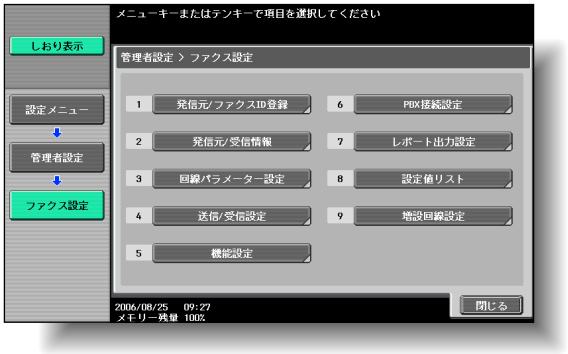
2 ［ファクス設定］を押します。



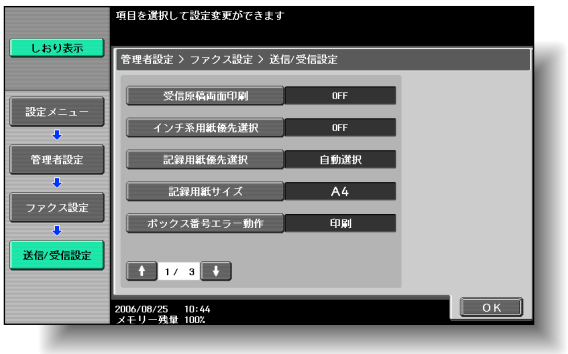
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［送信 / 受信設定］を押します。



4 設定したい項目を選択します。



5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

次のページまたは前のページを表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

11.18機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定）

送受信に関する機能の ON/OFF を設定します。

- F コード送信機能：ON * / OFF
  - ❍ F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。

参照

親展機能については、「親展送信をする（F コード送信）」（p. 7-63）をごらんください。

参照

F コード送信については、「中継先を指定して送る（F コード送信）」（p. 7-66）をごらんください。

- 中継受信機能：ON * / OFF
  - ❍ 中継配信局として、中継指示局から受信した文書を中継配信先に同報送信します。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。
- 中継印刷：ON / OFF *
  - ❍ 中継指示局から受信した文書をプリントします。
- 宛先確認表示機能：ON / OFF *
  - ❍ ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。
- ナンバーディスプレイ機能
  - ❍ ナンバーディスプレイ機能：ON / OFF *
    ナンバーディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。
  - ❍ ネームディスプレイ機能：ON / OFF *
    ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。
  - ❍ 着信中の発信者情報表示：ナンバーを表示 / ネームを表示*
    着信中の発信者情報の表示方法を設定します。
- 宛先 2 度入力機能（送信）：ON / OFF *
  - ❍ 直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。
- 宛先 2 度入力機能（登録）：ON / OFF *
  - ❍ 短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。

*はお買い上げ時の初期値です。

参照

中継ボックスの登録については、「中継ボックスを設定する」（p. 10-40）をごらんください。

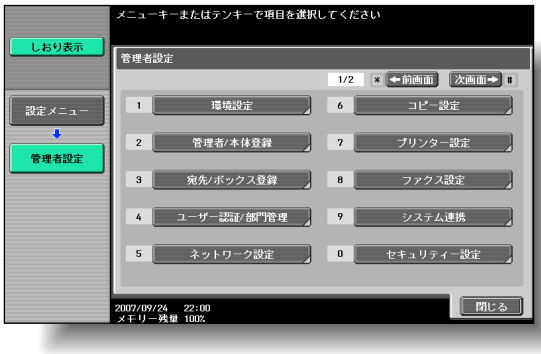
詳しく説明します

・［ナンバーディスプレイ機能］を［ON］にしないと「ネームディスプレイ機能」を設定することはできません。
・登録してあるファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

■ 機能 ON/OFF 設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



3 ［機能設定］を押します。



4 ［機能 ON/OFF 設定］を押します。



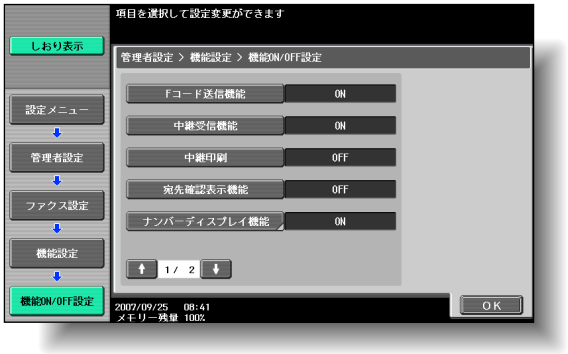
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

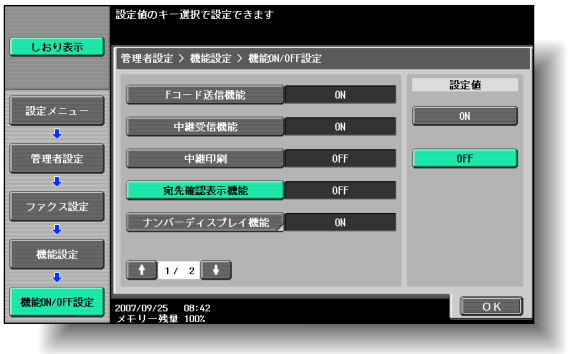
詳しく説明します

［強制メモリー受信設定］、［転送ファクス設定］、［PC-FAX 受信設定］、［TSI 受信振分け設定］のいずれかの機能が有効の場合、他の項目は表示されません。

5 設定したい項目を選択します。



6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



7 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

必ず守ってください

［ナンバーディスプレイ機能］の変更を有効にするには、本機の主電源を OFF にしたあと、ON にしてください。主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

11.19ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定）

ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。［する］に設定する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。

ダイアルインとは、ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能です。ファクス用の番号に着信するとファクスとして動作し、電話用の番号に着信すると、ファクスとしては動作しません。なお、ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。

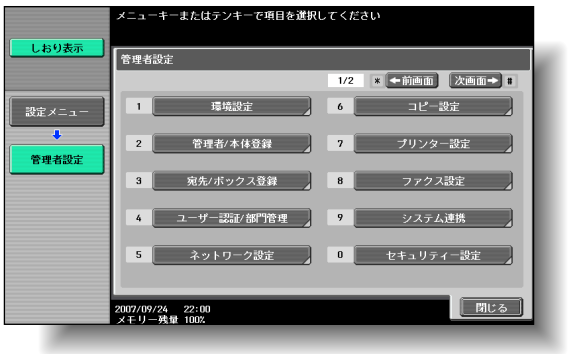
- ダイアルイン設定：する / しない*
  - ［する］に設定した場合は、以下を設定
- ファクス番号：11 桁以内
- 電話番号：11 桁以内
- PC-FAX 番号：11 桁以内（［PC-FAX 受信設定］が［許可する］/［ダイアルインのみ］の場合に表示されます。）

*はお買い上げ時の初期値です。

■ ダイアルイン設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



必ず守ってください

［ダイアルイン設定］の変更を有効にするには、本機の主電源を OFF にしたあと、ON にしてください。主電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

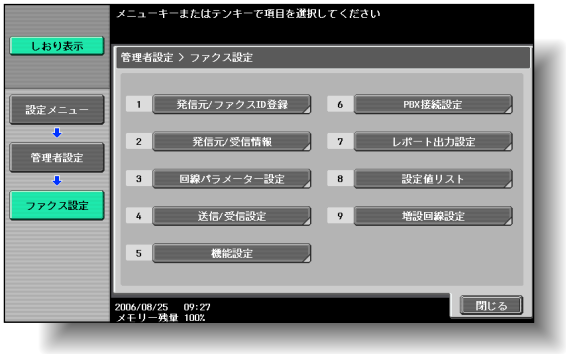
詳しく説明します

本機のダイアルイン機能は、モデムダイアルインに限定されます。

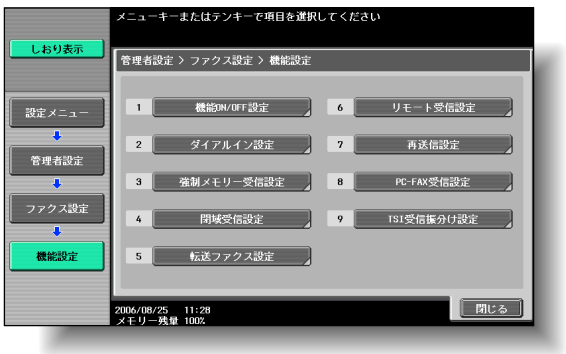
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［機能設定］を押します。



4 ［ダイアルイン設定］を押します。



5 ［する］を選択し、［ファクス番号］、［電話番号］、［PC-FAX 番号］を入力します。

❍ 設定したいキーを押し、テンキーで番号を入力します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

詳しく説明します

・［ファクス番号］、［電話番号］、［PC-FAX 番号］には、市外局番を含めた電話番号を入力してください。
・【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。
・［ファクス番号］と［PC-FAX 番号］に同じ電話番号を入力した場合は、ファクス番号が優先されます。
・［PC-FAX 受信設定］が［許可しない］の場合、［PC-FAX 番号］は表示されません。

7

ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.20強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定）

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。有効に設定した場合は、プリント時に使用するパスワードを 8 桁以内で設定します。

強制メモリー受信とは、受信した文書をすぐにプリントせず、いったんメモリーに蓄積し、指示をしてからプリントする機能です。

- 強制メモリー受信設定：（パスワードを 8 桁以内で設定）/ しない*

*はお買い上げ時の初期値です。

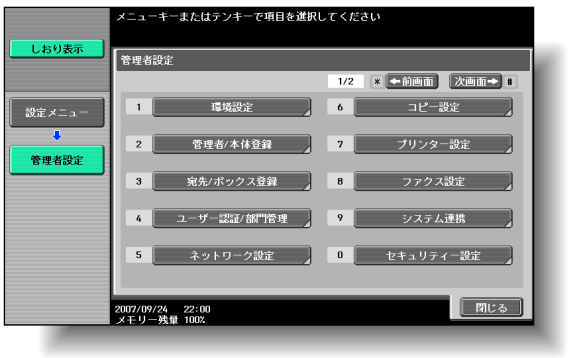
■ 強制メモリー受信設定をするには

1

「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2

［ファクス設定］を押します。



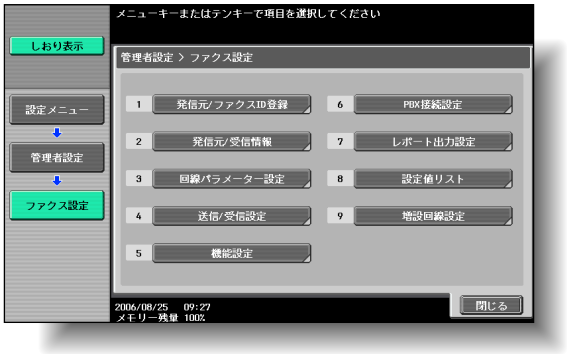
詳しく説明します

・［強制メモリー受信設定］を［ON］に設定した場合、［PC-FAX 受信設定］、［TSI 受信振分け設定］、［転送ファクス設定］は使用できません。
・強制メモリー受信した文書のプリント方法などについては、「強制メモリー受信した文書を取り扱う」（p. 8-6）をごらんください。

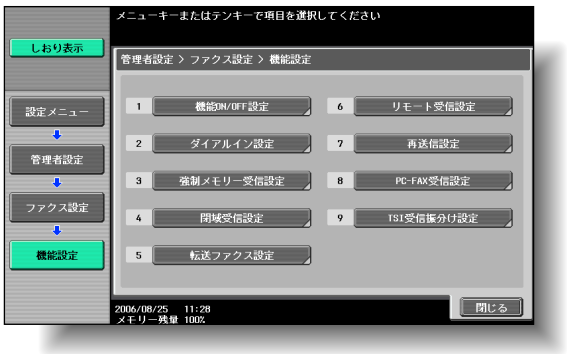
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［機能設定］を押します。



4 ［強制メモリー受信設定］を押します。



5 ［しない］を押し、パスワード入力欄にカーソルが表示されているのを確認してから、プリント時に入力するパスワード（8 桁以内）を入力します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.21 特定の相手からのみ受信する設定をする（閉域受信設定）

閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。有効に設定した場合は、閉域受信に使用するパスワードを、4 桁で設定します。

閉域受信とは、パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能です。

閉域受信が有効に設定されている場合は、相手機から送られてきたパスワードと、ここで設定したパスワードを照合し、パスワードが一致しない場合や、パスワードが付与されていない場合は通信エラーとなります。

原則

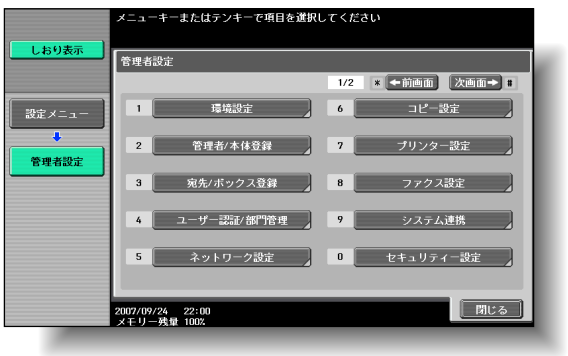
この機能は、相手機がパスワード送信機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

- 閉域受信機能：（パスワードを 4 桁で設定）/ しない*

■ 閉域受信設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

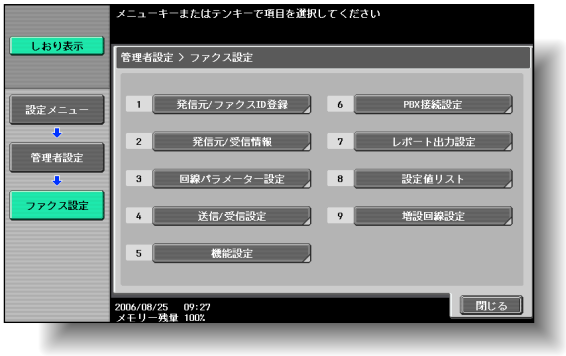
2 ［ファクス設定］を押します。



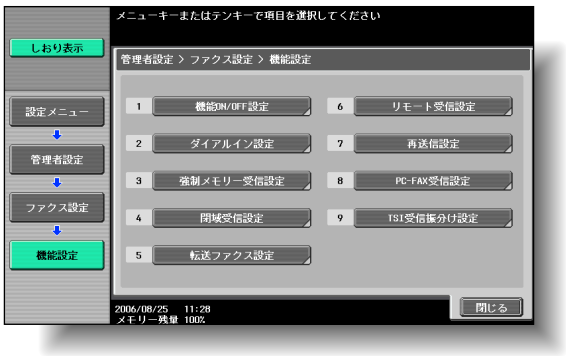
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［機能設定］を押します。



4 ［閉域受信設定］を押します。



5 ［しない］を押し、パスワード入力欄にカーソルが表示されているのを確認してから、閉域受信に使用するパスワード（数字 4 桁）を入力します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

11.22受信文書を転送する（転送ファクス設定）

転送ファクスを設定します。転送ファクスとは、受信した原稿を、あらかじめ設定しておいた相手に転送する機能です。

- 転送ファクス設定：する / しない*
  - ❍［する］に設定した場合は、以下を設定
- 出力機能：常時印刷 / 不達時のみ印刷
- 転送先設定
- 回線指定

*はお買い上げ時の初期値です。

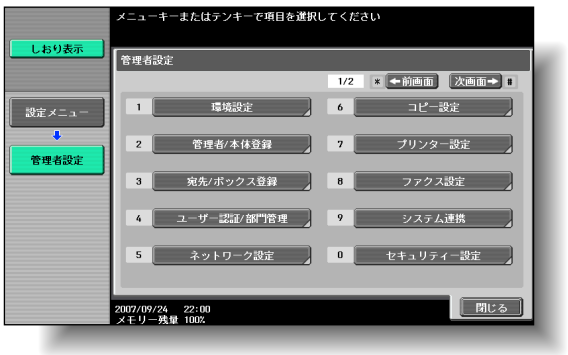
詳しく説明します

［転送ファクス設定］を［する］に設定した場合、［強制メモリー受信設定］、［PC-FAX 受信設定］、［TSI 受信振分け設定］は使用できません。

■ 転送ファクス設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

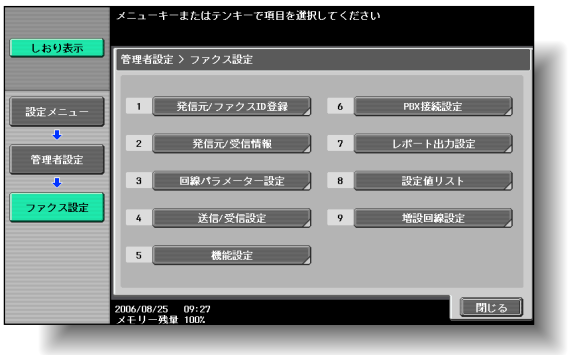
2 ［ファクス設定］を押します。



詳しく説明します

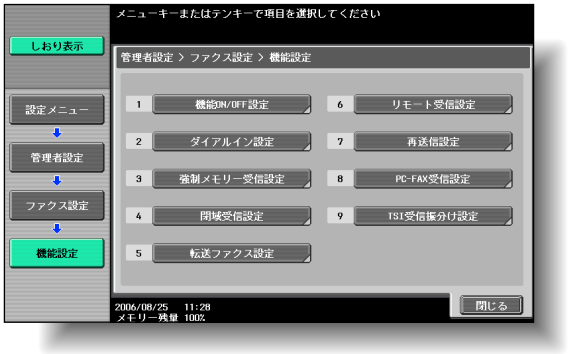
・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［機能設定］を押します。



4

［転送ファクス設定］を押します。



5

［する］を選択します。



6

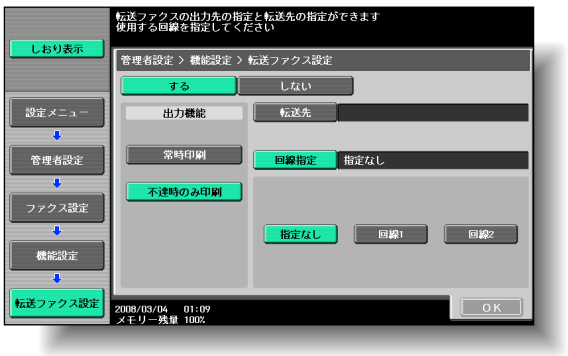
「出力機能」を設定します。

- ［常時印刷］：受信文書が転送され、本機でもプリントされます。
- ［不達時のみ印刷］：受信文書が転送され、転送できなかった場合に本機でプリントされます。

7

［転送先］を押して、受信文書を転送する相手のファクス番号を入力します。

- テンキーまたは画面上のキーボードで、転送先のファクス番号を入力します。
- ［登録宛先から指定］を押すと、登録されている短縮宛先またはグループ宛先を指定できます。
- 回線拡張キットを装着している場合は、［回線指定］を押して、回線指定もできます。



8

［OK］を押します。

設定が変更されます。

9

ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

- ファクス番号のみ直接入力できます（38 桁まで）。
- ［トーン］、［ポーズ］、［-］を使用できます。これらのキーの使いかたについては、直接入力での宛先指定のファクス番号入力手順をごらんください。直接入力での宛先指定については、「直接入力で指定する」（p. 2-22）をごらんください。
- ［登録宛先から指定］を押すと、登録されている宛先表から転送先を指定することができます。登録宛先は、ファクス、E-mail、ボックス、SMB、FTP、インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスから選択できます。
- インターネットファクス機能、SIP ファクス機能、IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。また、SIP ファクス機能を使用するには、SIP サーバー、SIP-FAX アダプタが必要です。
- 【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

11.23リモート受信を設定する（リモート受信設定）

リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。有効に設定する場合は、リモート受信に使用する番号を 2 桁で設定します。

リモート受信とは、外部電話から受信の指示をする機能です。外部電話の受話器を上げた場合に、相手がファクスのときは、設定した 2 桁のリモート受信番号をダイアルすると、受信を開始することができます。

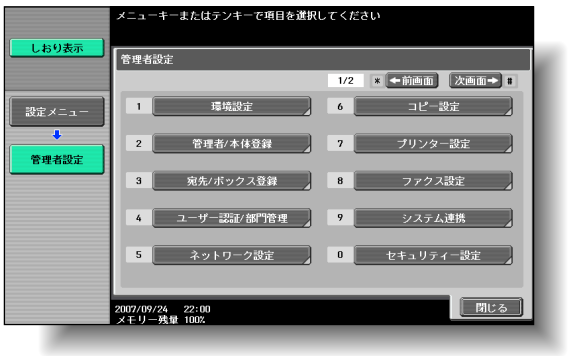
- リモート受信設定：（リモート受信番号設定）/ しない*

*はお買い上げ時の初期値です。

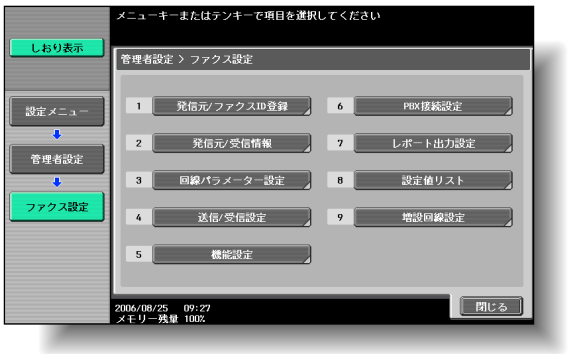
■ リモート受信を設定するには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



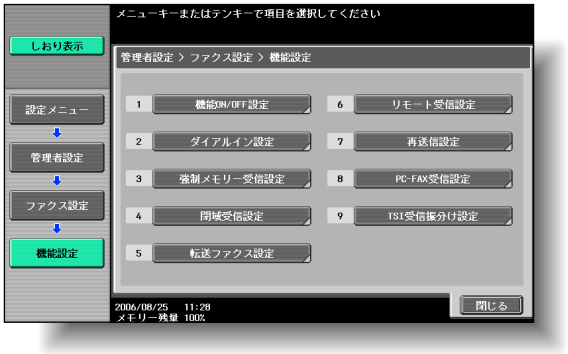
3 ［機能設定］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4 ［リモート受信設定］を押します。



5 ［しない］を押し、リモート受信番号入力欄にカーソルが表示されるのを確認してから、リモート受信番号（数字 2 桁）を入力します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

【C】を押すと、入力した内容がすべて削除されます。

11.24再送信を設定する（再送信設定）

通信エラーや相手機が電話中などの理由で、オートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存します。

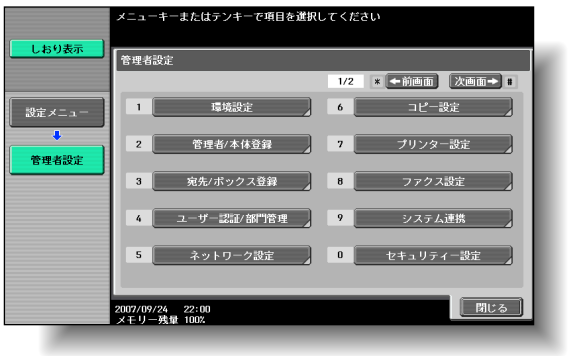
- 再送信設定：する / しない*
  - ❍［する］に設定した場合は、以下を設定
- ファイル保持時間：12 時間 /24 時間 /48 時間 /72 時間

*はお買い上げ時の初期値です。

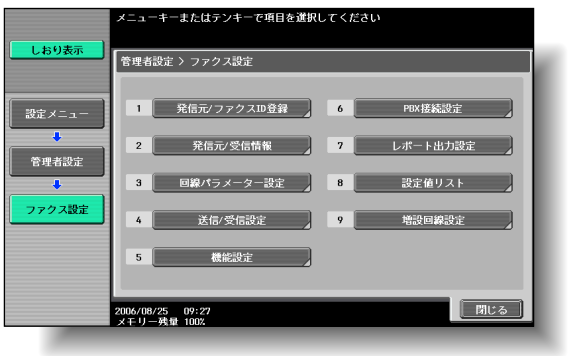
■ 再送信設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



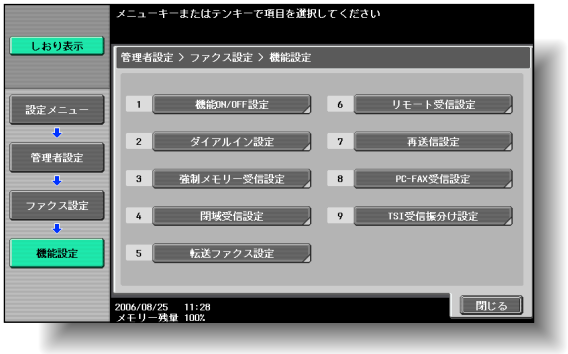
3 ［機能設定］を押します。



詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4 ［再送信設定］を押します。



5 ［する］を押し、「ファイル保持時間」を指定します。



6 ［OK］を押します。

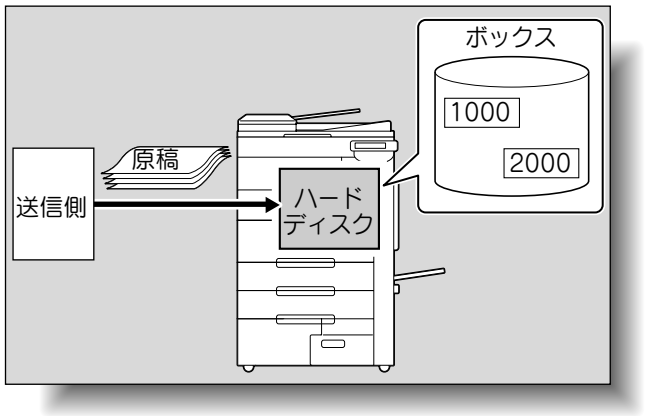
設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.25ハードディスク内のボックスに受信する（PC-FAX 受信設定）

PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。［許可する］に設定する場合は、出力先のボックスを設定します。

PC-FAX 受信とは、ファクスで受信した文書ファイルをハードディスクの中にあるボックスに保存することです。保存されたファイルは、ネットワーク上のコンピューター上に取り込むことができます。



- 許可する / ダイアルインのみ（ダイアルインが設定されている場合のみ表示されます。）/ 許可しない*
  - ❍ ［許可する］、［ダイアルインのみ］に設定した場合は、以下の設定をします。
- 受信出力先：強制メモリ受信ボックス* / 指定ボックス
  - ❍ 指定ボックスに設定すると、F コード（SUB アドレス）で指定されているボックスに保存されます。
- 受信後印刷：する / しない*
  - ❍ PC-FAX 受信設定を［許可する］にすると、受信後にプリントするかどうかを設定できます。
- パスワードチェック：する / しない*
  - ❍ PC-FAX 受信設定を［許可する］にすると、通信パスワードを設定することができます。

*はお買い上げ時の初期値です。

詳しく説明します

［PC-FAX 受信設定］を［許可する］に設定した場合、［強制メモリー受信設定］、［転送ファクス設定］、［TSI 受信振分け設定］は使用できません。

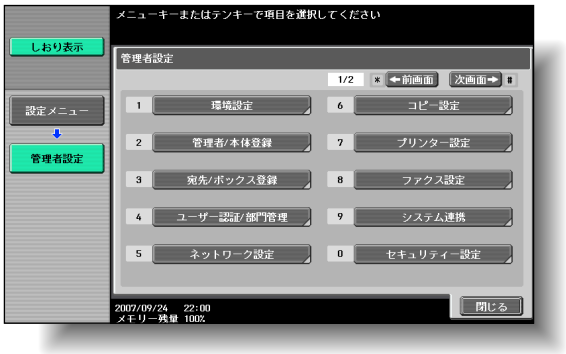
詳しく説明します

・［ダイアルインのみ］は、ダイアルイン設定が ON に設定されている場合に使用できます。ダイアルイン設定については、「ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定）」（p. 11-59）をごらんください。
・ファクス受信文書は、TIFF 形式で強制メモリー受信ボックス、指定ボックスに保存されます。

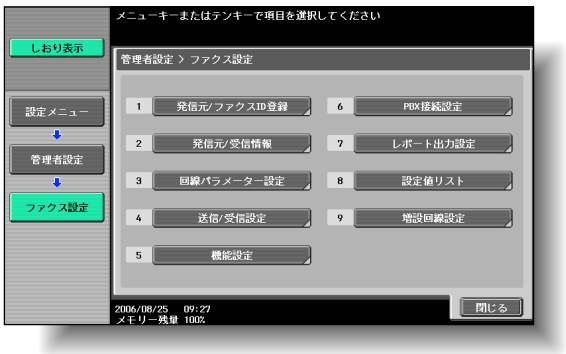
■ PC-FAX 受信設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

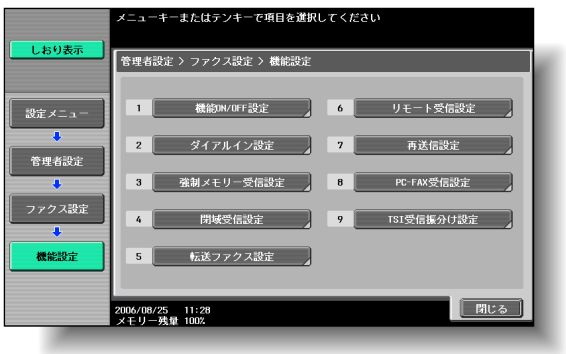
2 ［ファクス設定］を押します。



3 ［機能設定］を押します。



4 ［PC-FAX 受信設定］を押します。



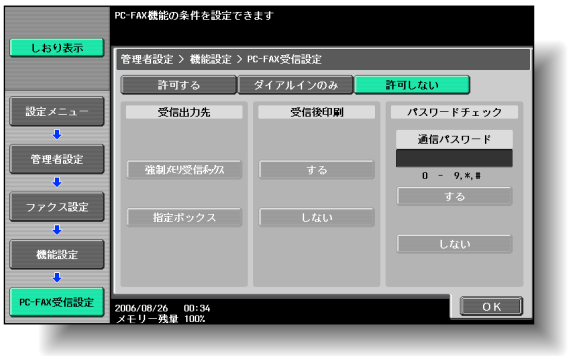
詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

5

［許可する］または［ダイアルインのみ］を選択します。

- ［許可しない］：PC-FAX 受信はされません。
- ［許可する］：ファクス番号、PC-FAX 番号のどちらを受けても PC-FAX 受信し、指定したボックスに受信文書が保存されます。
- ［ダイアルインのみ］：PC-FAX 番号のダイアルイン番号へ着信したときにのみ PC-FAX 受信し、指定したボックスに受信文書が保存されます。



詳しく説明します

［ダイアルインのみ］は、［ダイアルイン設定］を［しない］に設定していると表示されません。

6

「受信出力先」で、PC-FAX 受信した文書を保存するボックスを選択します。

- ［強制メモリ受信ボックス］
  強制メモリー受信ボックスに転送されます。
- ［指定ボックス］
  送信側が指定した F コード（SUB アドレス）により転送されます。

参照

PC-FAX 受信時の動作については、「PC-FAX 受信の動作について」（p. 1-14）をごらんください。

7

受信後にプリントをするかどうかを、「受信後印刷」で設定します。

8

パスワードのチェックをするかどうかを、「パスワードチェック」で設定をします。

- ［する］に設定した場合、テンキーで「通信パスワード」にパスワード（8 桁以内）を入力します。

9

［OK］を押します。

設定が変更されます。

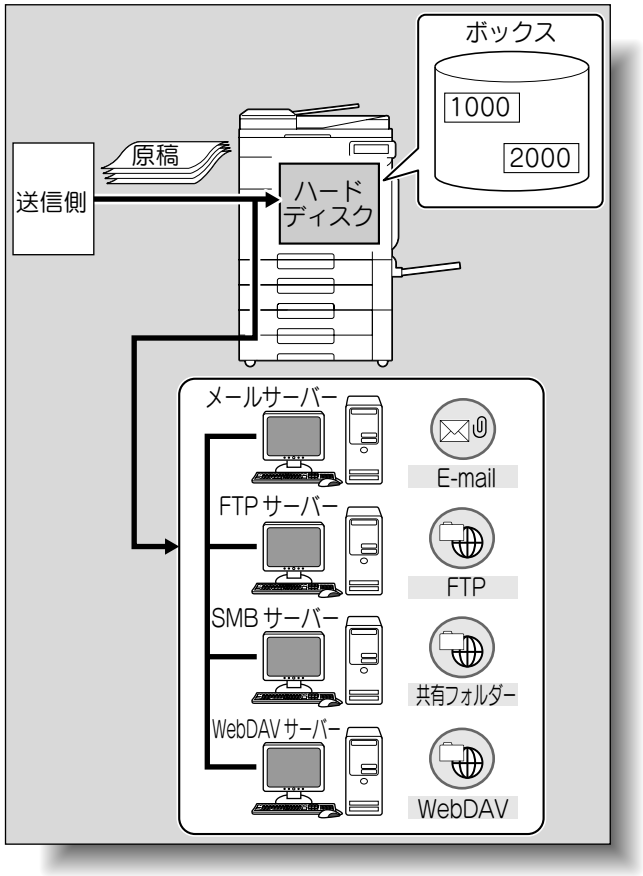
10

ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.26送信者ごとに受信原稿を振り分ける（TSI 受信振分け設定）

TSI 受信振分け機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、TSI 受信振分け先を登録します。

送信者のファクス ID（TSI）で受信した文書を、送信者ごとに用意した振分け先（ボックス宛先 /E-mail 宛先 /FTP 宛先 / SMB 宛先 /WebDAV 宛先）に配信します。



- TSI 受信振分け設定：する / しない*
  - ❍［する］に設定した場合は、以下の設定をします。
- 該当ボックスなし設定：受信印刷* / 強制メモリ受信ボックス
  - ❍ 登録されていない TSI 情報を受信したときの動作を設定します。
- 受信後印刷：する / しない*
  - ❍ 受信後にプリントをするかどうかを設定します。
- TSI 受信振り分け先登録

*はお買い上げ時の初期値です。

詳しく説明します

正常に配信が終了しなかった場合は、受信文書はプリントされます。

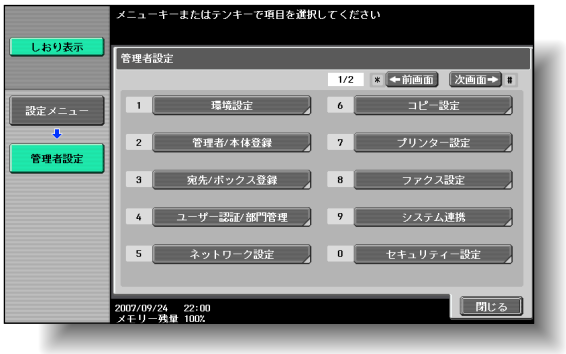
詳しく説明します

・［TSI 受信振分け設定］を［する］に設定した場合、［強制メモリー受信設定］、［転送ファクス設定］、［PC-FAX 受信設定］は使用できません。
・「受信後印刷」は、振分け先が E-mail/FTP/SMB/WebDAV 宛先の場合にのみ有効です。

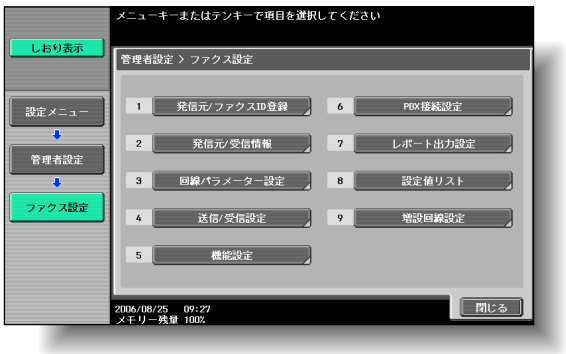
■ TSI 受信振分け設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

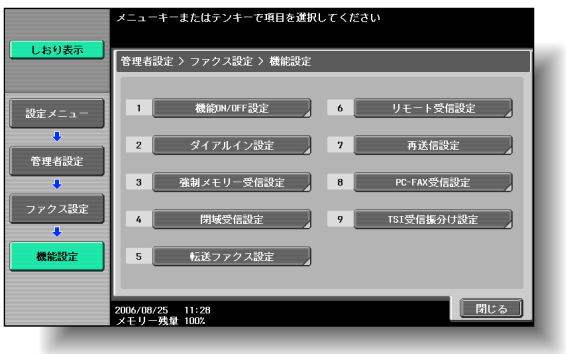
2 ［ファクス設定］を押します。



3 ［機能設定］を押します。



4 ［TSI 受信振分け設定］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

5 TSI 受信振分けを設定するには［する］を押します。



6 「該当ボックスなし設定」で、登録されていない TSI 情報を受信した場合の動作を選択します。

- ［受信印刷］
  受信した文書をプリントします。
- ［強制メモリ受信ボックス］
  受信した文書を強制メモリー受信ボックスに保存します。

7 ［受信後印刷］で、受信後にプリントするかどうかを設定します。

8 ［TSI 受信振分け先登録］を押します。

登録 No. の選択リストが表示されます。

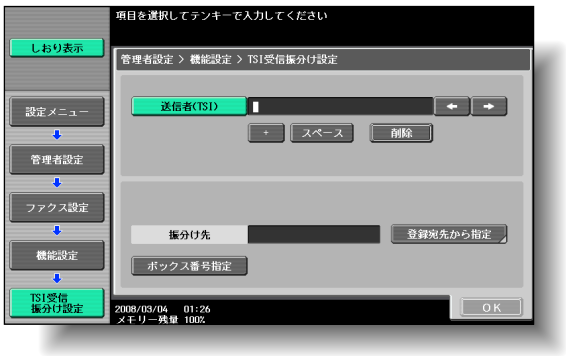
9 登録したい No. を選択し、［編集］を押します。



詳しく説明します

- 振分け先を削除したい場合は、削除したい振分け先を選択して［削除］を押します。
- 振分け先は、128 個まで登録できます。
- 次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

10 テンキー、[+]、[スペース]、[←] または [→] を使って、送信元の発信元情報（ファクス ID）を入力します。



- ❍ [+] : + が入力されます。
- ❍ [スペース] : スペースが入力されます。
- ❍ [←] : カーソルが左に移動します。
- ❍ [→] : カーソルが右に移動します。
- ❍ [削除] : カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。
  カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

詳しく説明します

- 実際の通信時には、[+]、[スペース] は、無視されます。
- 入力した文字を全て削除する場合は、操作パネルの【C】を押します。

11 振り分け先を指定します。

- ❍ 登録宛先から指定する場合は、[登録宛先から指定] を押し、振り分け先を指定して、[OK] を押します。
- ❍ ボックス番号を直接指定する場合は、[ボックス番号指定] を押し、テンキーでボックス番号を入力します。

詳しく説明します

- ボックス番号は、1 ～ 999999999 を指定できます。
- 中継ボックスは振分け先の対象外です。

12 [OK] を押します。

13 [OK] を押し、次の画面の [OK] を押します。

TSI 受信振分けが設定されます。

14 ファクス / スキャン画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

11.27 構内交換機に関する機能を設定する（PBX 接続設定）

PBX 回線の接続方法を設定します。

- PBX 接続設定：（外線番号設定）/ しない*
  - PBX 接続モードが有効の場合に、外線アクセスコードを設定します。
    外線番号は、0 発信の 0 のように外線に接続するための番号のことです。
    短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号が外線に設定されている場合は、登録されている電話番号の前に、ここで設定した外線番号がダイアルされます。

*はお買い上げ時の初期値です。

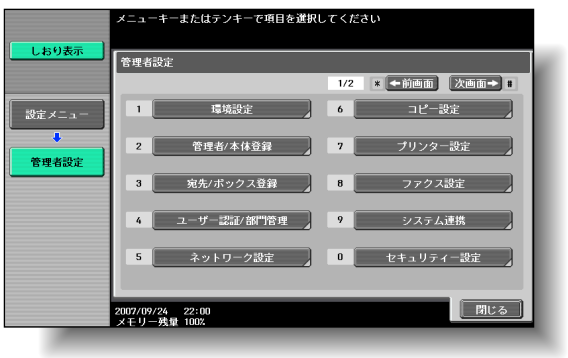
原則

PBX 接続設定を ON に設定する場合、ナンバーディスプレイ機能は OFF に設定してください。

■ PBX 接続設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

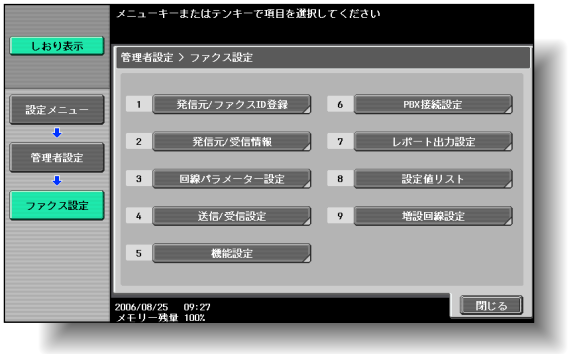
2 ［ファクス設定］を押します。



詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［PBX 接続設定］を押します。



4 ［しない］を押し、外線番号入力欄にカーソルが表示されるのを確認してから、外線番号を入力します。



5 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

6 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

入力した文字を削除する場合は、操作パネルの【C】を押します。

11.28 レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）

レポートのプリント方法を設定します。

- 通信管理レポート：ON * / OFF
  ［ON］に設定した場合は、以下の設定をします。
  出力設定：毎日 / 100 通信毎* / 100 / 毎日
  ［毎日］または［100 / 毎日］に設定した場合は、以下の設定をします。
  出力時刻設定：00:00 ～ 23:59（9:00 *）
  - ❍ 通信管理レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
    ［毎日］に設定した場合は、毎日の定時にプリントされます。
    ［100/ 毎日］に設定した場合は、前回出力時から 100 通信完了時に最新の 100 通信分がプリントされます。また毎日の定時にもプリントされます。
- 送信結果レポート：常時 / エラー時のみ* / OFF
  - ❍ 送信結果レポートをプリントするかどうか、また、いつプリントするかを設定します。
- 順次通信結果レポート：ON * / OFF
  - ❍ 順次通信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 予約レポート：ON * / OFF
  - ❍ 予約レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 親展受信レポート：ON * / OFF
  - ❍ 親展受信レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 掲示板送信結果レポート：ON * / OFF
  - ❍ 掲示板送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 中継結果レポート：ON * / OFF
  - ❍ 中継結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
- 中継依頼受付レポート：ON * / OFF
  - ❍ 中継依頼受付レポートをプリントするかどうかを設定します。
- PC-FAX 送信エラーレポート：ON / OFF *
  - ❍ PC-FAX 送信エラーレポートをプリントするかどうかを設定します。

- 同報結果レポート出力：全宛先一括* / 1 宛先毎
  - ❍ 同報送信結果レポートのプリント方法を設定します。

詳しく説明します

［1 宛先毎］選択時は、リダイアルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。

- 送信結果レポート画面 *1：表示する / 表示しない*
  - ❍ 送信結果レポートの選択画面を表示するかどうかを設定します。［表示する］に設定すると、送信のたびに表示されます。

*はお買い上げ時の初期値です。

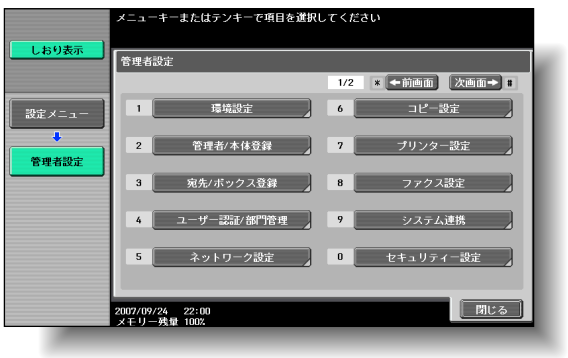
詳しく説明します

*1 ［送信結果レポート画面］で［表示する］に設定した場合は、ファクス送信時に表示された画面で［はい］を押すと送信結果レポートがプリントされます。［いいえ］を押すとプリントされません。

■ レポート出力設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

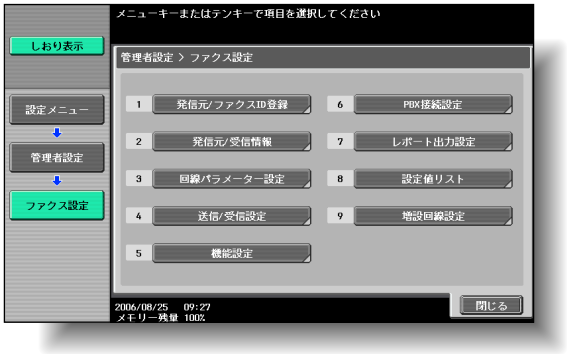
2 ［ファクス設定］を押します。



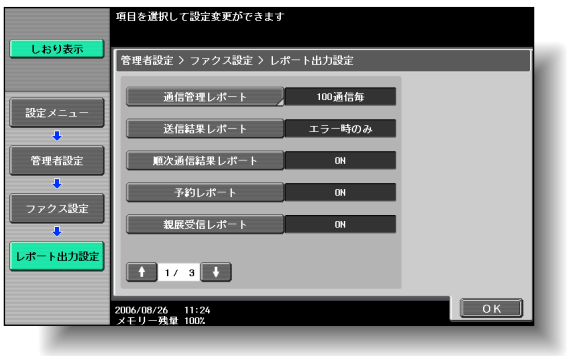
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

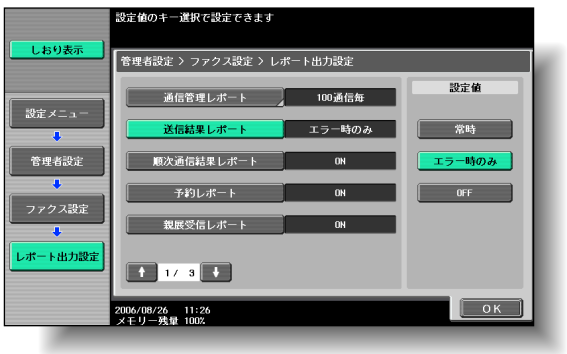
3 ［レポート出力設定］を押します。



4 設定したい項目を選択します。



5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

詳しく説明します

次の画面または前の画面を表示したい場合は、［↓］または［↑］を押します。

11.29増設回線のパラメーターを設定する（回線パラメーター設定）

増設回線のパラメーターを設定します。

- ダイアル方式：PB/10pps / 20pps *
  - ❍ 回線 2（増設回線）のダイアル方式を設定します。
- 着信回数設定：0 ～ 15 回（2 回*）
  - ❍ 回線 2（増設回線）の着信回数を設定します。着信してから受信を開始するまでの擬似リングバックトーン回数を設定します。
- 回線モニター音：ON / OFF *
  - ❍ 回線 2（増設回線）の通信時に、回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。

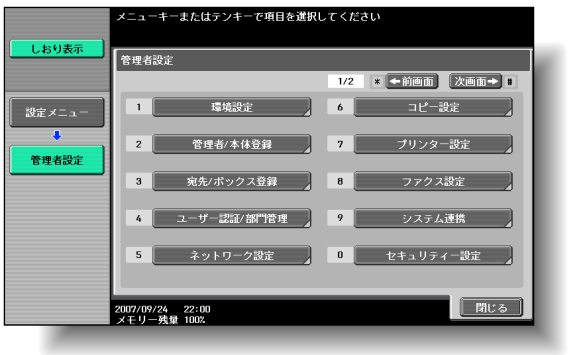
*はお買い上げ時の初期値です。

原則

増設回線設定は、回線拡張キットを装着している場合のみ設定できます。

■ 回線パラメーター設定をするには

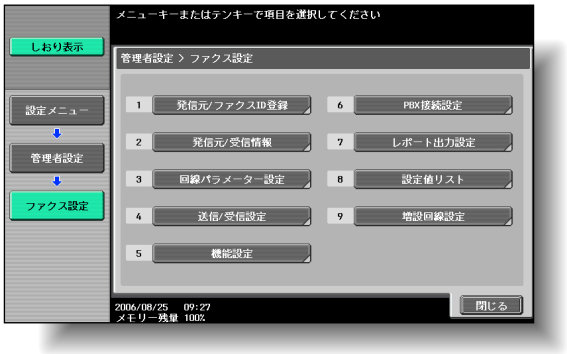
1. 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。
2. ［ファクス設定］を押します。



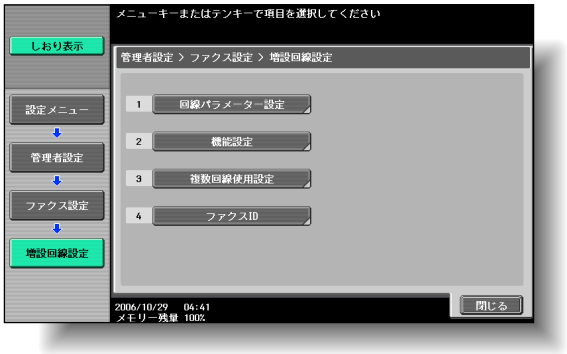
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［増設回線設定］を押します。



4 ［回線パラメーター設定］を押します。



5 設定したい項目を選択します。



6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.30増設回線の機能を設定する（機能設定）

増設回線の機能を設定します。

- PC-FAX 送信設定：回線 1 / 回線 2 / 指定なし*
  - ❍ PC-FAX 送信をする場合の回線を設定します。
- ナンバーディスプレイ機能：ON / OFF *
  - ❍ 回線 2（増設回線）のナンバーディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。［ON］に設定した場合は、以下の設定をします。
- ネームディスプレイ機能：ON / OFF *
  - ❍ 回線 2（増設回線）のネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。ネームディスプレイ機能を［ON］にした場合は、以下の設定をします。
- 着信中の発信者情報表示：ナンバーを表示 / ネームを表示*
  - ❍ 着信中の発信者情報の表示方法を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

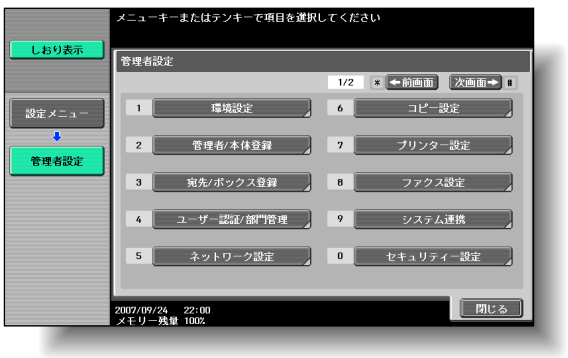
原則

増設回線設定は、回線拡張キットを装着している場合のみ設定できます。

■ 機能設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

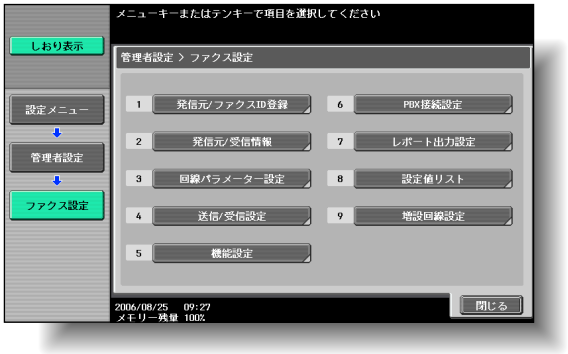
2 ［ファクス設定］を押します。



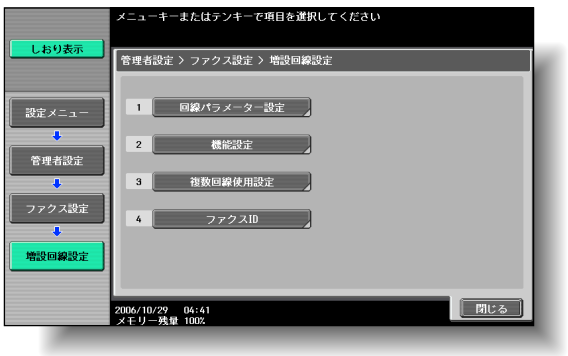
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

3 ［増設回線設定］を押します。



4 ［機能設定］を押します。



5 設定したい項目を選択します。



6 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。

7 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

8

ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.31 増設回線の通信方法を設定する（複数回線使用設定）

回線 2（増設回線）の通信方法を設定します。

- 複数回線使用設定：送受信兼用* / 受信専用 / 送信専用
  - ❍ 回線 2（増設回線）の通信方法を設定します。

*はお買い上げ時の初期値です。

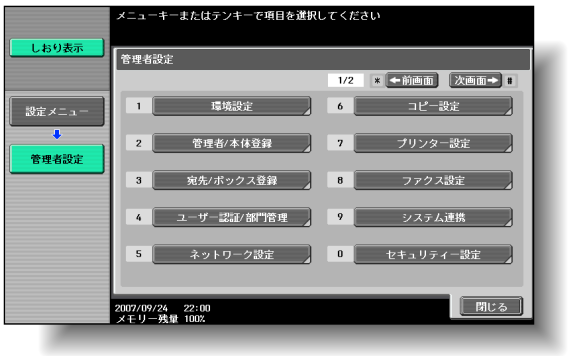
原則

増設回線設定は、回線拡張キットを装着している場合のみ設定できます。

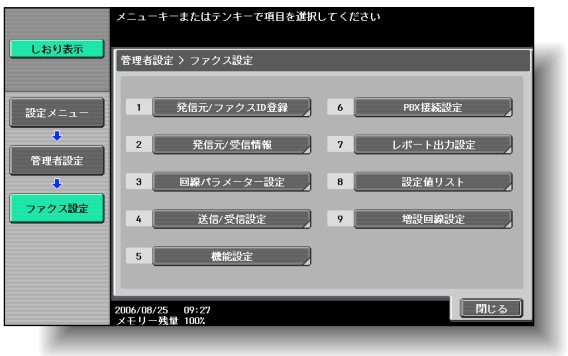
■ 複数回線使用設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



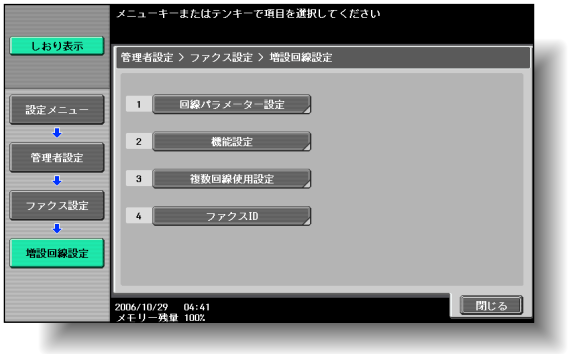
3 ［増設回線設定］を押します。



詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4 ［複数回線使用設定］を押します。



5 表示された項目から、設定したい項目のキーを押します。



6 ［OK］を押します。

設定が変更されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.32 増設回線のファクス ID を設定する（ファクス ID）

増設回線のファクス ID を登録します。

- ファクス ID：0 ～ 9、+、スペース、*、# を使って 20 文字以内
  - ❍ 登録したファクス ID が相手側の受信文書に発信元情報として印字されます。

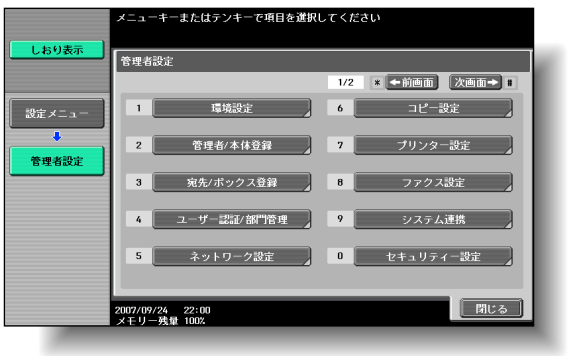
原則

増設回線設定は、回線拡張キットを装着している場合のみ設定できます。

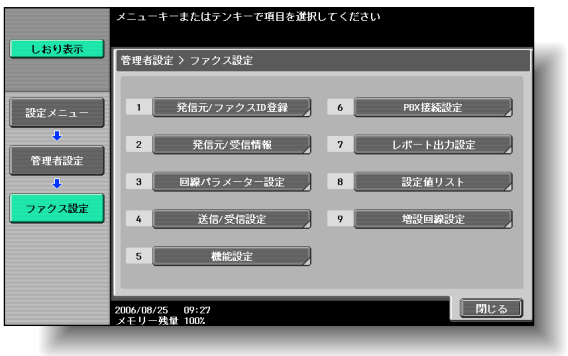
■ ファクス ID を設定するには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［ファクス設定］を押します。



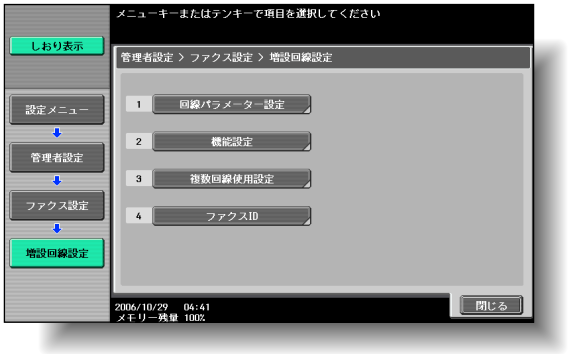
3 ［増設回線設定］を押します。



詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［ファクス設定］の場合は、テンキーで【8】を入力します。

4 ［ファクス ID］を押します。



5 テンキー、［+］、［スペース］、［←］、［→］、を使ってファクス ID を入力します。



- ［+］　：+ が入力されます。
- ［スペース］：スペースが入力されます。
- ［←］　：カーソルが左に移動します。
- ［→］　：カーソルが右に移動します。
- ［削除］　：カーソルの位置の文字が 1 文字ずつ削除されます。
  カーソルが右端にある場合、後端から削除されます。

6 ［OK］を押します。

ファクス ID が登録されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.33ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力）

宛先の直接入力および LDAP 検索を許可するかしないかを設定します。

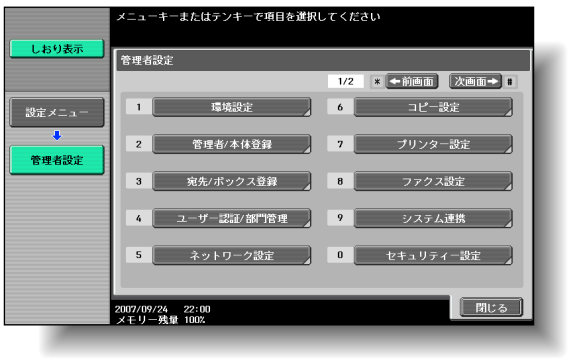
- 手動宛先入力：許可* / 禁止

*はお買い上げ時の初期値です。

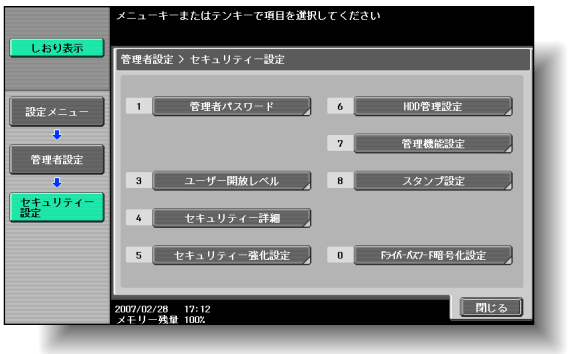
■ 手動宛先入力設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［セキュリティー設定］を押します。



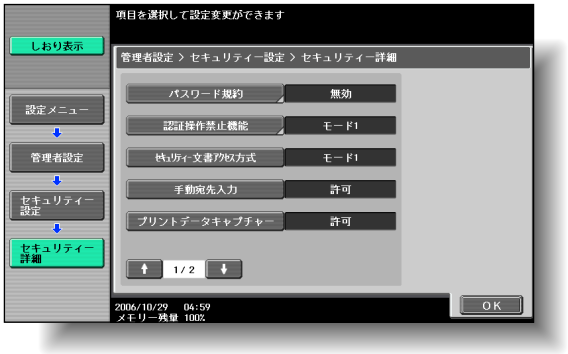
3 ［セキュリティー詳細］を押します。



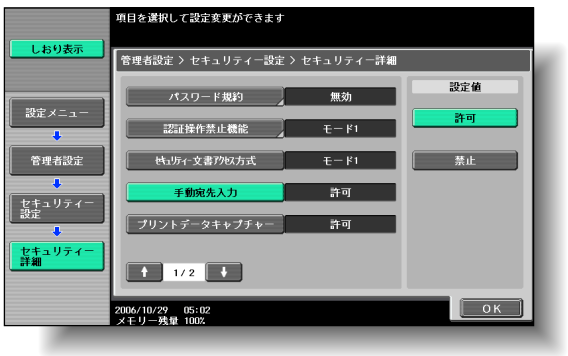
詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［セキュリティー設定］の場合は、テンキーで【0】を入力します。

4 ［手動宛先入力］を押します。



5 ［禁止］を押します。



6 ［OK］を押します。

ファクス番号の直接入力および宛先の LDAP 検索が禁止されます。

7 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.34ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止）

ファクス送信を禁止するかしないかを設定します。

［FAX 送信禁止］を［ON］にすると、ファクス / スキャン画面でファクス機能が表示されなくなります。

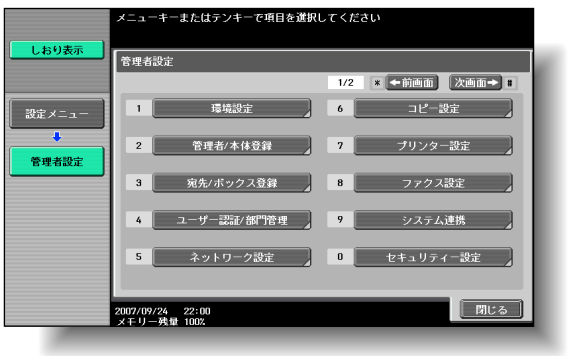
- FAX 送信禁止：ON / OFF *
  - ファクスの送信機能を禁止します。

*はお買い上げ時の初期値です。

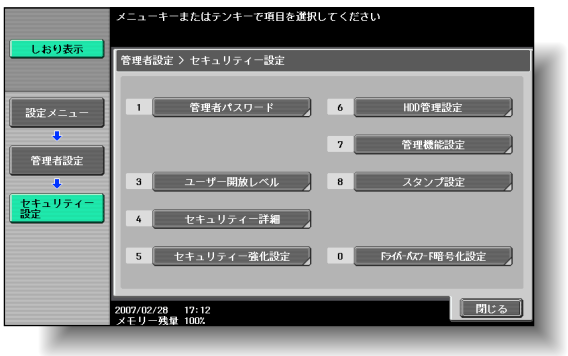
■ FAX 送信禁止設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［セキュリティー設定］を押します。



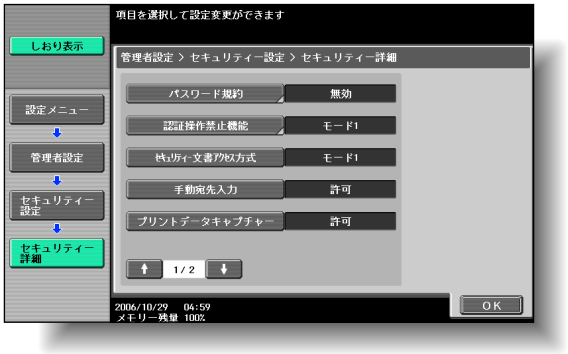
3 ［セキュリティー詳細］を押します。



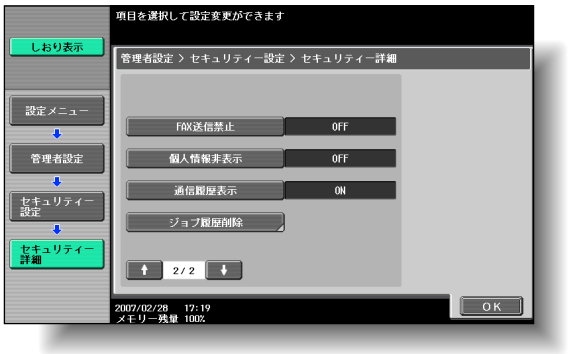
詳しく説明します

- オプションの設定によって表示されない項目があります。
- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［セキュリティー設定］の場合は、テンキーで【0】を入力します。

4 ［↓］を押します。



5 ［FAX 送信禁止］を押します。



6 ［ON］を押します。



7 ［OK］を押します。

ファクス送信機能が禁止されます。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.35ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示）

ジョブ表示画面の履歴リストの宛先を表示するかしないかを設定します。

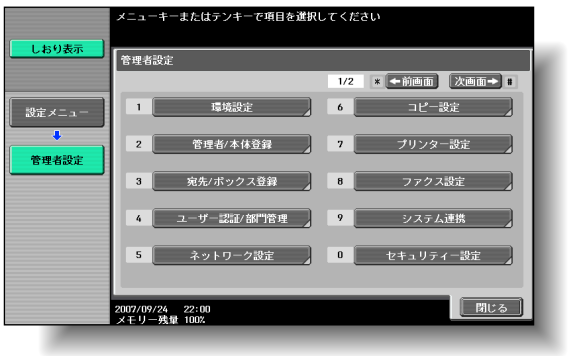
- 個人情報非表示：ON / OFF *

*はお買い上げ時の初期値です。

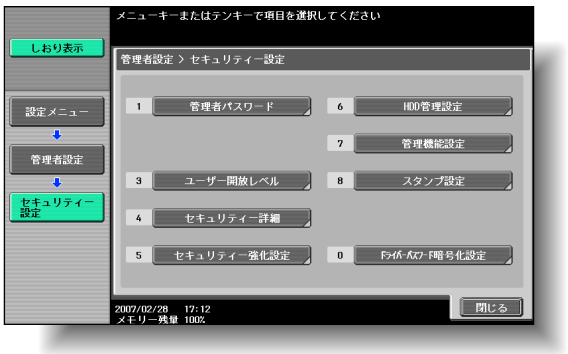
■ 個人情報非表示設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［セキュリティー設定］を押します。



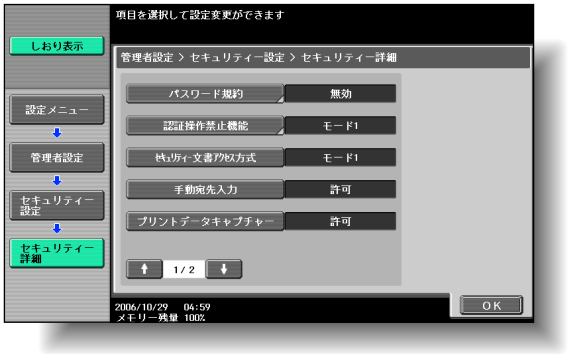
3 ［セキュリティー詳細］を押します。



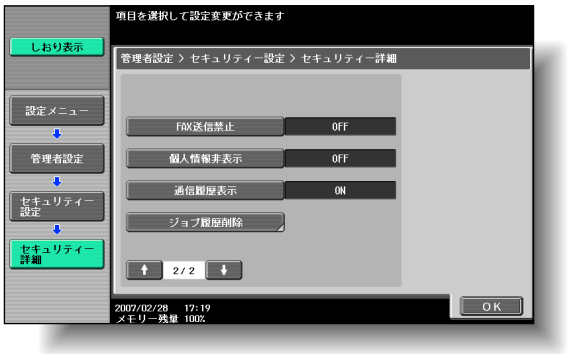
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［セキュリティー設定］の場合は、テンキーで【0】を入力します。

4 ［↓］を押します。



5 ［個人情報非表示］を押します。



6 ［ON］を押します。



7 ［OK］を押します。

ファクス番号が非表示になります。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

11.36通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示）

通信履歴を表示するかしないかの設定をします。

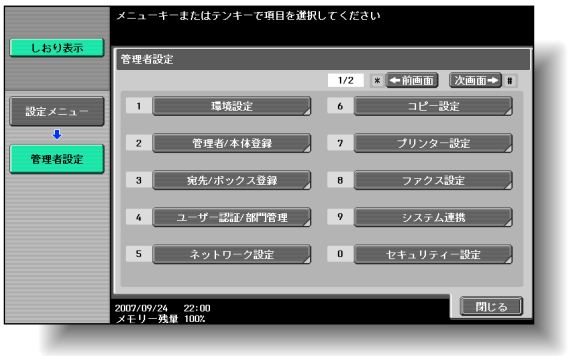
- 通信履歴表示：ON * / OFF

*はお買い上げ時の初期値です。

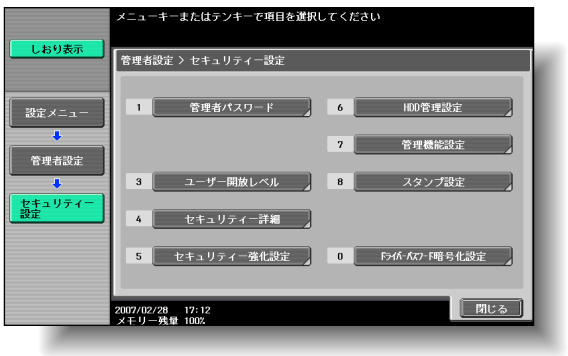
■ 通信履歴表示設定をするには

1 「管理者設定画面を表示するには」（p. 11-3）を参照し、管理者設定画面を表示します。

2 ［セキュリティー設定］を押します。



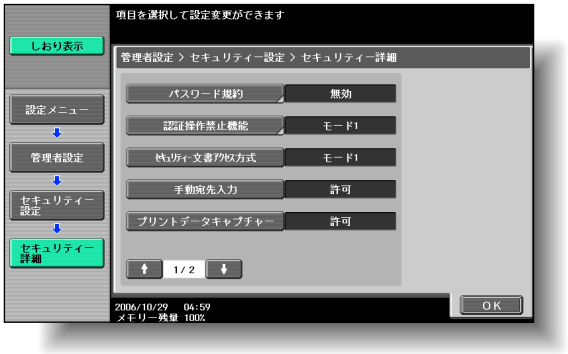
3 ［セキュリティー詳細］を押します。



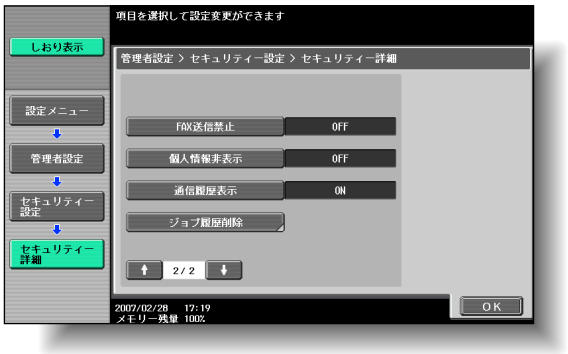
詳しく説明します

・オプションの設定によって表示されない項目があります。
・設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［セキュリティー設定］の場合は、テンキーで【0】を入力します。

4 ［↓］を押します。



5 ［通信履歴表示］を押します。



6 ［OFF］を押します。



7 ［OK］を押します。

通信履歴が非表示になります。

8 ファクス / スキャン画面に戻るまで、［閉じる］を押します。

第 12 章
レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

12.1　レポート / リストの種類 12-2
12.2　通信管理レポート 12-5
12.3　送信結果レポート 12-9
12.4　ポーリング送信結果レポート 12-11
12.5　ポーリング受信結果レポート 12-13
12.6　順次ポーリング受信結果レポート 12-15
12.7　通信予約レポート 12-17
12.8　ポーリング送信予約レポート 12-18
12.9　同報送信予約レポート 12-19
12.10 1 宛先ポーリング受信予約レポート 12-20
12.11 順次ポーリング受信予約レポート 12-21
12.12 親展受信レポート 12-22
12.13 掲示板送信結果レポート 12-24
12.14 中継結果レポート 12-26
12.15 中継依頼受付レポート 12-28
12.16 PC-FAX 送信エラーレポート 12-30
12.17 同報送信結果レポート 12-31
12.18 短縮宛先リスト 12-33
12.19 グループ宛先リスト 12-36
12.20 プログラム宛先リスト 12-39
12.21 設定値リスト 12-42

12.1 レポート / リストの種類

本機からプリントされるレポート / リストには、次の種類があります。

■ レポート

レポートには、自動的にプリントされるレポート、プリント方法を設定できるレポート、必要に応じてプリントの指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を毎日 /100 通信毎 /100/ 毎日から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時刻を設定できます。 ［ジョブ表示］>［ジョブ詳細］>［送信］>［履歴リスト］>［通信リスト］の順に押すと、以下のレポートをプリントできます。 ・送信管理レポート ・受信管理レポート ・通信管理レポート
送信結果レポート	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。
ポーリング送信結果レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［送信結果レポート］が［常時］または［エラー時のみ］に設定されている場合、ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。
ポーリング受信結果レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［送信結果レポート］が［常時］または［エラー時のみ］に設定されている場合に、ポーリング受信の結果が自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信結果レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［順次通信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。
同報送信結果レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［順次通信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

レポート名	説明
通信予約レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、送信予約をしたときに自動的にプリントされます。
ポーリング送信予約レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、ポーリング送信予約をしたときに自動的にプリントされます。
同報送信予約レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、順次同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。
1 宛先ポーリング受信予約レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、一つの宛先にポーリングを予約したときに自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信予約レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、複数の宛先にポーリングを予約したときに自動的にプリントされます。
親展受信レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［親展受信レポート］が［ON］に設定されている場合に、親展受信をしたときに自動的にプリントされます。
掲示板送信結果レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［掲示板送信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、掲示板送信の結果が自動的にプリントされます。
中継結果レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［中継結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、中継配信の結果が自動的にプリントされます。
中継依頼受付レポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［中継依頼受付レポート］が［ON］に設定されている場合に、中継受信の結果が自動的にプリントされます。
PC-FAX 送信エラーレポート	設定メニューの［レポート出力設定］で、［PC-FAX 送信エラーレポート］が［ON］に設定されている場合に、PC-FAX 送信でエラーがおきた場合に自動的にプリントされます。

■ リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
グループ宛先リスト	グループダイアルの登録内容をプリントできます。
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
設定値リスト	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

12.2 通信管理レポート

■ 通信管理レポートの見かた

通信管理レポートは、送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）、送受信の記録（通信管理レポート）をプリントすることができます。



通信管理レポート

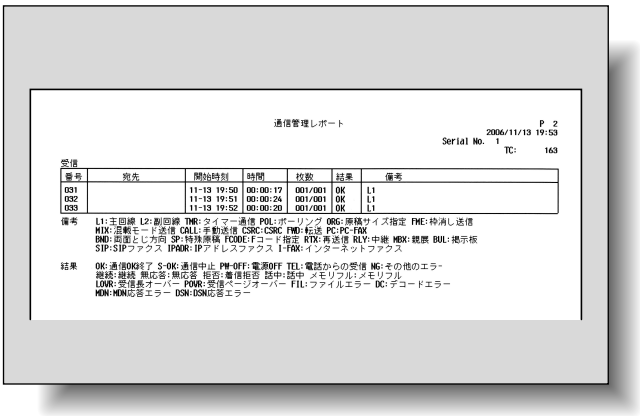
P 1
2006/11/13 19:53
Serial No. 1
TC: 163

送信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
019	東京営業	11-13 19:47	00:00:35	001/001	OK	L1
020	大阪営業	11-13 19:48	00:00:35	001/001	OK	L1
021	福岡営業	11-13 19:49	00:00:35	001/001	OK	L1

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信条オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー



通信管理レポート

P 2
2006/11/13 19:53
Serial No. 1
TC: 163

受信

番号	宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
031		11-13 19:50	00:00:17	001/001	OK	L1
032		11-13 19:51	00:00:24	001/001	OK	L1
033		11-13 19:52	00:00:20	001/001	OK	L1

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信条オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 番号：送信、受信それぞれに連番が付けられます。
- 宛先：
  次のいずれかが記載されます。情報がない場合はブランクとなります。
  - ❍ 送信管理レポート：
    短縮宛先またはプログラム宛先の登録名
  - ❍ 受信管理レポート：短縮宛先の登録名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。

詳しく説明します

オプションの設定によって記載されない項目があります。

- 枚数：
  通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。

- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

■ 自動プリント

通信管理レポートがプリントされる間隔は、設定メニューの［レポート出力設定］で設定することができます。

■ 手動プリント

次の操作でプリントできます。

1 ［ジョブ表示］を押します。

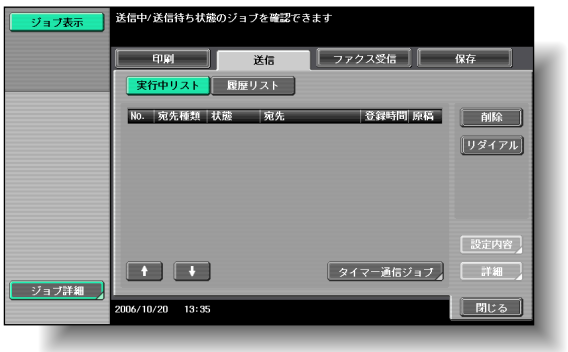
2 ［ジョブ詳細］を押します。



3 ［送信］を押します。

4 ［履歴リスト］を押します。

回線拡張キットを装着していない場合



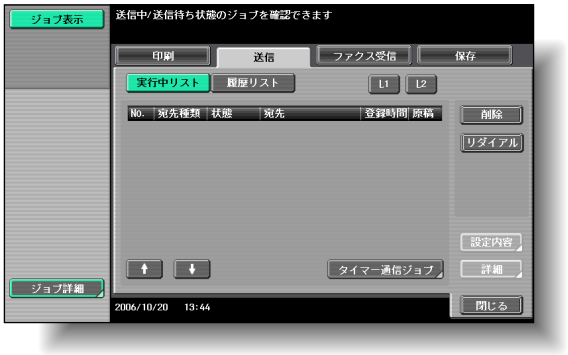
参照

［レポート出力設定］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

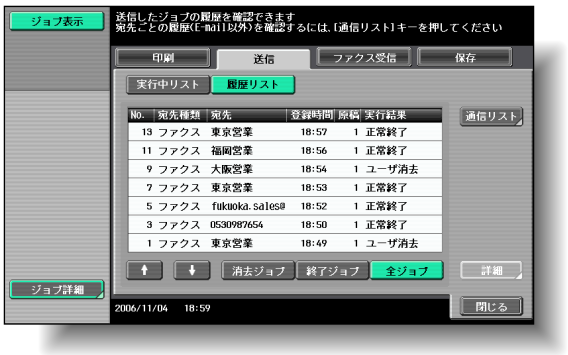
ひとこと

オプションの回線拡張キットを装着している場合は、［送信］の実行中リストで回線別にリスト表示ができます。回線 1 の実行中リストを表示したい場合は、［L1］を、回線 2 の実行中リストを表示したい場合は、［L2］を押します。

回線拡張キットを装着している場合



5 ［通信リスト］を押します。



6 ［ファクス送信リスト］を押します。

7 「レポート指定」のいずれかのキーを押し、「出力件数」を選択して、【スタート】を押します。



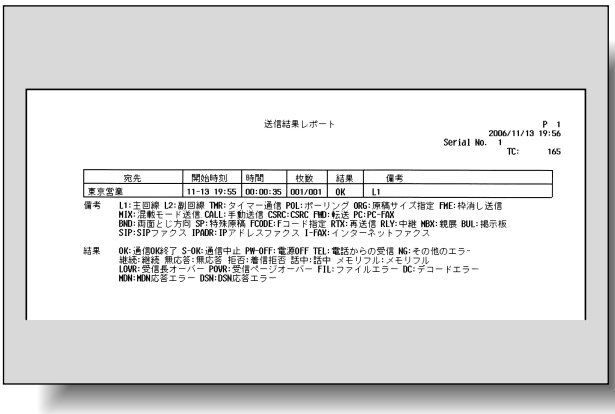
レポートがプリントされます。

参照

出力件数については、「レポート / リストの種類」(p. 12-2) をごらんください。

12.3 送信結果レポート

■ 送信結果レポートの見かた



- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先またはプログラム宛先の登録名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：
  通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果：

  OK: 通信が正常に終了した場合に記載されます。

  S-OK: 通信を中止した場合に記載されます。

  PW-OFF: 通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。

  NG: 通信エラーが発生した場合に記載されます。

  話中：
  相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。

  無応答：相手が応答しなかった場合に記載されます。

  TEL: 電話がかかってきた場合に記載されます。

  継続：
  送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。

  メモリフル：
  受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

  拒否：
  着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。

- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

■ 手動プリント

設定メニューの［送信結果レポート画面］が、［表示する］に設定されている場合は、送信のたびに送信結果レポート出力確認画面が表示されます。

［はい］を押すと、送信結果レポートがプリントされます。［いいえ］を押すと、プリントされません。

参照

［送信結果レポート画面］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

■ 自動プリント

設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ / OFF を設定することができます。

参照

［送信結果レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.4 ポーリング送信結果レポート

ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ / OFF を設定することができます。



ポーリング送信結果レポート

P. 1
2006/11/13 19:59
Serial No. 1
TC: 167

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	11-13 19:59	00:00:29	001/001	OK	L1 POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
M1X:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信表オーバー PGOVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：相手機の ID が記載されます。
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：
  通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照
［送信結果レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.5 ポーリング受信結果レポート

ポーリング受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ / OFF を設定することができます。



ポーリング受信結果レポート

P 1
2006/11/13 20:10
Serial No. 1
TC: 168

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
東京営業	11-13 20:10	00:00:20	001/001	OK	L1 POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FNE:枠消し送信
M1X:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOWR:受信表オーバー PGNR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - ❍ 相手先の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照

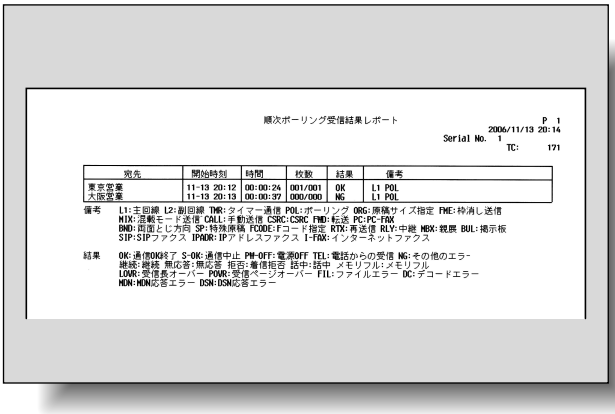
［送信結果レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.6 順次ポーリング受信結果レポート

複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。
設定メニューの［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。



順次ポーリング受信結果レポート

P. 1
2006/11/13 20:14
Serial No. 1
TC: 171

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
東京営業	11-13 20:12	00:00:24	001/001	OK	L1 POL
大阪営業	11-13 20:13	00:00:37	000/000	NG	L1 POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BWD:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照

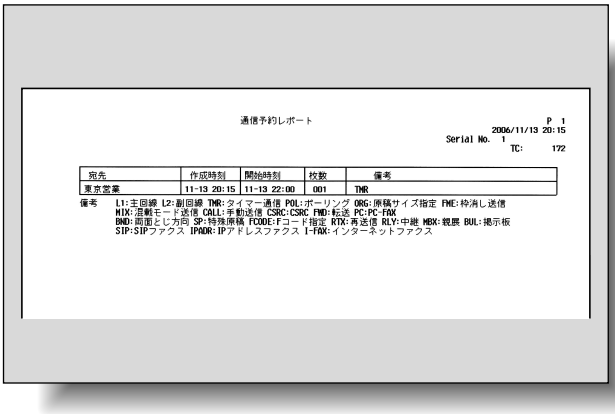
［順次通信結果レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください

- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.7 通信予約レポート

タイマー通信を指定したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。


通信予約レポート

P. 1
2006/11/13 20:15
Serial No. 1
TC: 172

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
東京営業	11-13 20:15	11-13 22:00	001	TMR

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に名前が登録されている場合は名前
  - ❍ 相手の電話番号
- 作成時刻：送信を予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻：
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数：読込んだ原稿枚数が記載されます。
- 備考：次のいずれかが記載されます。

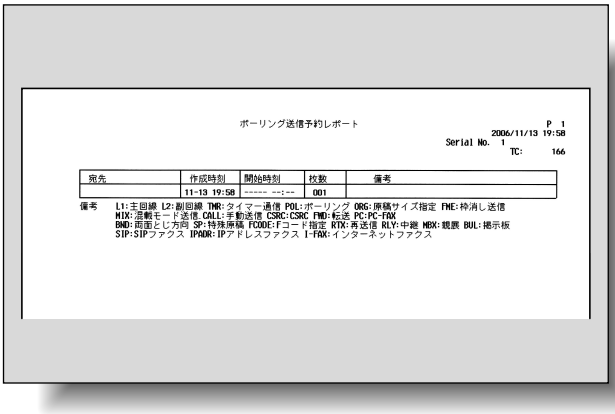
L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

参照

［予約レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.8 ポーリング送信予約レポート

ポーリング送信予約をしたときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。



- 宛先：記載されません。
- 作成時刻：ポーリング送信を予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻：記載されません。
- 枚数：読込んだ原稿枚数が記載されます。
- 備考：次のいずれかが記載されます。

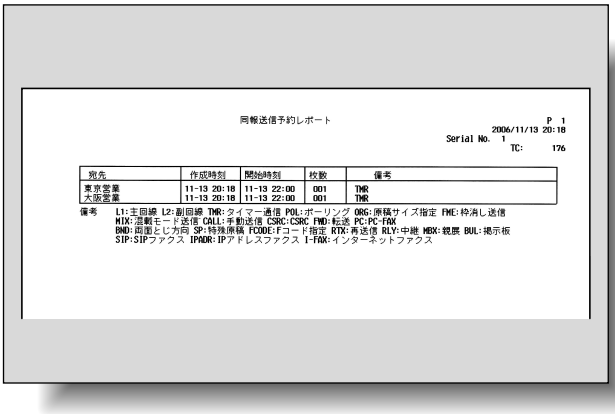
L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

参照

［予約レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.9 同報送信予約レポート

順次同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。



同報送信予約レポート

P. 1
2006/11/13 20:18
Serial No. 1
TC: 176

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
東京営業	11-13 20:18	11-13 22:00	001	TMR
大阪営業	11-13 20:18	11-13 22:00	001	TMR

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - ❍ テンキーで宛先を指定した場合は、相手の電話番号
- 作成時刻：送信を予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻：
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数：読込んだ原稿枚数が記載されます。
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

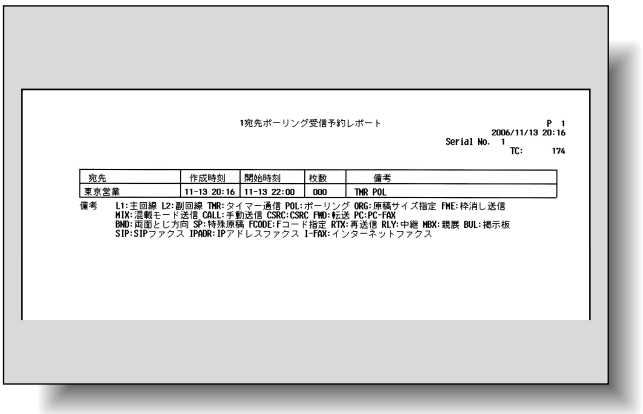
参照

［予約レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.101 宛先ポーリング受信予約レポート

1 宛先へのポーリングを予約をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。


1宛先ポーリング受信予約レポート

P 1
2006/11/13 20:16
Serial No. 1
TC: 174

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
東京営業	11-13 20:16	11-13 22:00	000	TMR POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

- 宛先：相手の電話番号が記載されます。
- 作成時刻：ポーリングを予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻：
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

参照

［予約レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.11 順次ポーリング受信予約レポート

複数の宛先へのポーリングを予約をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。



順次ポーリング受信予約レポート

P 1
2006/11/13 20:20
Serial No. 1
TC: 178

宛先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
東京営業	11-13 20:20	11-13 22:00	000	THR POL
大阪営業	11-13 20:20	11-13 22:00	000	THR POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 THR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

- 宛先：相手の電話番号が記載されます。
- 作成時刻：ポーリングを予約した時刻が記載されます。
- 開始時刻：
  タイマー通信をしている場合は、指定した時刻が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

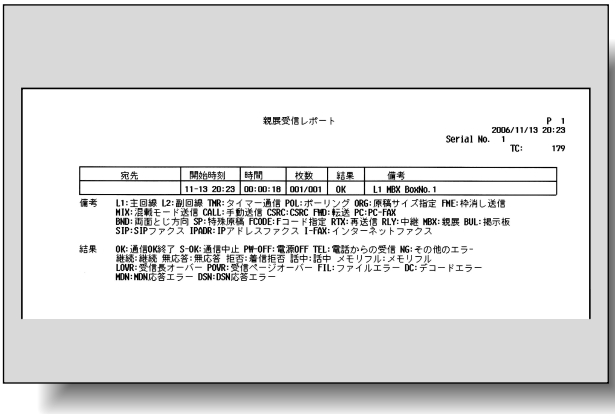
参照

［予約レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.12親展受信レポート

親展受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［親展受信レポート］で ON/OFF を設定することができます。



- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照

［親展受信レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

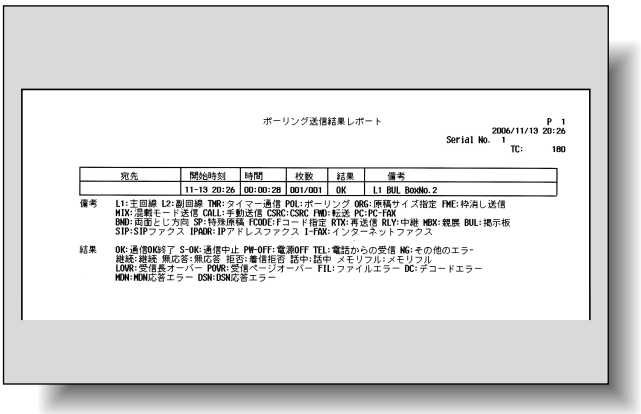
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.13掲示板送信結果レポート

掲示板に登録されている文書をポーリング送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［掲示板送信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。



ポーリング送信結果レポート

P 1
2006/11/13 20:26
Serial No. 1
TC: 180

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	11-13 20:26	00:00:28	001/001	OK	L1 BUL BoxNo.2

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
DND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信長オーバー PGOR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照
［掲示板送信結果レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

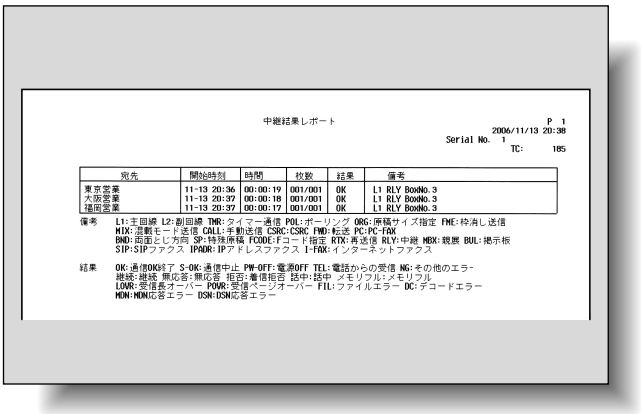
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.14中継結果レポート

中継配信局として中継配信先に中継送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［中継結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。



中継結果レポート

P 1
2006/11/13 20:38
Serial No. 1
TC: 185

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
東京営業	11-13 20:36	00:00:19	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.3
大阪営業	11-13 20:37	00:00:18	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.3
福岡営業	11-13 20:37	00:00:17	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.3

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BMD:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FTL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照

［中継結果レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

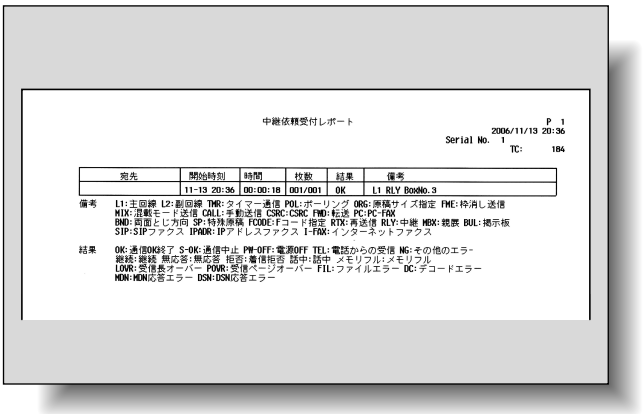
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.15中継依頼受付レポート

中継配信局として中継指示局から文書を受信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［中継依頼受付レポート］で ON/OFF を設定することができます。



中継依頼受付レポート

P 1
2006/11/13 20:36
Serial No. 1
TC: 184

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	11-13 20:36	00:00:18	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.3

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
DND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信長オーバー PGOR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MEM:MEM応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：通信した枚数が記載されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照

［中継依頼受付レポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

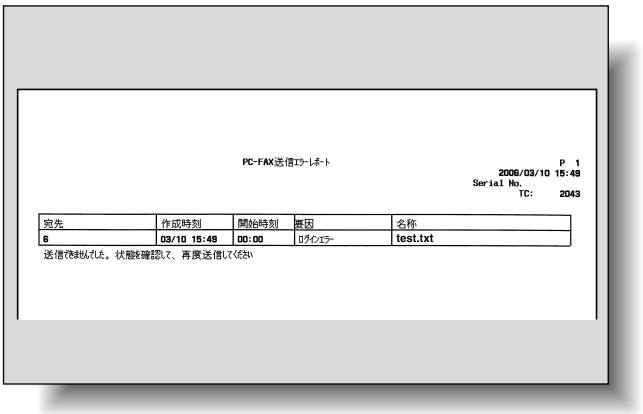
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.16PC-FAX 送信エラーレポート

PC-FAX 送信でエラーがおきたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［PC-FAX 送信エラーレポート］で ON/OFF を設定することができます。


PC-FAX送信エラーレポート

P 1
2006/03/10 15:49
Serial No.
TC: 2043

宛先	作成時刻	開始時刻	要因	名称
6	03/10 15:49	00:00	ログインエラー	test.txt

送信できませんでした。状態を確認して、再度送信してください

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている場合は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 作成時刻：PC上でPC-FAX送信を開始した時刻が記載されます。
- 開始時刻：タイマー送信を指定した場合は、指定時刻が記載されます。タイマー送信でない場合は、「--：--」と表示されます。
- 要因：送信エラーの原因が記載されます。
- 名称：ジョブ名またはユーザー名が記載されます。

参照
［PC-FAX 送信エラーレポート］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

12.17同報送信結果レポート

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定することができます。また、［同報結果レポート出力］でレポート出力タイミング（全宛先一括 /1 宛先毎）を指定できます。



同報送信結果レポート

P 1
2006/11/13 20:42
Serial No. 1
TC: 187

宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
東京営業	11-13 20:40	00:00:35	001/001	OK	L1
大阪営業	11-13 20:41	00:00:35	001/001	OK	L1
福岡営業	11-13 20:42	00:00:35	001/001	OK	L1

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリフル:メモリフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FTL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

- 宛先：次のいずれかが記載されます。
  - ❍ 短縮宛先に宛先名が登録されている相手は宛先名
  - ❍ 相手の電話番号
- 開始時刻：通信を開始した時刻が記載されます。
- 時間：通信の所要時間が記載されます。
- 枚数：
  通信した枚数が記載されます。送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。
- 結果：

OK:	通信が正常に終了した場合に記載されます。
S-OK:	通信を中止した場合に記載されます。
PW-OFF:	通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。
TEL:	電話がかかってきた場合に記載されます。
NG:	通信エラーが発生した場合に記載されます。
継続：	送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。
無応答：	相手が応答しなかった場合に記載されます。
拒否：	着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。
話中：	相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。
メモリフル：	受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。

参照

［順次通信結果レポート］および［同報結果レポート出力］については、「レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定）」（p. 11-82）をごらんください。

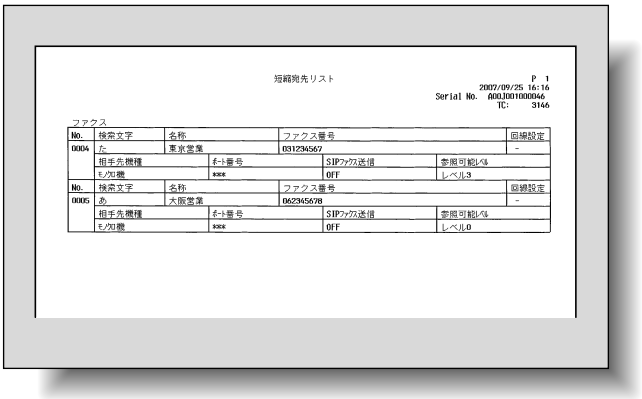
- 備考：次のいずれかが記載されます。

L1	：主回線
TMR	：タイマー通信
ORG	：原稿サイズ指定
MIX	：混載モード送信
CSRC	：遠隔診断
PC	：PC-FAX
SP	：特殊原稿
RTX	：再送信
MBX	：親展
L2	：副回線
POL	：ポーリング
FME	：枠消し送信
CALL	：手動通信
FWD	：転送
BND	：原稿のとじしろ
FCODE	：F コード指定
RLY	：中継
BUL	：掲示板

12.18短縮宛先リスト

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。

■ 短縮宛先リストの見かた



短縮宛先リスト

P 1
2007/09/25 16:16
Serial No. A00J001000046
TC: 3146

ファクス

No.	検索文字	名称	ファクス番号			回線設定
0004	た	東京営業	031234567			-
	相手先機種		ポート番号	SIPファクス送信	参照可能レベル	
	モノクロ機		xxx	OFF	レベル3	
No.	検索文字	名称	ファクス番号			回線設定
0005	あ	大阪営業	062345678			-
	相手先機種		ポート番号	SIPファクス送信	参照可能レベル	
	モノクロ機		xxx	OFF	レベル0	

- No.: 短縮番号です。
- 検索文字：登録されている検索文字です。
- 名称：登録されている宛先名です。
- 電話番号：登録されているファクス番号です。
- 回線設定：回線設定が指定されている場合に * が記載されます。
- 相手先機種：登録されている相手先機種（モノクロ機／カラー機）です。
- ポート番号：登録されているポート番号です。
- SIP ファクス送信：SIP ファクス宛先として登録されているかいないかが表示されます。
- 参照可能レベル：登録されている参照可能レベルです。

■ 短縮宛先リストをプリントするには

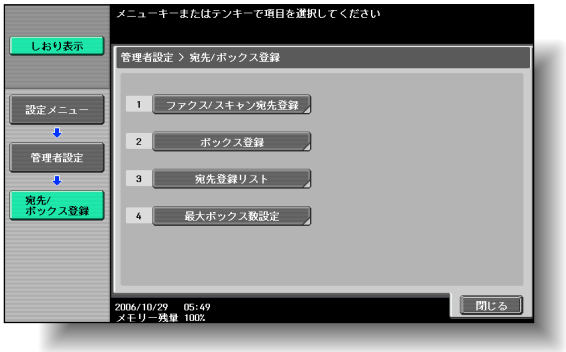
1. 【設定メニュー / カウンター】を押します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。

詳しく説明します

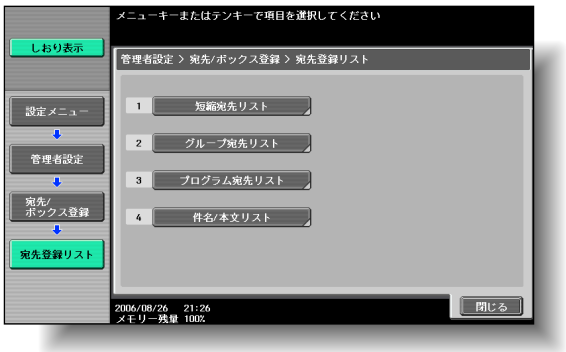
管理者のパスワードは、［セキュリティー設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

4 ［宛先 / ボックス登録］を押します。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

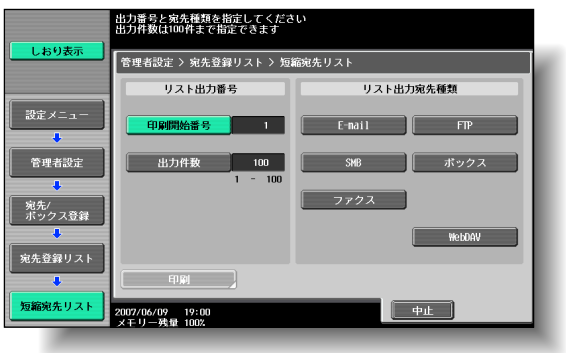


6 ［短縮宛先リスト］を押します。



7 「リスト出力番号」を設定します。

- ［印刷開始番号］を押し、プリントしたい短縮宛先の登録番号をテンキーで入力します。
- ［出力件数］を押し、印刷開始番号から何件分プリントしたいか件数をテンキーで入力します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録リスト］の場合は、テンキーで【3】を入力します。

詳しく説明します

100 件まで指定できます。

8 「リスト出力宛先種別」を設定します。

- 出力したいリストの宛先種別を、[E-mail]、[FTP]、[SMB]、[ボックス]、[ファクス]、[WebDAV] から選択します。

9 [印刷] を押します。

10 プリントに使用するトレイを選択します。

11 [実行] または【スタート】を押します。

短縮宛先リストがプリントされます。

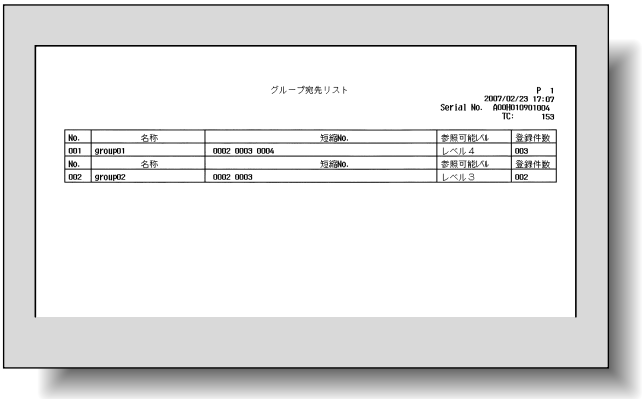


レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

12.19グループ宛先リスト

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。

■ グループ宛先リストの見かた



- No.: グループ番号です。
- 名称 : 登録されているグループ名です。
- 短縮宛先 No.: グループに登録されている短縮 No. です。
- 参照可能レベル : 登録されている参照可能レベルです。
- 登録件数 : グループに登録されている短縮 No. の数です。

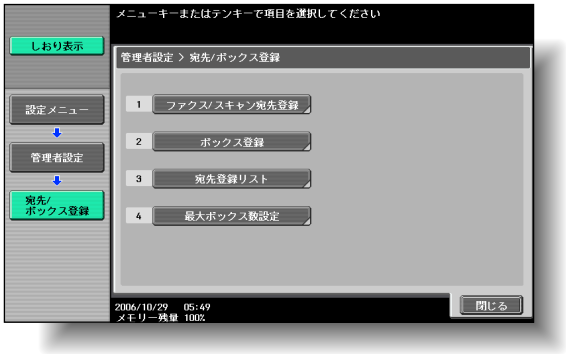
■ グループ宛先リストをプリントするには

1. 【設定メニュー / カウンター】を押します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。
4. ［宛先 / ボックス登録］を押します。

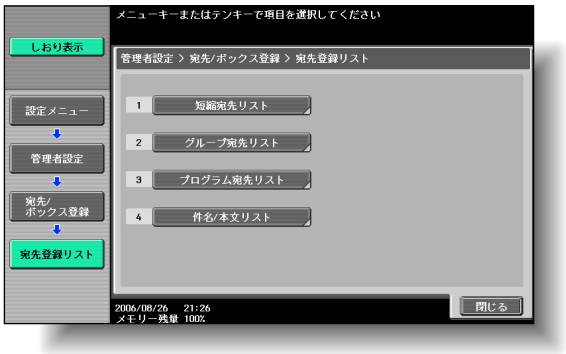
詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティー設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

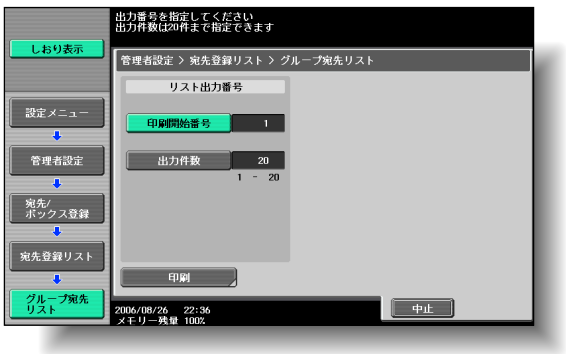


6 ［グループ宛先リスト］を押します。



7 「リスト出力番号」を設定します。

- ［印刷開始番号］を押し、プリントしたいグループ宛先の登録番号をテンキーで入力します。
- ［出力件数］を押し、印刷開始番号から何件分プリントしたいか件数をテンキーで入力します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録リスト］の場合は、テンキーで【3】を入力します。

詳しく説明します

20 件まで指定できます。

8 ［印刷］を押します。

9 プリントに使用するトレイを選択します。

10 ［実行］または【スタート】を押します。
グループ宛先リストがプリントされます。

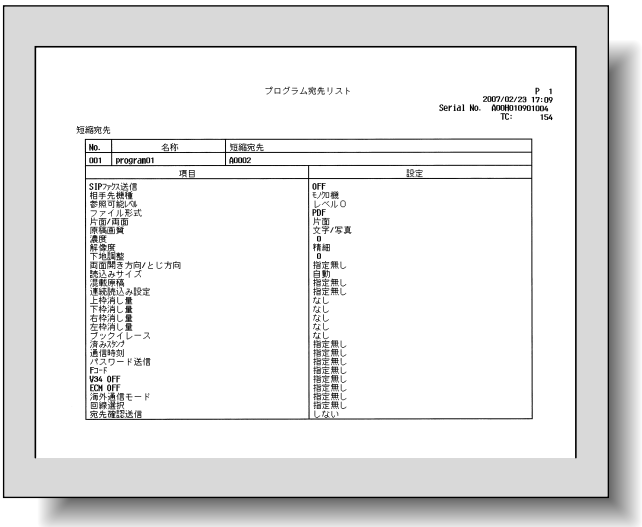
詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

12.20プログラム宛先リスト

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。

■ プログラム宛先リストの見かた



プログラム宛先リスト

P. 1
2007/02/23 17:09
Serial No. A00B010901004
TC: 154

短縮宛先

No.	名称	短縮宛先
001	program001	A0002

項目	設定
SIPファクス送信	OFF
相手先機種	モノクロ機
参照可能レベル	レベル0
ファイル形式	PDF
片面/両面	片面
原稿画質	文字/写真
濃度	0
解像度	精細
下地調整	0
両面開き方向/とじ方向	指定無し
読込みサイズ	自動
混載原稿	指定無し
連続読込み設定	指定無し
上枠消し量	なし
下枠消し量	なし
右枠消し量	なし
左枠消し量	なし
ブックイレース	なし
綴じ/パンチ	指定無し
通信時刻	指定無し
パスワード送信	指定無し
F-コード	指定無し
V34 OFF	指定無し
ECM OFF	指定無し
海外通信モード	指定無し
回線選択	指定無し
宛先確認送信	しない

- No.: プログラム宛先番号です。
- 名称：プログラム宛先登録名です。
- 短縮宛先：短縮宛先 No. です。

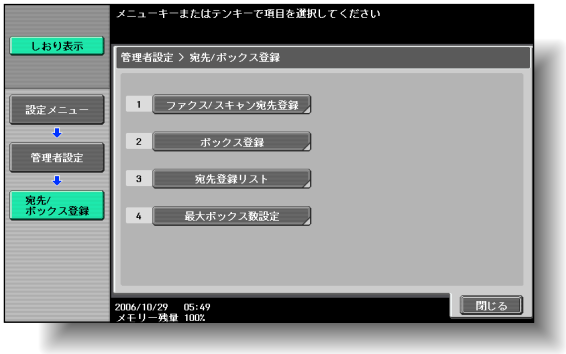
■ プログラム宛先リストをプリントするには

1. 【設定メニュー / カウンター】を押します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。
4. ［宛先 / ボックス登録］を押します。

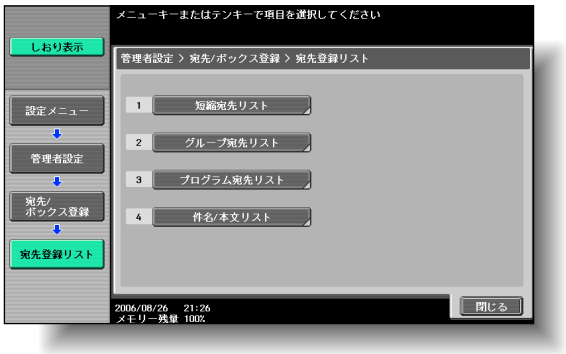
詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティー設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

5 ［宛先登録リスト］を押します。

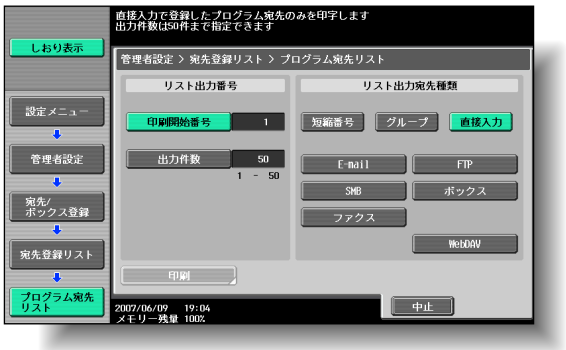


6 ［プログラム宛先リスト］を押します。



7 「リスト出力番号」を設定します。

- ［印刷開始番号］を押し、プリントしたいプログラム宛先の登録番号をテンキーで入力します。
- ［出力件数］を押し、印刷開始番号から何件分プリントしたいか件数をテンキーで入力します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力して選択することもできます。［宛先登録リスト］の場合は、テンキーで【3】を入力します。

詳しく説明します

50 件まで指定できます。

8 「リスト出力宛先種別」を設定します。

- 出力したいリストの宛先種別を、[短縮番号]、[グループ]、[直接入力] から選択します。
- [直接入力] を選択すると、[E-mail]、[FTP]、[SMB]、[ボックス]、[ファクス]、[WebDAV] を指定できます。

9 [印刷] を押します。

10 プリントに使用するトレイを選択します。

11 [実行] または【スタート】を押します。

プログラム宛先リストがプリントされます。

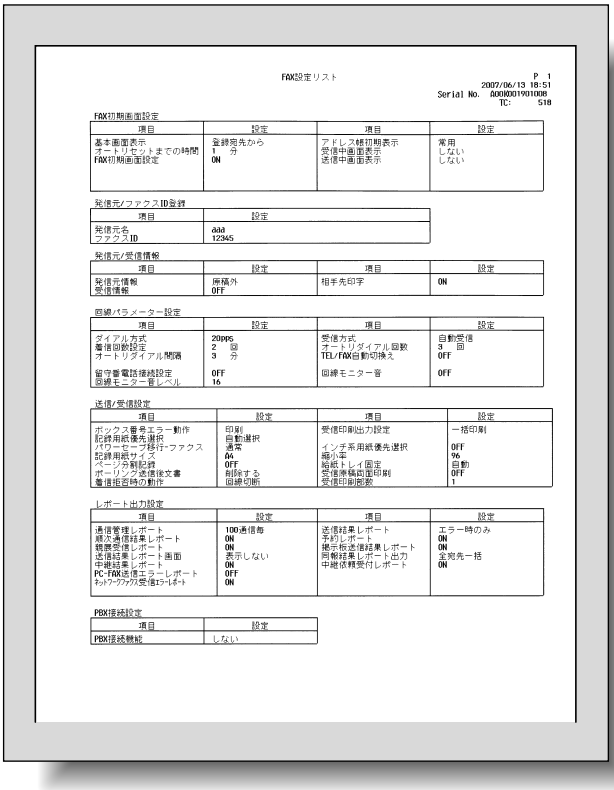


レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

12.21 設定値リスト

本機で設定したファクスの設定値リストをプリントできます。

■ FAX 設定リストの見かた



FAX設定リスト

P 1
2007/06/13 18:51
Serial No. 0000001901008
TC: 518

FAX初期画面設定

項目	設定	項目	設定
基本画面表示	登録宛先から	アドレス帳初期表示	常用
オートリセットまでの時間	1 分	受信中画面表示	しない
FAX初期画面設定	ON	送信中画面表示	しない

発信元/ファクスID登録

項目	設定
発信元名	aad
ファクスID	12345

発信元/受信情報

項目	設定	項目	設定
発信元情報	席隔外	相手先印字	ON
受信情報	OFF		

回線パラメーター設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20pps	受信方式	自動受信
着信回数設定	2 回	オートリダイアル回数	3 回
オートリダイアル間隔	3 分	TEL/FAX自動切換え	OFF
留守番電話接続設定	OFF	回線モニター音	OFF
回線モニター音レベル	16		

送信/受信設定

項目	設定	項目	設定
ボックス番号エラー動作	印刷	受信印刷出力設定	一括印刷
記録用紙優先選択	自動選択		
パワーセーブ移行-ファクス	通常	インチ系用紙優先選択	OFF
記録用紙サイズ	A4	縮小率	96
ページ分割記録	OFF	給紙トレイ固定	自動
ポーリング送信後文書	削除する	受信原稿両面印刷	OFF
着信拒否時の動作	回線切断	受信印刷部数	1

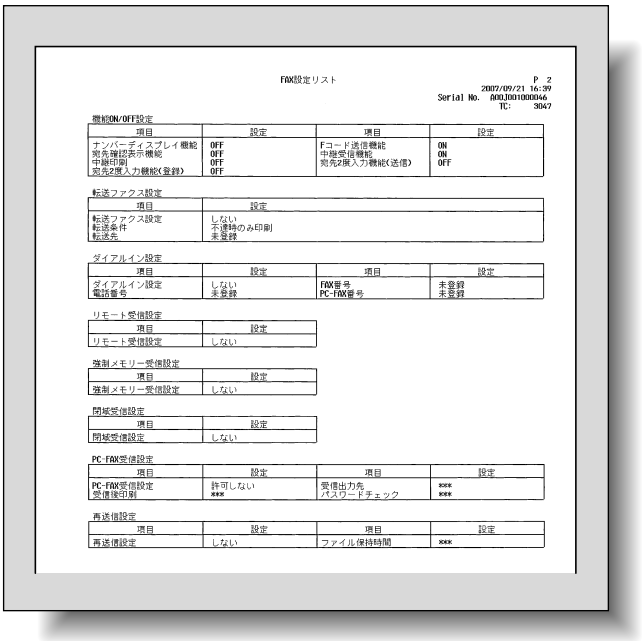
レポート出力設定

項目	設定	項目	設定
通信管理レポート	100通信毎	送信結果レポート	エラー時のみ
順次通信結果レポート	ON	予約レポート	ON
親展受信レポート	ON	掲示板送信結果レポート	ON
送信結果レポート画面	表示しない	同報結果レポート出力	全宛先一括
中継結果レポート	ON	中継依頼受付レポート	ON
PC-FAX送信エラーレポート	OFF		
ネットワークFAX受信エラーレポート	ON		

PBX接続設定

項目	設定
PBX接続機能	しない

- 項目 : 設定メニューの項目です。
- 設定 : 設定状態です。



FAX設定リスト

P 2
2007/09/21 16:39
Serial No. A00J001000046
TC: 3047

機能ON/OFF設定

項目	設定	項目	設定
ナンバーディスプレイ機能	OFF	Fコード送信機能	ON
宛先確認表示機能	OFF	中継受信機能	ON
中継印刷	OFF	宛先2桁入力機能(送信)	OFF
宛先2桁入力機能(登録)	OFF		

転送ファクス設定

項目	設定
転送ファクス設定	しない
転送条件	不達時のみ印刷
転送先	未登録

ダイアルイン設定

項目	設定	項目	設定
ダイアルイン設定	しない	FAX番号	未登録
電話番号	未登録	PC-FAX番号	未登録

リモート受信設定

項目	設定
リモート受信設定	しない

強制メモリー受信設定

項目	設定
強制メモリー受信設定	しない

閉域受信設定

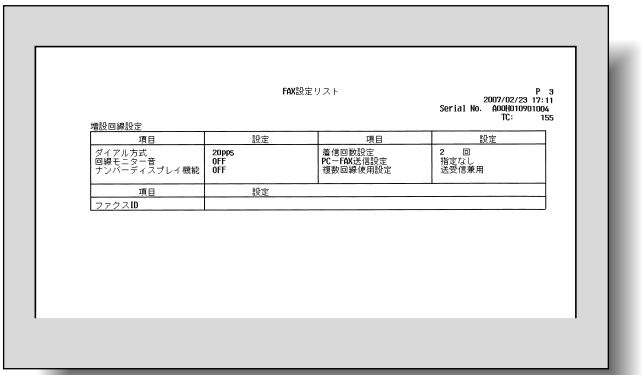
項目	設定
閉域受信設定	しない

PC-FAX受信設定

項目	設定	項目	設定
PC-FAX受信設定	許可しない	受信出力先	***
受信後印刷	***	パスワードチェック	***

再送信設定

項目	設定	項目	設定
再送信設定	しない	ファイル保持時間	***



FAX設定リスト

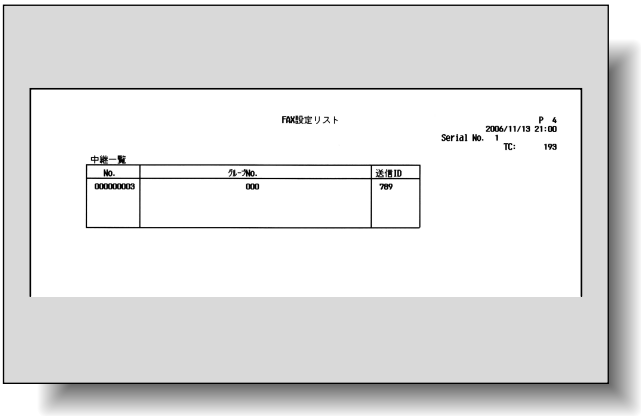
P 3
2007/02/23 17:11
Serial No. A00H010701004
TC: 155

増設回線設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20pps	着信回数設定	2 回
回線モニター音	OFF	PC-FAX送信設定	指定なし
ナンバーディスプレイ機能	OFF	複数回線使用設定	送受信兼用

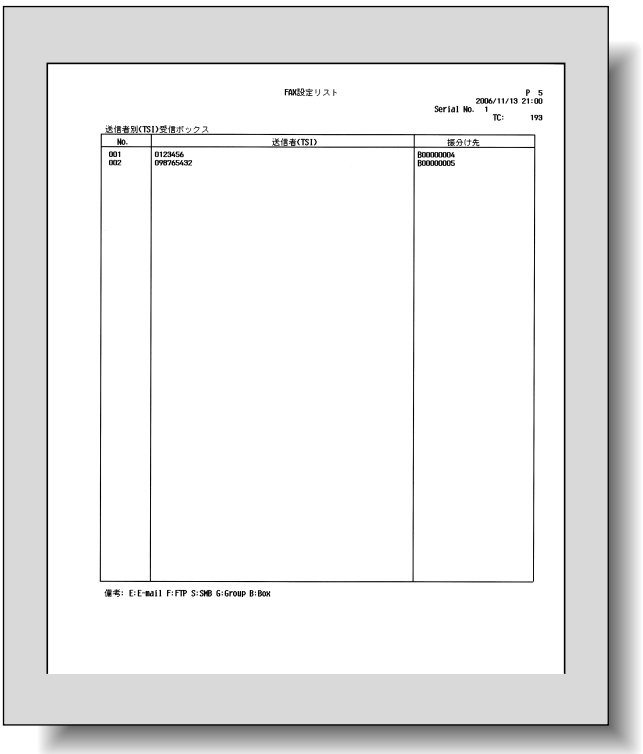
項目	設定
ファクスID	

■ 中継一覧の見かた



- No.: 中継ボックス番号です。
- グループ No.：中継配信先として登録されているグループです。
- 送信 ID：中継パスワードです。

■ 送信者別（TSI）受信ボックスの見かた



FAX設定リスト

P. 5
2006/11/13 21:00
Serial No. 1
TC: 193

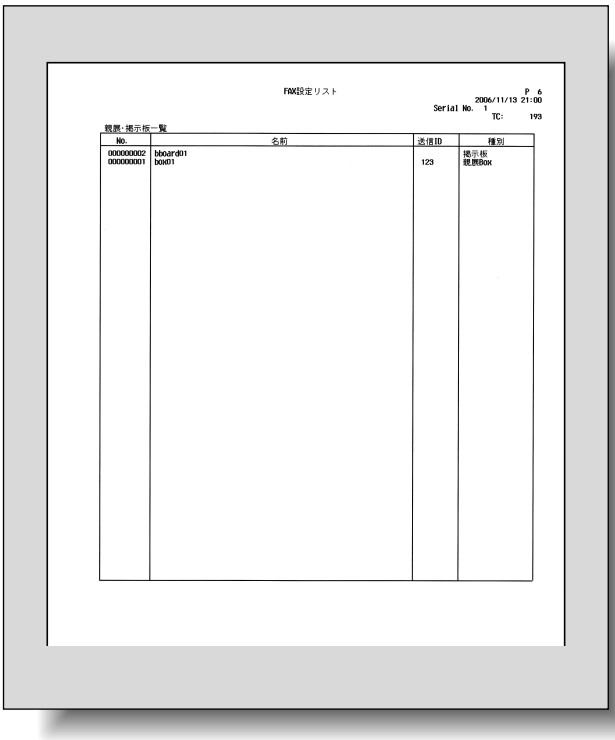
送信者別(TSI)受信ボックス

No.	送信者(TSI)	振分け先
001	0123456	B00000004
002	098765432	B00000005

備考: E:E-mail F:FTP S:SMB G:Group B:Box

- No.: 送信者別（TSI）受信の登録番号です。
- 送信者（TSI）: 登録した発信元情報です。
- 振分け先 : 指定した振分け先です。

■ 親展・掲示板一覧の見かた



FAX設定リスト

P. 6
2006/11/13 21:00
Serial No. 1
TC: 193

親展・掲示板一覧

No.	名前	送信ID	種別
000000002	bboard01		掲示板
000000001	box01	123	親展Box

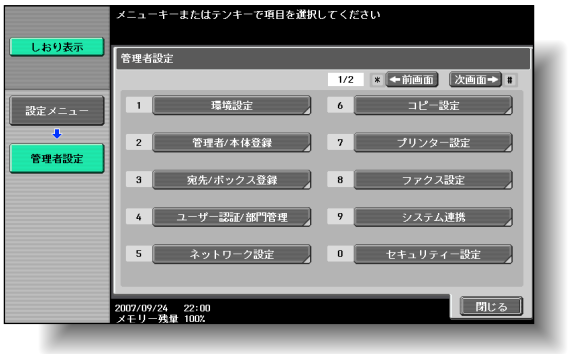
- No. : 親展・掲示板で登録したボックス番号です。
- 名前 : 登録した名前です。
- 送信 ID: 親展パスワードです。
- 種別 : 親展か掲示板かを表示します。

■ 着信拒否登録データの見かた

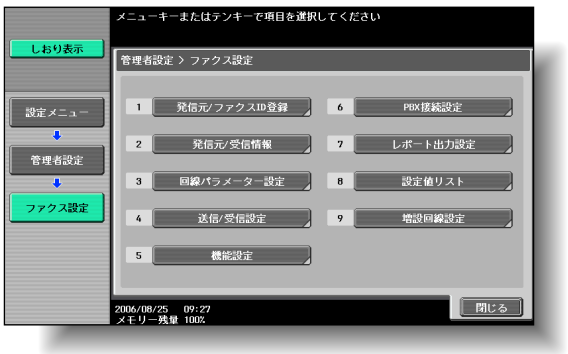
- 番号 : 着信拒否登録 No. です。
- 電話番号 : 着信拒否する電話番号です。

■ 設定値リストをプリントするには

1. 【設定メニュー / カウンター】を押します。
2. ［管理者設定］を押します。
3. 管理者のパスワードを入力し、［OK］を押します。
4. ［ファクス設定］を押します。



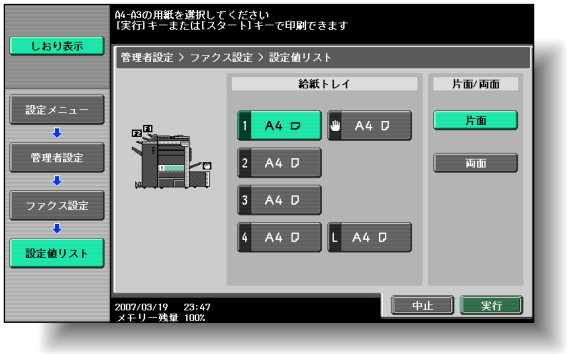
5. ［設定値リスト］を押します。



詳しく説明します

管理者のパスワードは、［セキュリティー設定］で変更できます。管理者が責任をもってパスワードを管理してください。

6 プリントに使用するトレイを選択します。



7 ［実行］または【スタート】を押します。
本機の設定がプリントされます。

詳しく説明します

レポート / リスト用の用紙トレイに必要な用紙がセットされていない場合は、【スタート】キー LED が赤色に点灯し、【スタート】を受け付けません。

第 13 章
付録

ファクス情報サービス、メモリーの蓄積枚数、文字の入力方法について説明します。またファクスで使用する用語の解説を記載していますので、必要に応じてお読みください。

13.1　こんなときには 13-2
13.2　文字を入力するには 13-4
13.3　入力文字一覧 13-11
13.4　ファクス用語集 13-19

■ ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

1

ファクス / スキャン画面の［オフフック］を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

2

サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3

［受信］を押し、サービスの案内に従って［実行］または【スタート】を押します。

受信が開始されます。

❍【スタート】を押した場合は、確認画面が表示されます。［はい］を押し、［OK］を押すと受信が開始されます。

詳しく説明します

・契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
・必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0 ～ 31 の範囲で調整できます（工場出荷時は 16 に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお薦めします。

詳しく説明します

ダイアル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、［トーン］または【＊】を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

ひとこと

設定メニューの［宛先 2 度入力機能（送信）］が［ON］に設定されている場合は、［オフフック］が表示されません。

詳しく説明します

ADF、または原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

■ メモリーへの蓄積枚数について

本機には 60 GB のハードディスクが標準搭載されており、ファクス画像は、このハードディスク中の 31GB の領域に保存されます。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿（A4 判 700 文字程度の当社標準原稿）を、10000 枚程度蓄積することができます（解像度「精細」で蓄積した場合）。



原稿の読込み中に、メモリーがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

13.2 文字を入力するには

ユーザー登録や不定形紙の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

ユーザー名入力画面：



不定形紙名称変更画面：



ひとこと

ユーザー名、プログラム名、ボックス名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、コンピューターから参照すると文字化けをおこすことがあります。

■ キーボードの拡大表示

キーボードを拡大して見やすく表示することができます。

1 キーボードの表示中に、［拡大 ON］を押します。
キーボードが拡大表示されます。



2 拡大表示中に［拡大 OFF］を押すと、拡大表示を解除して通常の表示に戻ります。

■ 英数字を入力する

➔ 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 大文字、記号を入力する場合は、［Shift］を押します。
- ❍ 全角の英数字を入力する場合は［全角］を押します。
- ❍ 半角数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



ひとこと

拡大表示した状態でも、キーボードの操作方法は同じです。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

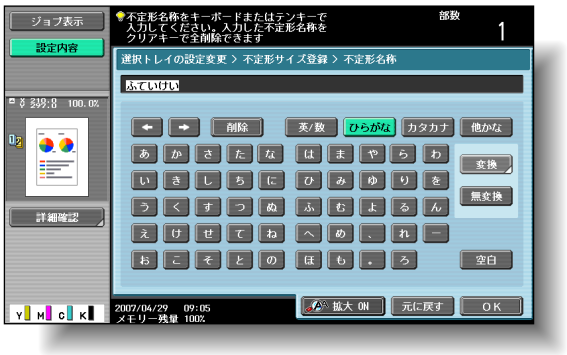
■ ひらがなを入力する

1 ［ひらがな］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



3 ［無変換］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

ひとこと

［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。

■ カタカナを入力する

1 ［カタカナ］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。
- 半角のカタカナを入力する場合は［半角］を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

■ 漢字を入力する

1 ［ひらがな］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



3 ［変換］を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



詳しく説明します

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。
- 変換を中止するときは、［中止］を押します。

5 ［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

候補が 18 個以上ある場合に、［↑］または［↓］のキーが現れます。
・［↑］を押すと前候補が表示されます。
・［↓］を押すと次候補が表示されます。

詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

・［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

■ 文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1 ［文字コード］を押します。

2 表示されているキーボードから、文字コードを入力し、［入力］を押します。



文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

詳しく説明します

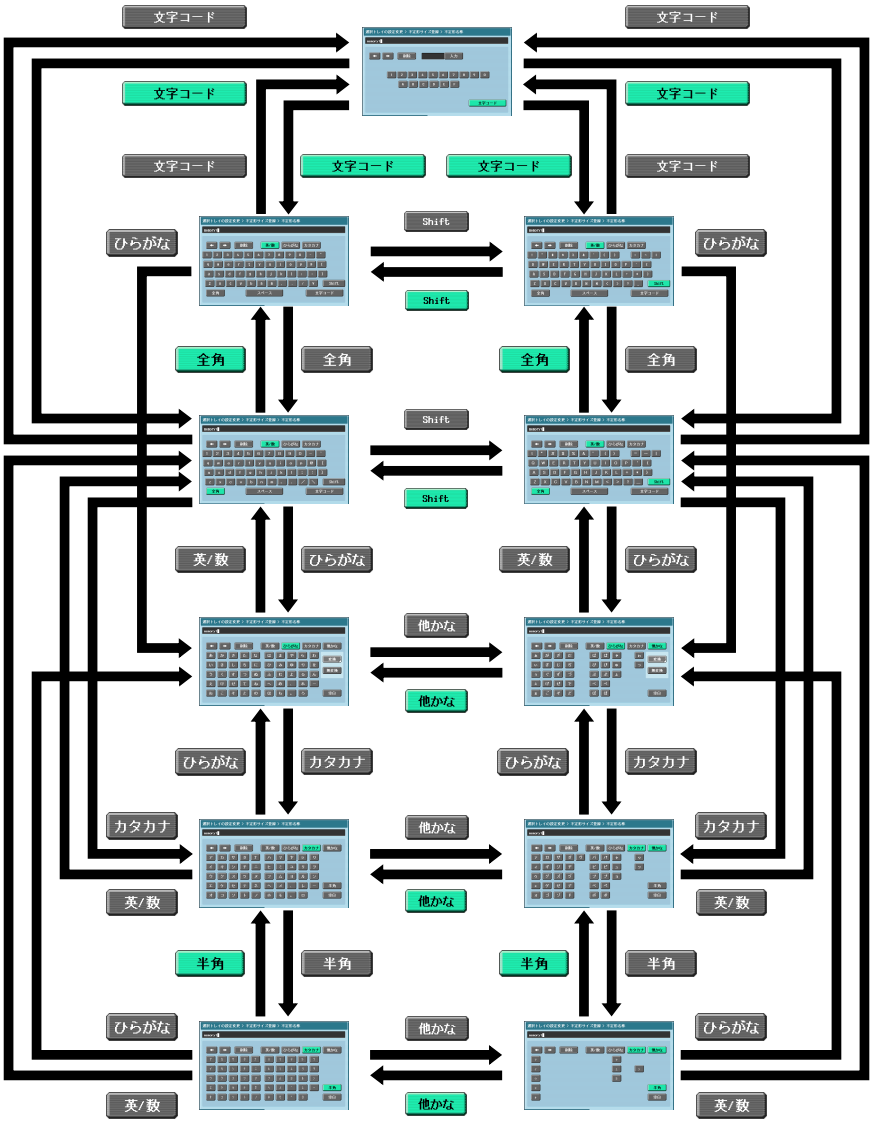
- 本機の文字コードは Shift-JIS コードです。文字コードと文字の対応については、Shift-JIS コード表（p. 13-13 ～）をごらんください。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.3 入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ ぁぃぅぇぉゃゅょわっ　　ー、。
カタカナ(全角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポヴ ァィゥェォャュョワッ　　ー、。
カタカナ(半角)	ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝ ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ -ﾞﾟ
英数字／記号 (全角)	ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ 　(スペース)！”＃＄％＆’（）＋，－．／＼：；＜＝＞？＠［］＾＿‘｛｜｝～＊０１２３４５６７８９
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz 　(スペース)!”#$%&’()+,-./¥:;<=>?@[]^_`{|}~*0123456789

Shift-JIS コード
（一部入力できないものもあります）

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8140	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾
8150	￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼
8160	～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛
8170	｝〈〉《》「」『』【】＋－±×
8180	÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃¥
8190	＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆
81A0	□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
81B0	∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩
81C0	∧∨¬⇒⇔∀∃
81D0	∠⊥⌒∂∇≡
81E0	≒≪≫√∽∝∵∫∬
81F0	Å‰♯♭♪†‡¶　○
8240	０
8250	１２３４５６７８９
8260	ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰ
8270	ＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
8280	ａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏ
8290	ｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ　　ぁ
82A0	あぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけ

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
82B0	げこごさざしじすずせぜそぞただち
82C0	ぢっつづてでとどなにぬねのはばぱ
82D0	ひびぴふぶぷへべぺほぼぽまみむめ
82E0	もゃやゅゆょよらりるれろゎわゐゑ
82F0	をん
8340	ァアィイゥウェエォオカガキギクグ
8350	ケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダ
8360	チヂッツヅテデトドナニヌネノハバ
8370	パヒビピフブプヘベペホボポマミ
8380	ムメモャヤュユョヨラリルレロヮワ
8390	ヰヱヲンヴヵヶ　　　　　Α
83A0	Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ
83B0	Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω　　　　　　α
83C0	β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ
83D0	σ τ υ φ χ ψ ω
83E0	
83F0	
8440	А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О
8450	П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
8460	Я

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8470	а б в г д е ё ж з и й к л м н
8480	о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э
8490	ю я　　　　　　　　　　—
84A0	｜ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗
84B0	┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂
84C0	
84D0	
84E0	
84F0	
8540	
8550	
8560	
8570	
8580	
8590	
85A0	
85B0	
85C0	
85D0	
85E0	
85F0	
8640	
8650	
8660	
8670	
8680	

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8690	
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	
8750	
8760	
8770	
8780	
8790	
87A0	
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	亜

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦
88B0	芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨
88F0	芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隠韻吋右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓
8950	臼渦嘘唄鬱蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲
8960	荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴
8970	英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁
8990	艶苑薗遠鉛鴛塩於汚甥凹央奥往応押
8A0	旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶
89B0	臆桶牡乙俺卸恩温穏音下化仮何伽価
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会
89F0	解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改
8A40	魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外
8A50	咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣
8A60	柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫
8A80	橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹
8A90	叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥
8AA0	刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官
8AB0	寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢
8AC0	澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観
8AD0	諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩
8AE0	癌眼岩翫贋雁頑顔願企伎危喜器基奇
8AF0	嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇
8B60	義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍
8B70	却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居
8B90	巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供
8BA0	侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯
8BB0	恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響
8BC0	饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘窟沓靴繭窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫
8C50	訓群軍郡卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経
8C70	継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨
8C80	劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検
8CA0	権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険
8CB0	顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午
8CE0	呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功効勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降
8D80	項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻
8D90	告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此
8DA0	頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐
8DC0	座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済
8DD0	災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪
8DE0	財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾
8DF0	昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷
8E40	察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三
8E50	傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸
8E60	餐斬暫残仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識
8EB0	鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質
8EC0	実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆
8F50	襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁 渋 獣 縦 重 銃 叔 夙 宿 淑 祝 縮 粛 塾 熟 出
8F70	術 述 俊 峻 春 瞬 竣 舜 駿 准 循 旬 楯 殉 淳
8F80	準 潤 盾 純 巡 遵 醇 順 処 初 所 暑 曙 渚 庶 緒
8F90	署 書 薯 藷 諸 助 叙 女 序 徐 恕 鋤 除 傷 償 勝
8FA0	匠 升 召 哨 商 唱 嘗 奨 妾 娼 宵 将 小 少 尚 庄
8FB0	床 廠 彰 承 抄 招 掌 捷 昇 昌 昭 晶 松 梢 樟 樵
8FC0	沼 消 渉 湘 焼 焦 照 症 省 硝 礁 祥 称 章 笑 粧
8FD0	紹 肖 菖 蒋 蕉 衝 裳 訟 証 詔 詳 象 賞 醤 鉦 鍾
8FE0	鐘 障 鞘 上 丈 丞 乗 冗 剰 城 場 壌 嬢 常 情 擾
8FF0	条 杖 浄 状 畳 穣 蒸 譲 醸 錠 嘱 埴 飾
9040	拭 植 殖 燭 織 職 色 触 食 蝕 辱 尻 伸 信 侵 唇
9050	娠 寝 審 心 慎 振 新 晋 森 榛 浸 深 申 疹 真 神
9060	秦 紳 臣 芯 薪 親 診 身 辛 進 針 震 人 仁 刃 塵
9070	壬 尋 甚 尽 腎 訊 迅 陣 靭 笥 諏 須 酢 図 厨
9080	逗 吹 垂 帥 推 水 炊 睡 粋 翠 衰 遂 酔 錐 錘 随
9090	瑞 髄 崇 嵩 数 枢 趨 雛 据 杉 椙 菅 頗 雀 裾 澄
90A0	摺 寸 世 瀬 畝 是 凄 制 勢 姓 征 性 成 政 整 星
90B0	晴 棲 栖 正 清 牲 生 盛 精 聖 声 製 西 誠 誓 請
90C0	逝 醒 青 静 斉 税 脆 隻 席 惜 戚 斥 昔 析 石 積
90D0	籍 績 脊 責 赤 跡 蹟 碩 切 拙 接 摂 折 設 窃 節
90E0	説 雪 絶 舌 蝉 仙 先 千 占 宣 専 尖 川 戦 扇 撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓 栴 泉 浅 洗 染 潜 煎 煽 旋 穿 箭 線
9140	繊 羨 腺 舛 船 薦 詮 賤 践 選 遷 銭 銑 閃 鮮 前
9150	善 漸 然 全 禅 繕 膳 糎 噌 塑 岨 措 曾 曽 楚 狙
9160	疏 疎 礎 祖 租 粗 素 組 蘇 訴 阻 遡 鼠 僧 創 双
9170	叢 倉 喪 壮 奏 爽 宋 層 匝 惣 想 捜 掃 挿 掻
9180	操 早 曹 巣 槍 槽 漕 燥 争 痩 相 窓 糟 総 綜 聡
9190	草 荘 葬 蒼 藻 装 走 送 遭 鎗 霜 騒 像 増 憎 臓
91A0	蔵 贈 造 促 側 則 即 息 捉 束 測 足 速 俗 属 賊
91B0	族 続 卒 袖 其 揃 存 孫 尊 損 村 遜 他 多 太 汰
91C0	詑 唾 堕 妥 惰 打 柁 舵 楕 陀 駄 騨 体 堆 対 耐
91D0	岱 帯 待 怠 態 戴 替 泰 滞 胎 腿 苔 袋 貸 退 逮
91E0	隊 黛 鯛 代 台 大 第 醍 題 鷹 滝 瀧 卓 啄 宅 托
91F0	択 拓 沢 濯 琢 託 鐸 濁 諾 茸 凧 蛸 只
9240	叩 但 達 辰 奪 脱 巽 竪 辿 棚 谷 狸 鱈 樽 誰 丹
9250	単 嘆 坦 担 探 旦 歎 淡 湛 炭 短 端 箪 綻 耽 胆
9260	蛋 誕 鍛 団 壇 弾 断 暖 檀 段 男 談 値 知 地 弛
9270	恥 智 池 痴 稚 置 致 蜘 遅 馳 築 畜 竹 筑 蓄
9280	逐 秩 窒 茶 嫡 着 中 仲 宙 忠 抽 昼 柱 注 虫 衷
9290	註 酎 鋳 駐 樗 瀦 猪 苧 著 貯 丁 兆 凋 喋 寵 帖
92A0	帳 庁 弔 張 彫 徴 懲 挑 暢 朝 潮 牒 町 眺 聴 脹
92B0	腸 蝶 調 諜 超 跳 銚 長 頂 鳥 勅 捗 直 朕 沈 珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃 鎮 陳 津 墜 椎 槌 追 鎚 痛 通 塚 栂 掴 槻 佃
92D0	漬 柏 辻 蔦 綴 鍔 椿 潰 坪 壷 嬬 紬 爪 吊 釣 鶴
92E0	亭 低 停 偵 剃 貞 呈 堤 定 帝 底 庭 廷 弟 悌 抵
92F0	挺 提 梯 汀 碇 禎 程 締 艇 訂 諦 蹄 逓
9340	邸 鄭 釘 鼎 泥 摘 擢 敵 滴 的 笛 適 鏑 溺 哲 徹
9350	撤 轍 迭 鉄 典 填 天 展 店 添 纏 甜 貼 転 顛 点
9360	伝 殿 澱 田 電 兎 吐 堵 塗 妬 屠 徒 斗 杜 渡 登
9370	菟 賭 途 都 鍍 砥 砺 努 度 土 奴 怒 倒 党 冬
9380	凍 刀 唐 塔 塘 套 宕 島 嶋 悼 投 搭 東 桃 梼 棟
9390	盗 淘 湯 涛 灯 燈 当 痘 祷 等 答 筒 糖 統 到 董
93A0	蕩 藤 討 謄 豆 踏 逃 透 鐙 陶 頭 騰 闘 働 動 同
93B0	堂 導 憧 撞 洞 瞳 童 胴 萄 道 銅 峠 鴇 匿 得 徳
93C0	涜 特 督 禿 篤 毒 独 読 栃 橡 凸 突 椴 届 鳶 苫
93D0	寅 酉 瀞 噸 屯 惇 敦 沌 豚 遁 頓 呑 曇 鈍 奈 那
93E0	内 乍 凪 薙 謎 灘 捺 鍋 楢 馴 縄 畷 南 楠 軟 難
93F0	汝 二 尼 弐 迩 匂 賑 肉 虹 廿 日 乳 入
9440	如 尿 韮 任 妊 忍 認 濡 禰 祢 寧 葱 猫 熱 年 念
9450	捻 撚 燃 粘 乃 廼 之 埜 嚢 悩 濃 納 能 脳 膿 農
9460	覗 蚤 巴 把 播 覇 杷 波 派 琶 破 婆 罵 芭 馬 俳
9470	廃 拝 排 敗 杯 盃 牌 背 肺 輩 配 倍 培 媒 梅
9480	楳 煤 狽 買 売 賠 陪 這 蝿 秤 矧 萩 伯 剥 博 拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏 泊 白 箔 粕 舶 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麦 函
94A0	箱 硲 箸 肇 筈 櫨 幡 肌 畑 畠 八 鉢 溌 発 醗 髪
94B0	伐 罰 抜 筏 閥 鳩 噺 塙 蛤 隼 伴 判 半 反 叛 帆
94C0	搬 斑 板 氾 汎 版 犯 班 畔 繁 般 藩 販 範 釆 煩
94D0	頒 飯 挽 晩 番 盤 磐 蕃 蛮 匪 卑 否 妃 庇 彼 悲
94E0	扉 批 披 斐 比 泌 疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥 被 誹 費
94F0	避 非 飛 樋 簸 備 尾 微 枇 毘 琵 眉 美
9540	鼻 柊 稗 匹 疋 髭 彦 膝 菱 肘 弼 必 畢 筆 逼 桧
9550	姫 媛 紐 百 謬 俵 彪 標 氷 漂 瓢 票 表 評 豹 廟
9560	描 病 秒 苗 錨 鋲 蒜 蛭 鰭 品 彬 斌 浜 瀕 貧 賓
9570	頻 敏 瓶 不 付 埠 夫 婦 富 冨 布 府 怖 扶 敷
9580	斧 普 浮 父 符 腐 膚 芙 譜 負 賦 赴 阜 附 侮 撫
9590	武 舞 葡 蕪 部 封 楓 風 葺 蕗 伏 副 復 幅 服 福
95A0	腹 複 覆 淵 弗 払 沸 仏 物 鮒 分 吻 噴 墳 憤 扮
95B0	焚 奮 粉 糞 紛 雰 文 聞 丙 併 兵 塀 幣 平 弊 柄
95C0	並 蔽 閉 陛 米 頁 僻 壁 癖 碧 別 瞥 蔑 箆 偏 変
95D0	片 篇 編 辺 返 遍 便 勉 娩 弁 鞭 保 舗 鋪 圃 捕
95E0	歩 甫 補 輔 穂 募 墓 慕 戊 暮 母 簿 菩 倣 俸 包
95F0	呆 報 奉 宝 峰 峯 崩 庖 抱 捧 放 方 朋
9640	法 泡 烹 砲 縫 胞 芳 萌 蓬 蜂 褒 訪 豊 邦 鋒 飽
9650	鳳 鵬 乏 亡 傍 剖 坊 妨 帽 忘 忙 房 暴 望 某 棒

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9660	冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲
9670	朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾
9690	鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫
96A0	蔓味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民
96B0	眠務夢無牟矛霧鵡椋婿娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺摸模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻
96E0	籾貰問悶紋門匁也冶夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約薬訳躍靖柳薮鑓愉愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与誉
9760	輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔
9770	用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲
9780	沃浴翌翼淀羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覧利吏履李梨理璃痢
97A0	裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留
97B0	硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料
97C0	梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫
97D0	厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟瑠塁涙累類令
97E0	伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
97F0	歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯
9840	蓮連錬呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼
9850	榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論
9860	倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀
9870	湾碗腕
9880	
9890	弋
98A0	丐丕个丱丶丼丿乂乖乘亂亅豫事舒弍
98B0	于亞亟亠亢亰亳亶从仍仄仆仂仗仞仭
98C0	仟价伉佚估佛佝佗佇佶侈侏侘佻佩佰
98D0	侑佯來侖儘俔俟俎俘俛俑俚俐俤俥倚
98E0	倨倔倪倥倅伜俶倡倩倬俾俯們倆偃假
98F0	會偕偐偈做偖偬偸傀傚傅傴傲
9940	僉僊傳僂僖僞僥僭僣僮價僵儉儁儂儖
9950	儕儔儚儡儺儷儼儻儿兀兒兌兔兢競兩
9960	兪兮冀冂冏冊冉冏冑冓冤冫冱冠冢冩
9970	冪冫决冴冲冰况冽凅凉凛几處凩凭
9980	凰凵凾刄刋刔刎刧刪刮刳刹刺刮剏剌剞
9990	剔剔剪剴剩剳剿剽劍劒劔劘劈劑辨瓣
99A0	劬劭劼劵勁勍勗勞勣勦飭勠勳勵勸勹
99B0	匆匈甸匍匐匏匕匚匣匯匱匳匸區卆卅

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
99C0	丗卉卍凖卞卩卮夘卻巻厂厖厠厦厥厮
99D0	厰厶參簒雙叟曼燮叮叨叭叻吁吽呀听
99E0	吭吼吮吶吩吝呎咏呵咎咢咥呱呻哇咸
99F0	咀呟咄咐咆哇咢咸咥咬哄哈咨
9A40	咫哂咤咾咼咡哿哦唏唔哽哮哺哢唇唹
9A50	唯唧唸售啜啅啖啗唸唳啝喙喫喘喉喊
9A60	喤喞喧喨單啼喃喩喇喨嗚嗅嗟嗄嗜嗹
9A70	噴嘔嗷嘖嗾嗽嘛嗹噎噐嘗嘴嘶嘲嘸
9A80	噫噤噱噬噪噛噂噴噤噸噛噞噺噸噳
9A90	噺噥噦噺噯噲噌噱嚊口囘圀囮囹圉圈
9AA0	國圍圓團圖嗇圜圦圷坏圩圭坎圻址坏坩埀
9AB0	垈坡垉垉垓垠垳垤垪垰埃埆埔埒埓堊
9AC0	埽堺堋堙堝塲堡塢塋塰毀塒堙塹墫墺
9AD0	墟墫墸墮墻墫墮壅壓壑塵壙壘壜壗壠
9AE0	壟壯壺壹壻壺壽夂夊夐夛梦夥夬夭本
9AF0	夲夾竒奕奐奎奚奘奔奥奬奩
9B40	妤妁妝佞侫妣妲姆姨姜妍姙姚娥娟娑
9B50	娜娉娚婀婬婉娵娶婢婪媚媼媾嫋嫂媽
9B60	嫣嫗嫦嫩嫖嫦嫻嬌嬋嬖嬲嫐嬪嬶嬾孃
9B70	孀孅孑孕孚孛孰孳孵孺孽孾孱孳孺宀
9B80	它宦宸寃寇寉寔寘寙寞寥寫寰寶

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9B90	寳尅將專對尓尠尢尨尸尹屁屆屎屓屐
9BA0	屏孱屬屮山岑屹峅岌岑岱岫岻岼岷峩峅
9BB0	峇峆峠峺峡峺峭嶌峪崋崕崗嵜崟崛嵓
9BC0	崑崔崢崚崙崘嵌嵎嵋嵬嵳嵶嶇嶄嶂嶢
9BD0	嶬嶮嶬嶷嶮嶽嶸嶷嶼嶺巍巓巒巖巛巫已
9BE0	巵帋帚帙帑帛帶帷幄幃幀幎幔幟幢
9BF0	幣幇幵并幺麼广庠廁廂廈廏廐廖
9C40	廖廣廝廚廛廢廡廨廩廬廱廳廰廴廸廾
9C50	弁弉彝彜弋弍弖弩弭弸弼弾彁彎彑彖
9C60	彙彗彙彡彭彳彷徃徂彿徊很徑徇従徙
9C70	徘徠徨徭徼忖忻忤忸忱忝悳忿怡恠
9C80	怙怐怩怎怱怛怕怫怦怏怺恚恁恪恷恟
9C90	恊恆恍恣恃恤恂恬恫恙悁悍惧悃悚悄
9CA0	悛悖悗悒悧悋惡悸惠惴悴悸惻悵惆
9CB0	惴愕愆惶愾愀愎愃愕愧愍慂慊慴慘慙慚
9CC0	慥慱慟慝慓慵慷慼慚慴慹慱慽慊慼慠慞
9CD0	慴慯慥慱慟慝慓慵慷慼慚慴慹慱慽
9CE0	憫憮懌懊應懷懈懃懆憺懋罹懽懦懣懶
9CF0	懺懴懿懽戁戄戉戍戌戔戛戞
9D40	戮戡截戩戦戯戳扁扎扞扣扛扠扨扼抂
9D50	抉找抒抓抖拔抃抔拗拑抻拶拿拆擔拈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9D60	拜 拌 拊 拂 拇 抛 拉 挌 拮 拱 挧 挂 挈 拯 拵 捐
9D70	挟 挿 捜 挺 掖 掎 掀 掫 捶 挿 掴 掉 掟 捻 捫
9D80	捩 掾 揩 揀 揆 揣 揺 插 揶 揄 搖 搴 搆 搓 搦 搶
9D90	攝 搗 撳 搏 摧 摯 摶 摎 攪 撕 撓 撥 撩 撈 撼 據
9DA0	擒 擅 擇 撻 擘 擂 擱 擧 舉 擠 擡 抬 擣 擯 攬 擶
9DB0	擴 擲 擺 攀 擽 攘 攜 攅 攤 攣 攫 攴 攵 攷 收 攸
9DC0	畋 效 敖 敕 敍 敘 敞 敝 敲 數 斂 斃 變 斛 斟 斫
9DD0	斷 旆 旄 旁 旄 旌 旋 旛 旙 旡 旡 旱 杲 昊 昃 旻
9DE0	杳 昵 昶 昴 昜 晏 晄 晉 晁 晞 晝 晤 晧 晨 晟 晢
9DF0	晰 暈 暈 暎 暉 暄 暘 暝 曁 暹 曉 暾 暼
9E40	曄 暸 曖 曚 曠 昿 曦 曩 曰 曳 曷 朏 朖 朞 朦 朧
9E50	霸 朮 朿 朶 朳 朷 朸 朶 杞 杠 杙 杣 杤 枉 杰 枩
9E60	杼 杪 枌 枋 枒 枡 枷 某 枴 柬 枳 柩 枸 柤 柞
9E70	柝 柢 柮 枹 桍 柆 柧 檜 栞 框 栩 桀 桍 栲 桎
9E80	梳 栫 桙 档 桷 桿 梟 梏 梭 梔 條 梛 梃 檮 栴 椁
9E90	梵 桲 椙 梡 梘 棹 棊 棯 椄 棘 椢 椦 棡 椌 椌 棍 棔
9EA0	棧 棕 櫻 椒 椄 棗 棣 椥 棹 棠 棯 椨 椪 椚 椹 棡
9EB0	椀 楹 楷 椥 楸 椄 楔 椋 楂 楯 楾 楫 椶 楙 椰 椥 楞
9EC0	楝 楂 楳 楹 榮 槐 榿 槁 槓 榾 槎 寨 槊 榻 槞 槃
9ED0	榧 椸 槫 榠 榜 榕 榴 槞 樂 樛 槿 權 槔 槲 槧
9EE0	樅 榱 樞 槭 樔 槫 樊 樒 櫁 榼 槾 樣 樓 橾 椹 槻 櫃 橸

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9EF0	橇 橢 橙 橦 橈 樸 樢 檐 檻 樗 樣 橲 檢 檣
9F40	檗 蘗 檻 櫃 櫂 檸 檳 檬 櫞 櫑 檪 檫 櫚 櫪 櫻 欅
9F50	蘖 櫺 欒 欖 鬱 欟 欸 欷 盜 欹 飮 歇 歃 歉 鬱
9F60	歔 歛 歟 歡 歸 歹 歿 殀 殄 殃 殍 殘 殕 殞 殪
9F70	殫 殯 殲 殱 殳 殷 殼 毆 毋 毓 毟 毬 毫 毳 毯
9F80	麾 氈 氓 气 氛 氤 氣 汞 汕 汢 汪 沂 沍 沚 沁 沛
9F90	汾 汨 汳 沒 沐 泄 泱 泓 沽 泗 泅 泝 沮 沱 沾 沺
9FA0	泛 泯 泙 泪 洟 衍 洶 洫 洽 洸 洙 洵 洳 洒 洌 浣
9FB0	涓 浤 浚 浹 浙 涎 涕 濤 涅 淹 渕 渊 涵 淇 淦 涸
9FC0	淆 淬 淞 淌 淨 淒 淅 淺 淙 淤 淕 淪 淮 渭 湮 渮
9FD0	渙 湲 湟 渾 渣 湫 溆 湍 渟 湃 渺 湎 渤 滿 渝
9FE0	游 溂 溪 溘 滉 溷 滓 溽 溯 滄 溲 滔 滕 溏 溥 滂
9FF0	溟 潁 漑 灌 滬 滸 滾 漿 滲 漱 滯 漲 滌
E040	漾 漓 滷 澆 潺 潸 澁 澀 潯 潛 濳 潭 濬 潼 潘 澎
E050	澑 濂 潦 澳 濣 澡 澤 澹 濆 澪 濟 濕 濬 濔 濘 濱
E060	濮 濛 瀉 瀋 濺 瀑 瀁 瀏 濾 瀛 瀚 潴 瀝 瀘 瀟 瀰
E070	瀾 瀲 灑 灣 炙 炒 炯 炯 炬 炸 炳 炮 烟 烋 烝
E080	烙 焉 烽 焜 焙 煥 煕 熈 煦 煢 煌 煖 煬 熏 燻 熄
E090	燔 燬 燠 燗 熹 熾 燒 燧 燹 燵 燼 毀 燧 燵 燄 燮
E0A0	燿 爍 爐 爛 爨 爭 爬 爰 爲 爻 爼 爿 牀 牆 牋 牘
E0B0	牴 牾 犂 犁 犇 犒 犖 犢 犧 犹 犲 狃 狆 狄 狎 狒

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E0C0	狢 狠 狡 狹 狷 倏 猗 猊 猜 猖 猝 猴 猯 猩 猥 猾
E0D0	獎 獏 默 獗 獪 獨 獰 獣 獵 獻 獺 珈 玳 珎 玻 珀
E0E0	珥 珮 珞 璢 琅 瑯 琥 珸 琲 琉 瑛 琦 琥 琮 瑜 琿
E0F0	瑩 瑰 瑣 瑪 瑶 瑾 璋 璞 璧 瓊 瓏 瓔 珱
E140	甑 瓣 疋 疋 盒 匁 脞 匁 甯 瓷 甄 甃 鴎 甌 甎 甍
E150	甕 甓 甞 甦 甬 甲 畀 畚 畊 畉 畤 畛 畆 畚 畉 時 畚
E160	畫 畝 畸 當 疆 疇 畴 疊 疂 疊 疔 疚 疝 疥 疣 痂
E170	疳 痃 疵 疽 痘 疼 疱 痍 痊 痒 痙 痣 痞 痾 痿
E180	痼 瘁 痰 痺 痲 痳 瘋 瘍 瘉 瘟 瘧 瘠 瘡 瘢 瘤 瘴
E190	瘰 瘻 癇 癈 癆 癘 癜 癡 癨 癪 癩 癪 癬 癰 癲
E1A0	癶 癸 發 皀 皃 皈 皋 皎 皖 皓 皙 皚 皰 皴 皸 皹
E1B0	皺 盂 盍 盖 盒 盞 盡 盥 盧 盪 蘆 盻 眈 眇 眄 眩
E1C0	眤 眞 眥 眦 眛 眷 眸 睇 睚 睨 睫 睛 睥 睿 睾 睹
E1D0	瞎 瞋 瞑 瞠 瞞 瞰 瞶 瞹 瞿 瞼 瞽 瞻 矇 矍 矗 矚
E1E0	矜 矣 矮 矼 砌 砒 礦 砠 礪 硅 碎 硴 碆 硼 碚 碌
E1F0	碣 碵 碪 碯 磑 磆 磋 碵 碾 碼 磅 磊 磬
E240	磧 磚 磽 磴 礇 礒 礑 礙 礫 祀 祠 祇 祟 祚 祕
E250	祓 祺 祿 禊 禝 禧 齋 禪 禮 禳 禹 禺 秉 秕 秧 秬
E260	秡 秣 稈 稍 稘 稙 稠 稟 禀 稱 稻 稾 稷 稃 穂 穉
E270	穡 穢 穩 龝 穰 穹 穽 窈 窗 窕 窘 窖 窩 竈 窰
E280	窶 竅 竄 窿 邃 竇 竊 竍 竚 竰 竏 竕 竓 站 竚 竝 竡 竢

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E290	竦 竭 嫗 竕 笏 笊 笆 笳 笘 笙 笤 笵 笞 笶 笹 笈
E2A0	笄 荀 笋 笙 笄 筵 笥 笑 筧 笞 筅 筐 筌 筮 箝 箘
E2B0	箍 箜 箚 箋 箒 箏 筝 箙 篋 篁 篌 篏 簗 簍 篆 篋
E2C0	簑 簔 篦 簗 籠 簀 簇 簓 篳 篷 簗 簍 篶 簣 簀
E2D0	簟 簷 簫 簽 籌 籃 籔 籏 籐 籘 籟 籤 籖 籥 籬
E2E0	粁 粗 粐 粤 粭 粢 粡 粨 粳 粲 粱 粮 粹 粽 糀
E2F0	糘 糲 糘 糘 糜 糢 鬻 糯 糲 糲 糴 糶 糠 糅 糂
E340	紂 紜 紕 紊 絅 紘 絖 絆 絽 紿 紂 絣 絳 絖 絎 絲 絨
E350	絮 絏 絣 經 綉 絛 綬 絽 綛 綺 綮 綣 綵 緇 綽 綫
E360	總 綢 綯 緜 綸 綟 綰 緘 緝 緤 緞 緻 緲 緡 縅 緬
E370	縣 縡 縒 縱 縟 縉 縋 縢 繆 繦 縻 縵 縹 繃 縷
E380	繧 繝 繖 繝 繖 繞 繙 繚 繹 繪 繩 繼 繻 繕 繍 繿
E390	辮 纃 纈 纉 續 纒 纐 纓 繧 繊 纖 纛 纜 缸 缺 罅
E3A0	罌 罍 罐 罐 网 罕 罔 罘 罟 罠 罨 罩 罸 罰 罷 罴
E3B0	羃 羈 羇 羌 羔 羞 羝 羚 羣 羯 羲 羹 羮 羶 羸 譱
E3C0	翅 翠 翊 翕 翔 翡 翳 翩 翳 翹 飜 耆 耄 耋 耒 耘
E3D0	耙 耜 耡 耨 耿 耻 聊 聆 聒 聘 聚 聟 聢 聨 聳 聲
E3E0	聰 聶 聹 聽 聿 肄 肆 肅 肛 肓 肚 肭 冐 肬 胛 胥
E3F0	胙 胝 胄 胚 胖 脉 胯 胱 脛 脩 脣 脯 腋
E440	隋 腆 脾 腓 腑 胼 腱 腮 腥 脳 腴 膃 膈 膊 膀 膂
E450	膠 膕 膤 膣 腟 膓 膩 膰 膵 膾 膸 臆 臀 臂 膺 臉

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E460	膤膰膃臘臈臚臟臠臧臺臻臾舁舂舅與
E470	舊舍舐舖舩舫舸舳艀艙艘艝艚艟艤
E480	艦艪艫艬艭艱艷艸艾芍芒芫芟芻芬苡
E490	苣苟苒苴苳苺莓范荏苧苹苞茆苜茉苙茵
E4A0	茴茖茲茱荀茹荐荅茯茫茗荔荏莅莚莪莵
E4B0	莠莖莫莎莇莊莽莵荳荵莉莨菴菅菫
E4C0	菎菽萃菘萋菁菷萇菠菲萍萢萠莽萸蔆
E4D0	菻葭萪萼蒄蒐葷葫蒭葮蒂葩葆萬葯葹
E4E0	萵蓊葢蒹蒿蒟蓙蓍蓀蓐蓁蓆蓖蒡蔡
E4F0	蓿蓴蔗蔘蔬蔟蔕蔔蓼蔭蕓蕘蕎蕁藁
E540	薤薬蕋蕕蘊薙薈薑薊薨蕭薔薛藪薇薜
E550	蘋蕾蘂藉薺藏薹薾藕藝藥藜藹蘊蘓蘋
E560	藾藺蘆蘢蘚蘰蘿虎虍虔虧虱蚓蚣蚩
E570	蚪蚋蚌蚶蚯蛄蛆蛇蛉蛹蛮蛔蛞蛩蛬
E580	蛟蛛蛯蜒蜆蜈蜀蜃蛻蜑蜉蜍蛹蜚蜘蜴
E590	蜷蜻蜥蜩蜚蝠蝟蝸蝣蝎蝟蝴蝗蝨蝮蝙蝓
E5A0	蝠蝪蠅螢螟螂螯蟋蟲蟯蟷蠏蠑蠖蠍
E5B0	蟆螻蟯蟲蟠蠏蠍蟾蟶蟷蠑蠣蠖蠡蠕
E5C0	蠱蠶蠹蠧蠢蠑蠅蚰蚯蚓螽衂衄衊
E5D0	衵衽衹衲袂衿袒袮袷袍袤袰袱袵袿
E5E0	裄裔裘裙裝裹裲裼裨裲裰裸裹

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E5F0	褊褥褪褫褶褻襁襄褻褶褸褽襌褝襠襞
E640	襦襤襭襪襯襴襷襾覃覈覊覓覘覡覦覩覲
E650	覺覿覯覲覺覽覿觀觚觜觝觧觴觸訃訖訐
E660	訌訛訝訥訶詁詛詒詆詈詬詼詭詬詢詛誂
E670	誄誨誡誑誥誦誚誣諄諍諂諤諢諳諧
E680	諤諱謔諠諢諡諞諛諝謦謐謗謖謚謫謾
E690	謳鞫謦謫謷謨譁譌譎譏譖譛譓譟譫譬
E6A0	譱譯譴譲譽讀讌讎讒讖讙讚谺豁谿豈
E6B0	豌豎豐豕豢猪豸豺貂貉貊貍貎貔豼貘
E6C0	貘戝貭貪貽貲貳貮貶賈賁賤賣賚賽賺
E6D0	賻贄贅贇贊贏贍贐齎贓賍贔賦賚賭
E6E0	赳趁趙跂趾趺跏跚跖跌跛跋跪跫跟跣
E6F0	跼跿踉踝踞踐踟踠踡踵踰踴蹊
E740	蹇蹉蹌蹐蹈蹙蹤蹠蹟蹣躄躋躑躔躙躪
E750	躅躕躡躊躓躑躔躙躪躬躰體躱躾軀
E760	軅軋軛軦軼軻軫軾較軽軺軼輊輒輙輜輟
E770	輌輔輦輳輻輹輿轂轅轢轤轡轣轆轜
E780	轣轤轢轟辟辣辭辯辷迚迥迢迪迯邇迴
E790	逅迹迺逑逕逡逍逞逖逋逧逶逵逹迸逼
E7A0	遐遑遒逎遉逾遖遘遞遨遯遶隨遲邂邉邊
E7B0	邁邀邊邉邏邨邯邱邵郢郤扈郛鄂鄒鄙

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E7C0	鄢鄰酊酖酘酣酥酩酳酲醋醉醂醢醫醯
E7D0	醪醸醴醺釀釁釉釋釐釖釟釜釣釦鈑鈔
E7E0	鈎釿鈐鈬鈕鈑鉞鉗鉅鉉鉤鉈銕鈿鉋鉚
E7F0	銜銖銓銛銚鋏銹銷鋩鋺鍬鍾鍔
E840	鍜錢錚錣錺錆鍼鍖鎭鎔鎚鍠鍬鎹鎰鎬鎭鎔
E850	鎹鏖鏗鏨鏥鏘鏃鏝鏐鏤鐚鏑鐓鐔鐃鐇鐐
E860	鐶鐫鐓鐵鐡鐺鑁鑒鑄鑛鑞鑰鑚鑢鑓鑑鈩
E870	鑼鑷鑽鑚鑾鑵鑿閂閇閊閔閖閘閙
E880	閏閧閦閤閞閼閻閹閾閿濶閴闌闇闕闖闔
E890	闋闌闥闞阡阨阮阯陂陌陋陷陜陞陝
E8A0	陟陦陲陬隍隘隕隗險隧隱隲隰隴隶隸
E8B0	隹雎雋雉雍襍雜霍雕雹霄霆霈霓霎霑
E8C0	霏霖霙霤霪霰露霸霾霻靆靈靂靉靜靠
E8D0	靤靦靨勒靼靽靹鞁靺鞆鞋鞏鞐鞜
E8E0	鞨鞦鞣鞳鞴韃韆韈韋韜韭齏韲竟韶韵
E8F0	頏頌頸頤頡頷頽顆顏顋顫顯顰
E940	顱顳顴颪颯颱颶飄飃飩飫餃餉餒餔餘
E950	餡餝餬餞餤餧餬餮餽餾饂饉饅饐饋饑
E960	饒饌饗馗馘馥馭馮馼駟駛駝駑駘駸駭駮
E970	駱駲駸駹駽駾騁騏騅騆騙騒騒驅驂驀
E980	驃驕驍驛驗驟驢驥驤驩驫驪骭骰骼髀

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E990	髏髑髓體髞髟髡髣髢髦髯髫髮髴髱髷髻
E9A0	鬆鬘鬚鬟鬢鬣鬪鬩鬮鬨鬩鬪鬮鬯鬲魄魃
E9B0	魏魍魎魑魘魴鮓鮃鮑鮖鮗鮟鮠鮨鮴鯀鯊鮹
E9C0	鯑鯏鯒鯣鯢鯤鯔鯡鰺鯲鯱鯰鰕鰔鰉鰓鰌鰆鰈
E9D0	鰒鰊鰄鰮鰛鰥鰤鰡鰰鱇鰲鱆鰾鱚鱠鱧鱶鱸
E9E0	鳧鳰鳩鳬鳶鳩鳫鳲鳥鳳鳧鳶鳴鴉鴈鳫鴃鴆
E9F0	鴪鴦鶯鴣鴟鵄鴕鴒鵁鵇鵐鵝鵞鵤鵑鵐鵙
EA40	鵲鶫鵯鵺鶚鶫鵬鶸鶲鶹鶺鶯鶴鶻鶸鶺鸎鸛
EA50	鸚鷁鸌鸚鸛鸞鹵鹹鹽鹿麁麈麋麕麒麑麕麖
EA60	麝麥麩麸麪麭靡黌黹黽鼇鼈麾鼬鼯鼱齊齒
EA70	齔齟齬齙齠齡齦齧齬齪齷齲齶龕龜龠
EA80	龻龼龾鿁鿂鿃鿄鿅鿆鿇鿈鿉鿊鿋鿌鿍鿎鿏
EA90	鿐鿑鿒鿓鿔鿕鿖鿗鿘鿙鿚鿛鿜鿝鿞鿟鿠
EAA0	槇遙瑤凜熙
EAB0	
EAC0	
EAD0	
EAE0	
EAF0	
EB40	
EB50	

13.4 ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。
本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
記号・アルファベット	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	(Error Correction Mode: 誤り訂正方式) G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM OFF を指定しない限り、ECM で通信されます。
	F コード	ITU-T（国際電気通信連合）で標準化された T.30 ＊のサブアドレスの使い方について、CIAJ（情報通信ネットワーク産業協会）が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。（＊通信の規格のことです）
	G3	ITU-T（国際電気通信連合）が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	PB	プッシュ回線のことです。
	PC-FAX	紙を使用せずに、コンピューターから直接ファクス送信できる機能のことです。
	Super G3（SG3）	ITU-T V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速（最高 33,400bps）で通信することができます。
	TSI	Transmitting Subscriber Identification の略で、送信（発信）ファクス端末の ID のことです。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 OFF を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。

	用語	説明
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読込む場合にだけ使用できます。
あ行	宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合のみ送信する機能のことです。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。
	宛先レベル	情報のセキュリティのため、特定の宛先情報を特定の人にだけ閲覧できるように設定する機能のことです。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。
	一括送信	宛先、送信時刻、メモリー送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリーに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリー受信	受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。
	クイックメモリー送信	原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信する機能のことです。
	グループ	複数の短縮番号をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿のとじしろ	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のとじ位置を設定する機能です。両面原稿のとじ位置には、原稿の上側（または下側）にとじ位置がある「上開き / とじ」と、原稿の左（または右側）にとじ位置がある「左開き / とじ」があり、原稿の裏面の上下関係が異なります。

	用語	説明
	原稿枚数指定	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリー送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリー送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。
さ行	再送信	メモリーに保存されている送信できなかった文書を選択して、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	シャープネス	文字のエッジを強調して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た行	ダイアルイン	ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能のことです。 ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。
	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 / 10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の 3 種類があります。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス / スキャン画面が表示されているとき、紙なし、または紙づまりで動作が中断しているときに設定します。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮宛先	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮宛先を登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。

	用語	説明
	着信拒否宛先	着信拒否したい相手の電話番号をあらかじめ登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、［着信拒否］とメッセージを表示し受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に同報をするファクスのことです。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておくと、7200bps や 4800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	ブック連写	本やカタログなどをファクス送信する場合に、表カバー、裏カバー、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信できる機能のことです。

	用語	説明
	プログラム宛先	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	閉域受信	パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能のことです。
	ポーズ	間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリーに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリー	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリーオーバーフロー	読込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリーが一杯になった状態をいいます。
	メモリー送信	原稿を読み取り、メモリーに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリー送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
	メモリー代行受信	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリーに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
や行	読込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読込みサイズ	原稿を読込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。 手動でリダイアルする方法と、自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。

第 14 章
索引

14.1　使用別索引 14-2
14.2　項目別索引 14-8

14.1 使用別索引

■ あ行

宛先レベル
宛先レベルを変更する（宛先レベル設定） 10-26

宛先を指定する
宛先を 1 箇所だけ指定する 2-18
直接入力で指定する 2-22
複数の宛先を指定する 2-28
プログラム宛先から指定する 2-30
履歴から指定する 2-24

印刷する
ファクス送信と同時にコピーをする（同時印刷） 7-23
レポート / リストの種類 12-2

■ か行

解除して送る
ECM モードを解除して送る（ECM OFF） 7-43
スーパー G3 モードを解除して送る（V34 OFF） 7-46

確認する
宛先を確認 / 削除する 2-32
宛先を再確認して送信する（宛先確認表示機能） 7-55
設定状態を確認する 2-32
送信前に読込み状態を確認する（仕上りプレビュー） 2-63
送信予約ジョブを確認する 2-45
通信結果を確認する 2-46
読み取ったことを確認する（済みスタンプ） 7-26

記録する
縮小して記録するとき 3-11
受信時の記録方法 3-16
等倍で記録するとき 3-15
用紙におさまるように縮小して記録するとき 3-11

グループ
グループ宛先を削除する 10-19
グループ宛先を登録する 10-15
グループ宛先を変更する 10-18

掲示板
掲示板に文書を登録する 9-8
掲示板の文書をポーリング受信する 9-12

原稿にあわせて送る
折り目のある原稿を送る（Z 折れ原稿） 7-32
黒い影を消して送る（枠消し） 7-12
原稿のとじ位置を指定する（原稿のとじしろ） 7-38

原稿を読込むサイズを指定して送る（読込みサイズ） 7-20
サイズの異なる原稿を一度の操作で送る（混載原稿） 7-29
長い原稿を送る（長尺原稿） 7-35
見開き原稿を左右 1 ページずつ分けて送信する（ブック連写） 7-15

原稿をセットする

ADF/ 原稿ガラスの両方を使って原稿を送るには 2-11
ADF に原稿をセットする 2-7
原稿ガラスで複数枚の原稿を送るには 2-9
原稿ガラスに原稿をセットする 2-8
原稿をセットする 2-7

■ さ行

サービス

「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール） 5-6
ファクス情報サービスを利用する 13-2

親展通信

親展受信した文書を削除する 8-5
親展受信した文書をプリントする 8-4
親展通信のしくみ 10-36
親展送信をする（F コード送信） 7-63
親展ボックスを設定する 10-33

設定しておく

宛先情報を保護する（参照許可設定） 11-38
宛先登録の変更禁止を設定する（登録宛先変更） 11-30
外部電話から受信の指示をする（リモート受信） 8-2
機能の ON/OFF を設定する（機能 ON/OFF 設定） 11-56
強制メモリー受信した文書を取り扱う 8-6
強制メモリー受信を設定する（強制メモリー受信設定） 11-62
構内交換機に関する機能を設定する（PBX 接続設定） 11-80
再送信を設定する（再送信設定） 11-71
受信文書のプリント方法を設定する（受信印刷出力設定） 11-28
受信文書を転送する（転送ファクス設定） 11-66
スタンプを印字する設定をする（スタンプ設定） 11-36
送信者ごとに受信原稿を振り分ける（TSI 受信振分け設定） 11-76
送信や受信方法を設定する（送信 / 受信設定） 11-53
増設回線の機能を設定する（機能設定） 11-87
増設回線のパラメーターを設定する（回線パラメーター設定） 11-85
ダイアルインを設定する（ダイアルイン設定） 11-59
通信履歴を表示されないようにする（通信履歴表示） 11-100
特定の相手からのみ受信する設定をする（閉域受信設定） 11-64
ハードディスク内のボックスに受信する（PC-FAX 受信設定） 11-73
発信 / 着信方法を設定する（回線パラメーター設定） 11-50
発信元 / 受信情報の付けかたを設定する（発信元 / 受信情報） 11-47
発信元名とファクス ID を登録する（発信元 / ファクス ID 登録） 11-44
パワーセーブ移行条件を設定する（パワーセーブ移行） 11-26
ファクス / スキャン画面の初期状態を設定する（ファクス / スキャン設定） 11-17
ファクス機能の初期設定値を設定する（ファクス / スキャン初期設定） 11-24
ファクス送信機能を禁止する（FAX 送信禁止） 11-96
ファクス動作中の画面を設定する（ファクス動作中画面） 11-20

ファクス番号の直接入力を禁止する（手動宛先入力） 11-94
ファクス番号を表示されないようにする（個人情報非表示） 11-98
複数宛先禁止を設定する（複数宛先禁止） 11-32
リモート受信を設定する（リモート受信設定） 11-69
レポートのプリント方法を設定する（レポート出力設定） 11-82

■ た行

短縮

宛先確認 / 登録画面から短縮宛先にファクス番号を登録する 10-8
短縮宛先にファクス番号を登録する 10-4
短縮宛先を削除する 10-13
短縮宛先を指定して送信する 2-18
短縮宛先を変更する 10-11
登録宛先を検索する（宛先種類） 2-20
登録宛先を検索する（検索文字キー） 2-19
登録宛先を検索する（詳細検索） 2-21

着信拒否

着信拒否宛先を削除する 10-32
着信拒否宛先を登録する 10-29
着信拒否宛先を変更する 10-31

中継同報

中継先を指定して送る（F コード送信） 7-66

中止する

タイマー通信予約ジョブを取り消す 2-44
通信中に中止する 2-43

調整して送る

背景色の濃度を調整して送る（下地調整） 7-6
文字のエッジを強調して送る（シャープネス） 7-9

できない

エラーメッセージが表示された 5-5
原稿サイズが検知できないときは 2-35
受信できない 3-8, 5-3
送信できない 2-37, 5-2
メモリーオーバーしたときは 2-36

電話

電話を受ける 4-3
電話をかける 4-2

動作

原稿読込み中の動作 2-35

登録する

グループ宛先 10-15
掲示板を登録する 10-37

親展ボックスを登録する 10-33
短縮宛先 10-4
着信拒否宛先を登録する 10-29
中継ボックスを登録する 10-40
プログラム宛先 10-20

■ な行

名前とはたらきを確認する

操作パネル 1-3
ファクス機能で表示される画面 1-5

■ は行

ファクスを受ける

いろいろな受信モード 3-2
外部電話で操作するとき（リモート受信） 3-7
強制メモリー受信した文書を取り扱う 8-6
自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード） 3-2
自動受信（ファクス専用モード） 3-2
受信情報について 3-17
手動受信（電話専用モード） 3-7
増設回線を使用した送受信 1-17
メモリー代行受信 3-9
留守番電話が接続しているとき 3-2

ファクスを送る

相手側の状態を確認しながら送信する（手動送信） 2-42
相手機を確認して送信する（宛先確認送信） 7-52
宛先を 1 箇所だけ指定する 2-18
海外に送る（海外通信モード） 2-58
回線を指定して送信する（回線指定） 7-57
共有 / 個人 / グループボックスの文書をファクス送信する 7-49
時刻を指定して通信する（タイマー通信） 2-55
親展受信した文書を利用する 8-4
操作の流れ 2-2
増設回線を使用した送受信 1-17
総ページ数を付けて送信する（原稿枚数指定） 2-52
パスワードをつけて送る（パスワード送信） 7-60
発信元情報について 2-61
発信元情報のつけ方を指定する（発信元設定） 7-69
複数の宛先を指定する 2-28
メモリー送信とクイックメモリー送信 2-49
読込み条件を設定する 2-13

プログラム

プログラム宛先で送信する 2-30
プログラム宛先を削除する 10-24
プログラム宛先を登録する 10-20

ポーリング
受信側からの指示で送信させる（ポーリング受信） 9-6
文書を指定してポーリングする（掲示板） 9-8
ポーリング原稿を準備する（ポーリング送信） 9-2

■ ま行

メモリー
メモリーオーバーしたときは 2-36
メモリー送信とクイックメモリー送信 2-49
メモリーへの蓄積枚数について 13-3

文字
英数字を入力する 13-5
カタカナを入力する 13-7
漢字を入力する 13-8
入力文字一覧 13-11
ひらがなを入力する 13-6
文字コードで入力する 13-10

■ や行

予約する
送信を予約する 2-40

■ ら行

リスト
グループ宛先リスト 12-36
設定値リスト 12-42
短縮宛先リスト 12-33
プログラム宛先リスト 12-39
レポート / リストの種類 12-2

レポート
1 宛先ポーリング受信予約レポート 12-20
PC-FAX 送信エラーレポート 12-30
掲示板送信結果レポート 12-24
順次ポーリング受信結果レポート 12-15
順次ポーリング受信予約レポート 12-21
親展受信レポート 12-22
送信結果レポート 12-9
中継依頼受付レポート 12-28
中継結果レポート 12-26
通信管理レポート 12-5
通信予約レポート 12-17
同報送信結果レポート 12-31
同報送信予約レポート 12-19
ポーリング受信結果レポート 12-13

ポーリング送信結果レポート 12-11
ポーリング送信予約レポート 12-18
レポート / リストの種類 12-2

14.2 項目別索引

数字・記号

1 宛先ポーリング受信予約レポート 12-20

アルファベット

ADF 2-7, 2-11
ECM OFF 7-43
FAX 送信禁止 11-96
PBX 接続設定 11-80
PC-FAX 受信 1-11, 1-14
PC-FAX 受信設定 11-73
PC-FAX 送信エラーレポート 12-30
SIP ファクス 1-19
TEL/FAX 自動切換えモード 3-5
TSI 受信振分け設定 11-76
V34 OFF 7-46
Z 折れ原稿 7-32

あ行

宛先確認送信 7-52
宛先確認表示機能 7-55
宛先種類 2-20
宛先設定 2-18
宛先レベル設定 10-26
エラーメッセージ 5-5
オフフック 2-42

か行

海外通信モード 2-58
回線指定 7-57
回線パラメーター設定 11-50, 11-85
解像度 2-16
片面 2-15
片面 / 両面 2-15
管理者設定画面 11-3
機能 ON/OFF 設定 11-56
機能設定 11-87
強制メモリー受信 1-11, 8-6
強制メモリー受信設定 11-62
強制メモリー受信ボックス 1-13, 10-44
クイックメモリー送信 2-49
グループ宛先 2-28, 10-15
グループ宛先リスト 12-36
掲示板 9-8, 10-37
掲示板送信結果レポート 12-24
掲示板ボックス 1-12
原稿画質 2-14
原稿ガラス 2-8
原稿サイズの検知 2-35
原稿設定 7-3
原稿の自動回転 2-36
原稿のとじしろ 7-38
原稿枚数指定 2-52
原稿をセットする 2-7
検索文字キー 2-19
個人情報非表示 11-98
ご注意 1-2
混載原稿 7-29

さ行

サービスコール 5-6
再送信設定 11-71
参照許可設定 11-38
仕上りプレビュー 2-63
システムボックス 1-12, 1-13
下地調整 7-6
指定ボックス 1-12
自動受信 3-4
シャープネス 7-9
受信印刷出力設定 11-28
受信時の記録 3-11, 8-8
受信情報 3-17
受信できない 3-8, 5-3
受信モード 3-2
手動宛先入力 11-94
手動受信 3-3, 3-7
手動送信 2-42
順次ポーリング受信結果レポート 12-15
順次ポーリング受信予約レポート 12-21
仕様 6-2
詳細検索 2-21
ジョブの確認 2-45
親展受信 8-4
親展受信レポート 12-22
親展送信 7-63
親展ボックス 10-33
親展ボックスを使う 7-63
スタンプ / ページ印字 7-3
スタンプ設定 11-36
済みスタンプ 7-26
セキュリティー文書ボックス 1-12

設定値リスト 12-42
設定メニューの操作 11-2
設定状態 2-32
操作の流れ 2-2
操作パネル 1-3
送信 / 受信設定 11-53
送信結果レポート 12-9
送信結果レポート画面 2-6
送信できない ..... 2-37，5-2

た行

ダイアルイン設定 11-59
タイマー通信 2-55
短縮宛先 10-4
短縮宛先リスト 12-33
着信拒否宛先 10-29
中継依頼受付レポート 12-28
中継結果レポート 12-26
中継先指定 7-66
中継ボックス 10-40
中止 2-43
長尺原稿 7-35
直接入力 2-22
通信管理レポート 12-5
通信結果 2-46
通信設定 ..... 2-4，7-4
通信予約レポート 12-17
転送ファクス設定 11-66
電話 4-1
電話専用モード 3-7
同時印刷 7-23
同報送信 2-28
同報送信結果レポート 12-31
同報送信予約レポート 12-19
登録宛先 2-18
登録宛先変更 11-30
トラブル処置 5-1

な行

濃度 2-17

は行

はじめに設定 1-8
パスワード送信 7-60
発信元 / 受信情報 11-47
発信元 / ファクス ID 登録 11-44
発信元情報 2-61
パワーセーブ移行 11-26
ファイリングナンバー 7-2
ファクス / スキャン宛先登録画面 10-2
ファクス / スキャン初期設定 11-24
ファクス / スキャン設定 11-17
ファクス ID 11-92
ファクス情報サービス 13-2
ファクス動作中画面 11-20
ファクス発信元設定 7-69
複数宛先禁止 11-32
複数回線使用設定 11-90
複数枚の原稿 2-9
ブック連写 7-15
部門認証 1-9
プログラム宛先 ..... 2-30，10-20
プログラム宛先リスト 12-39
閉域受信設定 11-64
ポーリング受信 9-6
ポーリング受信結果レポート 12-13
ポーリング送信 9-2
ポーリング送信結果レポート 12-11
ポーリング送信用ボックス 1-12
ポーリング送信予約レポート 12-18
ボックスの種類 1-12
ボックス文書ファクス送信 7-49
ボックスを使ったファクス受信 1-11

ま行

メモリーオーバー 2-36
メモリー送信 2-49
メモリー代行受信 3-9
文字入力 13-4

や行

ユーザー設定画面 11-2
ユーザー認証 1-9
読込みサイズ 7-20
読込み条件を設定する 2-13
読込み設定 2-3
予約 2-40

ら行

リスト 12-4

リダイアル 2-37
リモート受信 3-7, 11-69, 8-2
両面 2-15
履歴 2-24
留守番電話 3-6
レポート 12-2
レポート出力設定 11-82

わ行

枠消し 7-12

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright
2006 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A00J-9952-44

2008. 4